

ドラム缶からの漏えい跡原因調査 及び対策に係る報告書

Report on Cause Investigation and Countermeasure of Leakage Trace from the Drum

下村 祐介 佐藤 拓也 福井 康太 工藤 健治
吉岡 龍司

Yusuke SHIMOMURA, Takuya SATO, Yasutaka FUKUI, Kenji KUDO
and Tatsuji YOSHIOKA

高速炉・新型炉研究開発部門
大洗研究所
環境保全部

Waste Management Department
Oarai Research and Development Institute
Sector of Fast Reactor and Advanced Reactor Research and Development

January 2019

Japan Atomic Energy Agency

日本原子力研究開発機構

JAEA-Review

本レポートは国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が不定期に発行する成果報告書です。
本レポートの入手並びに著作権利用に関するお問い合わせは、下記あてにお問い合わせ下さい。
なお、本レポートの全文は日本原子力研究開発機構ホームページ (<https://www.jaea.go.jp>)
より発信されています。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 研究連携成果展開部 研究成果管理課
〒319-1195 茨城県那珂郡東海村大字白方2番地4
電話 029-282-6387, Fax 029-282-5920, E-mail:ird-support@jaea.go.jp

This report is issued irregularly by Japan Atomic Energy Agency.
Inquiries about availability and/or copyright of this report should be addressed to
Institutional Repository Section,
Intellectual Resources Management and R&D Collaboration Department,
Japan Atomic Energy Agency.
2-4 Shirakata, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken 319-1195 Japan
Tel +81-29-282-6387, Fax +81-29-282-5920, E-mail:ird-support@jaea.go.jp

© Japan Atomic Energy Agency, 2019

ドラム缶からの漏えい跡原因調査及び対策に係る報告書

日本原子力研究開発機構 高速炉・新型炉研究開発部門

大洗研究所 環境保全部

下村 祐介、佐藤 拓也、福井 康太、工藤 健治、吉岡 龍司

(2018年10月29日 受理)

平成27年9月11日、日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター（現、大洗研究所）廃棄物管理施設の固体集積保管場Ⅱにおいて、アスファルト固化体封入ドラム缶（アスファルトドラム缶）4缶からアスファルトの漏えい跡が確認された。また、その後の点検において、平成27年11月10日にアスファルトドラム缶1缶からアスファルトの漏えい跡が発見された。さらに、平成27年12月2日には、アスファルトドラム缶1缶に、アスファルトの漏えい跡は無いが上蓋の腐食が激しいものが確認された。

アスファルトドラム缶からのアスファルトの漏えい跡について、原因の調査と対策を検討するため、「ドラム缶からの漏えい跡原因調査及び対策に係る検討作業部会」を設置し、対応が進められた。具体的な検討事項は、①アスファルトドラム缶からのアスファルトの漏えい原因の特定、②アスファルトドラム缶の腐食（錆）発生原因の特定、③アスファルトドラム缶のアスファルト漏えい及び腐食（錆）の再発防止対策である。

本報告書は、当該作業部会でまとめられた調査報告書を基に、その後の書類調査によって明らかになった内容を含めて再構成したものである。

Report on Cause Investigation and Countermeasure of Leakage Trace from the Drum

Yusuke SHIMOMURA, Takuya SATO, Yasutaka FUKUI, Kenji KUDO
and Tatsuji YOSHIOKA

Waste Management Department
Oarai Research and Development Institute
Sector of Fast Reactor and Advanced Reactor Research and Development
Japan Atomic Energy Agency
Oarai-machi, Higashiibaraki-gun, Ibaraki-ken

(Received October 29, 2018)

On September 11, 2015, leaky traces of bituminized wastes were confirmed from four drums filled with bituminization in waste packages storage yard (II) of waste management facility in Oarai Research and Development Center (This place is the current Oarai Research and Development Institute). Moreover, even after the subsequent investigation, a leakage trace was found from one bituminous drum on November 10, 2015. Furthermore, on December 2, 2015, there was no a leakage trace in one bituminous drum, however the upper lid was found to be intensely corroded. To investigate the causes and the countermeasures for leakages of bituminized wastes from the drums, we have set up a Work Group to investigate the causes and the countermeasures to leakage traces from the drums. Specific considerations were (1) To ascertain the causes of leakages from the drums, (2) To ascertain the causes of corrosion (rust) on the drums, and (3) To prevent leakages and corrosion (rust) of the drums from recurrence. This report is based on investigative report summarized by this working group, the report was reconstructed including the contents clarified in the subsequent document investigation.

Keywords: Radioactive Waste, Bituminized Waste, Leakage Trace

目 次

1. 序論	1
2. アスファルトドラム缶のアスファルト漏えい及びこれまでの製作・保管状況	2
2.1 アスファルト漏えい跡発見時の状況	2
2.2 アスファルトドラム缶の製作・保管状況	2
2.2.1 アスファルトについて	2
2.2.2 アスファルト固化体について	3
2.2.3 アスファルト固化装置	3
2.2.4 アスファルトドラム缶の製作	4
2.2.5 アスファルトドラム缶の保管状況	4
3. アスファルトドラム缶の開缶及び胴部切断後の状態確認	5
3.1 アスファルトドラム缶開缶時の状態	5
3.2 コンクリートの状態	5
4. 原因調査フローの検討	6
5. 原因調査	7
5.1 アスファルトの軟化	7
5.1.1 製作データの調査（アスファルト混練時の加熱条件）	7
5.1.2 軟化温度の測定	7
5.1.3 保管場の環境調査	8
5.2 ドラム缶からの滲出	8
5.2.1 ドラム缶蓋パッキンの状態、ドラム缶蓋締付けボルトの緩み等の確認	8
5.2.2 ドラム缶の腐食	9
5.3 コンクリートからの滲出	12
5.3.1 キャッピングコンクリートからの滲出	12
5.3.2 ドラム缶胴部の内張りコンクリートからの滲出	14
5.4 調査結果のまとめ	15
6. 処置・対策	17
7. まとめ	18
謝辞	19
参考文献	19
付録 1	43
付録 2	47
付録 3	85
付録 4	145
付録 5	153
付録 6	169
付録 7	177

付録 8	-----	181
付録 9	-----	207

Contents

1. Introduction	1
2. Bituminized waste leakage from the drums and production, storage condition of our knowledge	2
2.1 The situation when finding the bituminized waste leakage traces	2
2.2 Production and storage condition of the bituminous drums	2
2.2.1 About the bituminous materials	2
2.2.2 About the bituminized waste products	3
2.2.3 The batch-wise bituminization system	3
2.2.4 Production of the bituminous drums	4
2.2.5 Storage condition of the bituminous drums	4
3. Opening of the bituminous drums and confirmation of the condition of the drum after cutting its part	5
3.1 Condition when the bituminous drums opening	5
3.2 Condition of the concrete	5
4. Consideration of the cause investigation flow	6
5. Investigation of the cause	7
5.1 Softening of the bituminized wastes	7
5.1.1 Investigation of production data (heat soaking condition for the bituminized waste kneading)	7
5.1.2 Measurement of softening temperature	7
5.1.3 Environment research of storage yard	8
5.2 Leaching from the drum	8
5.2.1 Confirmation of the drum lid packing condition, the drum lid tightening bolts looseness, etc.	8
5.2.2 Corrosion of the drum	9
5.3 Leaching from the concrete	12
5.3.1 Leaching from the capping concrete	12
5.3.2 Leaching from lining concrete of the drum body	14
5.4 Summary of survey results	15
6. Corrective action and countermeasure	17
7. Summary	18
Acknowledgements	19
References	19
Appendix 1	43
Appendix 2	47
Appendix 3	85

Appendix 4	-----	145
Appendix 5	-----	153
Appendix 6	-----	169
Appendix 7	-----	177
Appendix 8	-----	181
Appendix 9	-----	207

1. 序論

原子炉廃止措置研究開発センター（現、敦賀廃止措置実証部門新型転換炉原型炉ふげん）の第2 固体廃棄物貯蔵庫で発生したアスファルト固化体ドラム缶底からの漏えいに係る水平展開として、大洗研究開発センター（現、大洗研究所）廃棄物管理施設の固体集積保管場Ⅱ、固体集積保管場Ⅲ及び固体集積保管場Ⅳに保管されているアスファルト固化体を封入したドラム缶（以下「アスファルトドラム缶」という。）540 缶（うち、横積み 468 缶、縦積み 72 缶）の点検を実施したところ、平成 27 年 9 月 11 日に固体集積保管場Ⅱにおいて、アスファルトドラム缶 4 缶からアスファルトの漏えい跡が発見された。また、その後の点検において、平成 27 年 11 月 10 日にアスファルトドラム缶 1 缶からアスファルトの漏えい跡が発見された。さらに、平成 27 年 12 月 2 日には、アスファルトの漏えい跡は無いが上蓋の腐食が激しいアスファルトドラム缶 1 缶が発見された。

本件に際し、大洗研究開発センター所長からの諮問を受け、アスファルトドラム缶からのアスファルト漏えいの原因調査及び対策を検討するため、平成 28 年 3 月 17 日付けで「大洗研究開発センター放射性廃棄物・廃止措置検討委員会」の下部組織として「ドラム缶からの漏えい跡原因調査及び対策に係る検討作業部会」を設置し対応が進められた。具体的な検討事項は、①アスファルトドラム缶からのアスファルトの漏えいの原因特定、②アスファルトドラム缶の腐食（錆）発生原因の特定、③アスファルトドラム缶のアスファルト漏えい及び腐食（錆）の再発防止対策である。

本報告書は、当該作業部会でまとめられた調査報告書を基に、その後の書類調査によって明らかになった内容を含めて再構成したものである。

2. アスファルトドラム缶のアスファルト漏えい及びこれまでの製作・保管状況

2.1 アスファルト漏えい跡発見時の状況

平成 27 年 9 月 11 日に固体集積保管場Ⅱにおいて、アスファルトドラム缶 4 缶（パッケージ No. : B-863-012、B-872-006、B-872-007、B-872-008）からアスファルトの漏えい跡が確認された。ドラム缶 4 缶は、いずれも横積み（俵積み）で保管していたもので、漏えい跡は横積みされたドラム缶の蓋の下側及び（4 缶のうち 2 缶については）蓋の直下の床で発見された。漏えい跡は、ドラム缶蓋と胴部との嵌め合い部に氷柱状になって付着しているアスファルトと、それが繰り返し落下したと思われる線状になったアスファルトが床に複数付着した状態で確認された（Fig.2.1 参照）。

ドラム缶蓋までアスファルトが内部滲出しているドラム缶を調査するため、全数 540 缶のうち横積み保管している 468 缶について、テストハンマーによるドラム缶蓋の打音検査を行った。その結果、アスファルトがドラム缶の蓋とキャッピングコンクリート上部との隙間に滲出していると思われるドラム缶が、既にアスファルトの漏えいを確認した 4 缶のドラム缶を含め 82 缶あることが確認された。これら 82 缶のドラム缶は、昭和 49 年から平成 11 年まで製作されたものであり、保管開始後、約 17 年から約 42 年が経過したものである。

アスファルト滲出の原因を調査するために、当該ドラム缶 4 缶及び参照比較のためのドラム缶 4 缶（アスファルトがドラム缶上蓋とコンクリート充填キャッピング上面の空隙部分に滲出している状態と思われるドラム缶 : B-866-015、健全な状態と思われるドラム缶 : B-876-017、B-756-010、B-893-006）のドラム缶内の状況の確認を行った。また、この調査と並行して、ドラム缶外への漏えい事象の進展を防止するために、横積み保管しているアスファルトドラム缶については全て縦積みにする処置を行った。この処置を行っていたところ、平成 27 年 11 月 10 日にドラム缶 1 缶（B-760-021）から、新たにアスファルトの漏えい跡が発見された。さらに、平成 27 年 12 月 2 日には、ドラム缶 1 缶（B-841-004）にアスファルトの漏えい跡は無いが、ドラム缶蓋の腐食が著しいものが発見された。

アスファルトドラム缶全数（540 缶）の外観を調査した結果、前述したようにアスファルトの漏えい跡が確認されたドラム缶 5 缶とドラム缶蓋に腐食の著しいドラム缶 1 缶を除いては、外面に多少の錆は見られるものの、アスファルトの漏えいがないことを確認した。なお、漏えいのあったドラム缶表面及び床表面におけるアスファルト漏えい跡をスミヤ法を用いて確認した結果、いずれも検出下限値未満で放射性核種は検出されなかった。

2.2 アスファルトドラム缶の製作・保管状況

2.2.1 アスファルトについて

アスファルトは、天然アスファルトと石油アスファルトの 2 種類に大きく分類されるが、現在広く用いられているのは石油アスファルトである。石油アスファルトは、原油に含まれる炭化水素類の中で最も重質のものであり、原油を蒸溜してできる残渣として得られる。これをストレートアスファルトと呼んでいる。また、ストレートアスファルトに空気を吹き込み、酸化重合等の反応を起こさせたブローンアスファルトがあり、ストレートアスファルトに比べ、異

なった性質を示す。これらのアスファルトは、複雑な高級炭化水素とそれらの非金属誘導体からできており、アスファルテン、レジン、油分等の成分で構成されている¹⁾。

アスファルトの種類については、針入度という硬さの指標を基に JIS 規格 (JIS K 2207-1996) で等級が設定されており、ストレートアスファルトの場合は、0/10、10/20、20/40、40/60、60/80、80/100、100/120、120/150、150/200 及び 200/300 の等級に設定されている。一方、ブローンアスファルトの場合は、0/5、5/10、10/20、20/30 及び 30/40 の等級に設定されている。

廃棄物管理施設でのアスファルト固化体の製作には、主にストレートアスファルト (60/80) を用いていた。Appendix 1 に使用されたアスファルトの試験成績一覧を示す。

2.2.2 アスファルト固化体について

アスファルト固化体は、材料試験炉 (JMTR) 及びその関連施設から排出される放射性廃液を化学処理又は蒸発処理することによって生じる二次廃棄物 (化学処理後の沈殿物 (以下「化学処理スラッジ」という。)) 及び蒸発缶濃縮液) をアスファルトと混合し、廃棄物中の固形物及び含有塩分をアスファルト中に分散させ、水分を蒸発させて固化させたものである。

アスファルト固化体は、加熱したアスファルトとともに蒸発缶濃縮液や化学処理スラッジと混合することから、両者の残存水分のほとんどが製作過程において除去されるため、セメント固化体に比べ濃縮効果が高いという利点がある。また、水に対する放射性核種の耐浸出性も高く、1970 年代に処分方法の一つに考えられていた海洋投棄に適した廃棄体として選定された。

なお、アスファルト固化体の耐浸出性について、福田他²⁾は蒸留水に対するアスファルト固化体の浸出試験を行い、化学処理スラッジを封入した固化体は浸漬期間 350 日で約 0.01%、蒸発缶濃縮液及び化学処理スラッジを封入した固化体は浸漬期間 350 日で約 0.1%であったと報告している。また、アスファルト固化体の浸出性に対する国内外での様々な報告については、秋元他³⁾によってまとめられている。それによれば、アスファルトの種類に対する浸出率への影響^{*1}については、ブローンアスファルト (20/30) よりもストレートアスファルト (60/80) の方が浸出率は低く、アスファルトの針入度に対する浸出率への影響^{*2}については、ストレートアスファルトでは柔らかいもの (針入度 60/80、80/100) の方が、硬いもの (針入度 20/40、40/50) より浸出率が低くなるという報告がされている。

2.2.3 アスファルト固化装置

1973 年に設置されたアスファルト固化装置は、回分式処理方式を採用している。化学処理スラッジを前処理する凍結再融解槽、前処理したスラッジをろ過・脱水する真空ろ過器、ケーキ状のスラッジ及び濃縮液を溶融したアスファルトと混和蒸発させる混和蒸発器、及び関連の付属機器から構成される。アスファルト固化装置概要図を Fig.2.2 に示す。

*1 ストレートアスファルト (60/80) 及びブローンアスファルト (20/30) を材料とした固化体 (NaNO₃ 濃度 : 40 wt%) について Na 浸出率を比較した浸出試験である。

*2 ストレートアスファルトの中で硬いアスファルト (針入度 20/40、40/50) と柔らかいアスファルト (針入度 60/80、80/100) を材料とした固化体について Na 浸出率を比較した浸出試験である。

アスファルト固化装置は、化学処理スラッジを前処理する凍結再融解系と前処理したスラッジをアスファルトと混和蒸発させる混和蒸発系に大別して操作される。

凍結再融解系では、冷凍ユニット及び凍結再融解槽 2 基を用いて、スラッジの凍結・融解を繰り返し行う。この操作により、スラッジ中に含まれる水分と固形分の分離が促進される。融解したスラッジはスラッジ貯槽に一時的に貯留し、必要に応じて上澄み液を抜き出す。

混和蒸発系の運転では、凍結再融解系で処理したスラッジを真空ろ過器に供給してろ過・脱水させる。脱水したスラッジケーキを、スクリーフフィルダにより混和蒸発器へ連続的に供給し、予め混和蒸発器の中で溶融させたアスファルトと加熱攪拌させる。スラッジケーキの水分が蒸発し、固形分がアスファルト中に分散される（混和蒸発）。スラッジケーキの供給は連続的に行われ、スラッジケーキとアスファルトの混合比が一定値に達した後、スラッジケーキの供給を停止する。アスファルトとの混合体をコンクリート内張りドラム缶に排出し、放冷固化させる。濃縮液については、混和蒸発器に直接供給し、混和蒸発させる。

2.2.4 アスファルトドラム缶の製作

アスファルトドラム缶は、胴部にコンクリートを内張りした 200 L オープンドラム缶に加熱し混練したアスファルト固化体を充填し、徐冷後にアスファルト固化体の上部をキャッピングコンクリートで覆い、その上に缶蓋を取り付けた構造となっている。アスファルト固化体を封入するドラム缶は、減容・濃縮等の処理を行った放射性廃棄物を安全かつ確実に保管するために、JIS 規格 Z-1600M のコンクリート内張り 200 L 鋼製オープンドラム缶が使用されている。アスファルトドラム缶の構造を Fig.2.3 に、当該ドラム缶の製作図を Fig.2.4 にそれぞれ示す。

アスファルトドラム缶は、1973 年 12 月のアスファルト固化装置による実処理開始から 2010 年のセメント固化装置への更新までの期間稼働し、540 缶製作された。

なお、アスファルト固化体中の主要核種は、 ^{22}Na 、 ^{54}Mn 、 ^{60}Co 、 ^{137}Cs 等で、放射エネルギーは最大 1.6×10^9 Bq であり、放射性廃棄物としては低レベルのものである。

2.2.5 アスファルトドラム缶の保管状況

1973 年頃に製作されたアスファルトドラム缶は、他の廃棄物とともに屋根の無い固体集積保管場 I にシートで覆った状態で保管（ドラムラック上横積み 6 段及び床上縦積み 2 段）されていたが、1980 年に固体集積保管場 II が完成し、当該ドラム缶は同施設に移管された。その後、アスファルト固化装置の運転停止まで保管場に順次搬入していき、本事象発生時は固体集積保管場 II に横積み 343 缶、固体集積保管場 III に横積み 125 缶及び縦積み 35 缶、固体集積保管場 IV に縦積み 37 缶がそれぞれ保管されている状態であった。Appendix 2 にアスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧を示す。

固体集積保管場 II におけるアスファルトドラム缶の保管状況を Fig.2.5 に示す。

当該ドラム缶を保管する固体集積保管場の室内環境は、固体集積保管場 II 及び III については空調や除湿設備がないため、室内の温度及び湿度は外気や気候の影響を受け一年を通じて変動する。固体集積保管場 IV については室内温度は気候の影響を受けるが、除湿設備が設置されており、年間を通じて結露が発生しないようになっている。

3. アスファルトドラム缶の開缶及び胴部切断後の状態確認

アスファルト漏えいの原因を調査するため、一部のアスファルトドラム缶を開缶して中の状態を確認するとともに、ドラム缶胴部を切断してコンクリートの状態を確認した。

調査対象としたアスファルトドラム缶は、漏えい跡が確認されたドラム缶 5 缶、缶蓋の腐食が著しいドラム缶 1 缶、及びこれらのドラム缶と比較するためにアスファルトの滲出が確認されていないドラム缶 4 缶である。

調査対象のアスファルトドラム缶を Table 3.1 に示す。

3.1 アスファルトドラム缶開缶時の状態

漏えい跡が確認されたアスファルトドラム缶 5 缶及び缶蓋の腐食が著しいアスファルトドラム缶 1 缶については、ドラム缶蓋を固定しているバンドの内側に腐食が見られ、アスファルトが付着していた。また、キャッピングコンクリート上面にも、内張りコンクリートの外側とドラム缶胴部との隙間から滲出したと見られるアスファルトの存在が確認された。

一方、漏えい跡が確認されていないアスファルトドラム缶 4 缶では、4 缶全てにおいて、ドラム缶蓋を固定しているバンドの内側に腐食やアスファルトの付着は見られなかったが、4 缶のうち 1 缶のドラム缶においては、キャッピングコンクリート上部にアスファルトの滲出が見られた。その他のアスファルトドラム缶 3 缶については、アスファルトの滲出はなかった。

ドラム缶開缶時の状況を Fig.3.1 に示す(詳細な開缶状況については、Appendix 3 を参照。)

3.2 コンクリートの状態

さらに詳しく調査するため、漏えい跡が確認されたアスファルトドラム缶 5 缶のうちの 1 缶及び缶蓋の腐食が著しいアスファルトドラム缶 1 缶については、ドラム缶の胴部(炭素鋼 厚さ約 1.2 mm)を縦に切断してコンクリート部表面全てを露出させ、状態を確認した(Appendix 4 を参照。)

2 つのドラム缶とも、キャッピングコンクリートと内張りコンクリートの接合部からアスファルトが滲出していたことが確認された。また、漏えい跡のあったドラム缶は、内張りコンクリートの胴部に割れが発生しており、僅かではあるがこの割れ部からアスファルトが滲出していたことが確認された。

胴部を切断した 2 つのドラム缶の内外面の状態について確認したところ、バンド部及びバンド下部の内外面に錆の発生が見られ、一部貫通している箇所が確認された。但し、この貫通部からアスファルトが漏えいした痕跡は見られなかった。

コンクリートの状態及びドラム缶の腐食の状況を Fig.3.2 に示す。

4. 原因調査フローの検討

3章のアスファルトドラム缶の開缶及び胴部切断後の状態確認の結果より、アスファルトドラム缶からアスファルトの滲出は、以下の機構によるものと推定した。

① アスファルトの軟化

アスファルトが軟化し流動性が生じる。

② コンクリートからの滲出

内張りコンクリートとキャッピングコンクリートとの接合部、又は内張りコンクリートにひび割れが生じ、そこから軟化したアスファルトが滲出する。滲出したアスファルトがキャッピングコンクリートとドラム缶蓋との間に滞留する。

③ ドラム缶からの滲出

ドラム缶と缶蓋との密閉性が十分でない、あるいはドラム缶の腐食により腐食孔が生成し、そこから滞留したアスファルトがドラム缶外に滲出する。

上記の推定を基に原因調査のためのフローを作成した。原因調査のフローを Fig.4.1 に示す。

5. 原因調査

5.1 アスファルトの軟化

アスファルトの軟化については、どのような条件で製作され、どのような環境で軟化するかを調べるため、製作のデータ、軟化温度及び保管庫の環境について調査した。

5.1.1 製作データの調査（アスファルト混練時の加熱条件）

蒸発缶濃縮液及び化学処理スラッジのアスファルトとの混練に係る温度及び時間について、アスファルト固化体製作時の運転記録（昭和 49 年度～平成 22 年度の運転実績 1195 回（471 缶分））を基に調査した。

調査の結果、漏えい跡が確認されたアスファルトドラム缶 5 缶及び缶蓋の腐食が著しいアスファルトドラム缶 1 缶のアスファルト固化体製作時の混練温度は、蒸発缶濃縮液が 144～189 °C で平均 168 °C、化学処理スラッジがいずれも 215 °C で平均 215 °C、混練時間は蒸発缶濃縮液が 2.4～3.5 時間で平均 3.1 時間、化学処理スラッジが 0.8～3.5 時間で平均 1.8 時間であった（Table 5.1）。一方、ドラム缶蓋の打音検査で内部滲出の可能性の低かったアスファルトドラム缶（394 缶）の製作に係る運転記録（989 回）では、平均混練温度は蒸発缶濃縮液が約 167 °C、化学処理スラッジが約 208 °C、平均混練時間は蒸発缶濃縮液が約 2.9 時間、化学処理スラッジが約 2.9 時間であった（Table 5.2）。

漏えい跡が確認されたアスファルトドラム缶の製作時の混練温度及び混練時間は、調査した内部滲出の可能性の低いドラム缶の平均値のほぼ標準偏差内にあり、アスファルト固化体の製作において加熱不足や温度の低下、混練時間がアスファルト漏えいに係る主たる要因ではないと考えられる。

漏えい跡が確認されたアスファルトドラム缶 5 缶及び缶蓋の腐食が著しいアスファルトドラム缶 1 缶を比較してみても、混練の温度と時間に大きな差はなく、混練の温度と時間の影響はなかったものと考えられる。

5.1.2 軟化温度の測定

(1) 加熱操作によるアスファルトの軟化温度の測定

アスファルトドラム缶の開缶時に回収したアスファルトを赤外線ランプで加熱し、アスファルトの軟化温度（軟化開始温度）を測定した。

回収したアスファルトをバイアル瓶に詰めて湯せんし、熱電対をアスファルトに挿入して内部温度を測定した。常温（約 25 °C）より昇温を開始し、横置きに静置したバイアル瓶内のアスファルトの様子を数分置きに目視観察した。軟化の兆候が見られた際の熱電対の温度をアスファルトの軟化温度とした。

Fig.5.1 に廃棄物パッケージ（B-872-008）から回収したアスファルトの軟化状況を示す。約 40 °C から軟化し始め、約 42 °C で流動の兆候を確認した。約 53 °C では十分に軟化し、流動することが確認できた。Appendix 1 より、アスファルト固化体の製作に用いたアスファルトの軟化点は 50 °C 前後であるが、本調査におけるアスファルトの軟化温度とは観測方法が異なるこ

とを留意されたい。調査対象のドラム缶より回収したアスファルトの軟化温度を Table 5.3 に、軟化状況を Appendix 5 にそれぞれ示す。

(2) 常温静置による流動性の確認

回収したアスファルト (B-872-008) が約 53 °C で軟化し流動することを確認したが、固体集積保管場Ⅱの室温が 50 °C を上回るような高温環境になることは考えにくい。また、回収したアスファルトの放射エネルギーは最大で 1.5×10^8 Bq であり (Table 3.1)、アスファルト自体が発熱することはない。そこで、常温状態でのアスファルトの流動性に着目し、回収したアスファルトを入れたバイアル瓶を 25～29 °C の室内に横置きに静置する流動性の確認試験を実施した。

Fig.5.2 にアスファルトの常温静置での流動状況を示す。静置後、4 日目で軟化の兆候が確認され、14 日目では流動が確認された。29 日目ではさらに流動しており、日数の経過とともにアスファルトが水平方向に流れていくことを確認した (Appendix 6)。

上記の結果より、常温下 (25～29 °C) においても、アスファルトは完全に固化されておらず、時間の経過とともにアスファルトが流動することが分かり、キャッピングコンクリートと内張りコンクリートの接合部の隙間やドラム缶蓋と胴部の隙間からアスファルトが滲出する可能性があることが確認できた。

5.1.3 保管場の環境調査

平成 27 年 7～8 月に大洗町で観測された最高気温は 34 °C であり、アスファルトドラム缶を保管していた固体集積保管場Ⅱの室温がこれを上回ることはないと推測するが、アスファルトの軟化と環境との影響を調査するため、実際に固体集積保管場Ⅱの室温を測定した。測定は平成 28 年 3 月 1 日に開始し、平成 30 年 9 月現在継続中である。

固体集積保管場Ⅱの室温は 7～29 °C の範囲で推移しており、アスファルトが十分軟化し流動が確認された温度約 53 °C と比べても十分低く、アスファルトの軟化に影響を及ぼすようなものではないと考えられる。以上のことから、アスファルトの流動は軟化点を越えたことによるものではなく、5.1.2 項の(2)に示したように、常温状態での流動性によるものであることが分かった。

5.2 ドラム缶からの滲出

軟化したアスファルトがドラム缶から滲出するには、ドラム缶蓋のパッキンの劣化、ドラム缶蓋締付け用バンドのボルトの緩み、ドラム缶の腐食に伴う腐食孔の発生等が考えられる。

5.2.1 ドラム缶蓋パッキンの状態、ドラム缶蓋締付けボルトの緩み等の確認

調査対象のアスファルトドラム缶 10 缶 (アスファルトの漏えいが確認された 5 缶、腐食が著しい 1 缶、アスファルトの漏えいが確認されていない 4 缶) について、ドラム缶蓋パッキンの状態、ドラム缶蓋締付けボルトの緩み等を確認した。

確認の結果、締付けボルトに緩みはなく、ドラム缶蓋と胴部の嵌め合い部分にも浮いた様子はなく、パッキンも弾力性があり劣化は見られなかった。

Fig.5.3 にアスファルトの滲出過程を示す。アスファルトが漏えいしたドラム缶については、バンドの継ぎ目部分の内側及びドラム缶蓋と胴部の嵌め合い部分にアスファルトが付着していたことから、キャッピングコンクリートとドラム缶蓋との間のアスファルトがこの嵌め合い部分から滲出していたことが分かった。

鋼製オープンヘッドドラムは、危険物等を収納するドラム缶については、気密性が求められるが、当該アスファルトドラム缶に使用されているような一般的なドラム缶に対しては、気密性は求められていない。そのため、パッキンや締付けボルトに緩みがなくとも横積みの状態でアスファルトドラム缶を保管していればアスファルトが滲出する可能性は考えられる。

5.2.2 ドラム缶の腐食

3 章のアスファルトドラム缶の開缶及び胴部切断後の状態確認時に、胴部を切断したアスファルトドラム缶 2 缶の内外面の状態について確認したところ、内面及び外面において腐食が確認された。ドラム缶内面の腐食に対する発生・促進要因として、アスファルト又はコンクリートからの水分の滲出や、アスファルト又は内面の付着物中の塩化物イオン等の寄与が考えられることから、アスファルト固化体の製作データ（アスファルト混練時の加熱条件及びコンクリート混練時の添加水量）、ドラム缶内面の状況観察、ドラム缶の厚み測定（腐食減肉の確認）、及びアスファルトや内面に付着する塩素の濃度測定を行った。

また、外面の腐食に関しては、アスファルトドラム缶外面の腐食状況観察、及び外面に付着する塩素の濃度測定を行った。

(1) 内面の腐食

A. 製作データの調査（アスファルト混練時の加熱条件、コンクリート混練時の添加水量）

アスファルト混練時の加熱条件（加熱不足及び温度低下）については、5.1.1 項に示した運転記録の調査結果から、アスファルトの混練時に加熱不足や温度低下が生じた可能性は低く、ドラム缶内面の腐食の要因となる水分がアスファルト中に残存していることも考えにくい。このため、アスファルト混練時の加熱不足及び温度低下がドラム缶内面の腐食に係る主たる要因ではないと考えられる。

キャッピングコンクリート製作時の記録についても調査したが、日誌や製作データ等に係る記録は確認できなかった。一方、キャッピングコンクリートの打ち込み方法については当時のマニュアル「廃棄物処理場運転手引（昭和 53 年 3 月 31 日）」に記されており、「湿度の高い粗骨材（砂）及び骨材（砂利）を使用する際には、水の量を減らすこと、半月毎にテストピースを 3 本以上製作し、4 週圧縮強度を確認すること」等が記載されており、一定の品質の下製作されているものと思われる。一般に、打設直後のコンクリートは余剰水分を大気中に放出することが知られている⁴⁾。この余剰水分がドラム缶の腐食に直接起因したかは定かでないが、アスファルトの漏えいとこの因果関係については、アスファルトが漏えいしたドラム缶のみコンクリート混練時の添加水量（余剰水分）が多かった可能性は低く、関係性は低いものと思われる。

B. ドラム缶内面の状況観察

3.2 節に示す調査と同様に、漏えい跡が確認されたアスファルトドラム缶 5 缶のうちの 1 缶及び缶蓋の腐食が著しいアスファルトドラム缶 1 缶については、ドラム缶の胴部鋼材を切断しコンクリート部表面を全て露出させて、ドラム缶内面の状況を確認した。内張りコンクリートの状態及びドラム缶内外面の腐食状況を Fig.5.4 に示す。

状態確認の結果、内張りコンクリートとキャッピングコンクリートの接合部の隙間からアスファルトが滲出し、滲出した部分にドラム缶内面から剥がれた塗装が付着しているのを確認した。腐食の状況について、ドラム缶蓋の内側とバンド下部にそれぞれ腐食が確認され、ドラム缶内面の塗装が剥がれた部分についても腐食が確認された。

このような状況から、内張りコンクリートとキャッピングコンクリートの接合部の隙間から滲出したアスファルトが、その粘着性によりドラム缶内面の塗装を剥離させ、そこに、ドラム缶蓋と胴部の隙間から流入する空気中に含まれる水分（5.2.1 項に示したように当該ドラム缶は、気密性タイプのものではないため）や、屋外保管されていた期間中に滲入した雨水が付着し、腐食を進行させたものと考えられる。

鉄と水溶液（水）との接触による腐食発生の過程は以下によるものである⁵⁾。

鉄の表面に水が付着すると鉄がイオン化する（①式）。この反応に合わせて、水中に含まれる酸素（溶存酸素）が鉄から遊離した電子を受け取り水酸化物イオンが生成される（②式）。



①、②式が同時に過不足無く反応するとき、鉄イオンとなって水中に移行し、水酸化物イオンと結合して水酸化鉄（Ⅱ） $\text{Fe}(\text{OH})_2$ を形成する（③式）。



水酸化鉄（Ⅱ） $\text{Fe}(\text{OH})_2$ は水中で溶存酸素により酸化され水酸化鉄（Ⅲ） $\text{Fe}(\text{OH})_3$ となり、さらに水分が取れて FeOOH オキシ水酸化鉄となる。いわゆる赤錆で水和酸化鉄($\text{Fe}_2\text{O}_3 \cdot \text{H}_2\text{O}$)とも表される。

以上、鉄の表面に水分（錆層中の水分含む）があれば腐食が進展することになる。

C. ドラム缶の厚み測定

ドラム缶の腐食による減肉状況を確認するため、腐食箇所周辺の塗装をスクレーパーで剥離し腐食範囲を特定した後（Appendix 7）、超音波厚さ計（オリンパス社製 38DL-PLUS）を用いてアスファルトドラム缶（B-841-004 及び B-872-006）の厚み測定を行った。

ドラム缶全周の測定のうち、Fig.5.5 に代表として B-872-006 ドラム缶の 1/4 周分の測定結果を示す。B-841-004 及び B-872-006 の全周の測定結果については Appendix 8 にまとめる。

Fig.5.5 において、キャッピングコンクリートと内張りコンクリートの接合部付近（アスファルトの滲出が認められた箇所）の腐食については、ドラム缶の厚みは 1.17～1.24 mm であり、JIS 規格に示す許容値（1.12～1.28 mm）の範囲内にあり、腐食減肉が進行していないことが確認できた。一方、ドラム缶蓋の内側とバンド下部（水分が付着しやすいと想定した部分）のドラム缶の厚みは低いもので 0.67 mm であり、JIS 規格に示す許容値を下回る箇所が見られ

た。また、局部的に孔が生じ腐食の著しい箇所のあることが確認された。この結果から、アスファルトとの接触だけでは、ドラム缶の著しい腐食減肉は発生しないことが判明した。

D. 塩素の濃度測定

ドラム缶の腐食を促進する成分である塩素の存在の有無を確認するため、ハンドヘルド蛍光X線分析計（オリンパス社製 DELTA Premium）を用い、胴部を切断したドラム缶内面及びキャッピングコンクリートとドラム缶蓋との間に滲出したアスファルト中の塩素濃度を測定した。測定に際しては、Fig.5.6 に示すように錆が発生している箇所を中心に行った。Table 6.1 及び Table 6.2 にドラム缶及びアスファルトの塩素濃度の測定結果を示す。

ドラム缶内面の腐食が生じている部分及びアスファルトの付着が認められた部分においては、1311～14700 ppm（平均 3240 ppm）の塩素の存在が確認された（Table 6.1）。また、アスファルト中には、939～14500 ppm（平均 6550 ppm）の範囲でアスファルト中に塩素が含まれていることが確認された（Table 6.2）。

アスファルト固化された濃縮液及びスラッジのうち、濃縮液については固化前に含有イオンの測定（Ca、Mg 及び Cl イオン）が行われていることから、製造時の記録により濃縮液の成分を確認した（Table 6.3）（Appendix 9）。Table 6.3 において、アスファルト固化した濃縮液中には塩素イオン（Cl⁻）だけでなく、カルシウムイオン（Ca²⁺）及びマグネシウムイオン（Mg²⁺）が一定量含まれていることを確認した。

今回の測定及び調査により、アスファルト中に塩素イオン等が存在することが分かった。マグネシウムと塩素が吸湿性の高い塩化マグネシウム水和物（MgCl₂・6H₂O）として存在していた場合、

- ・ 湿度が低い状態でも濡れ状態が維持され、腐食が促進されること
- ・ Cl⁻により鉄表面に保護性に乏しいβ型水酸化鉄（β-FeOOH）の被膜が形成され、保護性の高い皮膜を形成するα型水酸化鉄（α-FeOOH）等に比べて、大きな孔食状の局部腐食が生じることがあること

が報告されている⁶⁾。これらの知見を踏まえると、蒸発缶濃縮液中には Mg²⁺と Cl⁻が含まれていることから、塩化マグネシウム水和物が存在していた可能性があり、また、アスファルト中の Cl⁻が腐食に関与した可能性があると考えられる。

E. まとめ

ハンドヘルド蛍光X線分析計の測定結果から、アスファルト中に塩素イオンが存在することが確認されたが、ドラム缶内面のアスファルトとの接触部位に著しい腐食が生じていないことを考慮すると、アスファルト中の塩素イオンがドラム缶を著しく腐食させる原因になっていないと考える。

つまり、ドラム缶蓋及び胴部の内面の著しい腐食は、ドラム缶蓋と胴部の隙間に流入した空気中に含まれる水分や屋外保管されていた期間中に滲入した雨水が、アスファルトによって剥がされた塗装の剥離部に付着したことで引き起こされたものと推定した。

(2) 外面の腐食

A. ドラム缶外面の腐食状況観察

胴部を切断した 2 缶のドラム缶について外表面の状況を確認した。

胴部全体に錆の発生が見られており、特にバンド部及びバンド部直下での錆の発生が著しい状況であった。外面の腐食については、当該ドラム缶が固体集積保管場Ⅱに保管される前に屋外で保管されていたことから、雨水や飛来海塩の付着による影響があると考えられる。また、固体集積保管場Ⅱの屋内に保管後もその環境から、ドラム缶表面に飛来海塩の付着や結露の発生が考えられる。よって、バンド部周辺での腐食が著しいのは、雨水や結露水がバンド部に溜まり、海塩が濃縮しやすい状態であったためと考えられる。

B. 塩素の濃度測定

ドラム缶の腐食を助長する成分である塩素イオンの存在の有無を確認するため、ハンドヘルド蛍光 X 線分析計（オリンパス社製 DELTA Premium）を用い、ドラム缶外面の塩素濃度を測定した。測定に際しては、Fig.5.7 に示すようにバンド部付近を中心に行った。Table 6.1 にドラム缶外面の塩素濃度の測定結果を示す。

ドラム缶外面については、錆の有無に拘わらず 1737～28000 ppm（平均 13000 ppm）の範囲で塩素が存在していることが確認された（Table 6.1）。これは主に飛来海塩の影響と考えられる。海塩が付着し、かつ錆層に水分が残っていた場合、腐食を進める要因となる。

5.3 コンクリートからの滲出

3 章のアスファルトドラム缶の開缶及び胴部切断後の状態確認において、キャッピングコンクリートと内張りコンクリートとの継ぎ目付近の接合部に隙間があり、内張りコンクリート胴部の割れ部分からアスファルトが滲出したことが確認された。これらの原因としては、施工不良や外部からの衝撃、アスファルトの熱膨張、コンクリート乾燥過程での自己収縮（キャッピングコンクリートの場合）、アスファルトの熱による内張りコンクリートの熱影響による強度低下が考えられる。

5.3.1 キャッピングコンクリートからの滲出

キャッピングコンクリート接合部からアスファルトが滲出する原因として、施工不良、外部衝撃、アスファルトの熱膨張、コンクリート乾燥過程での自己収縮について、調査検討を行った。

(1) 施工不良

A. 製作データの調査

5.2.2 項の(1)に示したように製作データは確認できず、キャッピングコンクリートと内張りコンクリートの接合部に隙間を生じさせずに密封させることを求めていたかどうかを示すものはないが、当時のマニュアルに従って製作されているとすると、一定の品質で製作されており、施工不良の可能性は低いと考えられる。

但し、Appendix 2 のアスファルトを収納したパッケージの一覧を見ると、アスファルトの滲出のあったアスファルトドラム缶は、キャッピングコンクリートを充填した日が同じ日であるものが多い。Appendix 2 のデータからはそれ以上の共通点は見出せないが、キャッピングコンクリートが硬化する際の気温や湿度といった環境条件やコンクリート材料の僅かな違いが作用した可能性は考えられる。

B. コンクリートの状態観察

Fig.5.8 に B-760-021 ドラム缶及び B-841-004 ドラム缶のキャッピングコンクリートと内張りコンクリートの状態を示す。キャッピングコンクリートと内張りコンクリートの接合部に隙間が生じており、周方向全体にドラム缶胴部とキャッピングコンクリートの間に約 3 mm の隙間があることが確認された。

ドラム缶胴部とキャッピングコンクリートの隙間については乾燥過程での収縮によるものが原因の一つとして考えられる。コンクリートを打ち重ねるのに、適正な時間を過ぎてコンクリートを打設した場合、前に打ち込まれたコンクリートの上に後から打ち込まれたコンクリートが一体化せず、不連続面が発生するコールドジョイントと呼ばれる事象である。この面のコンクリートは脆弱であり、ひび割れが生じることがある。ドラム缶の内張りコンクリートは、ドラム缶製作時に打ち込まれたものであるため、キャッピングコンクリートを充填するまでに相当な期間が経過している。このため、内張りコンクリートとキャッピングコンクリートが一体化せず、コールドジョイントが生じた可能性が考えられる（ドラム缶の胴部を切断してキャッピングコンクリートと内張りコンクリートの接合部を確認したのは 2 体のみであるが、アスファルトの漏えいが実際にはなかったドラム缶についても、コールドジョイントによる隙間が生じていると考えられる。）。

(2) 外部衝撃（ドラム缶外表面の打痕跡確認）

外部衝撃によってもキャッピングコンクリートと内張りコンクリートの接合部に割れが生じる可能性があるが、ドラム缶の外表面を確認したところ打痕跡は見られず、長期間積載していたことによる積載荷重による変形もなかった。また、過去にアスファルトドラム缶を落下させたようなトラブルの記録も残っていないことから、キャッピングコンクリートと内張りコンクリートの接合部の隙間は、外部衝撃により生じたものではないと考えられる（Appendix 4）。

(3) アスファルト固化体の熱膨張

アスファルトは、混和蒸発器中でスラッジや濃縮液とともに約 160 °C に加熱され、十分に水分を飛ばした後、コンクリートを内張りしたドラム缶に充填される。アスファルトの熱膨張係数は、アスファルトの種類や針入度にあまり関係なく軟質のもので 6.3×10^{-4} 程度であり⁷⁾、これより計算すると 20 °C のアスファルトを 160 °C まで加熱すると体積は約 1.1 倍に増加する。このため、熱膨張を考慮する必要はあるが、内張りコンクリートに充填した後は、加熱されることはなく、また、キャッピングコンクリートの充填は、アスファルトが十分に徐冷した後に行われている。このため、ドラム缶に充填した後、アスファルトの熱膨張によりキャッピングコ

ンクリートを押し上げ内張りコンクリートとの接合部に隙間を生じさせることは、原因として考えにくい。

(4) コンクリートの乾燥過程での自己収縮

コンクリートは、乾燥し硬化する過程で水分が逸散し収縮する現象が起こる。乾燥過程での自己収縮は変形に応じて発生する応力が大きく、ひび割れが発生することがある。この乾燥過程での自己収縮によるひび割れは、コンクリートの混練水を適切にすること（水を多く入れない）、コンクリート打ち込み時に振動等を与え、入念に締め固め作業を行うこと、粗骨材を多く使用すること等により防ぐことができる。

5.2.2 項の(1) A に示すように、当時のマニュアル「廃棄物処理場運転手引（昭和 53 年 3 月 31 日）」には、「湿度の高い粗骨材（砂）及び骨材（砂利）を使用する際には、水の量を減らすこと、半月毎にテストピースを 3 本以上製作し、4 週圧縮強度を確認すること」等が記載されており、ほぼ一定の品質でキャッピングコンクリートは製作されていると思われる。よって、乾燥過程での自己収縮は主たる原因ではないと考えられる。

5.3.2 ドラム缶胴部の内張りコンクリートからの滲出

内張りコンクリートから滲出する原因として、施工不良、外部衝撃、内張りコンクリートの熱影響について、調査検討を行った。

(1) 施工不良

胴部を切断したアスファルトドラム缶 2 缶のうち 1 缶に、内張りコンクリートの胴部に割れが生じていることが確認されたことから、内張りドラム缶の製作方法について調べた。製作方法は「コンクリート内張ドラム缶製作仕様書（昭和 61 年度）」に記されており、粗骨材、骨材及びセメントの調合は適切であり、試験検査においては、スランプ試験（生コンクリートの流動試験）や圧縮強度試験、比重検査、内面を含む外観検査が実施されており、適切に製作及び検査が実施されているとすれば、施工不良の可能性は低いと考える。

(2) 外部衝撃

5.3.1 項の(2)に示したように、ドラム缶の外表面に打痕跡は見られず、過去にドラム缶を落下させたようなトラブルの記録も残っていないことから、胴部の割れは外部衝撃が原因ではないと考える。

(3) アスファルト固化体の熱膨張

5.3.1 項の(3)に示すように、アスファルトの熱膨張については、内張りコンクリートに充填した後は、加熱されることはなく、また、キャッピングコンクリートの充填は、アスファルトが十分に徐冷した後に行われていることから、内張りコンクリートに充填後アスファルトが熱膨張することはなく、胴部の割れの原因ではないと考えられる。

(4) 内張りコンクリートの熱影響

200℃を超える高温で加熱されたコンクリートの強度及び弾性係数は、常温値に比べ低下することが一般的に知られている。これは、高温によりコンクリート中の自由水や結晶水などの水分移動に伴うコンクリート組織の変質によるものと推察されている⁸⁾。

アスファルト固化体製作時のスラッジや濃縮液とアスファルトの混合時の温度が200℃程度に上昇した場合、アスファルトを内張りコンクリートに充填した際に、アスファルトの熱により内張りコンクリートの組織を変質させ、割れが生じた可能性も考えられる。しかし、内張りコンクリートに使われているのと同じポルトランドセメントを用いた一般的なコンクリートの200℃での圧縮強度等の低下は、約10数%程度⁸⁾であること、過去、アスファルト固化体の製作時に内張りコンクリートに割れが発生した記録がないことから、アスファルトの熱による影響は否定できないが小さいと考える。

5.4 調査結果のまとめ

5.1～5.3節の調査結果を以下にまとめる。

- ① アスファルトは常温において非常に粘性が高く固体の状態を呈しているが僅かに流動性を有している。そのため、横積みされたアスファルトドラム缶では、内張りコンクリートとキャッピングコンクリートが上手く一体化せずに生じたコールドジョイント部から、キャッピングコンクリートの乾燥過程での収縮で生じたキャッピングコンクリートとドラム缶胴部との隙間を通じ、キャッピングコンクリートとドラム缶蓋との間に滲出したと考えられる。当該ドラム缶はオープンタイプのドラム缶であり、密閉構造となっていないため、アスファルトがドラム缶胴部と蓋の嵌め合い部から時間をかけて滲出してきたものと推定する (Fig.5.3)。
- ② 今回の調査では、ドラム缶胴部及び蓋の内外面に腐食が見られた。内面の腐食は、内張りコンクリートとキャッピングコンクリートの接合部の隙間から滲出したアスファルトが、その粘着性によりドラム缶内面の塗装を剥離させ、ドラム缶蓋と胴部の隙間から流入する空気中に含まれる水分等が付着し、腐食が進行したものと考えられる。また、ドラム缶胴部及び蓋の内外面とアスファルト中に腐食を助長する塩素の存在が確認された。これは外面の腐食についても同様である。
また、アスファルトとの接触だけでは、ドラム缶胴部の著しい腐食減肉が生じていないことから、ドラム缶胴部へのアスファルトの付着は、長期保管に影響を与えないと考える。
- ③ キャッピングコンクリート及び内張りコンクリートは適切に製作され、充填アスファルトの混練は一定の品質で行われていたと考えられ、アスファルト固化体、キャッピングコンクリート及び内張りコンクリートの製作過程での施工不良の影響は小さいと考えられる。
- ④ キャッピングコンクリートと内張りコンクリートとの接合部に生じた隙間は、施工不良、外部衝撃、アスファルト固化体の熱膨張、及び乾燥過程の自己収縮ではなく、主にコールドジョイントによるものと考えられる。

今回の事象の発生は、

- i) 固体集積保管場Ⅱの環境（常温）でアスファルトは、固体の状態を呈しているが、僅かに流動性を有し、時間の経過とともに流れ広がったこと
- ii) キャッピングコンクリートと内張りコンクリートの接合部でコールドジョイントが発生し、隙間が生じていたこと
- iii) ドラム缶胴部とドラム缶蓋の嵌め合い部において、流動するアスファルトが滲出するルートが生じていたこと

が要因になったと考えられる。

アスファルト固化体製作システム導入時には、これら i)～iii) の要因について予見できず、約 20 年程度、横積みで保管していたことが原因であると特定した。

6. 処置・対策

5 章の原因調査の結果を踏まえ以下に示す処置・対策を実施した。経過観察に係る対応を除き平成 29 年 11 月に処置が完了した。

- ① 流動するアスファルトがコールドジョイント部を通じドラム缶胴部と蓋の嵌め合い部からドラム缶外に滲出しないよう、横積みとなっているアスファルトドラム缶を縦積みに変える対策を行った。
- ② キャッピングコンクリートとドラム缶蓋との間までアスファルトが滲出していないアスファルトドラム缶(テストハンマーの打音検査で異常が認められなかったもの)については、アスファルトの付着による塗装の剥がれはなく、腐食はあまり進行していないと予想されることから、縦積みにするのみで経過観察を行っている(保管管理における通常の施設定期自主検査、日常巡視点検等により状態を確認。)。外面からの腐食対策として、腐食が著しいドラム缶については腐食が進行しないよう再塗装を行った。
- ③ 内外面の腐食については、腐食を助長する塩素が存在したとしても環境中の水分を極力低減させることにより防ぐことができることから、アスファルトドラム缶の保管場所を固体集積保管場Ⅱから除湿設備を有する固体集積保管場Ⅳに移動した(パレット縦積み 35 缶を除く。)
- ④ テストハンマーの打音検査で異常が認められたものについては、キャッピングコンクリートとドラム缶蓋との間にアスファルトが滲出した健全でない状態にあることから、ドラム缶の蓋を開け、アスファルトを回収した後、防食塗装を行った。但し、腐食孔が生じている 2 缶については、角型容器に詰め替える処置を行った。
- ⑤ アスファルトドラム缶は、埋設処分が目途が明らかになるまでの期間、適切に保管管理する必要があることから、今後も施設定期自主検査、日常巡視点検等により異常等の有無を確認し、異常が確認された場合には迅速な処置対応を行う。

なお、今回の原因調査で得られた知見に基づき、アスファルトドラム缶以外のドラム缶を保管する固体集積保管場Ⅱ及びⅢについても除湿設備の設置を検討する。

7. まとめ

今回の事象は、物理的には5章に示した原因によると推定するが、アスファルトドラム缶を製作していた当時、常温においてアスファルトの流動が予見できなかったこと、従来実施していた施設定期自主検査や日常巡視点検により早期の発見ができなかったことも間接的な要因として挙げられる。

アスファルトドラム缶は埋設処分が目途が立つまで、10年以上にわたる保管を要することから、今回の経験を踏まえて、6章に示した処置・対策を実施し、アスファルトドラム缶の継続的な保全管理を行っていく必要がある。

謝辞

「ドラム缶からの漏えい跡原因調査及び対策に係る検討作業部会」の委員として、アスファルト漏えいの原因調査等に協力いただいた原子力基礎工学研究センター 燃料・材料工学ディビジョン 防食材料技術開発グループの上野 文義氏、再処理廃止措置技術開発センター 技術部 品質保証課の芳中 一行氏、環境技術開発センター 基礎技術研究開発部 廃棄物処理技術グループの入澤 啓太氏、高速炉サイクル研究開発センター 高速炉基盤技術開発部の古川 智弘氏、高温ガス炉研究開発センター 高温工学試験研究炉部 HTTR 技術課の濱本 真平氏に感謝の意を表す。

参考文献

- 1)菅原照雄, 工藤忠夫, 有福武治 : “土木材料Ⅲ 〈アスファルト〉”, 共立出版株式会社, pp.4-7 (1974).
- 2)福田勝男, 西沢市王, 勝山和夫, 松元章, 阪田貞弘 : “化学処理スラッジおよび蒸発缶濃縮液のビチューメン固化”, JAERI-M 7373 (1977) 25p.
- 3)秋元利之, 中山真一, 飯田芳久, 永野哲志 : “ビチューメン放射性廃棄物固化体の耐浸出性 (文献調査)”, JAERI-Review 99-002, pp.30-31 (1999).
- 4)一坊寺英夫, 湯浅昇 : “断熱されたコンクリート壁体の含水量変化に関する研究”, available from http://www.cit.nihon-u.ac.jp/kouendata/No.38/4_kenchiku/4-024.pdf (accessed 2018-02-01).
- 5)藤井哲雄 : “基礎からわかる金属腐食”, 日刊工業新聞社, pp.2-3 (2001).
- 6)井上博之 : “海水・塩水・さび - 塩分があると金属はどうしてさびやすいのか? -”, available from <http://www.saltscience.or.jp/symposium/1-inoue.pdf> (accessed 2018-06-17).
- 7)井町弘光 : “アスファルト 145 〈用語の解説〉 比重・熱膨張係数”, vol.28, no.145, p.78 (1985).
- 8)長尾覚博, 中根淳 : “高温加熱されたコンクリートの力学的特性と総細孔量との関係”, 大林組技術研究所報, no.43, pp.71-76 (1991).

Table 3.1 調査対象のアスファルトドラム缶

	廃棄物 パッケージNo.	内容物の性状	表面線量 (μ Sv/h)	全放射能量 (Bq)	内部滲出量 (g)	打音検査 (内部滲出)	備考
漏えい跡のあった ドラム缶	B-863-012	濃縮液	100	2.1×10^8	480	有	
	B-872-006	スラッジ 濃縮液	45	1.4×10^8	340	有	胴体鋼材部分切断
	B-872-007	スラッジ 濃縮液	50	1.5×10^8	690	有	
	B-872-008	濃縮液	38	1.1×10^8	680	有	
	B-76O-021	スラッジ 濃縮液	25	7.4×10^7	500	有	
	B-841-004	濃縮液	120	1.2×10^8	370	有	胴体鋼材部分切断
缶蓋の腐食が著しい ドラム缶	B-866-015	濃縮液	80	2.6×10^8	520	有	
	B-876-017	スラッジ 濃縮液	82	1.4×10^8	0	無	
	B-756-010	スラッジ	37	6.8×10^7	0	無	
	B-893-006	スラッジ 濃縮液	55	5.2×10^8	0	無	
漏えい跡のない ドラム缶 (参照比較)							

Table 5.1 漏えい跡が確認されたアスファルトドラム缶製作時の混練温度及び混練時間

廃棄物パッケージNo.	封入日	漏えいの状態	廃棄物種類	RunNo.	運転日	混練温度 (°C)	混練時間 (hour)
B-76O-021	S51.10.19	外部	スラッジ	Run-059	S51.10.15	未測定	3.5
			スラッジ	Run-060	S51.10.19	未測定	2.0
			濃縮液	Run-003	S51.10.15	未測定	3.4
			濃縮液	Run-004	S51.10.19	未測定	3.3
B-863-012	S61.3.28	外部	濃縮液	Run-B0239	S61.3.3	157	3.3
			濃縮液	Run-B0240	S61.3.5	163	3.3
B-866-015	S61.6.23	内部	濃縮液	Run-B0242-1	S61.3.13	169	3.3
			濃縮液	Run-B0242-2	S61.3.18	144	3.3
			濃縮液	Run-B0243-1	S61.4.9	162	3.4
			濃縮液	Run-B0243-2	S61.4.14	174	3.1
B-872-006	S62.3.16	外部	スラッジ	Run-B0267-1	S62.2.16	215	0.8
			濃縮液	Run-B0266-1	S62.2.9	164	2.8
			濃縮液	Run-B0266-2	S62.2.10	189	2.8
			濃縮液	Run-B0267-2	S62.2.17	169	3.5
B-872-007	S62.3.16	外部	スラッジ	Run-B0267-1	S62.2.16	215	0.8
			濃縮液	Run-B0267-2	S62.2.17	169	3.5
			濃縮液	Run-B0268-1	S62.2.20	166	3.0
			濃縮液	Run-B0268-2	S62.2.23	173	2.9
B-872-008	S62.3.16	外部	濃縮液	Run-B0268-1	S62.2.20	166	3.0
			濃縮液	Run-B0268-2	S62.2.23	173	2.9
			濃縮液	Run-B0269-1	S62.2.26	163	3.3
			濃縮液	Run-B0269-2	S62.2.27	182	2.4
濃縮液の平均の混練温度 (°C) と混練時間 (hour)						168	3.1
スラッジの平均の混練温度 (°C) と混練時間 (hour)						215	1.8

Table 5.2 アスファルト混練時の混練温度及び混練時間 (運転実績 1195 回分)

区分	打音確認	運転実績*	混練温度 (°C)				混練時間 (hour)			
			平均	最大	最小	標準偏差	平均	最大	最小	標準偏差
スラッジ	有	35	205	227	169	11.8	2.4	5.1	0.83	1.0
	無	599	208	228	169	9.35	2.9	7.8	0.33	1.1
濃縮液	有	171	160	200	129	14.6	3.0	6.8	1.1	0.74
	無	390	167	205	129	14.9	2.9	6.8	0.67	0.90

* ドラム缶蓋の打音検査の結果を基に、アスファルト混練時の運転実績を仕分けした。

Table 5.3 回収したアスファルトの軟化温度

廃棄物パッケージNo.	軟化温度 (°C) *
B-76O-021	46.0
B-841-004	39.8
B-863-012	39.8
B-866-015	40.1
B-872-006	39.6
B-872-007	39.8
B-872-008	40.8

* アスファルトを加熱操作し、目視観察による軟化の兆候が見られた際の内部熱電対温度を軟化温度とした。
Appendix 1 に示すアスファルトの軟化点とは観測方法が異なることを留意されたい。

Table 6.1 ドラム缶の塩素濃度の測定結果まとめ

廃棄物パッケージNo.	測定面	部位	測定数	検出数	最大値 (ppm)	最小値 (ppm)	平均値 (ppm)	
							部位別	全体
B-841-004	内面	右・下	20	5	4328	1550	2800	3240
B-841-004		左・下	10	0	-	-	-	
B-841-004		左・上	14	2	4247	1710	2980	
B-841-004		上・右	18	11	6214	1311	2460	
B-841-004		上蓋	14	11	14700	1534	4240	
B-841-004		底板	3	0	-	-	-	
B-872-006		左・下	15	10	2679	1473	2030	
B-872-006		左・上	15	3	5268	4379	4700	
B-872-006		上・右	20	10	10400	1631	4380	
B-872-006		上蓋	10	6	4452	1410	2670	
B-872-006		底板	2	0	-	-	-	
B-841-004		外面	右・下	8	7	27700	2243	
B-841-004	左・下		7	7	22500	7233	14700	
B-841-004	左・上		7	7	24900	2711	14900	
B-841-004	上・右		7	7	24700	3318	13600	
B-841-004	上蓋		10	10	24600	4035	7610	
B-841-004	底板		3	3	23900	18600	22100	
B-872-006	左・下		7	7	26300	2962	13000	
B-872-006	左・上		8	8	28000	2084	14400	
B-872-006	上・右		7	7	23100	1737	8620	
B-872-006	上蓋		6	6	20000	3580	11900	
B-872-006	底板		2	2	20000	12900	16500	

Table 6.2 滲出したアスファルトの塩素濃度の測定結果

廃棄物パッケージNo.	塩素濃度 (ppm)
B-76O-021	939
B-841-004	6570
B-863-012	14500
B-866-015	13100
B-872-006	4230
B-872-007	4456
B-872-008	2079

Table 6.3 製造時の記録より試算した濃縮液中の含有イオン量

廃棄物パッケージNo.*2	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g) *1		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-863-012	B0239	S61.3.3	58	8.5E+01	3.7E+01	4.0E+03
	B0240	S61.3.5	73	1.1E+02	4.6E+01	5.0E+03
B-866-015	B0242	S61.3.13	64	7.7E+01	3.1E+01	2.2E+03
	B0242	S61.3.18	64	5.9E+01	2.4E+01	1.6E+03
	B0243	S61.4.9	69	1.3E+02	5.3E+01	3.7E+03
	B0243	S61.4.14	69	1.2E+02	4.9E+01	3.4E+03
B-872-006	B0266	S62.2.9	93	1.5E+02	4.7E+01	2.5E+03
	B0266	S62.2.10	93	1.6E+02	5.0E+01	2.6E+03
	B0267	S62.2.17	37	8.6E+01	2.6E+01	1.4E+03
B-872-007	B0267	S62.2.17	86	2.0E+02	6.2E+01	3.2E+03
	B0268	S62.2.20	46	8.0E+01	2.5E+01	1.3E+03
	B0268	S62.2.23	46	8.9E+01	2.7E+01	1.4E+03
B-872-008	B0268	S62.2.20	84	1.5E+02	4.5E+01	2.4E+03
	B0268	S62.2.23	84	1.6E+02	5.0E+01	2.6E+03
	B0269	S62.2.26	48	9.1E+01	2.8E+01	1.5E+03
	B0269	S62.2.27	48	7.3E+01	2.2E+01	1.2E+03

*1 蒸発処理記録及び固化記録より含有イオン量を試算した。

*2 含有イオン量は濃縮液の試算であり、スラッジも混和した廃棄物パッケージについてはスラッジ中の含有イオン量は考慮されていないことを留意されたい。



ドラム缶蓋と胴部の嵌め合い部に氷柱状のアスファルトの附着が見られる。



氷柱状のアスファルトが床に落ちた跡

Fig.2.1 アスファルトの漏えい跡

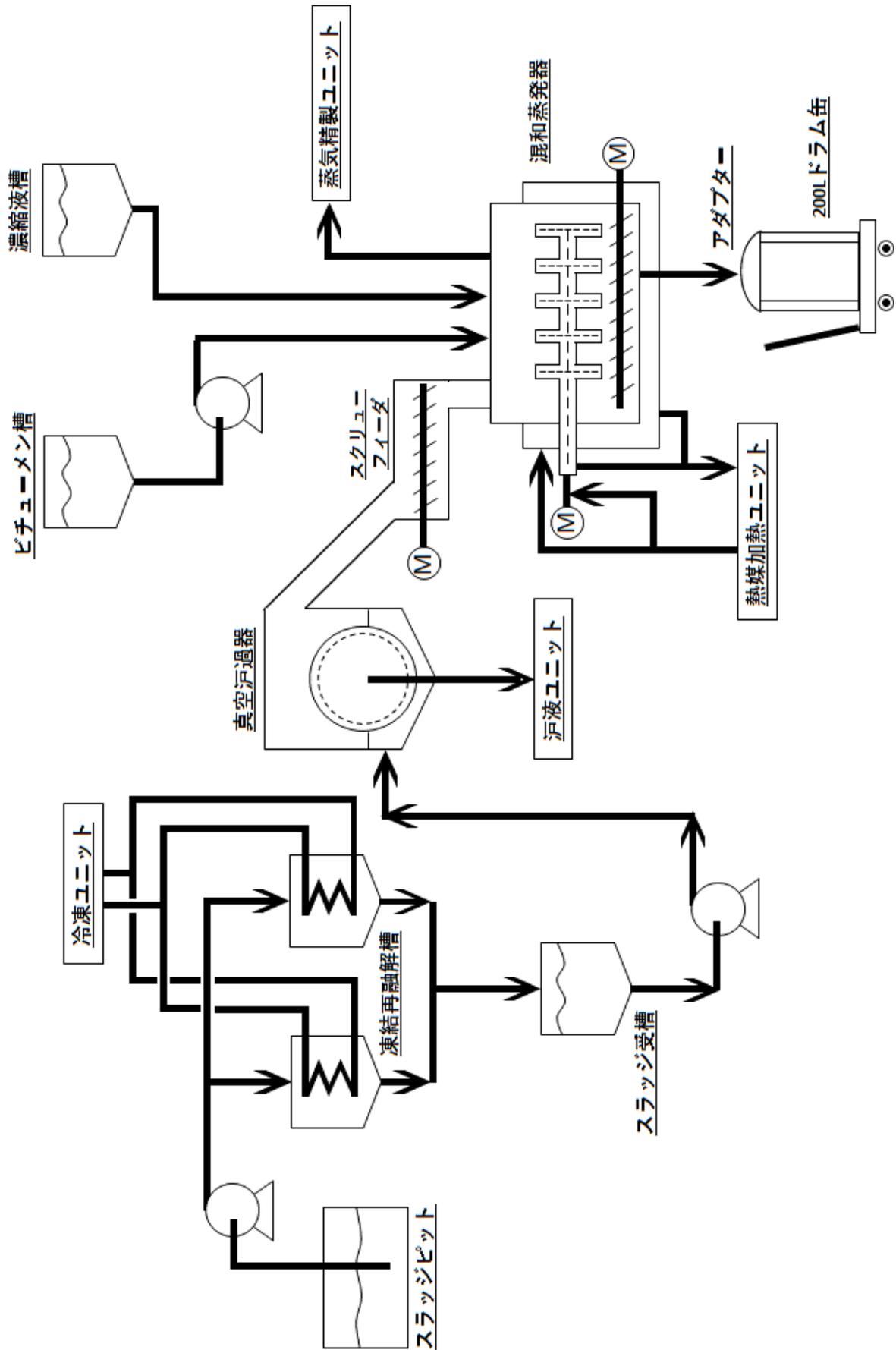


Fig.2.2 アスファルト固化装置概要図

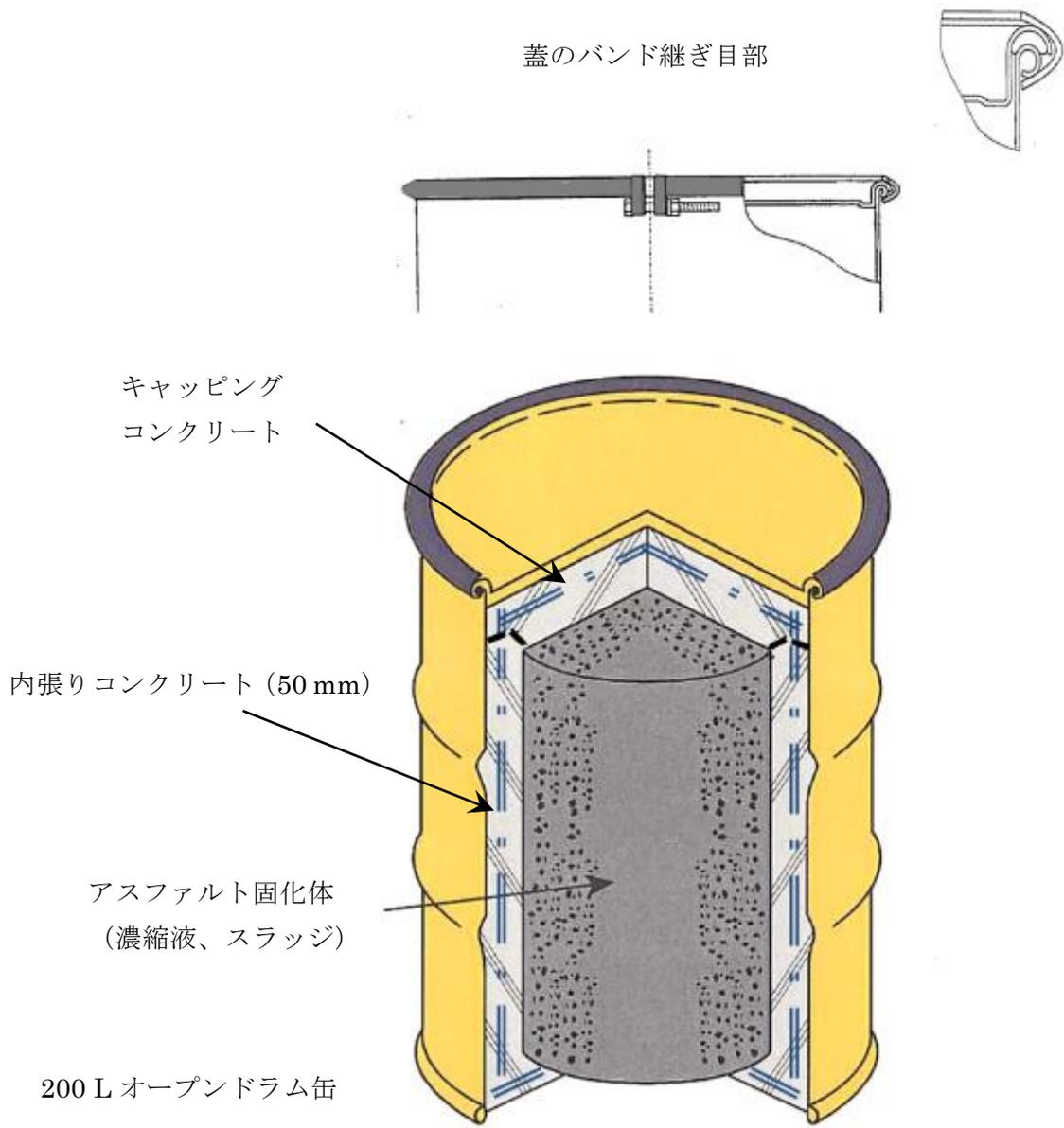
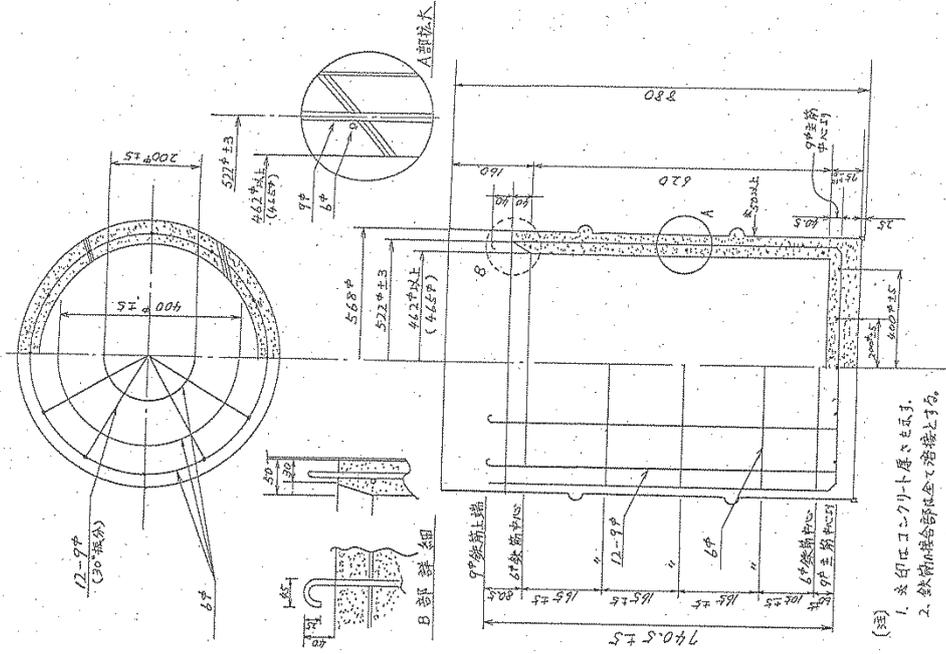
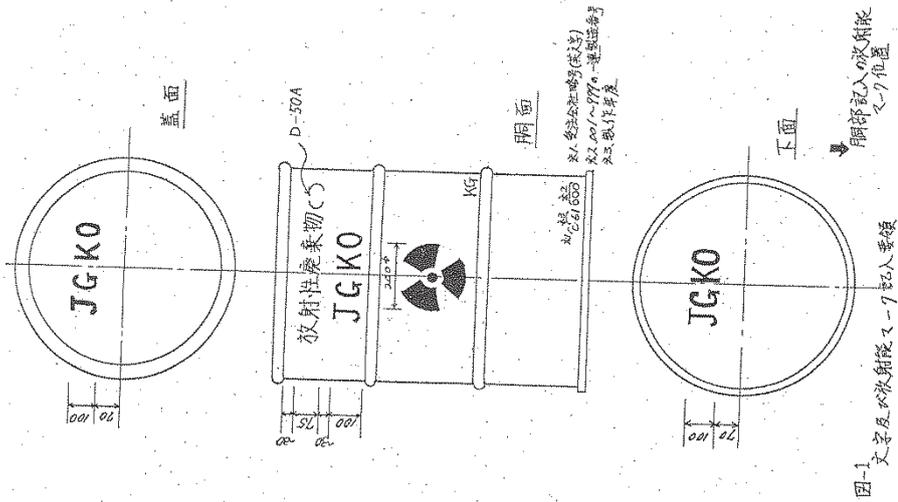


Fig.2.3 アスファルトドラム缶の構造



(単位：mm)

Fig.2.4 ドラム缶製作図

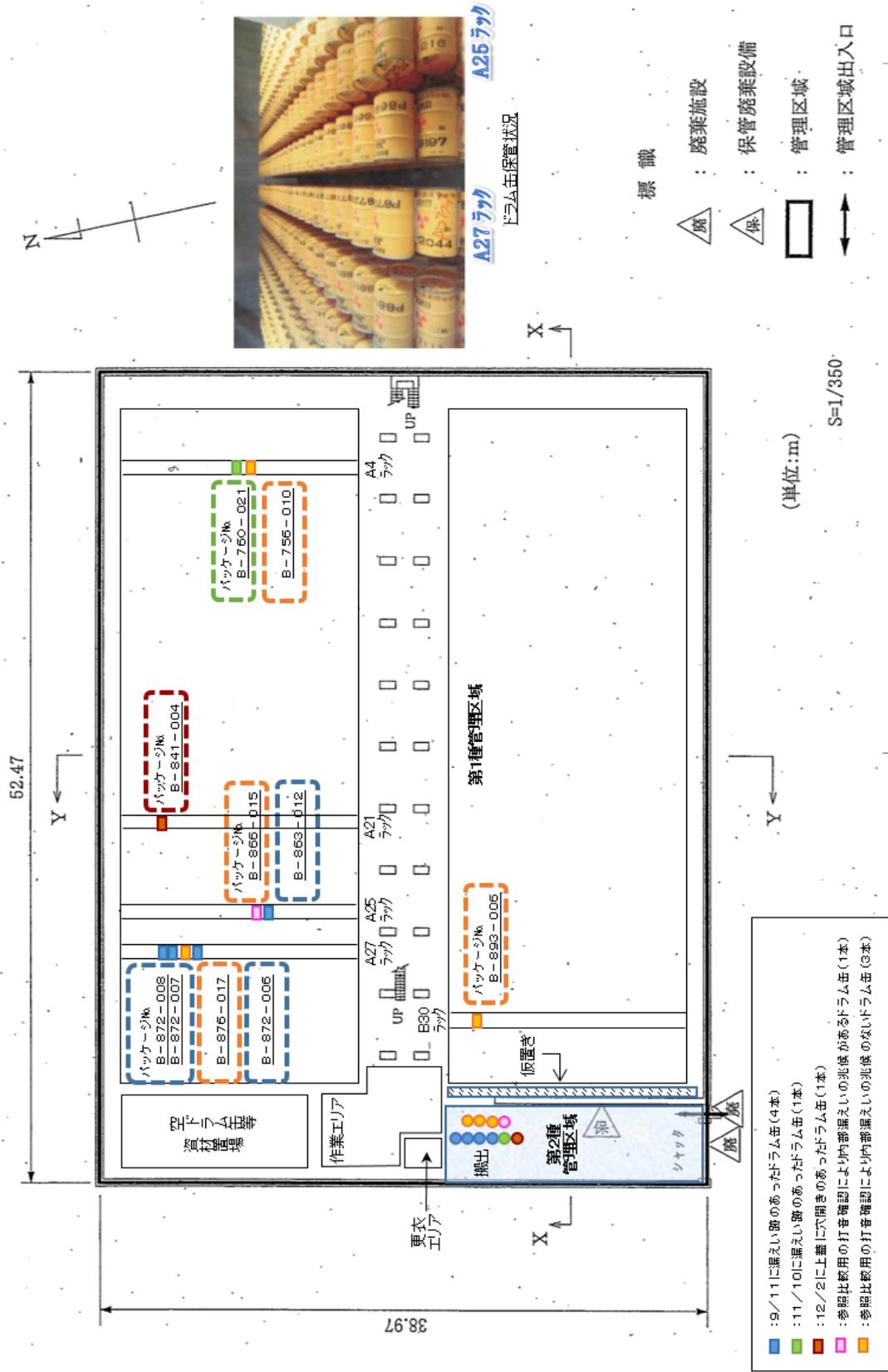


Fig.2.5 アスファルトドラム缶の保管状況 (平成27年9月当時)

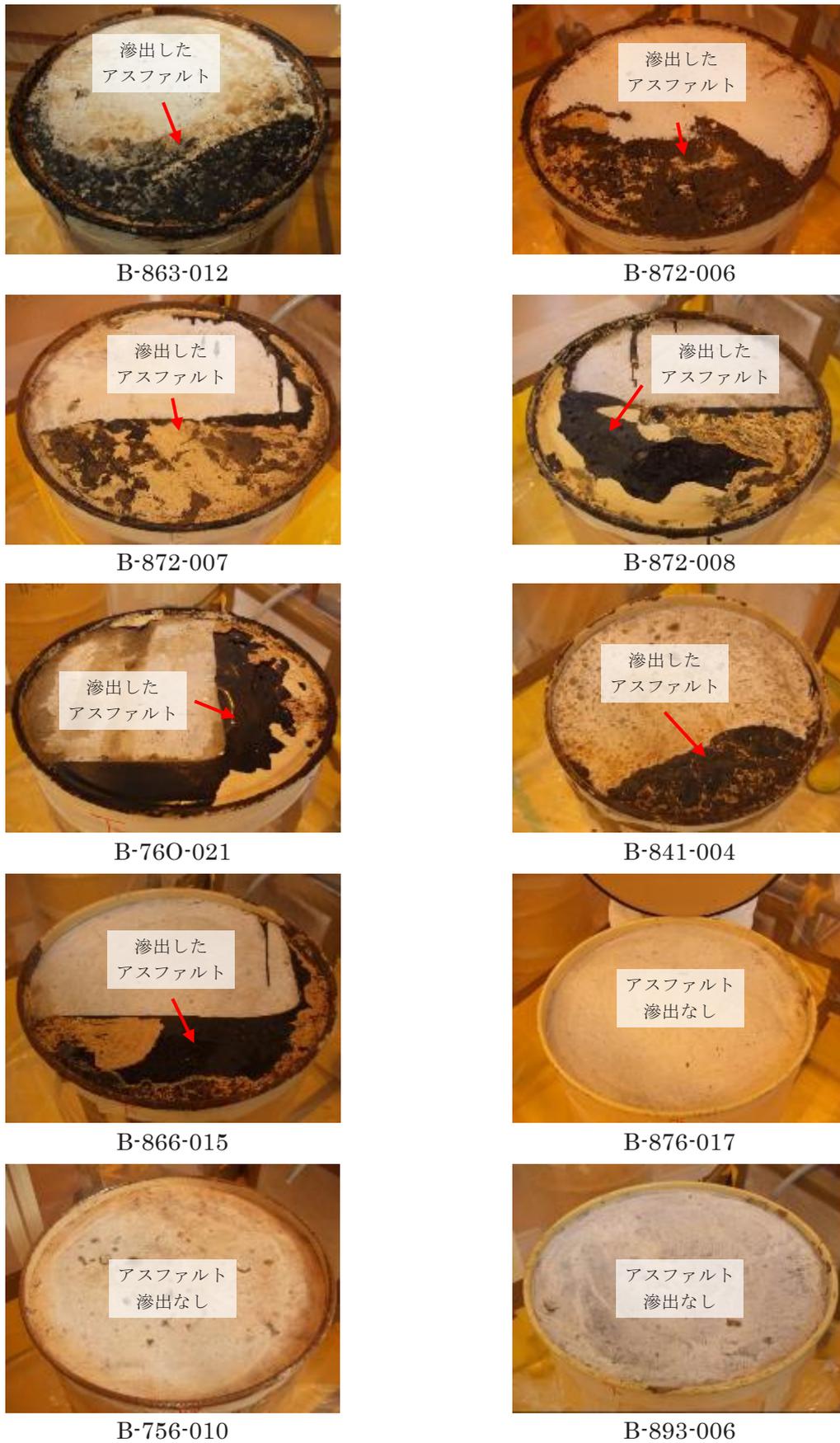
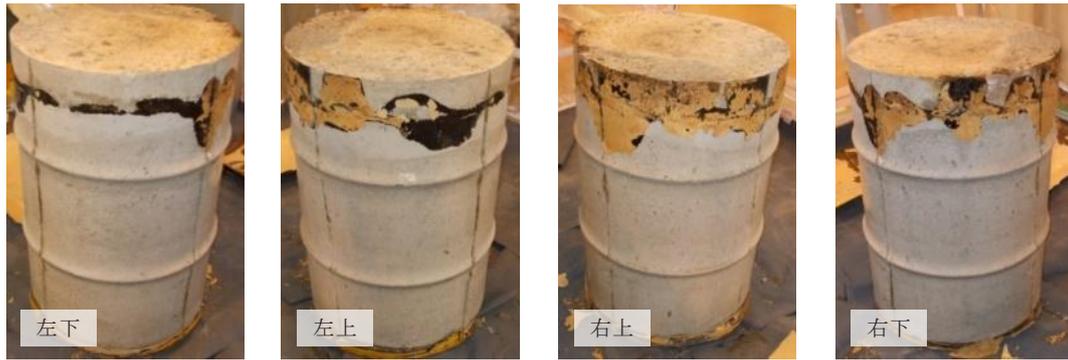


Fig.3.1 アスファルトドラム缶開缶時の状況



内張りコンクリート及びキャッピングコンクリート



内張りコンクリート及びキャッピングコンクリートの接合部

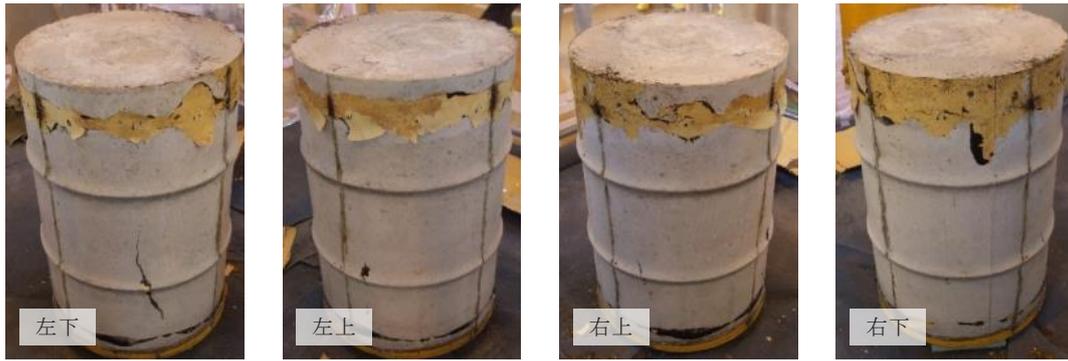


ドラム缶内面の腐食状況

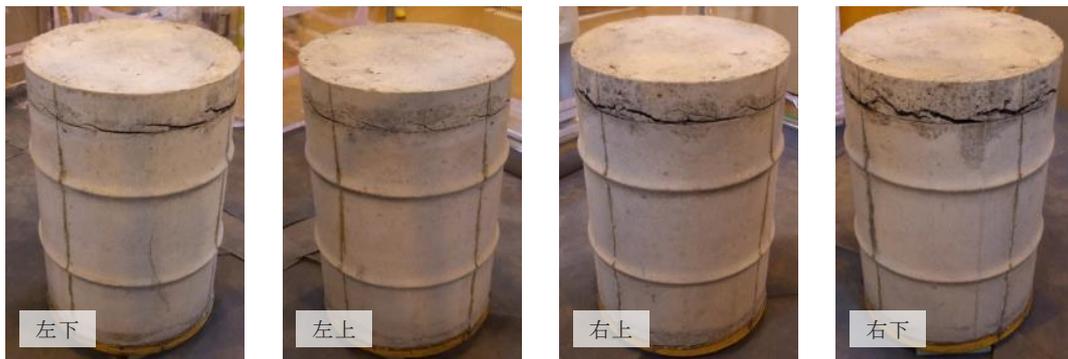


ドラム缶外面の腐食状況

Fig.3.2 コンクリート及びドラム缶の腐食の状況（廃棄物パッケージNo. : B-841-004）（1/2）



内張りコンクリート及びキャッピングコンクリート



内張りコンクリート及びキャッピングコンクリートの接合部



ドラム缶内面の腐食状況



ドラム缶外面の腐食状況

Fig.3.2 コンクリート及びドラム缶の腐食の状況（廃棄物パッケージNo. : B-872-006）（2/2）

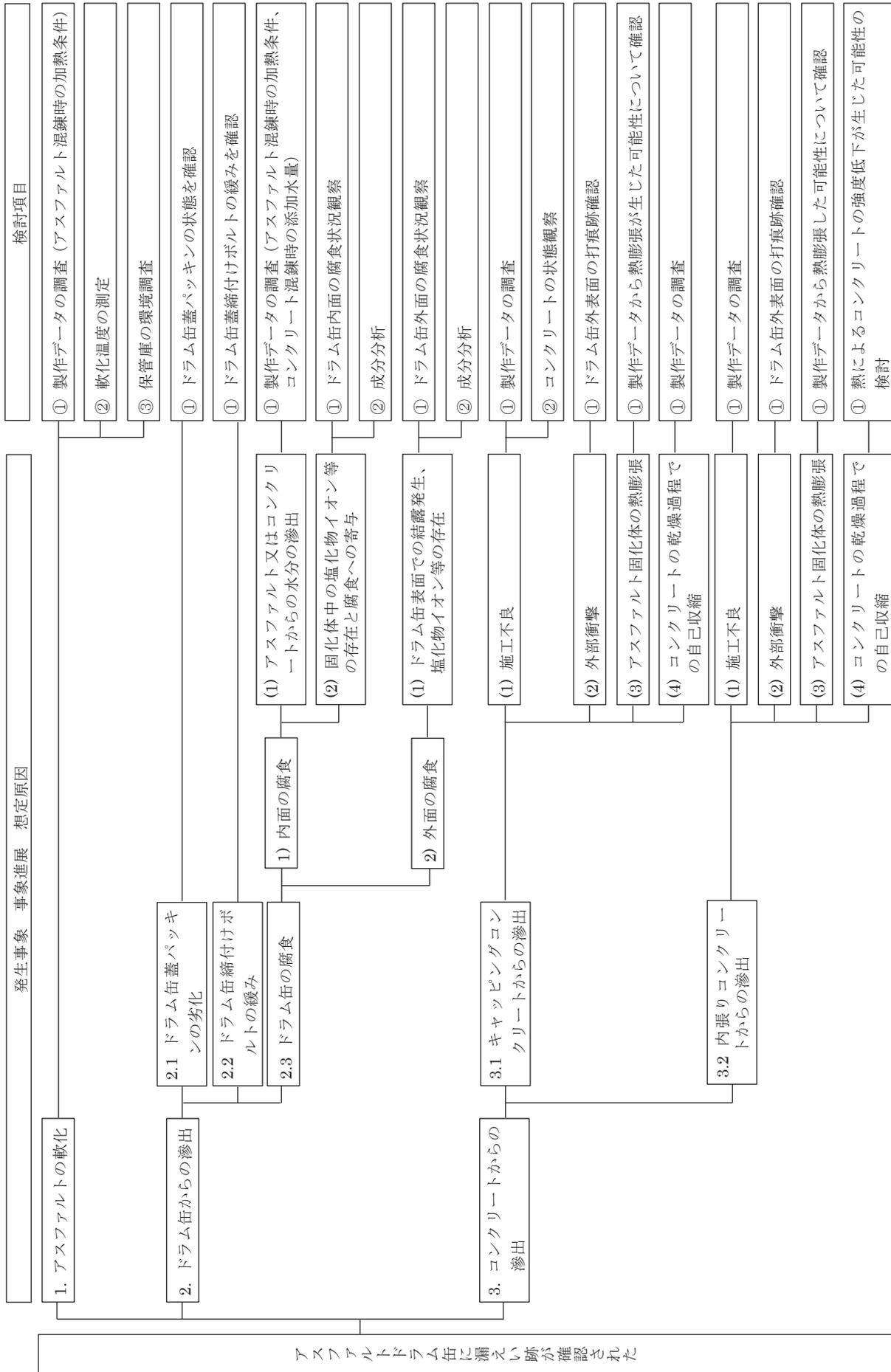
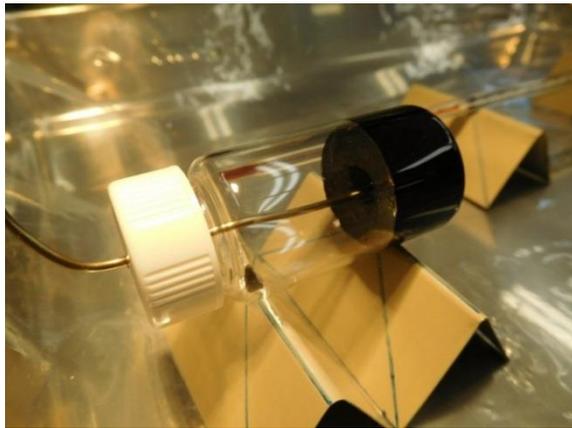
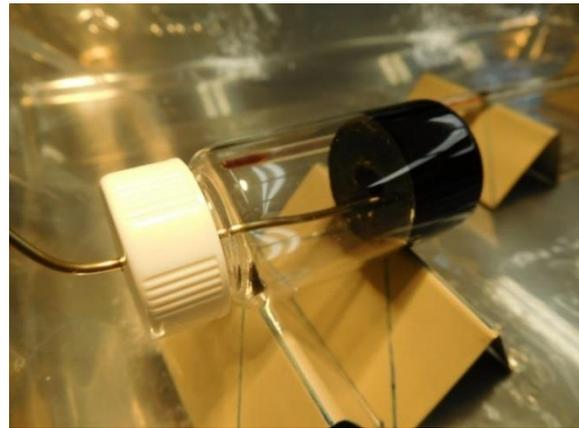


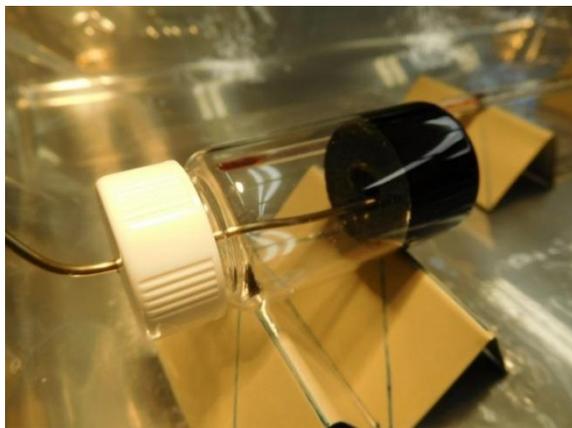
Fig.4.1 原因調査のためのフロー図



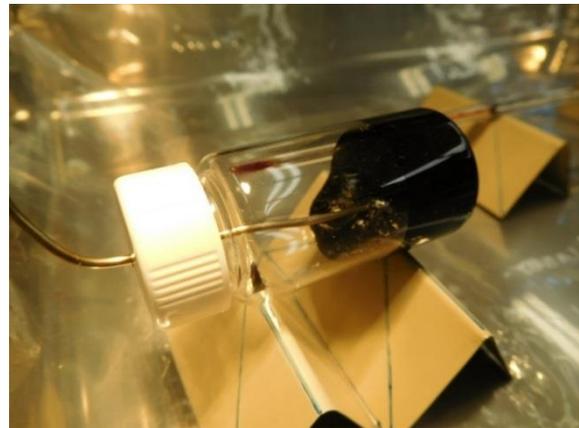
(a) 24.9 °Cの状況 (昇温開始)



(b) 40.8 °Cの状況 (軟化の兆候を確認)

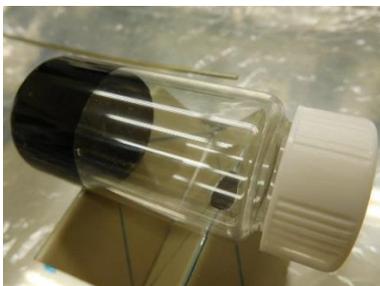


(c) 42.0 °Cの状況 (流動の兆候を確認)

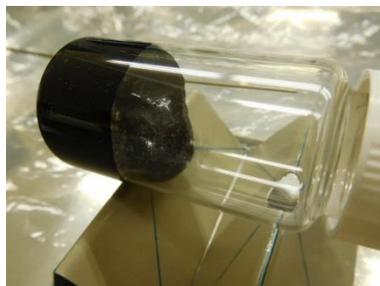


(d) 53.7 °Cの状況 (流動を確認)

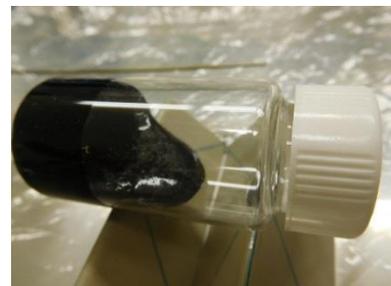
Fig.5.1 加熱操作によるアスファルトの軟化状況 (廃棄物パッケージNo. : B-872-008)



(a) 4日目



(b) 14日目



(c) 29日目

Fig.5.2 常温静置によるアスファルトの軟化状況 (廃棄物パッケージNo. : B-872-008)

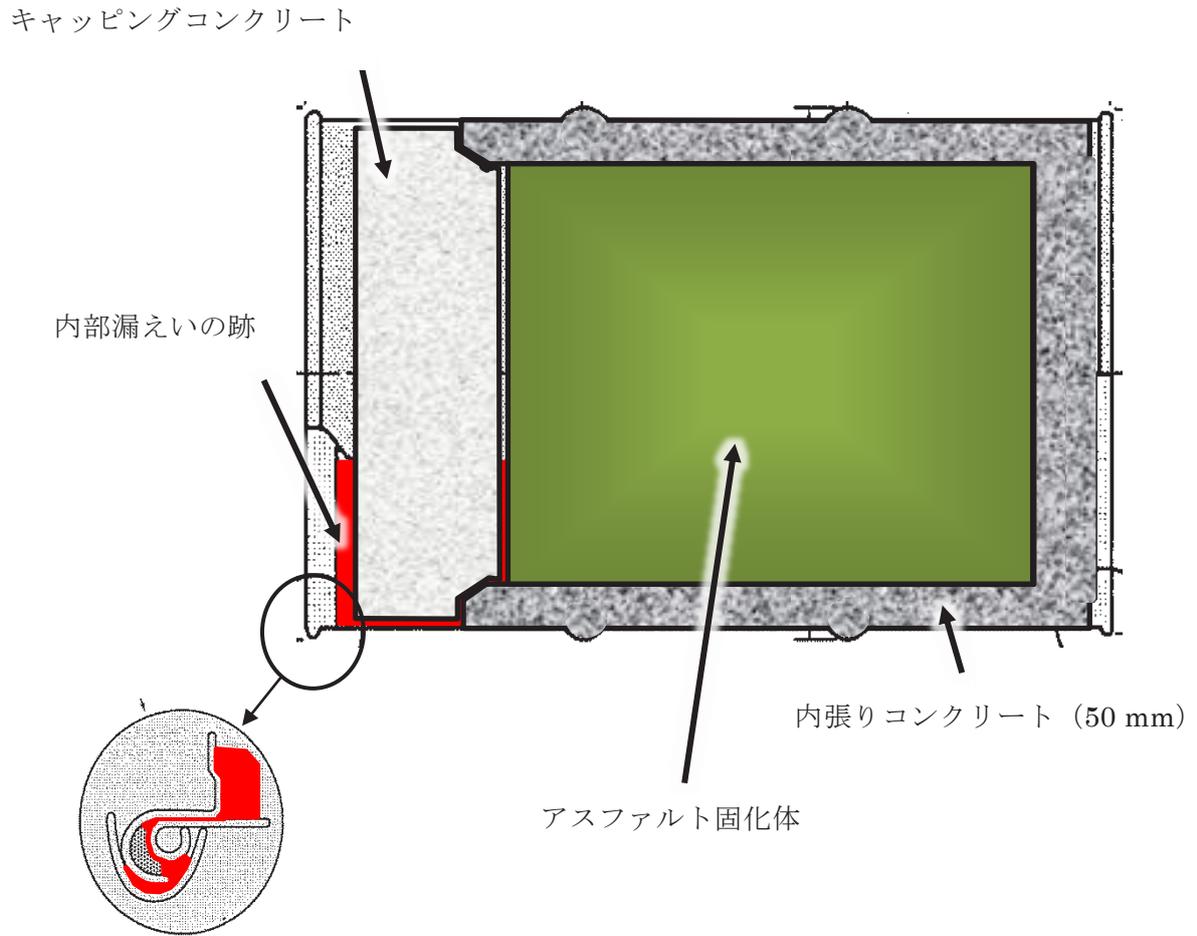
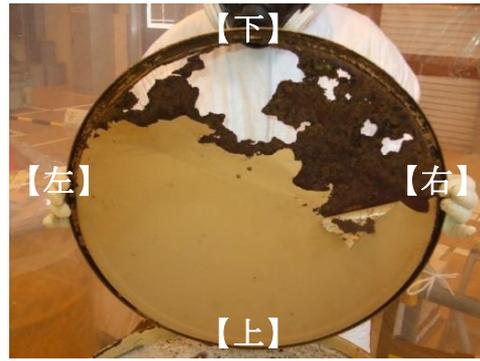


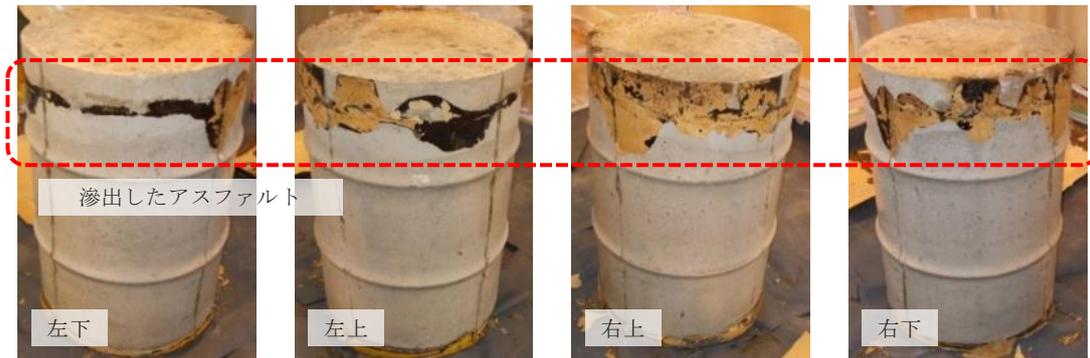
Fig.5.3 アスファルトの滲出過程



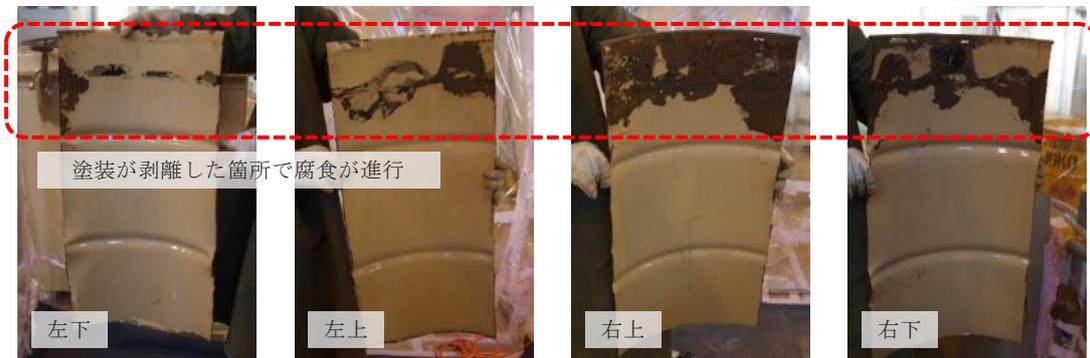
キャッピングコンクリート上部



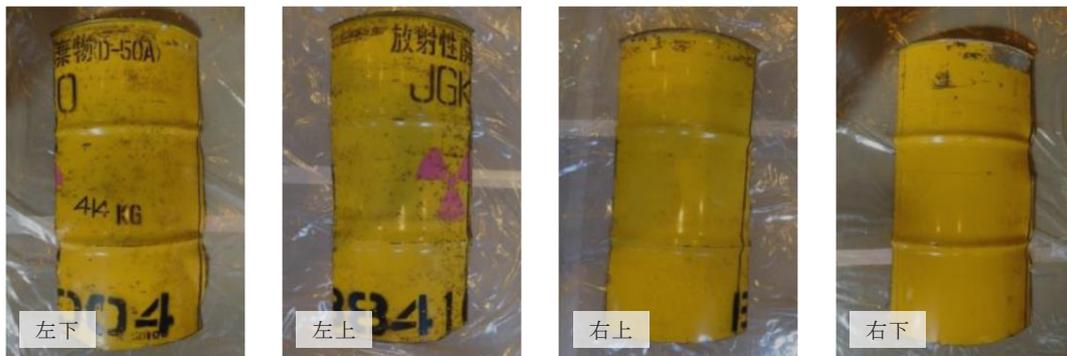
ドラム缶蓋内側



内張りコンクリート及びキャッピングコンクリートの接合部

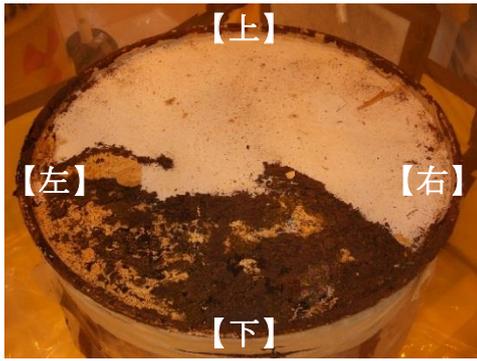


ドラム缶内面の腐食状況

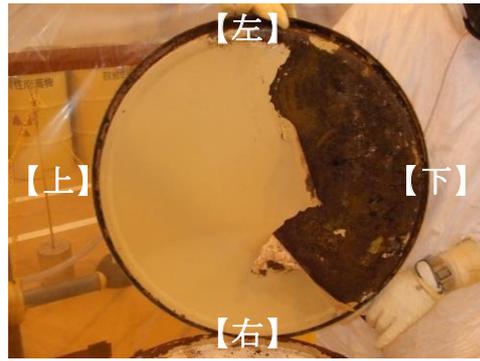


ドラム缶外面の腐食状況

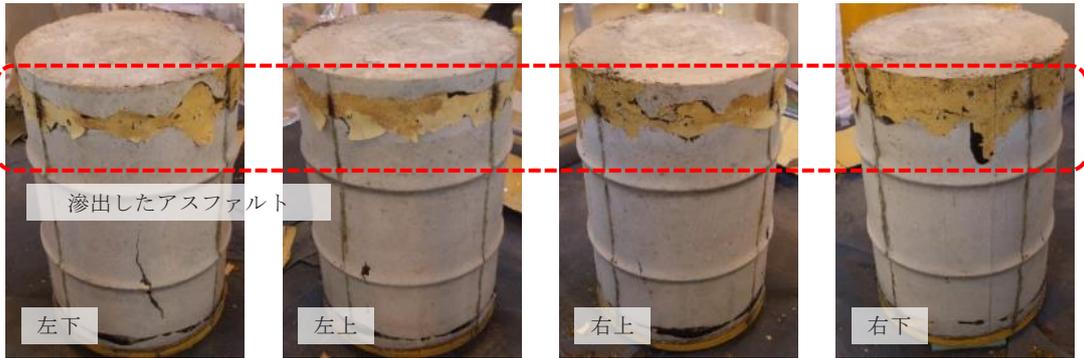
Fig.5.4 ドラム缶内外面の腐食の状況 (廃棄物パッケージNo. : B-841-004) (1/2)



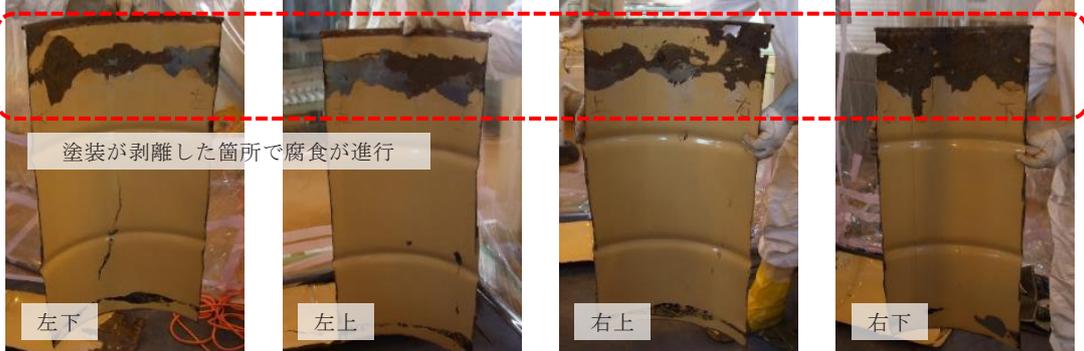
キャッピングコンクリート上部



ドラム缶蓋内側



内張りコンクリート及びキャッピングコンクリートの接合部

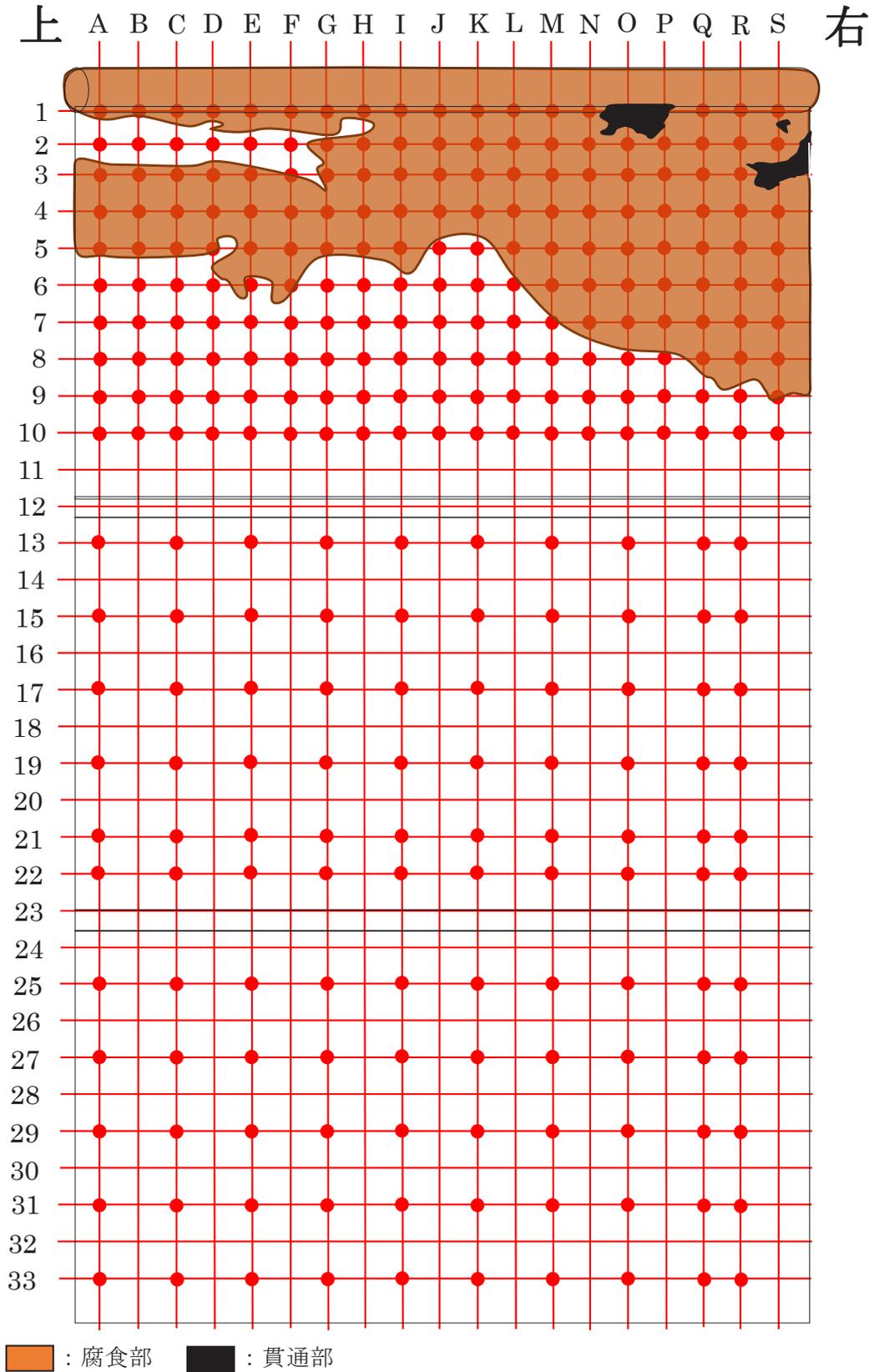


ドラム缶内面の腐食状況



ドラム缶外面の腐食状況

Fig.5.4 ドラム缶内外面の腐食の状況 (廃棄物パッケージNo.: B-872-006) (2/2)



(a) 測定ポイント（ドラム缶横置き時、上・右部分の鋼材）

Fig.5.5 ドラム缶の厚み測定（廃棄物パッケージNo. : B-872-006）（1/2）

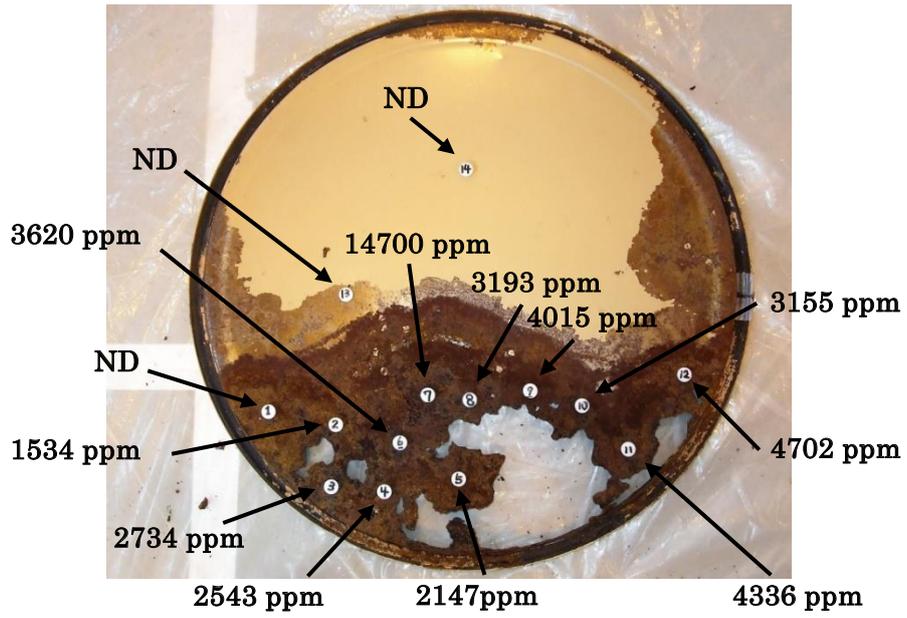
(単位: mm)

測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	1.18	1.17	1.18	1.18	1.17	1.17	1.17	1.18	1.17	1.16	1.17	1.12	1.03	ND	欠	欠	0.82	0.84	0.79						
2	1.18	1.18	1.18	1.17	1.19	1.18	1.17	1.17	1.17	1.17	1.18	1.18	1.16	0.85	0.78	0.91	1.00	1.03	0.81						
3	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.17	1.19	1.18	1.18	1.17	1.20	1.17	1.18	1.19	1.12	1.15	1.13	0.67	欠						
4	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19	1.18	1.18	1.19	1.19	1.21	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17						
5	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.21	1.19	1.18	1.18	1.17	1.20						
6	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.24	1.24						
7	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.19	1.19	1.20	1.20						
8	1.21	1.20	1.20	1.19	1.20	1.21	1.20	1.20	1.21	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19						
9	1.21	1.20	1.21	1.20	1.21	1.21	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.20	1.19	1.20	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19						
10	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.20	1.19	1.20	1.20	1.19	1.20	1.19	1.19						
11	ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)																								
12																									
13	1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20	1.20	1.20						
14																									
15	1.21		1.21		1.20		1.20		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20	1.20						
16																									
17	1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20	1.20						
18																									
19	1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.19	1.19						
20																									
21	1.21		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20	1.20						
22	1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20	1.20						
23																									
24	ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)																								
25	1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.20	1.20	1.20						
26																									
27	1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.20	1.20	1.20						
28																									
29	1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.20		1.20	1.20	1.20						
30																									
31	1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20	1.20						
32																									
33	1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20	1.20						

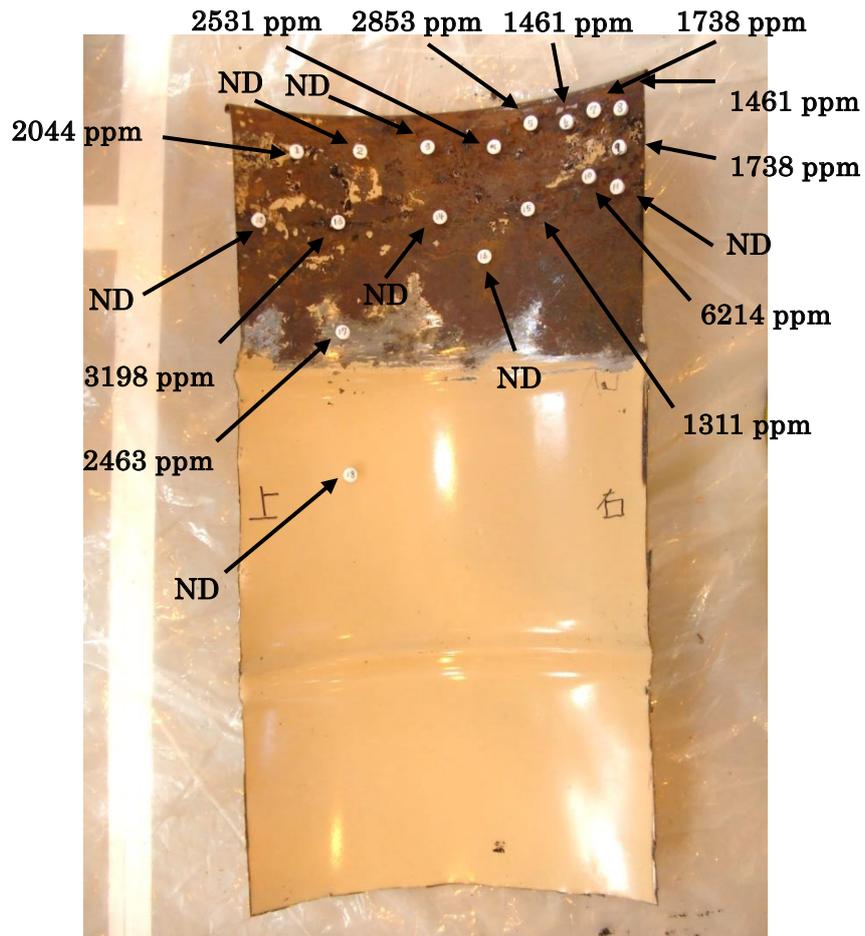
■ : 腐食部 ■ : 貫通部

(b) 測定結果 (ドラム缶横置き時、上・右部分の鋼材)

Fig.5.5 ドラム缶の厚み測定 (廃棄物パッケージNo.: B-872-006) (2/2)



(a) ドラム缶蓋内面



(b) ドラム缶胴部内面

Fig.5.6 ドラム缶内面の塩素濃度 (廃棄物パッケージNo. : B-841-004)

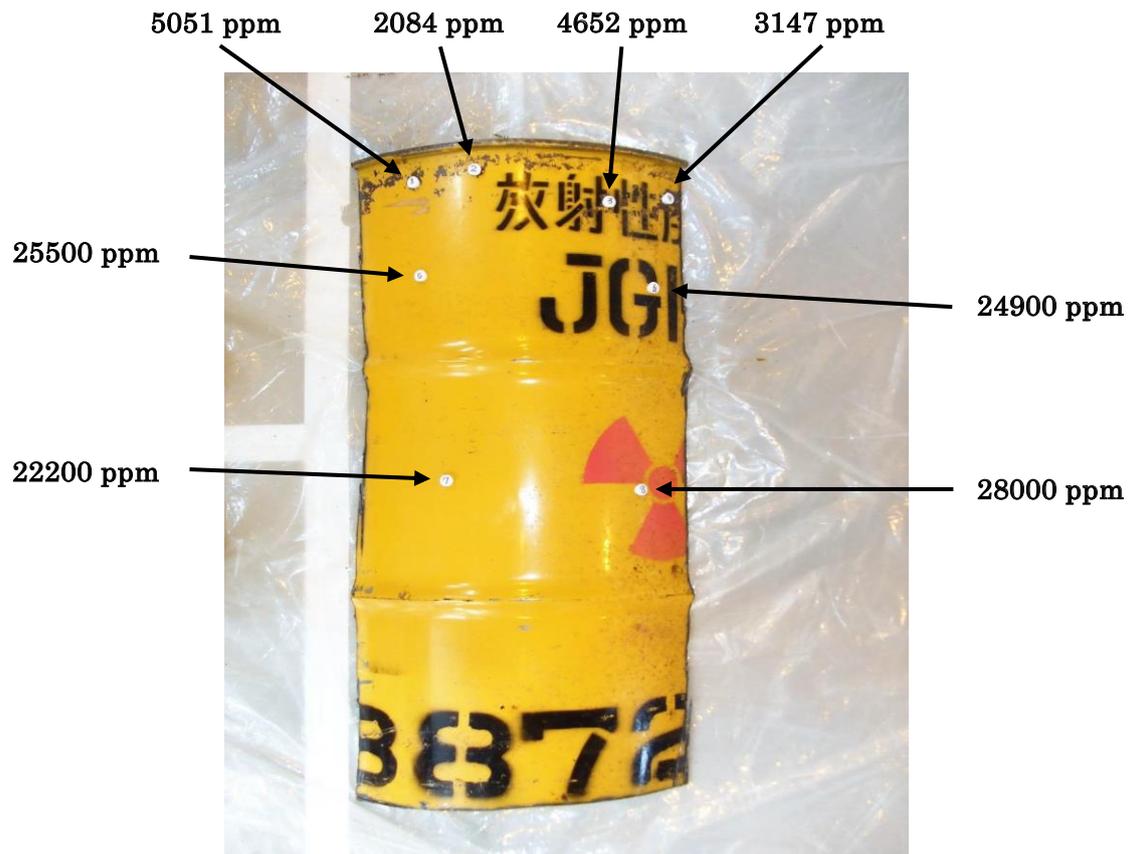
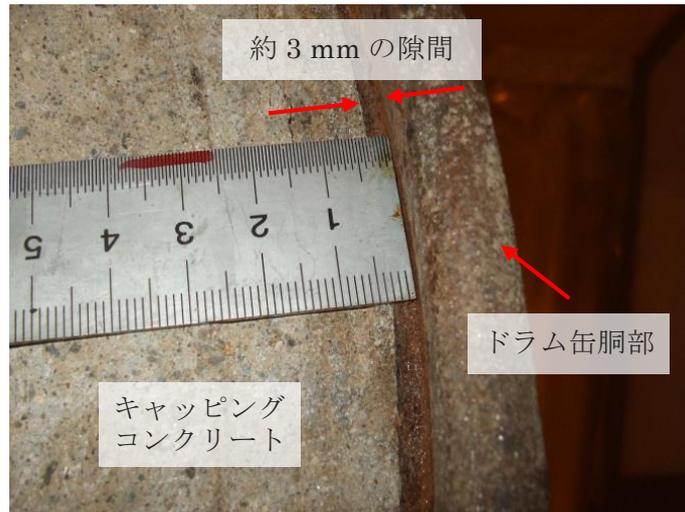
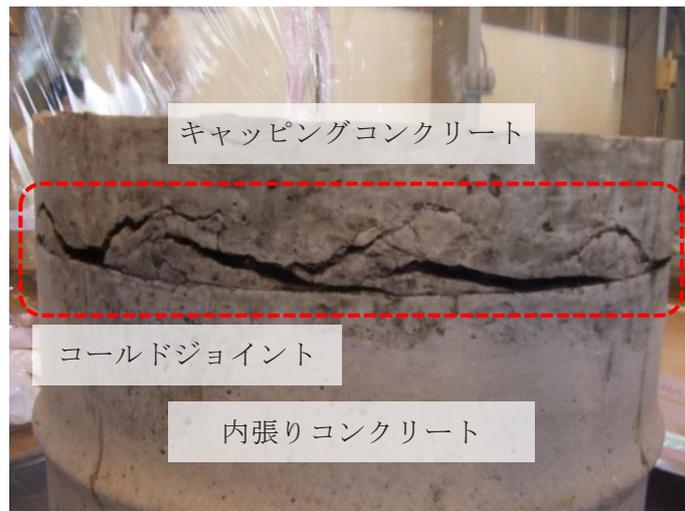


Fig.5.7 ドラム缶外面の塩素濃度（廃棄物パッケージNo.：B-872-006）



廃棄物パッケージNo. : B-760-021



廃棄物パッケージNo. : B-841-004

Fig.5.8 キャッピングコンクリートと内張りコンクリートの状態

Appendix 1

アスファルト固化体製作に用いられたアスファルトの試験成績一覧

This is a blank page.

Table 1.1 アスファルト固化体製作に用いられたアスファルトの試験成績一覧

No.	アスファルト 種類	メーカー	試験年月日	針入度	軟化点 °C	伸度 cm	蒸発後の針 入度比%	薄膜加熱重 量変化率%	薄膜加熱後 の針入度%	三塩化エタ ン可溶分%	トルエン可 溶分%	粘度 cSt (= mm ² /s)					引火点 °C	比重	密度 g/cm ³
				(1/10 mm)		(15 °C)						(120 °C)	(140 °C)	(150 °C)	(160 °C)	(180 °C)		(25/25 °C)	(15 °C)
1	60/80	昭和シェル石油	S55.10.1	70	48	+100	107	0.01	62.8	99.8	—	880	318	—	140	73	346	1.031	—
2	60/80	昭和シェル石油	S56.1.5	67	50.5	+100	102	-0.03	68	—	—	1170	380	—	158	76	—	1.031	—
3	60/80	昭和シェル石油	S57.1.6	64	50	+100	97	-0.11	56.9	99.8	—	1215	378	—	149	70	330	1.027	—
4	60/80	昭和シェル石油	S58.1.7	69	48.5	+100	95	0.02	65.2	99.5	—	860	352	—	173	94	340	1.026	—
5	60/80	昭和シェル石油	S58.8.12	66	50.5	+100	98	0.08	60.2	99.8	—	750	259	—	105	57.2	342	1.021	—
6	60/80	昭和シェル石油	S59.1.5	68	48	+100	97	0.02	62.0	99.8	—	840	320	—	143	75	330	1.026	—
7	60/80	昭和シェル石油	S59.5.2	67	49.5	+100	97	+0.07	58.2	99.9	—	737	261	—	122	63	338	1.023	—
8	60/80	昭和シェル石油	S60.4.1	73	47	+100*2	—	-0.05	63	99.7	—	980	346	—	152	77.8	338	1.026	—
9	60/80	昭和シェル石油	S60.10.1	73	47.5	+100	100	-0.10	63	99.8	—	820	296.3	—	130	67.4	314	1.026	—
10	60/80	昭和シェル石油	S61.2.3	70	47	+100	98	+0.09	62	99.8	—	650	241	—	110	57	—	—	—
11	60/80	昭和シェル石油	S61.5.2	73	47.5	+100	98	+0.08	64.4	99.7	—	818	299	—	133	68	344	1.024	—
12	60/80	昭和シェル石油	S63.1.4	75	48.0	+150	100	0.05	60.0	99.6	—	900	325	—	141	72.0	326	1.026	—
13	60/80	昭和シェル石油	S63.3.1	68	48.5	+150	104	0.09	58.9	99.7	—	878	302	—	132	66.0	327	1.025	—
14	60/80	昭和シェル石油	S63.11.1	74	48	+150	102	0.08	59.1	99.8	—	750	290	—	137	70	336	1.025	—
15	60/80	昭和シェル石油	H1.2.1	75	48.0	+150	96	-0.09	59	99.9	—	779	275	—	127	66	324	1.025	—
16	60/80	昭和シェル石油	H2.1.23	60	50.5	+150	100	0.09	63	99.8	—	—	—	178	—	63	324	—	1.031
17	60/80	昭和シェル石油	H2.11.26	66	50.0	+150	101	0.10	62	99.8	—	940	—	223	—	76	316	—	1.031
18	60/80	昭和シェル石油	H4.3.1	66	48.5	+150	105	0.06	66.5	99.9	—	962	—	232	—	82	325	—	1.033
19	60/80	昭和シェル石油	H5.1.1	66	48.0	+150	100	0.09	59.1	99.9	—	874	—	215	—	75	326	—	1.039
20	60/80	昭和シェル石油	H8.1.29	70	47.5	+150	93	-0.02	66.7	99.9	—	750	—	170	—	60	348	—	1.030
21	60/80	昭和シェル石油	H8.7.13	67	47.5	+150	99	-0.05	58	99.9	—	817	—	193	—	66.3	326	—	1.030
22	60/80	コスモ石油	H10.?? *1	72	47.0	+130	98	-0.01	69.4	—	99.82	648	—	160	—	56.8	314	—	—
23	60/80	昭和シェル石油	H10.4.10	62	48.5	+150	100	0.09	60.5	—	99.9	643	—	155	—	54	320	—	1.028
24	60/80	昭和シェル石油	H11.2.1	71	47.0	+150	97	0.1	66.2	—	99.6	781	—	181	—	61.7	313	—	1.030
25	60/80	昭和シェル石油	H12.1.19	64	48.0	+100	84	-0.01	65.6	—	99.94	884	—	208	—	71.3	326	—	1.035
26	60/80	出光興産	H12.9.? *1	64	48.5	+150	100	0.10	64	—	99.95	995	—	226	—	74	—	—	1.037
27	60/80	昭和シェル石油	H13.9.4	64	48.5	+150	99	0.09	61.1	—	99.9	877	—	202	—	68.4	326	—	1.031
28	60/80	昭和シェル石油	H14.10.15	70	47.5	+140	97	-0.03	67.1	—	99.7	935	—	217	—	73.4	342	—	1.038
29	60/80	昭和シェル石油	H15.1.22	73	48.0	+140	95	0.01	68.1	—	99.8	816	—	190	—	64.5	340	—	1.037
30	60/80	昭和シェル石油	H17.1.? *1	68	48.0	+150	100	0.09	63.8	—	99.7	767	—	174	—	57.4	332	—	1.030
31	60/80	昭和シェル石油	H18.2.? *1	72	48.0	+150	100	0.04	60.6	—	99.9	917	—	219	—	70.2	310	—	1.034

*1 試験年月日で月・日が確認できなかったものについては、「?」と表記している。

*2 伸度 cm (25 °C) の試験結果である。

*3 有効数字に関しては、試験成績表に記載された通りとしている。

Appendix 2

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表

This is a blank page.

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (1/18)

■ : 原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1: ストレートアスファルト 60/80, 40/60
 *2: ストレートアスファルト 60/80, 80/100
 *3: ストレートアスファルト 60/80, 40/60, 80/100
 *4: ストレートアスファルト 40/60, 80/100
 混合比・・・B:ピッチェン、S:固形物(ケイウ土含む)
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・Ⅱ: 固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ: 固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ: 固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射能 (mCi)	(Bq)	アスファルト 種類	混合比 B:S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
1	B-73Z-001	398	S48.12.19	化学処理スラッジ	B0001	140	⁶⁰ Co	1.6E+00	-	60/80	61 : 39	-	1.40	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
2	B-741-001	418	S49.1.25	化学処理スラッジ	B0002	145	⁶⁰ Co	4.8E+00	-	60/80	59 : 41	-	1.44	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	有	
3	B-742-002	415	S49.2.1	化学処理スラッジ	B0003	140	⁶⁰ Co	3.3E+00	-	60/80	63 : 37	-	1.34	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
4	B-742-003	408	S49.2.8	化学処理スラッジ	B0004	145	⁶⁰ Co	2.5E+00	-	60/80	60 : 40	-	1.45	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
5	B-742-004	413	S49.2.21	化学処理スラッジ	B0005	153	⁶⁰ Co	2.0E+00	-	60/80	56 : 44	-	1.48	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
6	B-743-005	430	S49.3.7	化学処理スラッジ	B0006	140	⁶⁰ Co	1.3E+00	-	60/80	59 : 41	-	1.43	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
7	B-743-006	437	S49.3.13	化学処理スラッジ	B0007	150	⁶⁰ Co	1.4E+00	-	60/80	53 : 47	-	1.54	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	有	
8	B-743-007	430	S49.3.19	化学処理スラッジ	B0008	157	⁶⁰ Co	1.4E+00	-	60/80	51 : 49	-	1.64	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
9	B-743-008	428	S49.3.27	化学処理スラッジ	B0009	144	⁶⁰ Co	1.2E+00	-	60/80	56 : 44	-	1.44	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
10	B-744-009	397	S49.4.17	化学処理スラッジ	B0010	147	⁶⁰ Co	1.4E+00	-	60/80	54 : 46	-	1.42	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
				B0011	10														
11	B-744-010	413	S49.4.22	化学処理スラッジ	B0011	138	⁶⁰ Co	1.5E+00	-	60/80	53 : 47	-	1.53	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
				B0012	14														
12	B-745-011	409	S49.5.20	化学処理スラッジ	B0012	141	⁶⁰ Co	1.5E+00	-	60/80	54.2 : 45.8	-	1.40	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
				B0013	13														
13	B-745-012	408	S49.5.24	化学処理スラッジ	B0013	128	⁶⁰ Co	1.7E+00	-	60/80	56.3 : 43.7	-	1.38	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
				B0014	25														
14	B-745-013	407	S49.5.28	化学処理スラッジ	B0014	123	⁶⁰ Co	1.7E+00	-	60/80	53.1 : 46.9	-	1.43	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
				B0015	26														
15	B-745-014	412	S49.5.31	化学処理スラッジ	B0015	136	⁶⁰ Co	1.7E+00	-	60/80	57.1 : 42.9	-	1.41	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
				B0016	20														
16	B-746-015	418	S49.6.6	化学処理スラッジ	B0016	114	⁶⁰ Co	1.7E+00	-	80/100	56.0 : 44.0	-	1.47	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
				B0017	42														
17	B-746-016	422	S49.6.6	化学処理スラッジ	B0017	147	⁶⁰ Co	1.6E+00	-	80/100	55.6 : 44.4	-	1.45	-	S49.8.21	Ⅱ	横積	無	
18	B-749-017	412	S49.9.11	化学処理スラッジ	B0018	129	⁶⁰ Co	1.5E+00	-	60/80	57.1 : 42.9	-	1.39	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0019	19														
19	B-749-018	402	S49.9.11	化学処理スラッジ	B0019	130	⁶⁰ Co	9.7E-01	-	60/80	67.1 : 32.9	-	1.42	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
20	B-740-019	410	S49.10.8	化学処理スラッジ	B0018	51	⁶⁰ Co	1.7E+00	-	60/80	60 : 40	-	1.43	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0020	90														
				B0021,B0022	14														
21	B-740-020	406	S49.10.17	化学処理スラッジ	B0020	58	⁶⁰ Co	1.9E+00	-	60/80	54.9 : 45.1	-	1.53	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0024	109														
22	B-740-021	410	S49.10.25	化学処理スラッジ	B0021,B0022	121	⁶⁰ Co	1.6E+00	-	60/80	59.0 : 41	-	1.49	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0023	35														
23	B-740-022	415	S49.10.25	化学処理スラッジ	B0023	114	⁶⁰ Co	2.0E+00	-	60/80	55.0 : 45.0	-	1.53	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0024	54														
24	B-751-001	403	S50.1.31	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0025	122	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	7.7E+00	-	60/80	70.1 : 29.9	-	1.2	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0026	13														
25	B-752-002	400	S50.2.7	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0026	105	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.0E+00	-	60/80	75.2 : 24.8	-	1.32	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0027	35														
26	B-752-003	415	S50.2.19	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0027	109	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	5.5E+00	-	60/80	60 : 40	-	1.47	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0028	46														
27	B-752-004	424	S50.2.28	化学処理スラッジ	B0028	115	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	3.1E+00	-	60/80	56 : 44	-	1.41	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	有	
				B0029	39														
28	B-753-005	417	S50.3.6	化学処理スラッジ	B0029	122	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.2E+00	-	60/80	56 : 44	-	1.42	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0030	28														
29	B-753-006	420	S50.3.13	化学処理スラッジ	B0030	116	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.0E+00	-	60/80	59 : 41	-	1.45	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0031	34														
30	B-754-007	415	S50.4.17	化学処理スラッジ	B0031	100	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.6E+00	-	60/80	62 : 38	-	1.42	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0032	43														
31	B-754-008	408	S50.4.22	化学処理スラッジ	B0032	100	⁶⁰ Co	1.5E+00	-	60/80	61 : 39	-	1.41	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0033	42														
32	B-754-009	420	S50.4.25	化学処理スラッジ	B0033	82	⁶⁰ Co	1.4E+00	-	60/80	70 : 30	-	1.25	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0034	57														
33	B-756-010	425	S50.6.20	化学処理スラッジ	B0034	101	⁶⁰ Co	1.8E+00	-	*1	55.5 : 44.5	-	1.52	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	固体集積保管場Ⅱからβ・γ固体処理棟Ⅰ に運搬し開缶
				B0035	52														
34	B-756-011	420	S50.6.26	化学処理スラッジ	B0035	86	⁶⁰ Co	2.2E+00	-	*1	62.3 : 37.7	-	1.37	-	S50.9.1	Ⅱ	横積	無	
				B0036	62														

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (2/18)

原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1：ストレートアスファルト 60/80，40/60
 *2：ストレートアスファルト 60/80，80/100
 *3：ストレートアスファルト 60/80，40/60，80/100
 *4：ストレートアスファルト 40/60，80/100
 混合比・・・B：ビチューメン，S：固形物（ケイワ土含む）
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・Ⅱ：固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ：固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ：固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射能 (mCi)	(Bq)	アスファルト 種類	混合比 B:S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
35	B-75X-012	423	S50.11.28	化学処理スラッジ	B0036	94	⁶⁰ Co	1.5E+00	-	60/80	55.5 : 44.5	-	1.45	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
				B0037	44														
36	B-75Z-013	416	S50.12.4	化学処理スラッジ	B0037	91	⁶⁰ Co	1.3E+00	-	60/80	63 : 37	-	1.33	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
				B0038	38														
37	B-75Z-014	418	S50.12.12	化学処理スラッジ	B0039	143	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.5E+00	-	60/80	53.9 : 46.1	-	1.41	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
38	B-75Z-015	420	S50.12.23	化学処理スラッジ	B0038	107	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.4E+00	-	60/80	56.5 : 43.5	-	1.43	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
				B0040	38														
39	B-761-001	423	S51.1.23	化学処理スラッジ	B0040	120	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.4E+00	-	60/80	55.7 : 44.3	-	1.38	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
				B0041	23														
40	B-763-002	412	S51.3.3	化学処理スラッジ	B0041	126	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.0E+00	-	60/80	59.7 : 40.3	-	1.41	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
				B0042	12														
41	B-763-003	407	S51.3.3	化学処理スラッジ	B0042	144	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.7E+00	-	60/80	55.6 : 44.4	-	1.42	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
42	B-763-004	416	S51.3.9	化学処理スラッジ	B0043	141	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.2E+00	-	60/80	58.9 : 41.1	-	1.40	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
43	B-763-005	414	S51.3.15	化学処理スラッジ	B0044	148	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.0E+00	-	60/80	56.4 : 43.6	-	1.42	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
44	B-763-006	415	S51.3.17	化学処理スラッジ	B0045	141	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.1E+00	-	60/80	58.9 : 41.1	-	1.40	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
45	B-763-007	417	S51.3.26	化学処理スラッジ	B0046	151	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.3E+00	-	60/80	55.6 : 44.4	-	1.42	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
46	B-764-008	415	S51.4.6	化学処理スラッジ	B0047	152	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.2E+00	-	60/80	53.3 : 46.7	-	1.45	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
47	B-764-009	417	S51.4.9	化学処理スラッジ	B0048	158	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.4E+00	-	60/80	52.5 : 47.5	-	1.46	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
48	B-765-010	423	S51.5.13	化学処理スラッジ	B0049	158	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.3E+00	-	60/80	53.5 : 46.5	-	1.45	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
49	B-765-011	420	S51.5.31	化学処理スラッジ	B0050	149	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.5E+00	-	60/80	55.7 : 44.3	-	1.42	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
50	B-766-012	416	S51.6.2	化学処理スラッジ	B0051	152	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.5E+00	-	60/80	55.9 : 44.1	-	1.42	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
51	B-766-013	426	S51.6.7	化学処理スラッジ	B0052	148	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.5E+00	-	60/80	56.1 : 43.9	-	1.41	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
52	B-766-014	423	S51.6.14	化学処理スラッジ	B0053	141	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.5E+00	-	60/80	56.7 : 43.3	-	1.40	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
				B0054	27														
53	B-766-015	415	S51.6.18	化学処理スラッジ	B0054	133	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.5E+00	-	60/80	53.7 : 46.3	-	1.45	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
				B0055	25														
54	B-766-016	424	S51.6.22	化学処理スラッジ	B0055	131	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.4E+00	-	60/80	55.3 : 44.7	-	1.43	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
				B0056	26														
55	B-766-017	415	S51.6.24	化学処理スラッジ	B0056	147	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.6E+00	-	60/80	50.9 : 49.1	-	1.50	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
				B0057	30														
56	B-766-018	439	S51.6.24	化学処理スラッジ	B0057	146	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.4E+00	-	60/80	50.6 : 49.4	-	1.52	-	S51.8.18	Ⅱ	横積	無	
57	B-76O-019	423	S51.10.15	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0058	125	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.6E+00	-	60/80	52.4 : 47.6	-	1.47	-	S52.10.24	Ⅱ	横積	無	
				B0059	39														
58	B-76O-020	423	S51.10.15	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0058	39	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.4E+00	-	60/80	54.7 : 45.3	-	1.40	-	S52.10.24	Ⅱ	横積	無	
				B0059	105														
59	B-76O-021	416	S51.10.19	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0059	14	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.0E+00	-	60/80	50.4 : 49.6	-	1.45	-	S52.10.24	Ⅱ	横積	有	固体集積保管場Ⅱからβ・γ固体処理棟Ⅰに運搬し開缶
				B0060	107														
60	B-77O-001	425	S52.10.20	スラッジ	B0061	133.3	⁶⁰ Co	1.6E-03	-	60/80	58.7 : 41.3	-	1.36	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	貯槽、タンクの残滓スラッジ
61	B-77O-002	418	S52.10.26	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0060	62	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.5E+00	-	60/80	50.4 : 49.6	-	1.45	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
				B0062	59														
62	B-77O-003	423	S52.10.31	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0062	87	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.5E+00	-	60/80	57.7 : 42.3	-	1.40	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
				B0063	55														
63	B-77X-004	420	S52.11.10	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0063	88	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.1E+00	-	60/80	59.3 : 40.7	-	1.38	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
				B0064	51														
64	B-77X-005	414	S52.11.16	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0064	97	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.3E+00	-	60/80	57.1 : 42.9	-	1.39	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
				B0065	43														
65	B-77Z-006	422	S52.12.7	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0065	100	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.9E+00	-	60/80	58.7 : 41.3	-	1.38	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
				B0066	42														
66	B-77Z-007	420	S52.12.15	化学処理スラッジ	B0067	145	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	5.8E-01	-	60/80	59 : 41	-	1.41	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
67	B-77Z-008	421	S52.12.20	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0066	120	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.1E+00	-	60/80	52.4 : 47.6	-	1.43	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
				B0068	39														
68	B-782-001	424	S53.2.6	化学処理スラッジ	B0068	129	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	6.5E-01	-	60/80	49.2 : 50.8	-	1.47	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
				B0069	31														
69	B-782-002	418	S53.2.9	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0069	125	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.7E+00	-	60/80	54.1 : 45.9	-	1.43	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
				B0070	30														
70	B-782-003	417	S53.2.9	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0070	147	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	3.6E+00	-	60/80	50 : 50	-	1.46	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
71	B-782-004	419	S53.2.15	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0071	147	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	3.8E+00	-	*2	59.3 : 40.7	-	1.36	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (3/18)

■ : 原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】	保管場所・・・Ⅱ：固体集積保管場Ⅱ
アスファルト種類・・・*1：ストレートアスファルト 60/80， 40/60	Ⅲ：固体集積保管場Ⅲ
*2：ストレートアスファルト 60/80， 80/100	Ⅳ：固体集積保管場Ⅳ
*3：ストレートアスファルト 60/80， 40/60， 80/100	移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
*4：ストレートアスファルト 40/60， 80/100	(青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)
混合比・・・B：ビチューメン、 S：固形物 (ケイウ土含む)	
※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。	

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射能 (mCi) (Bq)	アスファルト 種類	混合比 B:S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
72	B-783-005	414	S53.3.24	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0072	153	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	3.4E+00 -	*2	56.9 : 43.1	-	1.40	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
73	B-785-006	410	S53.5.18	スラッジ	B0073	127	⁶⁰ Co	1.5E+03 -	60/80	63.8 : 36.2	-	1.29	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	貯槽、タンクの残滓スラッジ
74	B-786-007	416	S53.6.20	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0074	130	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.8E+00 -	80/100	50 : 50	-	1.47	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
					B0076	20												
75	B-786-008	415	S53.6.20	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0074	44	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.1E+00 -	*2	50 : 50	-	1.47	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
					B0075	91												
76	B-786-009	425	S53.6.20	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0076	24	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.7E+00 -	*2	59.4 : 40.6	-	1.37	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
					B0077	88												
77	B-786-010	426	S53.6.23	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0075	57	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.7E+00 -	*2	51.2 : 48.8	-	1.42	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
					B0076	78												
78	B-780-011	415	S53.10.20	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0077	63	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.3E+00 -	*2	51.2 : 48.8	-	1.42	-	S53.9.7	Ⅱ	横積	無	
					B0078	76												
79	B-780-012	420	S53.10.27	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0077	76	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.9E+00 -	*2	57.5 : 42.5	-	1.39	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0078	73												
80	B-78X-013	420	S53.11.2	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0079	69	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs	2.5E+00 -	*2	58.4 : 41.6	-	1.34	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0079	69												
81	B-791-001	415	S54.1.26	化学処理スラッジ	B0080	65	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs, ¹⁴⁴ Ce	2.2E+00 -	*4	58.4 : 41.6	-	1.34	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0081	70												
82	B-792-002	413	S54.2.22	化学処理スラッジ	B0081	76	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	2.7E+00 -	*3	65.6 : 34.4	-	1.28	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0082	63												
83	B-793-003	422	S54.3.6	化学処理スラッジ	B0082	77	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	2.4E+00 -	60/80	62.2 : 37.8	-	1.34	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0083	63												
84	B-793-004	420	S54.3.12	化学処理スラッジ	B0083	95	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	2.3E+00 -	60/80	56.0 : 44.0	-	1.43	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0084	50												
85	B-794-005	415	S54.4.9	化学処理スラッジ	B0084	100	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	2.1E+00 -	60/80	57.0 : 43.0	-	1.42	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0085	45												
86	B-794-006	413	S54.4.13	化学処理スラッジ	B0085	105	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.7E+00 -	60/80	60.0 : 40.0	-	1.37	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0086	42												
87	B-794-007	415	S54.4.17	化学処理スラッジ	B0086	114	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	2.0E+00 -	60/80	56.2 : 43.8	-	1.43	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0087	33												
88	B-794-008	415	S54.4.23	化学処理スラッジ	B0087	109	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.8E+00 -	60/80	60.8 : 39.2	-	1.37	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0088	40												
89	B-794-009	420	S54.4.25	化学処理スラッジ	B0088	113	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.6E+00 -	60/80	57.4 : 42.6	-	1.42	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0089	32												
90	B-795-010	415	S54.5.10	化学処理スラッジ	B0089	123	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.6E+00 -	60/80	57.4 : 42.6	-	1.42	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0090	32												
91	B-795-011	415	S54.5.16	化学処理スラッジ	B0090	128	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.4E+00 -	60/80	55.9 : 44.1	-	1.45	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0091	23												
92	B-795-012	415	S54.5.18	化学処理スラッジ	B0091	131	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.3E+00 -	60/80	57.0 : 43.0	-	1.44	-	S54.7.10	Ⅱ	横積	無	
					B0092	21												
93	B-799-013	407	S54.9.21	化学処理スラッジ	B0092	124	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.2E+00 -	60/80	60.1 : 39.9	-	1.38	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	有	
					B0093	26												
94	B-790-014	405	S54.10.18	化学処理スラッジ	B0093	134	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.7E+00 -	60/80	54.9 : 45.1	-	1.45	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無	
					B0094	25												
95	B-790-015	420	S54.10.24	化学処理スラッジ	B0094	115	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.9E+00 -	60/80	58.9 : 41.1	-	1.40	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無	
					B0095	17												
96	B-790-016	420	S54.10.24	化学処理スラッジ	B0095	136	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	2.1E+00 -	60/80	53.9 : 46.1	-	1.46	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無	
97	B-79X-017	415	S54.11.21	化学処理スラッジ	B0096	141	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.9E+00 -	60/80	58.4 : 41.6	-	1.40	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無	
98	B-79Z-018	410	S54.12.6	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0097	71	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	3.7E+00 -	60/80	56.7 : 43.3	-	1.43	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無	
					B0098	79												
99	B-79Z-019	413	S54.12.6	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0097	78	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	3.8E+00 -	60/80	55.1 : 44.9	-	1.45	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無	
					B0098	77												
100	B-79Z-020	410	S54.12.13	化学処理スラッジ	B0099	73	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	2.1E+00 -	60/80	61.7 : 38.3	-	1.37	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無	
					B0100	77												
101	B-79Z-021	421	S54.12.13	化学処理スラッジ	B0099	62	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	1.8E+00 -	60/80	59.9 : 40.1	-	1.40	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無	
					B0100	65												
102	B-79Z-022	410	S54.12.19	化学処理スラッジ	B0101	139	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce	2.0E+00 -	60/80	60.4 : 39.6	-	1.40	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無	

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (4/18)

■ : 原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1: ストレートアスファルト 60/80, 40/60
 *2: ストレートアスファルト 60/80, 80/100
 *3: ストレートアスファルト 60/80, 40/60, 80/100
 *4: ストレートアスファルト 40/60, 80/100
 保管場所・・・Ⅱ: 固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ: 固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ: 固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)
 混合比・・・B: ビチューン、S: 固形物 (ケイウ土含む)
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射線量		アスファルト 種類	混合比 B : S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考			
								(mCi)	(Bq)													
103	B-801-001	411	S55.1.28	化学処理スラッジ	B0102	66	60Co, 137Cs, 144Ce	2.0E+00	-	60/80	58.5 : 41.5	-	1.40	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0103	71														137	56.4 : 43.6	1.43
104	B-801-002	409	S55.1.28	化学処理スラッジ	B0102	81	60Co, 137Cs, 144Ce	2.3E+00	-	60/80	58.5 : 41.5	-	1.40	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0103	78														159	56.4 : 43.6	1.43
105	B-802-003	409	S55.2.6	化学処理スラッジ	B0104	149	60Co, 137Cs, 144Ce	1.8E+00	-	60/80	55.7 : 44.3	-	1.44	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
106	B-803-004	391	S55.3.13	化学処理スラッジ	B0105	152	60Co, 137Cs, 144Ce	1.3E+00	-	60/80	55.0 : 45.0	-	1.45	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
107	B-803-005	409	S55.3.19	化学処理スラッジ	B0106	145	60Co, 137Cs, 144Ce	1.1E+00	-	60/80	58.0 : 42.0	-	1.40	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
108	B-804-006	384	S55.4.10	化学処理スラッジ	B0107	142	60Co, 137Cs, 144Ce, 54Mn	1.1E+00	-	60/80	57.2 : 42.8	-	1.42	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
109	B-804-007	385	S55.4.17	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0108	119	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce, 54Mn	7.3E+00	-	60/80	51.2 : 48.8	-	1.42	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0109	17														136	58.9 : 41.1	1.37
110	B-804-008	385	S55.4.24	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0107	7	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce, 54Mn	6.0E+00	-	60/80	57.2 : 42.8	-	1.42	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0108	46														121	51.2 : 48.8	1.42
					B0109	68														121	58.9 : 41.1	1.37
111	B-805-009	380	S55.5.7	化学処理スラッジ	B0109	56	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce, 54Mn	3.5E+00	-	60/80	58.9 : 41.1	-	1.37	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0110	85														141	54.9 : 45.1	1.39
112	B-805-010	409	S55.5.15	化学処理スラッジ	B0110	69	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce, 54Mn	8.1E-01	-	60/80	54.9 : 45.1	-	1.39	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0111	63														132	60.0 : 40.0	1.37
113	B-806-011	405	S55.6.4	化学処理スラッジ	B0111	80	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce, 54Mn	7.6E-01	-	60/80	60.0 : 40.0	-	1.37	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0112	63														143	57.6 : 42.4	1.37
114	B-806-012	407	S55.6.26	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0112	82	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce, 54Mn	7.0E+00	-	60/80	57.6 : 42.4	-	1.37	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0113	50														132	65.4 : 34.6	1.26
115	B-807-013	407	S55.7.2	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0113	75	60Co, 137Cs, 134Cs, 58Co, 54Mn	1.2E+01	-	60/80	65.4 : 34.6	-	1.26	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0114	58														133	54.9 : 45.1	1.38
116	B-807-014	412	S55.7.8	化学処理スラッジ	B0114	97	60Co, 137Cs, 58Co, 144Ce, 54Mn	4.4E+00	-	60/80	54.9 : 45.1	-	1.38	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0115	53														150	55.2 : 44.8	1.36
117	B-807-015	410	S55.7.15	化学処理スラッジ	B0115	98	60Co, 137Cs, 58Co, 144Ce, 54Mn	4.1E+00	-	60/80	55.2 : 44.8	-	1.36	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0116	42														140	61.8 : 38.2	1.36
118	B-807-016	408	S55.7.17	化学処理スラッジ	B0116	95	60Co, 137Cs, 58Co, 144Ce, 54Mn	4.1E+00	-	60/80	61.8 : 38.2	-	1.36	-	S55.8.22	Ⅱ	横積	無				
					B0117	53														148	57.3 : 42.7	1.33
119	B-809-017	415	S55.9.19	化学処理スラッジ	B0117	93	60Co, 137Cs, 144Ce	3.7E+00	-	60/80	56.6 : 43.4	-	1.34	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0118	50														143	56.6 : 43.4	1.34
120	B-809-018	417	S55.9.30	化学処理スラッジ	B0118	93	60Co, 137Cs, 144Ce	2.3E+00	-	60/80	57.6 : 42.4	-	1.38	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0119	57														150	57.6 : 42.4	1.38
121	B-800-019	425	S55.10.6	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0119	82	60Co, 137Cs, 144Ce	2.0E+00	-	60/80	56.0 : 44.0	-	1.41	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0120	60														142	56.0 : 44.0	1.41
122	B-800-020	422	S55.10.13	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0120	115	60Co, 137Cs, 144Ce	2.8E+00	-	60/80	50.6 : 49.4	-	1.43	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0121	33														148	50.6 : 49.4	1.43
123	B-800-021	414	S55.10.20	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0121	119	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce	3.4E+00	-	60/80	56.2 : 43.8	-	1.42	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0122	33														152	56.2 : 43.8	1.42
124	B-800-022	410	S55.10.23	蒸発缶濃縮液	B0122	120	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce	4.6E+00	-	60/80	53.6 : 46.4	-	1.37	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0123	30														150	53.6 : 46.4	1.37
125	B-800-023	424	S55.10.23	蒸発缶濃縮液	B0123	138	60Co, 137Cs, 134Cs	3.8E+00	-	60/80	50.6 : 49.4	-	1.42	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0124	134														160	50.6 : 49.4	1.42
126	B-800-024	418	S55.10.28	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0124	26	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce	5.6E+00	-	60/80	43.8 : 56.2	-	1.47	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0125	26														160	43.8 : 56.2	1.47
127	B-80X-025	436	S55.11.4	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0124	58	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce	4.0E+00	-	60/80	47.7 : 52.3	-	1.46	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0125	79														137	47.7 : 52.3	1.46
128	B-80X-026	429	S55.11.12	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0125	64	60Co, 137Cs, 144Ce	2.9E+00	-	60/80	52.6 : 47.4	-	1.44	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0126	69														133	52.6 : 47.4	1.44
129	B-80X-027	418	S55.11.17	化学処理スラッジ 蒸発缶濃縮液	B0126	85	60Co, 137Cs, 144Ce	2.8E+00	-	60/80	55.1 : 44.9	-	1.42	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0127	64														149	55.1 : 44.9	1.42
130	B-80Z-028	416	S55.12.11	化学処理スラッジ	B0127	89	60Co, 137Cs, 144Ce	2.5E+00	-	60/80	55.4 : 44.6	-	1.42	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0128	64														153	55.4 : 44.6	1.42
131	B-814-001	420	S56.4.8	化学処理スラッジ	B0128	94	60Co, 137Cs, 144Ce	2.9E+00	-	60/80	56.5 : 43.5	-	1.44	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0129	53														147	56.5 : 43.5	1.44
132	B-814-002	420	S56.4.14	化学処理スラッジ	B0129	91	60Co, 137Cs, 144Ce	4.4E+00	-	60/80	57.7 : 42.3	-	1.41	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0130	54														145	57.7 : 42.3	1.41
133	B-814-003	416	S56.4.16	化学処理スラッジ	B0130	99	60Co, 137Cs, 144Ce	5.3E+00	-	60/80	57.1 : 42.9	-	1.40	-	S56.9.24	Ⅱ	横積	無				
					B0131	47														146	57.1 : 42.9	1.40

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (5/18)

■ : 原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1: ストレートアスファルト 60/80, 40/60
 *2: ストレートアスファルト 60/80, 80/100
 *3: ストレートアスファルト 60/80, 40/60, 80/100
 *4: ストレートアスファルト 40/60, 80/100
 混合比・・・B:ビチューメン、S: 固形物 (ケイワ土含む)
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・II: 固体集積保管場II
 III: 固体集積保管場III
 IV: 固体集積保管場IV
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Iに集積し、その後IIに移管したのもの)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射線量		アスファルト 種類	混合比 B:S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考	
								(mCi)	(Bq)											
134	B-814-004	411	S56.4.22	化学処理スラッジ	B0131	94	139	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{144}\text{Ce}$	4.1E+00	-	60/80	58.9 : 41.1	-	1.40	-	S56.9.24	II	横積	無	
					B0132	45														
135	B-814-005	414	S56.4.27	化学処理スラッジ	B0132	107	145	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{144}\text{Ce}$	3.5E+00	-	60/80	56.8 : 43.2	-	1.36	-	S56.9.24	II	横積	無	
					B0133	38														
136	B-814-006	425	S56.4.27	化学処理スラッジ	B0133	131		$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{144}\text{Ce}$	3.3E+00	-	60/80	59.2 : 40.8	-	1.25	-	S56.9.24	II	横積	無	
137	B-818-007	413	S56.8.27	スラッジ	B0134	132	154	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{144}\text{Ce}$	3.5E+00	-	60/80	60.8 : 39.2	-	1.40	-	S56.9.24	II	横積	無	貯槽、タンクの残滓スラッジ
					B0136	22														
138	B-819-008	410	S56.9.9	スラッジ	B0134	17	152	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{144}\text{Ce}$	3.6E+00	-	60/80	51.6 : 48.4	-	1.34	-	S56.9.24	II	横積	無	貯槽、タンクの残滓スラッジ
					B0135	135														
139	B-819-009	426	S56.9.14	スラッジ	B0135	22	132	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{144}\text{Ce}$	4.0E+00	-	60/80	55.0 : 45.0	-	1.36	-	S56.9.24	II	横積	無	貯槽、タンクの残滓スラッジ
					B0136	110														
140	B-81X-010	400	S56.11.4	化学処理スラッジ 濃縮液貯槽洗浄水	B0136	11	131	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{144}\text{Ce}$	1.8E+01	-	60/80	65.5 : 34.5	-	1.27	-	S57.5.17	II	横積	無	
					B0137	66														
					B0138	54														
141	B-81X-011	410	S56.11.11	化学処理スラッジ 濃縮液貯槽洗浄水	B0137	79	149	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{144}\text{Ce}$	2.2E+01	-	60/80	66.6 : 33.4	-	1.26	-	S57.5.17	II	横積	無	
					B0138	70														
142	B-81Z-012	419	S56.12.11	化学処理スラッジ	B0139	129		$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	2.0E+00	-	60/80	63.8 : 36.2	-	1.32	-	S57.5.17	II	横積	無	
143	B-822-001	410	S57.2.1	化学処理スラッジ 監視ポンプ残滓スラッジ 濃縮液	B0140	137		$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	4.3E+01	-	60/80	60.5 : 39.5	-	1.36	-	S57.5.17	II	横積	無	
144	B-822-002	409	S57.2.3	化学処理スラッジ 監視ポンプ残滓スラッジ 濃縮液	B0140	3	144	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	5.7E+01	-	60/80	61.4 : 38.6	-	1.32	-	S57.5.17	II	横積	無	
					B0141	141														
145	B-823-003	427	S57.3.23	中レベル受入スラッジ 濃縮液	B0142	124		$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	4.3E+01	-	60/80	59.4 : 40.6	-	1.36	-	S57.5.17	II	横積	無	
146	B-823-004	421	S57.3.29	中レベル受入スラッジ 濃縮液	B0142	21	133	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	3.8E+01	-	60/80	56.5 : 43.5	-	1.36	-	S57.5.17	II	横積	無	
					B0143	112														
147	B-824-005	420	S57.4.7	中レベル受入スラッジ 濃縮液	B0143	40	133	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	4.0E+01	-	60/80	59.4 : 40.6	-	1.35	-	S57.5.17	II	横積	無	
					B0144	93														
148	B-824-006	421	S57.4.13	中レベル受入スラッジ 濃縮液	B0144	45	133	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	3.9E+01	-	60/80	60.8 : 39.2	-	1.34	-	S57.5.17	II	横積	無	
					B0145	88														
149	B-824-007	414	S57.4.21	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ 濃縮液	B0145	52	135	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	2.9E+01	-	60/80	60.4 : 39.6	-	1.33	-	S57.5.17	II	横積	無	
					B0146	83														
150	B-824-008	418	S57.4.27	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ 濃縮液	B0147	127		$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	2.7E+01	-	60/80	63.0 : 37.0	-	1.28	-	S57.5.17	II	横積	無	
151	B-825-009	412	S57.5.11	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ 濃縮液	B0146	58	136	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	2.8E+01	-	60/80	63.6 : 36.4	-	1.29	-	S57.5.17	II	横積	無	
					B0147	8														
					B0148	70														
152	B-825-010	415	S57.5.25	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ 濃縮液	B0148	58	134	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	2.5E+01	-	60/80	69.2 : 30.8	-	1.26	-	S57.8.16	II	横積	無	
					B0149	76														
153	B-825-011	410	S57.5.27	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ 濃縮液	B0149	39	140	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	2.1E+01	-	60/80	61.3 : 38.7	-	1.28	-	S57.8.16	II	横積	無	
					B0150	101														
154	B-826-012	415	S57.6.16	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ 濃縮液	B0150	39	133	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	1.3E+01	-	60/80	65.2 : 34.8	-	1.24	-	S57.8.16	II	横積	無	
					B0151	94														
155	B-82O-013	410	S57.10.12	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0151	25	140	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	2.1E+01	-	60/80	64.1 : 35.9	-	1.27	-	S57.12.6	II	横積	無	
					B0152	115														
156	B-82X-014	414	S57.11.18	濃縮液 中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0152	15	129	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}$	8.0E+00	-	60/80	59.2 : 40.8	-	1.28	-	S57.12.6	II	横積	無	
					B0153	114														
157	B-82Z-015	410	S57.12.20	濃縮液	B0153	35	140	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}$	6.8E+00	-	60/80	58.1 : 41.9	-	1.23	-	S58.4.1	II	横積	無	
					B0154	105														
158	B-82Z-016	407	S57.12.23	濃縮液	B0154	48	135	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	6.9E+00	-	60/80	56.1 : 43.9	-	1.31	-	S58.4.1	II	横積	無	
					B0155	87														

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (6/18)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1：ストレートアスファルト 60/80， 40/60
 *2：ストレートアスファルト 60/80， 80/100
 *3：ストレートアスファルト 60/80， 40/60， 80/100
 *4：ストレートアスファルト 40/60， 80/100
 保管場所・・・Ⅱ：固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ：固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ：固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)
 混合比・・・B：ビチューメン、S：固形物(ケイウ土含む)
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

■：原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射能 (mCi) (Bq)	アスファルト 種類	混合比 B：S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
159	B-831-001	400	S58.1.11	濃縮液	B0155	70	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	6.3E+00 -	60/80	59.3 : 40.7	-	1.30	-	S58.4.1	Ⅱ	横積	無	
					B0156	64												
160	B-831-002	405	S58.1.27	濃縮液	B0156	73	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	7.4E+00 -	60/80	58.7 : 41.3	-	1.27	-	S58.4.1	Ⅱ	横積	無	
					B0157	60												
161	B-832-003	407	S58.2.1	濃縮液	B0157	108	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	9.2E+00 -	60/80	58.5 : 41.5	-	1.29	-	S58.4.1	Ⅱ	横積	無	
					B0158	40												
162	B-832-004	399	S58.2.8	濃縮液	B0158	68	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	5.2E+00 -	60/80	64.8 : 35.2	-	1.27	-	S58.4.1	Ⅱ	横積	無	
					B0159	64												
163	B-832-005	402	S58.2.21	濃縮液	B0159	85	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	5.8E+00 -	60/80	56.1 : 43.9	-	1.30	-	S58.4.1	Ⅱ	横積	無	
					B0160	50												
164	B-832-006	397	S58.2.24	濃縮液	B0160	88	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	5.7E+00 -	60/80	63.7 : 36.3	-	1.23	-	S58.4.1	Ⅱ	横積	無	
					B0161	47												
165	B-834-007	400	S58.4.11	蒸発缶濃縮液	B0161	60	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	5.9E+00 -	60/80	66.9 : 33.1	-	1.21	-	S58.5.9	Ⅱ	横積	有	
					B0162	65												
166	B-834-008	410	S58.4.13	蒸発缶濃縮液	B0162	65	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	6.1E+00 -	60/80	65 : 35	-	1.22	-	S58.5.9	Ⅱ	横積	有	
					B0163	63												
167	B-834-009	422	S58.4.18	蒸発缶濃縮液	B0163	71	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	6.4E+00 -	60/80	62 : 38	-	1.26	-	S58.5.9	Ⅱ	横積	有	
					B0164	50												
168	B-834-010	415	S58.4.20	蒸発缶濃縮液	B0164	101	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	7.7E+00 -	60/80	58 : 42	-	1.32	-	S58.5.9	Ⅱ	横積	有	
					B0165	37												
169	B-834-011	420	S58.4.25	蒸発缶濃縮液	B0165	105	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	7.5E+00 -	60/80	59 : 41	-	1.30	-	S58.5.9	Ⅱ	横積	有	
					B0166	30												
170	B-834-012	404	S58.4.27	蒸発缶濃縮液	B0166	119	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	8.1E+00 -	60/80	57 : 43	-	1.31	-	S58.5.9	Ⅱ	横積	有	
					B0167	30												
171	B-835-013	410	S58.5.19	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0167	117	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	7.0E+00 -	60/80	59 : 41	-	1.30	-	S58.7.26	Ⅱ	横積	無	
					B0168	29												
172	B-836-014	418	S58.6.7	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0168	102	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	6.6E+00 -	60/80	64 : 36	-	1.28	-	S58.7.26	Ⅱ	横積	無	
					B0169	30												
173	B-836-015	417	S58.6.13	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0169	104	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	1.4E+01 -	60/80	63 : 37	-	1.29	-	S58.7.26	Ⅱ	横積	無	
					B0170	37												
174	B-836-016	415	S58.6.21	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0170	100	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	7.0E+00 -	60/80	64 : 36	-	1.23	-	S58.7.26	Ⅱ	横積	無	
					B0171	33												
175	B-836-017	421	S58.6.23	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0171	106	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	8.9E+00 -	60/80	64 : 36	-	1.28	-	S58.7.26	Ⅱ	横積	無	
					B0172	33												
176	B-830-018	409	S58.10.5	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0172	90	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.1E+01 -	60/80	65.6 : 34.4	-	1.26	-	S58.12.16	Ⅱ	横積	無	
					B0173	45												
177	B-830-019	411	S58.10.12	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0173	89	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	7.1E+00 -	60/80	61.2 : 38.8	-	1.29	-	S58.12.16	Ⅱ	横積	無	
					B0174	46												
178	B-830-020	409	S58.10.19	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0174	92	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	6.4E+00 -	60/80	62.8 : 37.2	-	1.26	-	S58.12.16	Ⅱ	横積	無	
					B0175	38												
179	B-830-021	407	S58.10.31	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0175	95	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	5.3E+00 -	60/80	66.5 : 33.5	-	1.25	-	S58.12.16	Ⅱ	横積	無	
					B0176	32												
180	B-83X-022	407	S58.11.10	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0176	84	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.4E+00 -	60/80	71.2 : 28.8	-	1.25	-	S58.12.16	Ⅱ	横積	無	
					B0177	44												
181	B-83X-023	416	S58.11.21	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0177	75	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.5E+00 -	60/80	70.2 : 29.8	-	1.27	-	S58.12.16	Ⅱ	横積	無	
					B0178	51												
182	B-83X-024	406	S58.11.29	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0178	72	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.8E+00 -	60/80	68.6 : 31.4	-	1.23	-	S58.12.16	Ⅱ	横積	無	
					B0179	52												
183	B-83Z-025	407	S58.12.5	中レベル受入スラッジ 化学処理スラッジ 濃縮液	B0179	71	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	3.9E+00 -	60/80	70.7 : 29.3	-	1.20	-	S58.12.16	Ⅱ	横積	有	
					B0180	52												
184	B-83Z-026	404	S58.12.8	濃縮液	B0180	69	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	3.2E+00 -	60/80	71.9 : 28.1	-	1.20	-	S58.12.16	Ⅱ	横積	有	
					B0181	55												
185	B-841-001	406	S59.1.10	蒸発缶濃縮液	B0181	61	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.8E+00 -	60/80	68.6 : 31.4	-	1.21	-	S59.3.12	Ⅱ	横積	有	
					B0182	61												
186	B-841-002	413	S59.1.12	蒸発缶濃縮液	B0182	57	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	3.0E+00 -	60/80	65.5 : 34.5	-	1.21	-	S59.3.12	Ⅱ	横積	有	
					B0183	73												
187	B-841-003	400	S59.1.12	蒸発缶濃縮液	B0182	12	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	2.2E+00 -	60/80	66.3 : 33.7	-	1.20	-	S59.3.12	Ⅱ	横積	有	
					B0183	80												

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (7/18)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1：ストレートアスファルト 60/80，40/60
 *2：ストレートアスファルト 60/80，80/100
 *3：ストレートアスファルト 60/80，40/60，80/100
 *4：ストレートアスファルト 40/60，80/100
 混合比・・・B：ビチューメン、S：固形物（ケイウ土含む）
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・Ⅱ：固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ：固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ：固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)

■：原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射能 (mCi)	(Bq)	アスファルト 種類	混合比 B:S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
188	B-841-004	414	S59.1.18	蒸発缶濃縮液	B0184	128	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	3.1E+00	-	*1	64.9 : 35.1	-	1.20	-	S59.3.12	Ⅱ	横積	有	上蓋の腐食が激しいドラム缶 固体集積保管場Ⅱからβ・γ固体処理棟Ⅰ に運搬し開缶
189	B-841-005	418	S59.1.26	蒸発缶濃縮液	B0185 B0186	57 72	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	3.0E+00	-	60/80	64.2 : 35.8	-	1.20	-	S59.3.12	Ⅱ	横積	有	
190	B-841-006	415	S59.1.31	蒸発缶濃縮液	B0185 B0187	76 52													
191	B-842-007	402	S59.2.2	蒸発缶濃縮液	B0186 B0188	65 75	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	3.1E+00	-	60/80	63.6 : 36.4	-	1.20	-	S59.3.12	Ⅱ	横積	有	
192	B-842-008	415	S59.2.7	蒸発缶濃縮液	B0187 B0189	84 52													
193	B-842-009	410	S59.2.9	蒸発缶濃縮液	B0188 B0190	58 80	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.1E+00	-	60/80	60.3 : 39.7	-	1.26	-	S59.3.12	Ⅱ	横積	無	
194	B-842-010	409	S59.2.14	蒸発缶濃縮液	B0189 B0191	84 52													
195	B-842-011	414	S59.2.21	蒸発缶濃縮液	B0190 B0192	65 75	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	5.0E+00	-	60/80	54.8 : 45.2	-	1.30	-	S59.3.12	Ⅱ	横積	有	
196	B-842-012	408	S59.2.23	蒸発缶濃縮液	B0191 B0193	79 55													
197	B-842-013	405	S59.2.28	蒸発缶濃縮液	B0192 B0194	91 63	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	5.7E+00	-	60/80	51.9 : 48.1	-	1.31	-	S59.3.12	Ⅱ	横積	有	
198	B-843-014	413	S59.3.1	蒸発缶濃縮液	B0193 B0195	99 30													
199	B-843-015	412	S59.3.1	蒸発缶濃縮液 中レ受入スラッジ	B0194 B0195	107 34	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.5E+00	-	60/80	56.5 : 43.5	-	1.32	-	S59.3.12	Ⅱ	横積	無	
200	B-846-016	430	S59.6.7	低レ、中レ受入スラッジ	B0195 B0198	53 58													
201	B-849-017	410	S59.9.19	低レ、中レ受入スラッジ 化学処理スラッジ	B0198 B0199	78 46	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	4.2E+00	-	60/80	63.1 : 36.9	-	1.26	-	S59.12.24	Ⅱ	横積	無	
202	B-840-018	412	S59.10.2	スラッジ	B0199 B0200	87 44													
203	B-840-019	414	S59.10.9	スラッジ	B0200 B0201	103 32	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	1.2E+01	-	60/80	58.2 : 41.8	-	1.32	-	S59.12.24	Ⅱ	横積	無	
204	B-840-020	414	S59.10.15	スラッジ	B0201 B0202	117 23													
205	B-855-001	408	S59.10.15 S60.4.8	スラッジ	B0202 B0203	103 28	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ Mn	6.2E+00	-	60/80	-	32.7	1.23	S60.5.13	S60.5.17	Ⅱ	横積	無	
206	B-855-002	413	S60.4.8 S60.4.15	スラッジ	B0203 B0204	103 36													
207	B-855-003	408	S60.4.15 S60.4.18	スラッジ	B0204 B0205	97 40	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ Mn	4.2E+00	-	60/80	-	33.5	1.28	S60.5.13	S60.5.17	Ⅱ	横積	無	
208	B-855-004	401	S60.4.18 S60.4.23	スラッジ	B0205 B0206	104 43													
209	B-855-005	417	S60.4.23 S60.4.30	スラッジ	B0206 B0207	78 60	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ Mn	5.5E+00	-	60/80	-	35.0	1.27	S60.5.13	S60.5.17	Ⅱ	横積	無	
210	B-855-006	418	S60.4.30 S60.5.7	スラッジ	B0207 B0208	73 67													
211	B-855-007	409	S60.5.7 S60.5.9	スラッジ	B0208 B0209	68 69	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ Mn	5.4E+00	-	60/80	-	33.1	1.25	S60.5.13	S60.5.17	Ⅱ	横積	無	
212	B-857-008	403	S60.5.9 S60.5.21	スラッジ 濃縮液	B0209 B0210	43 84													
213	B-857-009	422	S60.5.21 S60.5.23	濃縮液	B0210 B0211	44 77	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs, ²² Na, ⁵⁴ Mn	3.7E+00	-	60/80	-	36.1	1.21	S60.7.5	S60.7.9	Ⅱ	横積	無	
214	B-857-010	417	S60.5.23 S60.5.28	濃縮液	B0211 B0212	51 76													
215	B-857-011	420	S60.5.28 S60.5.30	濃縮液	B0212 B0213	52 70	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs, ²² Na, ⁵⁴ Mn	1.9E+00	-	60/80	-	38.2	1.22	S60.7.5	S60.7.9	Ⅱ	横積	無	
216	B-857-012	421	S60.5.30 S60.6.4	濃縮液	B0213 B0214	62 61													

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (8/18)

■ : 原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】 アスファルト種類・・・*1：ストレートアスファルト 60/80， 40/60 *2：ストレートアスファルト 60/80， 80/100 *3：ストレートアスファルト 60/80， 40/60， 80/100 *4：ストレートアスファルト 40/60， 80/100 混合比・・・B：ビチューメン、 S：固形物 (ケイウ土含む) ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。	保管場所・・・II：固体集積保管場II III：固体集積保管場III IV：固体集積保管場IV 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日 (青太字は、当初Iに集積し、その後IIに移管したもの)
---	---

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射線量		アスファルト 種類	混合比 B：S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
								(mCi)	(Bq)										
217	B-857-013	417	S60.6.4	濃縮液	B0214	63	60Co, 137Cs, 134Cs, 22Na, 54Mn	2.0E+00	-	60/80	-	37.8	1.22	S60.7.5	S60.7.9	II	横積	無	
			B0215		69														
218	B-857-014	417	S60.6.6	濃縮液	B0215	68	60Co, 137Cs, 134Cs, 22Na, 54Mn	1.8E+00	-	60/80	-	39.0	1.21	S60.7.5	S60.7.9	II	横積	有	
			B0216		59														
219	B-857-015	413	S60.6.11	濃縮液	B0216	69	60Co, 137Cs, 134Cs, 22Na, 54Mn	1.6E+00	-	60/80	-	35.4	1.22	S60.7.5	S60.7.9	II	横積	無	
			B0217		54														
220	B-857-016	414	S60.6.13	濃縮液	B0217	68	60Co, 137Cs, 134Cs, 22Na, 54Mn	1.5E+00	-	60/80	-	31.8	1.21	S60.7.5	S60.7.9	II	横積	無	
			B0218		44														
221	B-857-017	416	S60.6.18	濃縮液	B0218	72	60Co, 137Cs, 134Cs, 22Na, 54Mn	1.8E+00	-	60/80	-	31.0	1.20	S60.7.5	S60.7.9	II	横積	有	
			B0219		52														
222	B-857-018	402	S60.6.20	濃縮液	B0219	71	60Co, 137Cs, 134Cs, 22Na, 54Mn	1.6E+00	-	60/80	-	28.3	1.20	S60.7.5	S60.7.9	II	横積	有	
			B0220		52														
223	B-85O-019	418	S60.6.25	濃縮液	B0220	55	60Co, 137Cs, 134Cs, 22Na, 54Mn	1.2E+00	-	60/80	-	25.8	1.22	S60.10.25	S60.10.28	II	横積	無	
			B0221		57														
224	B-85O-020	413	S60.10.8	スラッジ	B0221	58	60Co, 137Cs, 54Mn	7.1E+00	-	60/80	-	38.9	1.31	S60.10.25	S60.10.28	II	横積	無	
			B0222		81														
225	B-85O-021	414	S60.10.16	スラッジ	B0222	71	60Co, 137Cs, 54Mn	6.5E+00	-	60/80	-	41.2	1.31	S60.10.25	S60.10.28	II	横積	無	
			B0223		76														
226	B-85O-022	422	S60.10.21	スラッジ	B0223	55	60Co, 137Cs, 134Cs, 54Mn	1.4E+00	-	60/80	-	40.8	1.30	S60.10.25	S60.10.28	II	横積	無	
			B0224		73														
227	B-85Z-023	419	S60.10.23	スラッジ	B0224	75	60Co, 137Cs, 134Cs, 54Mn	1.4E+00	-	60/80	-	42.6	1.33	S60.12.20	S60.12.23	II	横積	無	
			B0225		66														
228	B-85Z-024	420	S60.12.5	スラッジ	B0225	74	60Co, 137Cs, 134Cs, 54Mn	1.1E+00	-	60/80	-	38.4	1.29	S60.12.20	S60.12.23	II	横積	無	
			B0226		61														
229	B-85Z-025	414	S60.12.9	スラッジ	B0226	63	60Co, 137Cs, 134Cs, 54Mn	4.1E+00	-	60/80	-	38.2	1.31	S60.12.20	S60.12.23	II	横積	無	
			B0227		70														
230	B-85Z-026	422	S60.12.12	スラッジ	B0227	68	60Co, 137Cs, 134Cs, 144Ce, 54Mn	5.4E+00	-	60/80	-	42.9	1.37	S60.12.20	S60.12.23	II	横積	無	
			B0228		68														
231	B-863-001	427	S60.12.17	濃縮液	B0228	76	60Co, 137Cs, 134Cs, 58Co, 54Mn	6.1E+00	-	60/80	-	41.1	1.29	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	無	
			B0229		54														
232	B-863-002	419	S61.1.21	濃縮液	B0229	76	60Co, 137Cs, 134Cs, 58Co, 54Mn	9.8E+00	-	60/80	-	38.2	1.20	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	
			B0230		62														
233	B-863-003	419	S61.1.23	濃縮液	B0230	70	60Co, 137Cs, 134Cs, 58Co, 54Mn	7.2E+00	-	60/80	-	38.3	1.29	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	
			B0231		63														
234	B-863-004	422	S61.1.28	濃縮液	B0231	74	60Co, 137Cs, 58Co, 22Na, 54Mn	5.0E+00	-	60/80	-	37.7	1.31	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	無	
			B0232		47														
235	B-863-005	419	S61.1.30	濃縮液	B0232	84	60Co, 137Cs, 58Co, 22Na, 54Mn	5.2E+00	-	60/80	-	37.8	1.20	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	
			B0233		41														
236	B-863-006	416	S61.2.4	濃縮液	B0233	87	60Co, 137Cs, 58Co, 22Na, 54Mn	4.7E+00	-	60/80	-	36.5	1.20	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	無	
			B0234		37														
237	B-863-007	411	S61.2.13	濃縮液	B0234	87	60Co, 137Cs, 58Co, 22Na, 54Mn	4.2E+00	-	60/80	-	30.8	1.20	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	
			B0235		35														
238	B-863-008	418	S61.2.18	濃縮液	B0235	65	60Co, 137Cs, 58Co, 22Na, 54Mn	3.7E+00	-	60/80	-	29.3	1.22	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	
			B0236		51														
239	B-863-009	416	S61.2.20	濃縮液	B0236	83	60Co, 137Cs, 58Co, 22Na, 54Mn	3.9E+00	-	60/80	-	39.5	1.24	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	
			B0237		48														
240	B-863-010	409	S61.2.24	濃縮液	B0237	82	60Co, 137Cs, 58Co, 22Na, 54Mn	4.7E+00	-	60/80	-	35.7	1.22	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	
			B0238		52														
241	B-863-011	406	S61.2.26	濃縮液	B0238	70	60Co, 137Cs, 58Co, 22Na, 54Mn	5.1E+00	-	60/80	-	33.3	1.20	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	
			B0239		62														
242	B-863-012	421	S61.3.3	濃縮液	B0239	58	60Co, 137Cs, 58Co, 22Na, 54Mn	5.6E+00	-	60/80	-	36.9	1.22	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	固体集積保管場IIからβ・γ固体処理棟Iに運搬し開缶
			B0240		73														
243	B-863-013	427	S61.3.5	濃縮液	B0240	60	60Co, 137Cs, 58Co, 22Na, 54Mn	4.9E+00	-	60/80	-	37.7	1.21	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	
			B0241		59														
244	B-863-014	415	S61.3.11	濃縮液	B0241	67	60Co, 137Cs, 134Cs, 22Na, 54Mn	5.3E+00	-	60/80	-	34.7	1.21	S61.3.28	S61.3.31	II	横積	有	
			B0242		60														
245	B-866-015	408	S61.3.18	濃縮液	B0242	64	60Co, 137Cs, 134Cs, 22Na, 54Mn	7.0E+00	-	60/80	-	37.0	1.28	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	有	固体集積保管場IIからβ・γ固体処理棟Iに運搬し開缶
			B0243		69														

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (9/18)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1：ストレートアスファルト 60/80， 40/60
 *2：ストレートアスファルト 60/80， 80/100
 *3：ストレートアスファルト 60/80， 40/60， 80/100
 *4：ストレートアスファルト 40/60， 80/100
 保管場所・・・II：固体集積保管場II
 III：固体集積保管場III
 IV：固体集積保管場IV
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Iに集積し、その後IIに移管したもの)
 混合比・・・B：ビチューメン、S：固形物(ケイウ土含む)
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

■：原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射能量 (mCi)	(Bq)	アスファルト 種類	混合比 B:S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
246	B-866-016	419	S61.4.14	濃縮液	B0243	65	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	8.3E+00	-	60/80	-	42.7	1.34	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	有	
			B0244		71														
247	B-866-017	423	S61.4.22	濃縮液	B0244	75	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	7.5E+00	-	60/80	-	41.3	1.34	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	有	
			B0245		53														
248	B-866-018	423	S61.4.30	濃縮液	B0245	72	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	5.6E+00	-	60/80	-	38.1	1.37	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	有	
			B0246		56														
249	B-866-019	430	S61.5.8	スラッジ	B0246	81	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{54}Mn	3.6E+00	-	60/80	-	41.0	1.38	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	無	
			B0247		45														
250	B-866-020	424	S61.5.14	スラッジ	B0247	91	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{54}Mn	4.6E+00	-	60/80	-	42.2	1.36	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	無	
			B0248		47														
251	B-866-021	422	S61.5.20	スラッジ	B0248	97	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn	5.5E+00	-	60/80	-	44.5	1.40	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	無	
			B0249		47														
252	B-866-022	424	S61.5.22	スラッジ	B0249	96	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn	4.3E+00	-	60/80	-	44.2	1.38	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	無	
			B0250		46														
253	B-866-023	421	S61.5.29	スラッジ	B0250	100	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn	5.9E+00	-	60/80	-	43.4	1.38	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	無	
			B0251		47														
254	B-866-024	415	S61.6.5	スラッジ	B0251	86	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn	7.9E+00	-	60/80	-	39.0	1.33	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	無	
			B0252		49														
255	B-866-025	417	S61.6.10	スラッジ	B0252	79	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn	5.2E+00	-	60/80	-	38.5	1.30	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	無	
			B0253		59														
256	B-866-026	423	S61.6.12	スラッジ	B0253	75	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn	6.1E+00	-	60/80	-	42.8	1.30	S61.6.23	S61.6.26	II	横積	無	
			B0254		63														
257	B-860-027	426	S61.6.18	スラッジ	B0254	86	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	1.3E+01	-	60/80	-	45.8	1.27	S61.12.5	S61.12.17	II	横積	無	
			B0255		52														
258	B-860-028	417	S61.10.21	スラッジ	B0255	93	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	2.0E+01	-	60/80	-	43.7	1.25	S61.12.5	S61.12.17	II	横積	無	
			B0256		44														
259	B-86X-029	413	S61.10.27	スラッジ	B0256	94	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	5.8E+00	-	60/80	-	42.1	1.35	S61.12.5	S61.12.17	II	横積	無	
			B0257		48														
260	B-86X-030	410	S61.11.4	濃縮液	B0257	94	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.7E+00	-	60/80	-	44.4	1.26	S61.12.5	S61.12.17	II	横積	無	
			B0258		48														
261	B-86X-031	408	S61.11.18	濃縮液	B0258	100	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.9E+00	-	60/80	-	44.2	1.21	S61.12.5	S61.12.17	II	横積	有	
			B0259		45														
262	B-86X-032	406	S61.11.25	濃縮液	B0259	89	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.3E+00	-	60/80	-	37.4	1.23	S61.12.5	S61.12.17	II	横積	無	
			B0260		45														
263	B-86Z-033	412	S61.11.27	濃縮液	B0260	72	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.1E+00	-	60/80	-	37.9	1.23	S61.12.5	S61.12.17	II	横積	有	
			B0261		65														
264	B-871-001	424	S61.12.2	濃縮液	B0261	80	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	4.9E+00	-	60/80	-	43.6	1.26	S62.3.16	S62.3.20	II	横積	無	
			B0262		47														
265	B-871-002	423	S62.1.9	濃縮液	B0262	90	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	1.0E+01	-	60/80	-	41.4	1.28	S62.3.16	S62.3.20	II	横積	有	
			B0263		41														
266	B-871-003	421	S62.1.16	濃縮液	B0263	98	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	1.1E+01	-	60/80	-	40.1	1.31	S62.3.16	S62.3.20	II	横積	無	
			B0264		36														
267	B-872-004	420	S62.1.22	スラッジ	B0264	97	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	1.0E+01	-	60/80	-	36.7	1.31	S62.3.16	S62.3.20	II	横積	無	
			B0265		32														
268	B-872-005	420	S62.2.5	スラッジ	B0265	92	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	7.5E+00	-	60/80	-	34.5	1.30	S62.3.16	S62.3.20	II	横積	有	
			B0266		37														
269	B-872-006	416	S62.2.10	スラッジ	B0266	93	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{144}Ce , ^{144}Pr	3.8E+00	-	60/80	-	35.1	1.21	S62.3.16	S62.3.20	II	横積	有	固体集積保管場IIからβ・γ固体処理棟Iに運搬し開缶
			B0267		37														
270	B-872-007	415	S62.2.17	スラッジ	B0267	86	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{144}Ce , ^{144}Pr	4.1E+00	-	60/80	-	33.5	1.22	S62.3.16	S62.3.20	II	横積	有	固体集積保管場IIからβ・γ固体処理棟Iに運搬し開缶
			B0268		46														
271	B-872-008	416	S62.2.23	濃縮液	B0268	84	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	3.0E+00	-	60/80	-	36.5	1.27	S62.3.16	S62.3.20	II	横積	有	固体集積保管場IIからβ・γ固体処理棟Iに運搬し開缶
			B0269		48														
272	B-873-009	425	S62.2.27	スラッジ	B0269	87	^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	3.9E+00	-	60/80	-	40.2	1.32	S62.3.16	S62.3.20	II	横積	無	
			B0270		44														
273	B-873-010	425	S62.3.10	スラッジ	B0270	98	^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	6.3E+00	-	60/80	-	41.4	1.39	S62.3.16	S62.3.20	II	横積	無	
			B0271		38														
274	B-874-011	418	S62.3.12	スラッジ	B0271	89	^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	4.7E+00	-	60/80	-	37.5	1.29	S62.6.29	S62.7.3	II	横積	無	
			B0272		47														

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (10/18)

■ : 原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1：ストレートアスファルト 60/80， 40/60
 *2：ストレートアスファルト 60/80， 80/100
 *3：ストレートアスファルト 60/80， 40/60， 80/100
 *4：ストレートアスファルト 40/60， 80/100
 混合比・・・B：ビチューメン、 S：固形物（ケイウ土含む）
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・Ⅱ：固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ：固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ：固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射能 (mCi) (Bq)	アスファルト 種類	混合比 B:S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考	
275	B-874-012	402	S62.4.6	濃縮液	B0272	91	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.4E+00	-	60/80	-	39.3	1.20	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	有	
			B0273		43														
276	B-874-013	400	S62.4.10	濃縮液	B0273	83	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.5E+00	-	60/80	-	33.8	1.21	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	有	
			B0274		51														
277	B-874-014	400	S62.4.15	スラッジ	B0274	68	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	4.3E+00	-	60/80	-	34.4	1.27	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	無	
			B0275		64														
278	B-874-015	411	S62.4.21	スラッジ	B0275	66	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{54}Mn	7.4E+00	-	60/80	-	37.6	1.33	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	無	
			B0276		58														
279	B-875-016	407	S62.4.28	スラッジ	B0276	72	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{54}Mn	7.6E+00	-	60/80	-	39.1	1.37	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	無	
			B0277		66														
280	B-876-017	407	S62.5.12	スラッジ	B0277	67	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	3.8E+00	-	60/80	-	36.6	1.34	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	無	固体集積保管場Ⅱからβ・γ固体処理棟Ⅰに運搬し開缶
			B0278		65														
281	B-876-018	410	S62.6.5	濃縮液	B0278	55	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.7E+00	-	60/80	-	32.1	1.26	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	有	
			B0279		80														
282	B-876-019	407	S62.6.10	濃縮液	B0279	35	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.3E+00	-	60/80	-	33.4	1.21	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	有	
			B0280		91														
283	B-876-020	409	S62.6.16	濃縮液	B0280	29	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.3E+00	-	60/80	-	30.6	1.20	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	有	
			B0281		94														
284	B-876-021	410	S62.6.18	濃縮液	B0281	18	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.0E+00	-	60/80	-	29.2	1.20	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	有	
			B0282		99														
285	B-876-022	412	S62.6.23	濃縮液	B0282	14	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.1E+00	-	60/80	-	30.3	1.20	S62.6.29	S62.7.3	Ⅱ	横積	有	
			B0283		106														
286	B-87X-023	418	S62.6.25	濃縮液	B0283	9	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	1.8E+00	-	60/80	-	29.3	1.20	S62.12.17	S62.12.24	Ⅱ	横積	無	
			B0284		96														
287	B-87X-024	415	S62.11.5	濃縮液	B0284	17	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	2.1E+00	-	60/80	-	26.6	1.23	S62.12.17	S62.12.24	Ⅱ	横積	無	
			B0285		102														
288	B-87X-025	416	S62.11.18	スラッジ	B0285	5	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	2.8E+00	-	60/80	-	26.6	1.20	S62.12.17	S62.12.24	Ⅱ	横積	無	
			B0286		109														
289	B-87Z-026	438	S62.12.2	スラッジ	B0287	86	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	3.8E+00	-	60/80	-	36.5	1.28	S62.12.17	S62.12.24	Ⅱ	横積	無	
290	B-881-001	421	S62.12.2	スラッジ	B0287	40	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	5.2E+00	-	60/80	-	39.1	1.31	S63.3.18	S63.3.23	Ⅱ	横積	無	
			B0288		90														
291	B-881-002	413	S63.1.13	スラッジ	B0288	44	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	3.2E+00	-	60/80	-	33.9	1.25	S63.3.18	S63.3.23	Ⅱ	横積	無	
			B0289		86														
292	B-881-003	403	S63.1.19	無機廃液	B0289	28	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	1.2E+00	-	60/80	-	28.0	1.22	S63.3.18	S63.3.23	Ⅱ	横積	有	
			B0290		98														
293	B-882-004	420	S63.1.26	無機廃液	B0290	12	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	2.1E+00	-	60/80	-	30.6	1.27	S63.3.18	S63.3.23	Ⅱ	横積	無	
			B0291		100														
294	B-882-005	410	S63.2.4	濃縮液	B0291	16	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	2.3E+00	-	60/80	-	34.7	1.28	S63.3.18	S63.3.23	Ⅱ	横積	無	
			B0292		102														
295	B-883-006	409	S63.2.17	濃縮液	B0292	20	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	2.3E+00	-	60/80	-	33.2	1.27	S63.3.18	S63.3.23	Ⅱ	横積	無	
			B0293		99														
296	B-883-007	414	S63.3.4	スラッジ	B0293	20	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	5.0E+00	-	60/80	-	37.0	1.31	S63.3.18	S63.3.23	Ⅱ	横積	無	
			B0294		112														
297	B-884-008	398	S63.3.10	無機廃液	B0294	15	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	3.4E+00	-	60/80	-	31.3	1.21	S63.5.11	S63.5.18	Ⅱ	横積	無	
			B0295		110														
298	B-884-009	410	S63.4.7	無機廃液	B0295	5	^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{54}Mn	2.2E+00	-	60/80	-	33.7	1.25	S63.5.11	S63.5.18	Ⅱ	横積	無	
			B0296		119														
299	B-884-010	416	S63.4.13	スラッジ	B0296	5	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	2.7E+00	-	60/80	-	34.9	1.22	S63.5.11	S63.5.18	Ⅱ	横積	無	
			B0297		111														
300	B-884-011	406	S63.4.19	濃縮液	B0297	12	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	3.2E+00	-	60/80	-	33.5	1.26	S63.5.11	S63.5.18	Ⅱ	横積	無	
			B0298		113														
301	B-884-012	416	S63.4.22	スラッジ	B0298	7	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	3.1E+00	-	60/80	-	39.3	1.30	S63.5.11	S63.5.18	Ⅱ	横積	無	
			B0299		115														
302	B-889-013	405	S63.4.27	スラッジ	B0299	16	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	2.4E+00	-	60/80	-	33.7	1.30	S63.9.22	S63.9.27	Ⅱ	横積	無	
			B0300		102														
303	B-889-014	422	S63.9.1	スラッジ	B0300	17	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	4.2E+00	-	60/80	-	36.8	1.33	S63.9.22	S63.9.27	Ⅱ	横積	無	
			B0301		105														

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (11/18)

■ : 原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1: ストレートアスファルト 60/80, 40/60
 *2: ストレートアスファルト 60/80, 80/100
 *3: ストレートアスファルト 60/80, 40/60, 80/100
 *4: ストレートアスファルト 40/60, 80/100
 混合比・・・B: ビチューメン、S: 固形物 (ケイウ土含む)
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・Ⅱ: 固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ: 固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ: 固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射能 (mCi) (Bq)	アスファルト 種類	混合比 B : S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考	
304	B-889-015	430	S63.9.7	スラッジ	B0301	23	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	4.7E+00	-	60/80	-	37.5	1.32	S63.9.22	S63.9.27	Ⅱ	横積	無	
			B0302		90														
305	B-889-016	420	S63.9.13	無機廃液 スラッジ	B0302	38	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}$	1.6E+00	-	60/80	-	34.7	1.28	S63.9.22	S63.9.27	Ⅱ	横積	無	
			B0303		81														
306	B-880-017	425	S63.9.2	無機廃液 スラッジ 濃縮液	B0303	39	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}$	2.0E+00	-	60/80	-	35.9	1.31	S63.12.16	S63.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0304		86														
307	B-880-018	411	S63.10.6	スラッジ 濃縮液	B0304	41	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}$	3.0E+00	-	60/80	-	35.6	1.28	S63.12.16	S63.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0305		92														
308	B-880-019	420	S63.10.17	スラッジ 濃縮液	B0305	31	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}$	2.7E+00	-	60/80	-	39.6	1.33	S63.12.16	S63.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0306		93														
309	B-880-020	422	S63.10.24	無機廃液 スラッジ 濃縮液	B0306	43	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}$	2.8E+00	-	60/80	-	40.3	1.36	S63.12.16	S63.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0307		82														
310	B-88X-021	415	S63.10.31	無機廃液 スラッジ 濃縮液	B0307	51	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}$	2.2E+00	-	60/80	-	40.1	1.37	S63.12.16	S63.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0308		76														
311	B-88X-022	410	S63.11.9	スラッジ 濃縮液	B0308	58	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	2.2E+00	-	60/80	-	39.5	1.31	S63.12.16	S63.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0309		74														
312	B-88Z-023	413	S63.11.15	スラッジ 濃縮液	B0309	57	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	2.4E+00	-	60/80	-	38.7	1.27	S63.12.16	S63.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0310		72														
313	B-891-001	405	H1.1.24	スラッジ 濃縮液	B0311	70	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}$	7.5E-01	-	60/80	-	27.9	1.29	H1.3.24	H1.3.29	Ⅱ	横積	無	
			B0311		41														
314	B-892-002	408	H1.1.24	スラッジ 濃縮液	B0311	41	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}$	1.2E+00	-	60/80	-	31.5	1.24	H1.3.24	H1.3.29	Ⅱ	横積	無	
			B0312		83														
315	B-892-003	414	H1.2.3	スラッジ 濃縮液	B0312	37	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	7.8E-01	-	60/80	-	34.5	1.26	H1.3.24	H1.3.29	Ⅱ	横積	有	
			B0313		90														
316	B-892-004	412	H1.2.10	濃縮液	B0313	33	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	8.2E-01	-	60/80	-	35.7	1.29	H1.3.24	H1.3.29	Ⅱ	横積	有	
			B0314		95														
317	B-893-005	418	H1.2.17	濃縮液	B0314	30	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	7.9E-01	-	60/80	-	33.6	1.24	H1.3.24	H1.3.29	Ⅱ	横積	有	
			B0315		90														
318	B-893-006	431	H1.3.7	スラッジ 濃縮液	B0315	29	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}$	1.4E+01	-	60/80	-	39.3	1.30	H1.3.24	H1.3.29	Ⅱ	横積	無	固体集積保管場Ⅱから6・γ固体処理棟Ⅰに運搬し開缶
			B0316		81														
319	B-893-007	410	H1.3.14	スラッジ 濃縮液	B0316	56	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}$	9.9E+00	-	60/80	-	40.6	1.31	H1.3.24	H1.3.29	Ⅱ	横積	無	
			B0317		68														
320	B-894-008	422	H1.3.22	スラッジ 濃縮液	B0317	65	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	3.6E+07	60/80	-	39.4	1.33	H1.6.23	H1.6.27	Ⅱ	横積	無	
			B0318		58														
321	B-894-009	429	H1.4.13	スラッジ 濃縮液	B0318	73	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	8.4E+07	60/80	-	41.2	1.39	H1.6.23	H1.6.27	Ⅱ	横積	無	
			B0319		52														
322	B-894-010	420	H1.4.20	スラッジ 濃縮液	B0319	92	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	9.7E+07	60/80	-	42.4	1.39	H1.6.23	H1.6.27	Ⅱ	横積	無	
			B0320		53														
323	B-896-011	422	H1.4.26	スラッジ 濃縮液	B0320	78	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{134}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	6.2E+07	60/80	-	39.8	1.35	H1.6.23	H1.6.27	Ⅱ	横積	無	
			B0321		46														
324	B-896-012	423	H1.6.6	スラッジ 濃縮液	B0321	90	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	4.5E+07	60/80	-	41.6	1.41	H1.6.23	H1.6.27	Ⅱ	横積	無	
			B0322		33														
325	B-896-013	419	H1.6.20	スラッジ 濃縮液	B0322	32	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	5.0E+07	60/80	-	42.7	1.38	H1.6.23	H1.6.27	Ⅱ	横積	無	
			B0322		107														
326	B-896-014	432	H1.6.20	スラッジ 濃縮液	B0323	106	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	3.7E+07	60/80	-	42.0	1.34	H1.6.23	H1.6.27	Ⅱ	横積	無	
			B0323		82														
327	B-890-015	452	H1.10.16	スラッジ 濃縮液	B0324	28	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	-	1.6E+07	60/80	-	27.3	1.23	H1.12.18	H1.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0324		77														
328	B-89X-016	408	H1.11.14	スラッジ 濃縮液	B0324	28	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	-	5.4E+07	60/80	-	34.0	1.29	H1.12.18	H1.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0325		77														
329	B-89Z-017	426	H1.11.14	スラッジ 濃縮液	B0325	49	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}$	-	5.8E+07	60/80	-	36.2	1.32	H1.12.18	H1.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0326		52														
330	B-89Z-018	417	H1.12.6	スラッジ 濃縮液	B0326	73	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}, ^{22}\text{Na}$	-	6.2E+07	60/80	-	34.9	1.29	H1.12.18	H1.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0327		61														
331	B-89Z-019	410	H1.12.11	無機廃液 スラッジ 濃縮液	B0327	67	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	5.1E+07	60/80	-	35.2	1.29	H1.12.18	H1.12.22	Ⅱ	横積	無	
			B0328		63														

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (12/18)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1：ストレートアスファルト 60/80， 40/60
 *2：ストレートアスファルト 60/80， 80/100
 *3：ストレートアスファルト 60/80， 40/60， 80/100
 *4：ストレートアスファルト 40/60， 80/100
 混合比・・・B：ビチューメン、 S：固形物（ケイウ土含む）
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。
 保管場所・・・Ⅱ：固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ：固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ：固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)

■：原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核 種	全放射能量 (mCi)	(Bq)	アスファルト 種類	混合比 B：S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
332	B-901-001	429	H1.12.14	無機廃液 スラッジ 濃縮液	B0328	70	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn , ^{22}Na	-	4.4E+07	60/80	-	36.5	1.35	H2.3.19	H2.3.23	Ⅲ	横積	無	
			H2.1.16		B0329	50													
333	B-901-002	428	H2.1.16	スラッジ 濃縮液	B0329	75	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn , ^{22}Na	-	5.1E+07	60/80	-	36.3	1.38	H2.3.19	H2.3.23	Ⅲ	横積	有	
			H2.1.26		B0330	50													
334	B-902-003	426	H2.1.26	スラッジ 濃縮液	B0330	78	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	5.0E+07	60/80	-	35.2	1.36	H2.3.19	H2.3.23	Ⅲ	横積	有	
			H2.2.5		B0331	45													
335	B-902-004	420	H2.2.5	スラッジ 濃縮液	B0331	75	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	3.2E+07	60/80	-	34.3	1.33	H2.3.19	H2.3.23	Ⅲ	横積	有	
			H2.2.14		B0332	52													
336	B-903-005	423	H2.2.14	スラッジ 濃縮液	B0332	78	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	4.4E+07	60/80	-	36.9	1.37	H2.3.19	H2.3.23	Ⅲ	横積	無	
			H2.3.1		B0333	57													
337	B-903-006	429	H2.3.1	スラッジ 濃縮液	B0333	73	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	4.2E+07	60/80	-	36.9	1.37	H2.3.19	H2.3.23	Ⅲ	横積	無	
			H2.3.12		B0334	55													
338	B-904-007	422	H2.3.12	スラッジ 濃縮液	B0334	75	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	5.0E+07	60/80	-	36.2	1.31	H2.5.25	H2.5.29	Ⅱ	横積	無	
			H2.4.6		B0335	57													
339	B-904-008	425	H2.4.6	スラッジ 濃縮液	B0335	71	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	-	7.2E+07	60/80	-	35.5	1.32	H2.5.25	H2.5.29	Ⅱ	横積	無	
			H2.4.17		B0336	62													
340	B-904-009	434	H2.4.17	スラッジ 濃縮液	B0336	69	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{22}Na	-	5.8E+07	60/80	-	38.2	1.38	H2.5.25	H2.5.29	Ⅲ	横積	無	
			H2.4.25		B0337	47													
341	B-905-010	424	H2.4.25	スラッジ 濃縮液	B0337	92	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr , ^{22}Na	-	5.9E+07	60/80	-	40.1	1.41	H2.5.25	H2.5.29	Ⅱ	横積	無	
			H2.5.14		B0338	48													
342	B-905-011	427	H2.5.14	スラッジ 濃縮液	B0338	85	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	2.0E+08	60/80	-	36.1	1.36	H2.5.25	H2.5.29	Ⅲ	横積	有	
			H2.5.23		B0339	50													
343	B-909-012	428	H2.5.23	スラッジ 濃縮液	B0339	79	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr	-	2.7E+08	60/80	-	37.0	1.33	H2.9.12	H2.9.17	Ⅲ	横積	無	
			H2.9.7		B0340	57													
344	B-900-013	418	H2.9.7	スラッジ 濃縮液	B0340	76	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{144}Ce , ^{144}Pr	-	3.1E+07	60/80	-	40.0	1.38	H2.12.20	H2.12.25	Ⅲ	横積	有	
			H2.10.19		B0341	54													
345	B-90Z-014	420	H2.10.19	スラッジ 濃縮液	B0341	80	^{60}Co , ^{137}Cs	-	2.3E+07	60/80	-	40.0	1.35	H2.12.20	H2.12.25	Ⅲ	横積	無	
			H2.12.5		B0342	47													
346	B-90Z-015	424	H2.12.5	スラッジ 濃縮液	B0342	85	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	1.5E+07	60/80	-	39.2	1.35	H2.12.20	H2.12.25	Ⅲ	横積	無	
			H2.12.11		B0343	44													
347	B-90Z-016	417	H2.12.11	スラッジ 濃縮液	B0343	87	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	2.4E+07	60/80	-	38.4	1.35	H2.12.20	H2.12.25	Ⅲ	横積	無	
			H2.12.18		B0344	59													
348	B-911-001	426	H2.12.18	スラッジ 濃縮液	B0344	69	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	2.4E+07	60/80	-	37.1	1.35	H3.3.20	H3.3.25	Ⅲ	横積	無	
			H3.1.11		B0345	53													
349	B-911-002	417	H3.1.11	スラッジ 濃縮液	B0345	73	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	1.8E+07	60/80	-	34.8	1.31	H3.3.20	H3.3.25	Ⅲ	横積	無	
			H3.1.30		B0346	59													
350	B-912-003	435	H3.1.30	スラッジ 濃縮液	B0346	60	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	-	1.7E+07	60/80	-	33.3	1.35	H3.3.20	H3.3.25	Ⅲ	横積	無	
			H3.2.6		B0347	52													
351	B-912-004	423	H3.2.6	スラッジ 濃縮液	B0347	69	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	-	1.0E+08	60/80	-	36.6	1.38	H3.3.20	H3.3.25	Ⅲ	横積	無	
			H3.2.15		B0348	66													
352	B-912-005	423	H3.2.15	スラッジ 濃縮液	B0348	66	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	-	1.9E+08	60/80	-	39.1	1.36	H3.3.20	H3.3.25	Ⅲ	横積	無	
			H3.2.25		B0349	74													
353	B-913-006	438	H3.2.25	スラッジ 濃縮液	B0349	57	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	-	1.9E+08	60/80	-	40.0	1.41	H3.3.20	H3.3.25	Ⅲ	横積	無	
			H3.3.7		B0350	62													
354	B-913-007	429	H3.3.7	スラッジ 濃縮液	B0350	82	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	-	2.0E+08	60/80	-	41.1	1.41	H3.3.20	H3.3.25	Ⅲ	横積	無	
			H3.3.14		B0351	49													
355	B-914-008	420	H3.3.14	無機廃液 スラッジ 濃縮液	B0351	89	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	-	1.4E+08	60/80	-	38.3	1.33	H3.6.4	H3.6.7	Ⅲ	横積	無	
			H3.4.8		B0352	48													
356	B-914-009	420	H3.4.8	無機廃液 スラッジ 濃縮液	B0352	71	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	-	7.4E+07	60/80	-	35.5	1.30	H3.6.4	H3.6.7	Ⅲ	横積	無	
			H3.4.23		B0353	58													
357	B-915-010	428	H3.4.23	スラッジ 濃縮液	B0353	73	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{54}Mn	-	5.5E+07	60/80	-	39.6	1.38	H3.6.4	H3.6.7	Ⅲ	横積	無	
			H3.5.15		B0354	64													
358	B-915-011	428	H3.5.15	スラッジ 濃縮液	B0354	70	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	3.3E+07	60/80	-	36.0	1.30	H3.6.4	H3.6.7	Ⅲ	横積	無	
			H3.5.22		B0355	45													
359	B-915-012	421	H3.5.22	スラッジ 濃縮液	B0355	58	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	4.5E+07	60/80	-	36.2	1.27	H3.6.4	H3.6.7	Ⅲ	横積	有	
			H3.5.29		B0356	65													

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (13/18)

■ : 原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1: ストレートアスファルト 60/80, 40/60
 *2: ストレートアスファルト 60/80, 80/100
 *3: ストレートアスファルト 60/80, 40/60, 80/100
 *4: ストレートアスファルト 40/60, 80/100
 混合比・・・B: ビチューメン、S: 固形物 (ケイウ土含む)
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・Ⅱ: 固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ: 固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ: 固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射線量		アスファルト 種類	混合比 B : S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
								(mCi)	(Bq)										
360	B-919-013	422	H3.5.29	スラッジ	B0356	79	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}, ^{134}\text{Cs}$	-	5.7E+07	60/80	-	41.3	1.32	H3.9.27	H3.10.2	Ⅲ	横積	無	
			H3.8.30	濃縮液	B0357	55													
361	B-910-014	418	H3.8.30	スラッジ	B0357	78	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}, ^{134}\text{Cs}$	-	3.7E+07	60/80	-	38.6	1.27	H3.12.16	H3.12.20	Ⅲ	横積	無	
			H3.10.11	濃縮液	B0358	49													
362	B-910-015	416	H3.10.11	濃縮液	B0358	77	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	2.7E+07	60/80	-	33.5	1.27	H3.12.16	H3.12.20	Ⅲ	横積	有	
			H3.10.25		B0359	48													
363	B-91X-016	403	H3.11.12	濃縮液	B0360	60	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	2.5E+07	60/80	-	31.6	1.25	H3.12.16	H3.12.20	Ⅲ	横積	無	
			H3.10.25		B0359	64													
364	B-91X-017	400	H3.11.12	濃縮液	B0360	66	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	3.3E+07	60/80	-	33.5	1.20	H3.12.16	H3.12.20	Ⅲ	横積	有	
			H3.11.27		B0361	69													
365	B-91Z-018	416	H3.11.27	スラッジ	B0361	49	$^{60}\text{Co}, ^{51}\text{Cr}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	1.6E+08	60/80	-	36.4	1.25	H3.12.16	H3.12.20	Ⅲ	横積	無	
			H3.12.6	濃縮液	B0362	81													
366	B-91Z-019	424	H3.12.6	スラッジ	B0362	50	$^{60}\text{Co}, ^{51}\text{Cr}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}, ^{22}\text{Na}$	-	1.5E+08	60/80	-	39.5	1.35	H3.12.16	H3.12.20	Ⅲ	横積	無	
			H3.12.12	濃縮液	B0363	79													
367	B-921-001	415	H3.12.12	スラッジ	B0363	54	$^{60}\text{Co}, ^{51}\text{Cr}, ^{137}\text{Cs}, ^{58}\text{Co}, ^{54}\text{Mn}$	-	1.3E+08	60/80	-	33.0	1.32	H4.3.23	H4.3.27	Ⅲ	横積	無	
			H4.1.9	濃縮液	B0364	73													
368	B-922-002	422	H4.1.9	スラッジ	B0364	38	$^{60}\text{Co}, ^{51}\text{Cr}, ^{137}\text{Cs}, ^{58}\text{Co}, ^{54}\text{Mn}$	-	1.2E+08	60/80	-	34.4	1.33	H4.3.23	H4.3.27	Ⅲ	横積	無	
			H4.2.7		B0365	92													
369	B-922-003	425	H4.2.7	スラッジ	B0365	40	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}, ^{51}\text{Cr}, ^{58}\text{Co}$	-	9.8E+07	60/80	-	38.0	1.35	H4.3.23	H4.3.27	Ⅲ	横積	無	
			H4.2.20	濃縮液	B0366	85													
370	B-923-004	425	H4.2.20	スラッジ	B0366	45	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}, ^{58}\text{Co}, ^{22}\text{Na}$	-	3.5E+07	60/80	-	38.2	1.35	H4.3.23	H4.3.27	Ⅲ	横積	無	
			H4.3.6	濃縮液	B0367	84													
371	B-924-005	426	H4.3.6	スラッジ	B0367	45	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	5.0E+07	60/80	-	35.4	1.36	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.4.7	濃縮液	B0368	77													
372	B-924-006	425	H4.4.7	スラッジ	B0368	50	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}, ^{58}\text{Co}$	-	7.8E+07	60/80	-	30.6	1.39	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.4.16		B0369	78													
373	B-924-007	426	H4.4.16	スラッジ	B0369	34	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}, ^{58}\text{Co}$	-	1.5E+08	60/80	-	35.3	1.40	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.4.23		B0370	87													
374	B-924-008	430	H4.4.23	スラッジ	B0370	42	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}, ^{58}\text{Co}$	-	1.2E+08	60/80	-	33.9	1.28	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.4.30		B0371	73													
375	B-925-009	420	H4.4.30	スラッジ	B0371	44	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{58}\text{Co}, ^{134}\text{Cs}$	-	8.6E+07	60/80	-	36.7	1.31	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.5.11	濃縮液	B0372	85													
376	B-925-010	418	H4.5.11	無機廃液 スラッジ	B0372	50	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{58}\text{Co}, ^{134}\text{Cs}$	-	1.1E+08	60/80	-	40.2	1.34	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.5.18	濃縮液	B0373	85													
377	B-925-011	423	H4.5.18	無機廃液 スラッジ	B0373	55	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}, ^{22}\text{Na}, ^{58}\text{Co}$	-	1.1E+08	60/80	-	35.8	1.35	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.5.21	濃縮液	B0374	74													
378	B-925-012	422	H4.5.21	スラッジ	B0374	44	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}, ^{22}\text{Na}, ^{134}\text{Cs}$	-	9.3E+07	60/80	-	37.2	1.34	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.5.26	濃縮液	B0375	86													
379	B-926-013	421	H4.5.26	無機廃液 スラッジ	B0375	50	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}, ^{134}\text{Cs}$	-	9.5E+07	60/80	-	38.6	1.36	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.6.2	濃縮液	B0376	81													
380	B-926-014	430	H4.6.2	無機廃液 スラッジ	B0376	51	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}, ^{110m}\text{Ag}$	-	1.0E+08	60/80	-	39.4	1.43	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.6.9	濃縮液	B0377	80													
381	B-926-015	422	H4.6.9	無機廃液 スラッジ	B0377	54	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}, ^{54}\text{Mn}, ^{110m}\text{Ag}$	-	1.5E+08	60/80	-	43.4	1.42	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.6.17	濃縮液	B0378	89													
382	B-926-016	422	H4.6.17	無機廃液 スラッジ	B0378	57	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{54}\text{Mn}, ^{22}\text{Na}, ^{110m}\text{Ag}$	-	1.3E+08	60/80	-	41.1	1.38	H4.6.26	H4.6.29	Ⅲ	横積	無	
			H4.6.22	濃縮液	B0379	74													
383	B-927-017	418	H4.6.22	スラッジ	B0379	58	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	-	1.1E+08	60/80	-	33.6	1.33	H4.7.10	H4.7.14	Ⅲ	横積	無	
			H4.7.2		B0380	76													
384	B-927-018	415	H4.7.2	スラッジ	B0380	43	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	-	3.6E+07	60/80	-	31.2	1.30	H4.7.10	H4.7.14	Ⅲ	横積	無	
			H4.7.6		B0381	83													
385	B-920-019	424	H4.7.6	スラッジ	B0381	37	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}, ^{22}\text{Na}$	-	3.4E+07	60/80	-	28.8	1.32	H4.12.18	H4.12.22	Ⅲ	横積	無	
			H4.10.29		濃縮液	B0382													

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (14/18)

原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1: ストレートアスファルト 60/80, 40/60
 *2: ストレートアスファルト 60/80, 80/100
 *3: ストレートアスファルト 60/80, 40/60, 80/100
 *4: ストレートアスファルト 40/60, 80/100
 混合比・・・B: ビチューメン、S: 固形物 (ケイウ土含む)
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・Ⅱ: 固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ: 固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ: 固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射線量 (mCi)	(Bq)	アスファルト 種類	混合比 B:S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
386	B-92X-020	426	H4.10.29	スラッジ 濃縮液	B0382	40	^{60}Co , ^{134}Cs , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	5.0E+07	60/80	-	27.8	1.34	H4.12.18	H4.12.22	Ⅲ	横積	有	
			B0383		62														
387	B-92Z-021	412	H4.11.25	濃縮液	B0383	52	^{60}Co , ^{134}Cs , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	5.6E+07	60/80	-	32.0	1.34	H4.12.18	H4.12.22	Ⅲ	横積	有	
			B0384		72														
388	B-92Z-022	419	H4.12.1	スラッジ 濃縮液	B0384	54	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	3.6E+07	60/80	-	37.8	1.24	H4.12.18	H4.12.22	Ⅲ	横積	無	
			B0385		79														
389	B-931-001	428	H4.12.14	スラッジ 濃縮液	B0385	57	^{60}Co , ^{134}Cs , ^{137}Cs , ^{54}Mn , ^{22}Na	-	1.4E+09	60/80	-	41.0	1.30	H5.3.12	H5.3.19	Ⅲ	横積	無	
			B0386		68														
390	B-931-002	428	H5.1.13	スラッジ 濃縮液	B0386	77	^{60}Co , ^{134}Cs , ^{137}Cs , ^{54}Mn , ^{22}Na	-	1.6E+09	60/80	-	41.4	1.41	H5.3.12	H5.3.19	Ⅲ	横積	有	
			B0387		56														
391	B-932-003	427	H5.1.26	スラッジ 濃縮液	B0387	85	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn , ^{22}Na	-	1.1E+08	60/80	-	40.2	1.40	H5.3.12	H5.3.19	Ⅲ	横積	無	
			B0388		44														
392	B-936-004	424	H5.2.18	スラッジ 濃縮液	B0388	89	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn , ^{22}Na	-	9.2E+07	60/80	-	40.7	1.41	H5.6.28	H5.6.30	Ⅲ	横積	無	
			B0389		45														
393	B-936-005	427	H5.6.3	スラッジ 濃縮液	B0389	97	^{60}Co , ^{137}Cs	-	4.9E+07	60/80	-	42.3	1.46	H5.6.28	H5.6.30	Ⅲ	横積	無	
			B0390		75														
394	B-937-006	424	H5.7.7	スラッジ 濃縮液	B0390	75	^{134}Cs , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn	-	6.2E+08	60/80	-	41.6	1.40	H5.7.26	H5.7.30	Ⅲ	横積	無	
			B0391		61														
395	B-937-007	417	H5.7.7	スラッジ 濃縮液	B0390	51	^{134}Cs , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn	-	1.0E+09	60/80	-	44.4	1.40	H5.7.26	H5.7.30	Ⅲ	横積	無	
			B0391		101														
396	B-93X-008	422	H5.7.21	スラッジ 濃縮液	B0392	66	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	4.0E+07	60/80	-	40.8	1.36	H5.12.17	H5.12.21	Ⅲ	横積	無	
			B0393		68														
397	B-93X-009	425	H5.11.19	スラッジ 濃縮液	B0392	80	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na	-	4.5E+07	60/80	-	41.0	1.35	H5.12.17	H5.12.21	Ⅲ	横積	有	
			B0393		67														
398	B-93Z-010	424	H5.11.30	スラッジ 濃縮液	B0394	67	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs	-	2.0E+07	60/80	-	41.6	1.42	H5.12.17	H5.12.21	Ⅲ	横積	無	
			B0395		75														
399	B-93Z-011	424	H5.11.30	スラッジ 濃縮液	B0394	83	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs	-	2.0E+07	60/80	-	42.0	1.42	H5.12.17	H5.12.21	Ⅲ	横積	無	
			B0395		62														
400	B-941-001	422	H5.12.14	スラッジ 濃縮液	B0396	80	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{134}Cs	-	2.7E+07	60/80	-	44.8	1.41	H6.2.15	H6.2.18	Ⅲ	横積	無	
			B0397		58														
401	B-941-002	422	H5.12.14	スラッジ 濃縮液	B0396	77	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{22}Na , ^{134}Cs	-	2.8E+07	60/80	-	44.7	1.41	H6.2.15	H6.2.18	Ⅲ	横積	有	
			B0397		63														
402	B-942-003	412	H6.1.13	スラッジ 濃縮液	B0397	29	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{22}Na	-	2.4E+07	60/80	-	40.9	1.53	H6.2.15	H6.2.18	Ⅲ	横積	無	
			B0398		100														
403	B-946-004	422	H6.2.8	スラッジ 濃縮液	B0398	42	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs , ^{54}Mn	-	1.9E+07	60/80	-	39.6	1.49	H6.6.24	H6.6.29	Ⅲ	横積	無	
			B0399		90														
404	B-946-005	427	H6.6.6	スラッジ	B0399	50	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{54}Mn	-	9.2E+06	60/80	-	41.8	1.47	H6.6.24	H6.6.29	Ⅲ	横積	無	
			B0400		81														
405	B-946-006	427	H6.6.9	スラッジ	B0400	69	^{60}Co , ^{137}Cs	-	3.9E+06	60/80	-	43.4	1.48	H6.6.24	H6.6.29	Ⅲ	横積	無	
			B0401		72														
406	B-947-007	425	H6.6.16	スラッジ	B0401	73	^{60}Co , ^{134}Cs , ^{137}Cs	-	1.8E+07	60/80	-	40.9	1.43	H6.9.22	H6.9.30	Ⅲ	横積	有	
			B0402		60														
407	B-947-008	421	H6.7.4	スラッジ	B0402	70	^{60}Co , ^{134}Cs , ^{137}Cs	-	2.5E+07	60/80	-	36.6	1.41	H6.9.22	H6.9.30	Ⅲ	横積	無	
			B0403		71														
408	B-947-009	425	H6.7.7	スラッジ	B0403	61	^{60}Co , ^{137}Cs	-	1.5E+07	60/80	-	36.7	1.46	H6.9.22	H6.9.30	Ⅲ	横積	無	
			B0404		76														
409	B-947-010	423	H6.7.14	スラッジ	B0404	57	^{60}Co , ^{137}Cs	-	1.1E+07	60/80	-	38.2	1.48	H6.9.22	H6.9.30	Ⅲ	横積	無	
			B0405		79														
410	B-94X-011	428	H6.7.20	スラッジ	B0405	53	^{60}Co , ^{137}Cs	-	4.1E+07	60/80	-	39.5	1.45	H6.11.21	H6.11.24	Ⅲ	横積	無	
			B0406		80														
411	B-95X-001	411	H6.10.12	スラッジ	B0406	60	^{60}Co , ^{137}Cs	-	6.7E+07	60/80	-	34.5	1.45	H7.12.22	H7.12.26	Ⅲ	横積	無	
			B0407		67														
412	B-95X-002	460	H7.11.17	スラッジ	B0407	68	^{60}Co , ^{137}Cs	-	3.8E+07	60/80	-	29.6	1.47	H7.12.22	H7.12.26	Ⅲ	横積	無	
413	B-95X-003	455	H7.11.21	スラッジ	B0408	71	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs	-	5.6E+07	60/80	-	25.9	1.27	H7.12.22	H7.12.26	Ⅲ	横積	有	
414	B-962-001	426	H7.11.21	スラッジ	B0408	64	^{134}Cs , ^{137}Cs , ^{60}Co , ^3H	-	2.9E+08	60/80	-	31.2	1.24	H8.3.21	H8.3.26	Ⅲ	横積	無	
			B0409		60														
415	B-962-002	433	H8.2.1	スラッジ	B0409	95	^{60}Co , ^{137}Cs , ^{134}Cs	-	3.7E+08	60/80	-	38.1	1.25	H8.3.21	H8.3.26	Ⅲ	横積	無	
			B0410		33														

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (16/18)

原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1：ストレートアスファルト 60/80， 40/60
 *2：ストレートアスファルト 60/80， 80/100
 *3：ストレートアスファルト 60/80， 40/60， 80/100
 *4：ストレートアスファルト 40/60， 80/100
 混合比・・・B：ビチューメン、 S：固形物 (ケイウ土含む)
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・Ⅱ：固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ：固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ：固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したものの)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射能 (mCi)	(Bq)	アスファルト 種類	混合比 B：S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
450	B-993-001	403	H11.1.11	スラッジ	B0443	105	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁸ Co, ⁵⁴ Mn	-	2.4E+07	60/80	-	21.9	1.09	H11.3.25	H11.3.30	Ⅲ	横積	有	
451	B-993-002	425	H11.1.19	スラッジ	B0444	109	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁸ Co, ⁵⁴ Mn	-	4.2E+07	60/80	-	22.9	1.10	H11.3.25	H11.3.30	Ⅲ	横積	有	
452	B-993-003	420	H11.2.3	スラッジ	B0445	103	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁸ Co, ⁵⁴ Mn	-	3.1E+07	60/80	-	19.4	1.11	H11.3.25	H11.3.30	Ⅲ	横積	無	
453	B-993-004	423	H11.2.24	スラッジ	B0446	102	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁸ Co, ⁵⁴ Mn	-	3.3E+07	60/80	-	17.6	1.13	H11.3.25	H11.3.30	Ⅲ	横積	有	
454	B-993-005	422	H11.3.10	スラッジ	B0447	103	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ Mn	-	3.8E+07	60/80	-	19.4	1.13	H11.3.25	H11.3.30	Ⅲ	横積	無	
455	B-993-006	426	H11.3.17	スラッジ	B0448	100	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁸ Co, ⁵⁴ Mn	-	3.2E+07	60/80	-	18.0	1.16	H11.3.25	H11.3.30	Ⅲ	横積	有	
456	B-996-007	418	H11.4.14	スラッジ	B0449	107	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁸ Co, ⁵⁴ Mn	-	5.4E+07	60/80	-	23.4	1.15	H11.6.14	H11.6.28	Ⅲ	横積	無	
457	B-996-008	419	H11.4.21	スラッジ	B0450	104	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁸ Co, ⁵⁴ Mn	-	5.5E+07	60/80	-	21.2	1.16	H11.6.14	H11.6.28	Ⅲ	横積	無	
458	B-996-009	432	H11.5.19	スラッジ	B0451	101	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co	-	2.6E+07	60/80	-	18.8	1.16	H11.6.14	H11.6.28	Ⅲ	横積	無	
459	B-996-010	428	H9.2.12	スラッジ 濃縮液	B0426	67	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ²² Na	-	2.2E+07	60/80	-	39.6	1.35	H11.6.14	H11.6.28	Ⅲ	横積	無	
460	B-99Z-011	314	H11.10.14	スラッジ	B0452	111	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	2.7E+07	60/80	-	12.6	1.10	H11.12.27	H11.12.27	Ⅲ	縦積	無	
461	B-99Z-012	304	H11.11.11	スラッジ	B0453	100	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	1.7E+07	60/80	-	20.0	1.16	H11.12.27	H11.12.27	Ⅲ	縦積	無	
462	B-99Z-013	311	H11.12.8	スラッジ	B0454	109	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	3.5E+07	60/80	-	24.8	1.07	H11.12.27	H11.12.27	Ⅲ	縦積	無	
463	B-99Z-014	304	H11.12.15	スラッジ	B0455	103	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	2.2E+07	60/80	-	19.4	1.17	H11.12.27	H11.12.27	Ⅲ	縦積	無	
464	B-003-001	311	H12.3.15	スラッジ	B0456	107	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	2.6E+07	60/80	-	21.5	1.17	H12.3.16	H12.3.29	Ⅲ	縦積	無	
465	B-003-002	305	H12.3.22	スラッジ	B0457	102	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	2.4E+07	60/80	-	17.6	1.17	H12.3.23	H12.3.29	Ⅲ	縦積	無	
466	B-004-003	297	H12.4.5	スラッジ	B0458	109	¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ Mn, ⁶⁰ C	-	2.4E+07	60/80	-	22.0	1.18	H12.4.6	H12.6.13	Ⅲ	縦積	無	
467	B-004-004	294	H12.4.19	スラッジ	B0459	105	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	2.3E+07	60/80	-	20.0	1.18	H12.4.20	H12.6.13	Ⅲ	縦積	無	
468	B-004-005	296	H12.4.26	スラッジ	B0460	107	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	2.8E+07	60/80	-	20.6	1.17	H12.4.27	H12.6.13	Ⅲ	縦積	無	
469	B-005-006	296	H12.5.17	スラッジ	B0461	106	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	3.5E+07	60/80	-	19.8	1.16	H12.5.18	H12.6.13	Ⅲ	縦積	無	
470	B-005-007	298	H12.5.24	スラッジ	B0462	108	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	2.5E+07	60/80	-	22.2	1.16	H12.5.25	H12.6.13	Ⅲ	縦積	無	
471	B-006-008	298	H12.6.7	スラッジ	B0463	107	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	2.5E+07	60/80	-	21.5	1.12	H12.6.8	H12.6.29	Ⅲ	縦積	無	
472	B-006-009	300	H12.6.21	スラッジ	B0464	107	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	2.7E+07	60/80	-	22.4	1.16	H12.6.22	H12.6.29	Ⅲ	縦積	無	
473	B-000-010	295	H12.10.16	スラッジ	B0465	104	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³⁴ Cs, ⁵⁴ M	-	6.9E+06	60/80	-	15.4	1.10	H12.10.17	H12.11.29	Ⅲ	縦積	無	
474	B-00X-011	308	H12.11.8	スラッジ	B0466	117	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	1.2E+07	60/80	-	22.2	1.19	H12.11.9	H12.11.29	Ⅲ	縦積	無	
475	B-00Z-012	290	H12.11.29	スラッジ	B0467	103	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	1.2E+07	60/80	-	24.3	1.21	H12.12.1	H12.12.22	Ⅲ	縦積	無	
476	B-012-001	298	H13.1.10	スラッジ	B0468	106	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	1.7E+07	60/80	-	26.4	1.18	H13.2.6	H13.3.16	Ⅲ	縦積	無	
477	B-012-002	304	H13.1.17	スラッジ	B0469	112	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	1.7E+07	60/80	-	28.6	1.25	H13.2.6	H13.3.16	Ⅲ	縦積	無	
478	B-012-003	287	H13.2.7	スラッジ	B0470	97	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	2.5E+07	60/80	-	32.0	1.26	H13.2.26	H13.3.16	Ⅲ	縦積	無	
479	B-015-004	299	H13.4.11	スラッジ	B0471	113	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	1.8E+07	60/80	-	26.5	1.22	H13.5.24	H13.5.30	Ⅲ	縦積	無	
480	B-015-005	296	H13.4.25	スラッジ	B0472	106	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	1.4E+07	60/80	-	21.7	1.19	H13.5.24	H13.5.30	Ⅲ	縦積	無	
481	B-015-006	293	H13.5.9	スラッジ	B0473	108	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	1.2E+07	60/80	-	18.5	1.16	H13.5.24	H13.5.30	Ⅲ	縦積	無	
482	B-016-007	297	H13.6.6	スラッジ	B0474	109	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	1.7E+07	60/80	-	24.8	1.18	H13.6.7	H13.6.28	Ⅲ	縦積	無	
483	B-016-008	297	H13.6.20	スラッジ	B0475	106	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	1.2E+07	60/80	-	20.8	1.16	H13.6.21	H13.6.28	Ⅲ	縦積	無	
484	B-01Z-009	295	H13.10.10	スラッジ	B0476	102	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	5.6E+06	60/80	-	14.7	1.09	H13.12.7	H13.12.14	Ⅲ	縦積	無	
485	B-024-001	298	H14.4.3	スラッジ	B0477	108	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.0E+07	60/80	-	16.7	1.21	H14.4.16	H14.6.5	Ⅲ	縦積	無	
486	B-024-002	292	H14.4.17	スラッジ	B0478	104	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.4E+07	60/80	-	26.0	1.17	H14.4.25	H14.6.5	Ⅲ	縦積	無	
487	B-025-003	285	H14.4.24	スラッジ	B0479	103	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	7.0E+06	60/80	-	18.4	1.13	H14.5.1	H14.6.5	Ⅲ	縦積	無	
488	B-029-004	298	H14.7.3	スラッジ	B0480	105	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	8.2E+06	60/80	-	19.0	1.12	H14.9.2	H14.9.30	Ⅲ	縦積	無	
489	B-029-005	316	H14.7.10	スラッジ	B0481	116	¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁴ C	-	1.8E+07	60/80	-	28.4	1.20	H14.9.2	H14.9.30	Ⅲ	縦積	無	
490	B-029-006	292	H14.7.24	スラッジ	B0482	99	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁴ Pr, ¹³⁴ Cs	-	8.3E+06	60/80	-	16.2	1.15	H14.9.2	H14.9.30	Ⅲ	縦積	無	
491	B-02X-007	285	H14.10.18	スラッジ	B0483	92	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁴ Pr	-	2.0E+06	60/80	-	9.8	1.11	H14.11.6	H14.11.13	Ⅲ	縦積	無	
492	B-02X-008	285	H14.10.30	スラッジ	B0484	91	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.0E+06	60/80	-	7.7	1.11	H14.11.6	H14.11.13	Ⅲ	縦積	無	
493	B-02Z-009	309	H14.11.20	スラッジ	B0485	108	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁴ Pr	-	1.1E+07	60/80	-	23.1	1.07	H14.12.2	H14.12.17	Ⅲ	縦積	無	

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (17/18)

■ : 原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1：ストレートアスファルト 60/80， 40/60
 *2：ストレートアスファルト 60/80， 80/100
 *3：ストレートアスファルト 60/80， 40/60， 80/100
 *4：ストレートアスファルト 40/60， 80/100
 混合比・・・B：ビチューメン、 S：固形物（ケイウ土含む）
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・Ⅱ：固体集積保管場Ⅱ
 Ⅲ：固体集積保管場Ⅲ
 Ⅳ：固体集積保管場Ⅳ
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Ⅰに集積し、その後Ⅱに移管したもの)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)	核種	全放射能 (mCi)	(Bq)	アスファルト 種類	混合比 B:S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
494	B-02Z-010	317	H14.11.27	スラッジ	B0486	114	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn, ¹⁴⁴ Ce- ¹⁴⁴ Pr	-	1.8E+07	60/80	-	25.4	1.17	H14.12.2	H14.12.17	Ⅲ	堅積	無	
495	B-035-001	303	H15.5.21	スラッジ	B0487	100	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	8.2E+06	60/80	-	17.0	1.11	H15.5.26	H15.5.29	Ⅳ	堅積	無	
496	B-03X-002	319	H15.10.29	スラッジ	B0488	112	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.1E+07	60/80	-	25.9	1.13	H15.11.12	H15.11.14	Ⅳ	堅積	無	
497	B-03Z-003	289	H15.12.15	スラッジ	B0489	94	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	6.0E+06	60/80	-	14.9	1.10	H15.12.19	H15.12.24	Ⅳ	堅積	無	
498	B-045-001	287	H16.5.12	スラッジ	B0490	94	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	9.6E+06	60/80	-	12.8	1.12	H16.5.31	H16.6.11	Ⅳ	堅積	無	
499	B-046-002	294	H16.5.26	スラッジ	B0491	100	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.5E+07	60/80	-	18.0	1.11	H16.6.1	H16.6.11	Ⅳ	堅積	無	
500	B-046-003	299	H16.6.9	スラッジ	B0492	104	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn, ¹⁴⁴ Ce- ¹⁴⁴ Pr	-	1.2E+07	60/80	-	20.2	1.09	H16.6.14	H16.6.28	Ⅳ	堅積	無	
501	B-047-004	302	H16.7.5	スラッジ	B0493	106	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn, ¹⁴⁴ Ce- ¹⁴⁴ Pr	-	5.1E+06	60/80	-	22.6	1.12	H16.7.21	H16.7.28	Ⅳ	堅積	無	
502	B-047-005	298	H16.7.12	スラッジ	B0494	102	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ C	-	1.1E+07	60/80	-	19.6	1.09	H16.7.21	H16.7.28	Ⅳ	堅積	無	
503	B-04X-006	296	H16.11.5	スラッジ	B0495	102	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn, ⁵¹ Cr	-	1.1E+07	60/80	-	19.6	1.09	H16.11.22	H16.11.26	Ⅳ	堅積	無	
504	B-04Z-007	287	H16.12.16	スラッジ	B0496	93	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs, ⁵¹ Cr, ¹⁴⁴ Ce- ¹⁴⁴ Pr	-	4.6E+06	60/80	-	11.8	1.09	H16.12.24	H16.12.27	Ⅳ	堅積	無	
505	B-054-001	288	H17.4.11	スラッジ	B0497	91	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	3.7E+06	60/80	-	16.5	1.13	H17.4.22	H17.4.27	Ⅳ	堅積	無	
506	B-054-002	297	H17.4.18	スラッジ	B0498	95	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	3.6E+06	60/80	-	14.7	1.13	H17.4.22	H17.4.27	Ⅳ	堅積	無	
507	B-055-003	286	H17.5.11	スラッジ	B0499	89	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	4.8E+06	60/80	-	11.2	1.12	H17.5.17	H17.5.23	Ⅳ	堅積	無	
508	B-056-004	293	H17.6.6	スラッジ	B0500	97	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce- ¹⁴⁴ Pr	-	2.5E+07	60/80	-	15.5	1.11	H17.6.21	H17.6.29	Ⅳ	堅積	無	
509	B-057-005	297	H17.7.7	スラッジ	B0501	97	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	7.6E+06	60/80	-	14.4	1.13	H17.7.15	H17.7.27	Ⅳ	堅積	無	
510	B-05Z-006	283	H17.12.21	スラッジ	B0502	84	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	2.4E+06	60/80	-	10.7	1.11	H17.12.26	H17.12.27	Ⅳ	堅積	無	
511	B-064-001	286	H18.4.7	スラッジ	B0503	86	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	7.3E+05	60/80	-	7.0	1.01	H18.4.25	H18.4.28	Ⅳ	堅積	無	
512	B-064-002	284	H18.4.20	スラッジ	B0504	96	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	2.2E+06	60/80	-	12.5	1.14	H18.4.25	H18.4.28	Ⅳ	堅積	無	
513	B-065-003	299	H18.5.10	スラッジ	B0505	111	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	1.7E+07	60/80	-	27.9	1.23	H18.5.22	H18.5.25	Ⅳ	堅積	無	
514	B-065-004	297	H18.5.17	スラッジ	B0506	109	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	1.7E+07	60/80	-	24.8	1.21	H18.5.22	H18.5.25	Ⅳ	堅積	無	
515	B-069-005	300	H18.8.29	スラッジ	B0507	110	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	2.5E+07	60/80	-	25.5	1.21	H18.9.6	H18.9.12	Ⅳ	堅積	無	
516	B-06Z-006	289	H18.12.13	スラッジ	B0508	99	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	1.3E+07	60/80	-	17.2	1.11	H18.12.19	H18.12.27	Ⅳ	堅積	無	
517	B-074-001	305	H19.4.10	スラッジ	B0509	112	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	1.7E+07	60/80	-	24.1	1.22	H19.4.17	H19.4.24	Ⅳ	堅積	無	
518	B-07Z-002	304	H19.12.20	スラッジ	B0510	113	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs, ¹⁴⁴ Ce- ¹⁴⁴ Pr	-	2.1E+07	60/80	-	25.7	1.25	H19.12.26	H19.12.27	Ⅳ	堅積	無	
519	B-081-001	295	H20.1.22	スラッジ	B0511	108	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	1.4E+07	60/80	-	21.3	1.19	H20.1.29	H20.1.30	Ⅳ	堅積	無	
520	B-084-002	300	H20.4.8	スラッジ	B0512	108	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	2.2E+07	60/80	-	21.3	1.22	H20.4.28	H20.4.30	Ⅳ	堅積	無	
521	B-084-003	305	H20.4.17	スラッジ	B0513	113	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	2.3E+07	60/80	-	25.7	1.18	H20.4.28	H20.4.30	Ⅳ	堅積	無	
522	B-085-004	300	H20.4.23	スラッジ	B0514	107	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	2.6E+07	60/80	-	27.1	1.23	H20.5.12	H20.5.15	Ⅳ	堅積	無	
523	B-088-005	286	H20.8.6	スラッジ	B0515	98	⁶⁰ Co, ⁵⁴ Mn, ¹³⁷ Cs	-	2.2E+07	60/80	-	23.5	1.25	H20.8.22	H20.8.26	Ⅳ	堅積	無	
524	B-088-006	299	H20.8.11	スラッジ	B0516	109	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	2.9E+07	60/80	-	26.6	1.24	H20.8.22	H20.8.26	Ⅳ	堅積	無	
525	B-08Z-007	294	H20.11.27	スラッジ	B0517	102	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.6E+07	60/80	-	19.6	1.17	H20.12.2	H20.12.22	Ⅳ	堅積	無	
526	B-094-001	300	H21.4.3	スラッジ	B0518	109	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.2E+07	60/80	-	26.6	1.18	H21.4.22	H21.4.24	Ⅳ	堅積	無	
527	B-094-002	296	H21.4.10	スラッジ	B0519	105	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.1E+07	60/80	-	21.9	1.20	H21.4.22	H21.4.24	Ⅳ	堅積	無	
528	B-094-003	299	H21.4.16	スラッジ	B0520	108	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.1E+07	60/80	-	23.1	1.18	H21.4.22	H21.4.24	Ⅳ	堅積	無	
529	B-101-001	294	H22.1.7	スラッジ	B0521	102	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.0E+07	60/80	-	21.6	1.20	H22.1.25	H22.1.29	Ⅳ	堅積	無	
530	B-109-002	298	H22.8.24	スラッジ	B0522	106	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	9.5E+06	60/80	-	28.3	1.23	H22.9.10	H22.9.29	Ⅳ	堅積	無	
531	B-109-003	305	H22.8.30	スラッジ	B0523	112	⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ⁵⁴ Mn	-	1.5E+07	60/80	-	28.6	1.27	H22.9.10	H22.9.29	Ⅳ	堅積	無	

アスファルト固化体を収納した廃棄物パッケージ一覧表 (18/18)

■ : 原因調査に伴い開缶したドラム缶 (10本)

【凡例】
 アスファルト種類・・・*1: ストレートアスファルト 60/80, 40/60
 *2: ストレートアスファルト 60/80, 80/100
 *3: ストレートアスファルト 60/80, 40/60, 80/100
 *4: ストレートアスファルト 40/60, 80/100
 混合比・・・B: ビチューメン、S: 固形物 (ケイ矽土含む)
 ※保管場所及び保管方法は、平成27年11月当時の状況である。

保管場所・・・II: 固体集積保管場II
 III: 固体集積保管場III
 IV: 固体集積保管場IV
 移管(保管)年月日・・・集積保管場に集積した日
 (青太字は、当初Iに集積し、その後IIに移管したもの)

No	廃棄物 パッケージNo.	総重量 (kg)	固化年月日 固化処理年月日	廃棄物の種類	Run No.	プロダクト 重量(kg)		核種	全放射能 (mCi) (Bq)		アスファルト 種類	混合比 B : S	混入割合 (%)	比重	キャッピング 年月日	移管(保管) 年月日	保管 場所	積載 方法	打音検査 内部漏洩	備考
						BS	重量		重量	重量										
1	BS-795-001	410	S54.5.28	焼却灰	BS001	77	142	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	0.35	-	60/80	64.3 : 35.7	-	1.27	-	S54.7.2	II	横積	無	
					BS002	65														
2	BS-795-002	430	S54.5.28	焼却灰	BS001	58	121	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	0.32	-	60/80	64.3 : 35.7	-	1.27	-	S54.7.2	II	横積	無	
					BS002	63														
3	BS-795-003	410	S54.5.30	焼却灰	BS003	149	149	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	0.27	-	60/80	58.5 : 41.5	-	1.30	-	S54.7.2	II	横積	無	
4	BS-796-004	420	S54.6.4	焼却灰	BS004	137	137	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	0.34	-	40/60	58.4 : 41.6	-	1.29	-	S54.7.2	II	横積	無	
5	BS-796-005	420	S54.6.6	焼却灰	BS005	140	140	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	1.32	-	40/60	57.3 : 42.7	-	1.32	-	S54.7.2	II	横積	無	
6	BS-796-006	425	S54.6.8	焼却灰	BS006	149	149	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	0.47	-	60/80	55.4 : 44.6	-	1.37	-	S54.7.2	II	横積	無	
7	BS-796-007	420	S54.6.12	焼却灰	BS007	142	142	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	0.76	-	60/80	55.8 : 44.2	-	1.33	-	S54.7.2	II	横積	無	
8	BS-796-008	430	S54.6.14	錆	BS008	158	158	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	0.096	-	60/80	50.6 : 49.4	-	1.57	-	S54.7.2	II	横積	無	
9	BS-796-009	445	S54.6.19	錆	BS009	155	155	$^{60}\text{Co}, ^{137}\text{Cs}$	0.11	-	60/80	48.1 : 51.9	-	1.60	-	S54.7.2	II	横積	無	

[本数]

	最大 管理能力*1	保管数量*2	アスファルト固化体			
			保管数量	積載方法		打音検査 異常有
				横積	縦積	
固体集積保管場II	9310	9306	343	343	-	62
固体集積保管場III	6000	6000	160	125	35	20
固体集積保管場IV	6925	3753	37	-	37	-
合計	22235	19059	540	468	72	82

*1 200ℓドラム缶換算本数

*2 200ℓドラム缶換算本数 (平成27年10月30日現在)

Appendix 3

アスファルトドラム缶の開缶調査

This is a blank page.

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-863-012】(1/6)

<p>調査項目</p>	<p>1. 工具（スパナ）を使用し、バンドの締付けボルトの緩みの有無を確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>2. バンド継ぎ目部分のアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	   <p>(バンド締付けボルトの状況)</p>	<p>状態確認</p>	   <p>(バンド継ぎ目部分の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>ボルトの緩みはなかったが、ボルトのねじ山の表面に錆が発生しており、ボルトを緩める際にボルトが切れてしまった。(平成 27 年 10 月 14 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>バンド継ぎ目部分にアスファルトが付着していた。(平成 27 年 10 月 14 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-863-012】(2/6)

<p>調査項目</p>	<p>3. バンド内側のアスファルトの付着状況及び腐食状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>4. 上蓋と胴体の接触具合（上蓋が浮いていないか、はめあい部を確認）及びアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(バンド内側の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋と胴体の接触具合状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンド内側にアスファルトが付着していた。(2時半方向から9時半方向) また、バンドに錆が発生していた。(1時方向から11時方向) (平成27年10月14日実施)</p> <p>*：ドラム缶上部を0時とした。</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋は浮いている様子はなかったが、アスファルトが付着していた。(0時半方向から10時方向) (平成27年10月14日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-863-012】(3/6)

<p>調査項目</p>	<p>5. 上蓋内面及び胴体内面の水滴の有無並びにアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の上蓋との接触の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>6. 上蓋パッキンの状態を接触及び目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(ドラム缶の開缶状況)</p> <p>(コンクリート充填キャッピングとアスファルトが接触していた範囲)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋パッキンの状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面及び胴体内面に水滴の付着はなかった。上蓋とアスファルトが接触していた。(平成 27 年 10 月 14 日、15 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>パッキンに付着したアスファルトを除去後、上蓋パッキンの上部、右部、左部、下部、バンド継ぎ目部の箇所について確認した。いずれもパッキンには弾力性があり、劣化しているような様子はなかった。(平成 27 年 10 月 15 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-863-012】(4/6)

<p>調査項目</p>	<p>7. 上蓋内面の腐食の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>8. 胴体部分の内面（コンクリート内張り部分より上部）の腐食の有無を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<p> (上蓋内面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	<p> (錆及びアスファルトの除去前の状況) (錆及びアスファルトの除去後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面は、アスファルトが密着していた部分については塗装が剥がれ、表面に錆が出ている。一方、穴が空いている様子はなかった。(平成27年10月14日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>胴体部分内面の上部、右部、左部、下部については確認した。上部については表面に錆が発生しており、右部、左部、下部についてはアスファルトが付着していた。錆及びアスファルトの除去を行ったところ、胴体部分(上蓋パッキング接地面含む)に腐食はなかった。(平成27年10月14日、21日実施)</p>

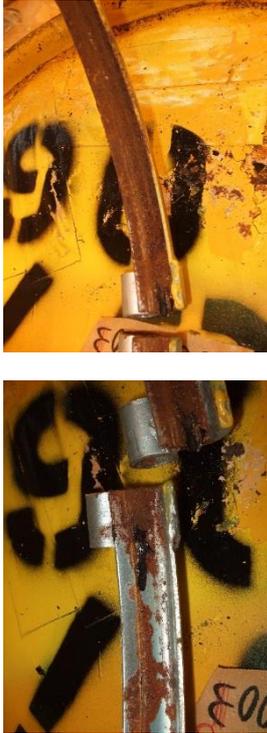
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-863-012】(5/6)

<p>調査項目</p>	<p>9. コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルトの状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>10. スクレーパー等を使用し、コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルト全量を回収する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(アスファルトの状態)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(アスファルトの回収状況) (回収したアスファルト)</p> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 20px;">  </div> <p>(アスファルト全量の回収後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>しみ出たアスファルトは、上蓋とコンクリート充填キャッピング上面の空隙部分にしみ出て、横積みにした際に下部となる部分に溜まり固まったことが確認できた。(平成27年10月15日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルト全量を回収した。回収したアスファルトの重量は480gであった。(平成27年10月15日、16日、21日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-863-012】(6/6)

<p>調査項目</p>	<p>11. コンクリート充填キャッピング上面の割れ又は亀裂の有無を目視等にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>12. アスファルトが滲み出した経路を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(コンクリート充填キャッピング上面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	
<p>結果</p>	<p>アスファルト全量を回収後、コンクリート充填キャッピング上面を目視で観察したが、割れ、亀裂はなくアスファルトの滲みはなかった。(平成 27 年 10 月 16 日、21 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>ドラム缶とコンクリート充填キャッピングに隙間が有り、隙間にはアスファルトが付着していた。隙間ゲージで計測したが、最小ゲージ 0.04 mm が若干入る程度であった。(平成 27 年 10 月 16 日、21 日実施)</p>

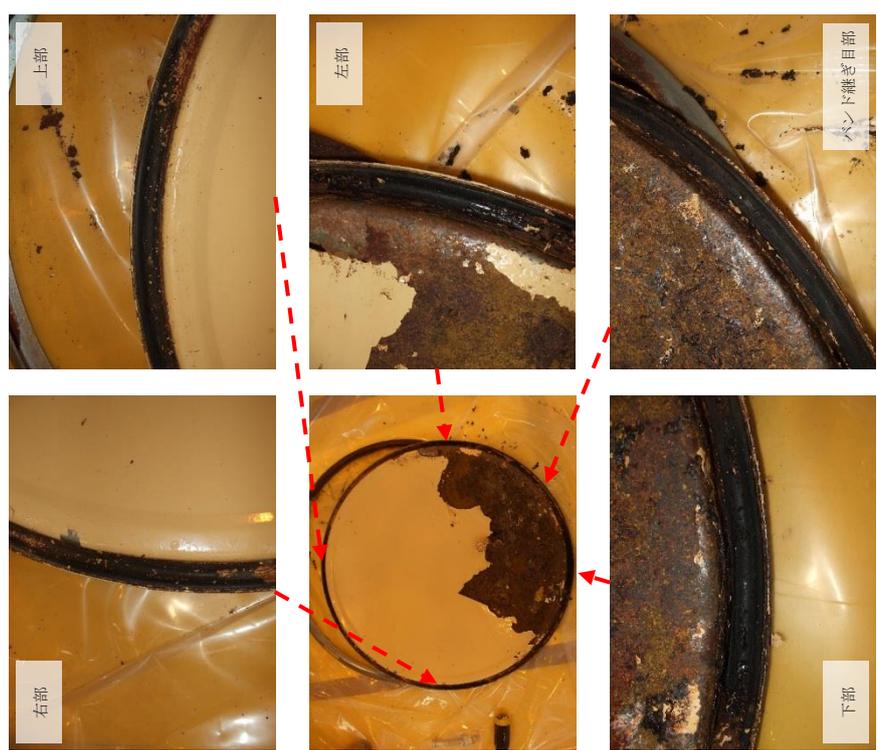
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-006】(1/6)

<p>調査項目</p>	<p>1. 工具 (スパナ) を使用し、バンドの締付けボルトの緩みの有無を確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>2. バンド継ぎ目部分のアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	  <p>(バンド締付けボルトの状況)</p>	<p>状態確認</p>	  <p>(バンド継ぎ目部分の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>ボルトが変形していたが、締付けボルトの緩みはなかった。(平成27年10月21日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>バンド継ぎ目部分の外側、内側にアスファルトが付着していた。(平成27年10月21日実施)</p>

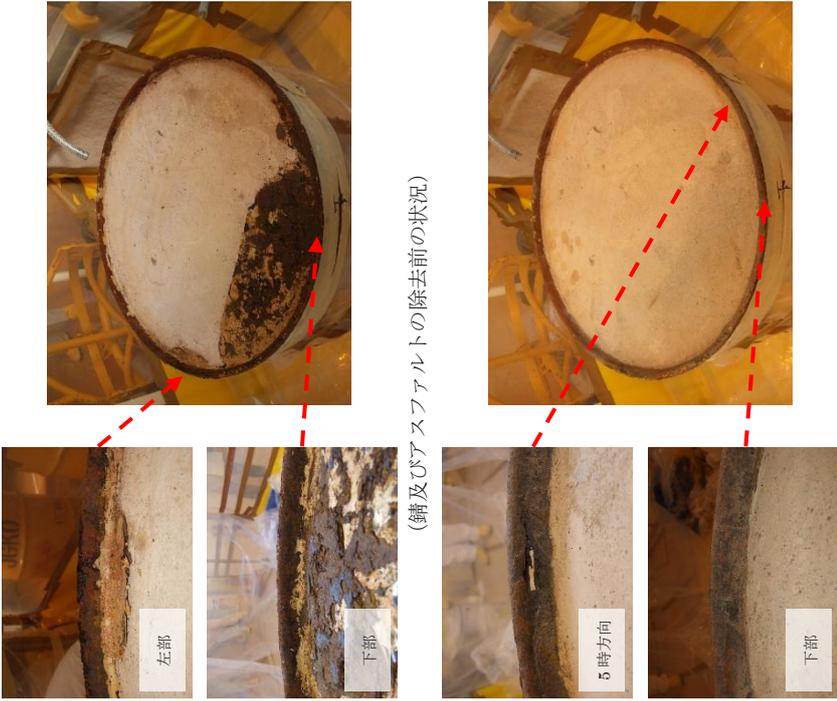
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-006】(2/6)

<p>調査項目</p>	<p>3. バンド内側のアスファルトの付着状況及び腐食状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>4. 上蓋と胴体の接触具合（上蓋が浮いていないか、はめあい部を確認）及びアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(バンド内側の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋と胴体の接触具合状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンド内側にアスファルトが付着していた。(4時方向から10時半方向) また、バンドに錆が発生していた。(内側：4時方向から10時半方向、外側：4時半方向から8時方向) (平成27年10月21日実施) *：ドラム缶上部を0時とした。</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋は浮いている様子はなかったが、アスファルトが付着していた。(4時半方向から9時方向) (平成27年10月21日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-006】(3/6)

<p>調査項目</p>	<p>5. 上蓋内面及び胴体内面の水滴の有無並びにアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の上蓋との接触の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>6. 上蓋パッキンの状態を接触及び目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(ドラム缶の開缶状況)</p> <p>(コンクリート充填キャッピングとアスファルトが接触していた範囲)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋パッキンの状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面及び胴体内面に水滴の付着はなかった。上蓋とアスファルトが接触していた。(平成 27 年 10 月 21 日、22 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>パッキンに付着したアスファルトを除去後、上蓋パッキンの上部、右部、左部、下部、バンド継ぎ目部の箇所について確認した。いずれもパッキンには弾力性があり、劣化しているような様子はなかった。(平成 27 年 10 月 22 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-006】(4/6)

<p>調査項目</p>	<p>7. 上蓋内面の腐食の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>8. 胴体部分の内面（コンクリート内張り部分より上部）の腐食の有無を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<p> (上蓋内面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	<p> (錆及びアスファルトの除去前の状況) (錆及びアスファルトの除去中の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面は、アスファルトが密着していた部分については塗装が剥がれ、表面に錆が出ている。一方、穴が空いている様子はなかった。(平成27年10月21日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>胴体部分内面の上部、右部、左部、下部についてはアスファルトが付着していた。全体的に表面に錆が発生しており、左部、下部についてはアスファルトが5時方向に穴が空いてしまった。穴の開いた部分の周辺を観察すると、腐食が進み、鉄板が膨らんでいるような状態であった。穴が開いたため、胴体部分の錆及びアスファルトの除去を中止した。 (平成27年10月22日実施)</p>

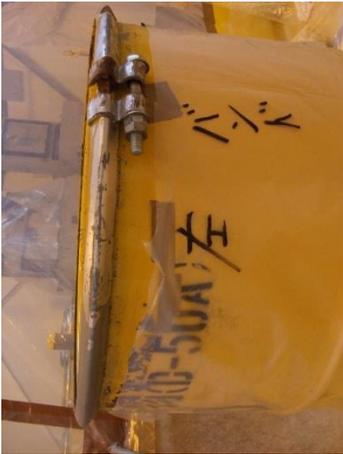
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-006】(5/6)

<p>調査項目</p>	<p>9. コンクリート充填キャッピング上面に滲み出たアスファルトの状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>10. スクレーパー等を使用し、コンクリート充填キャッピング上面に滲み出たアスファルト全量を回収する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(アスファルトの状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(アスファルトの回収状況)</p> <p style="text-align: center;">(回収したアスファルト)</p>
<p>結果</p>	<p>滲み出たアスファルトは、上蓋とコンクリート充填キャッピング上面の空隙部分に滲み出て、横積みにした際に下部となる部分に溜まり固まり固まったことが確認できた。(平成27年10月22日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>コンクリート充填キャッピング上面に滲み出たアスファルト全量を回収した。回収したアスファルトの重量は340gであった。(平成27年10月22日実施)</p>

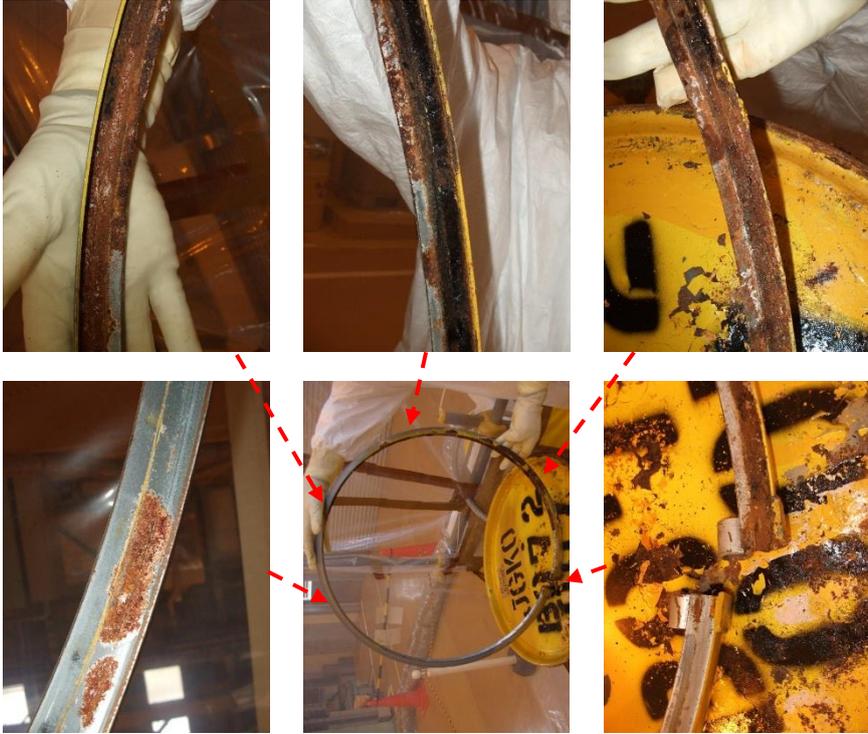
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-006】(6/6)

<p>調査項目</p>	<p>11. コンクリート充填キャッピング上面の割れ又は亀裂の有無を目視等にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>12. アスファルトが滲み出した経路を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(コンクリート充填キャッピング上面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	
<p>結果</p>	<p>アスファルト全量を回収後、コンクリート充填キャッピング上面を目視で観察したが、割れ、亀裂はなくアスファルトの滲みはなかった。(平成27年10月22日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>ドラム缶とコンクリート充填キャッピングに隙間が有り、隙間にはアスファルトが付着(5時方向から9時方向)していた。隙間ゲージで計測したが、最小ゲージ0.04 mmが若干入る程度であった。(平成27年10月22日実施)</p>

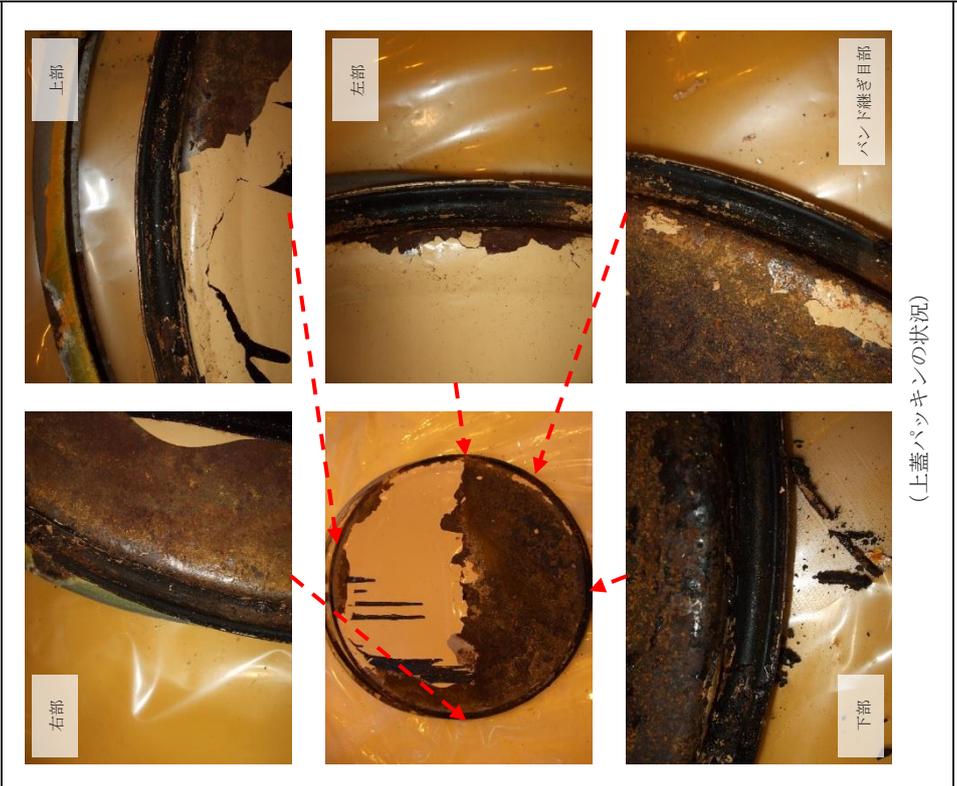
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-007】(1/6)

<p>調査項目</p>	<p>1. 工具 (スパナ) を使用し、バンドの締付けボルトの緩みの有無を確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>2. バンド継ぎ目部分のアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(バンド締付けボルトの状態)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(バンド継ぎ目部分の状態)</p>
<p>結果</p>	<p>締付けボルトの緩みはなかった。(平成 27 年 10 月 23 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>バンド継ぎ目部分の内側にアスファルトが付着していた。(平成 27 年 10 月 23 日実施)</p>

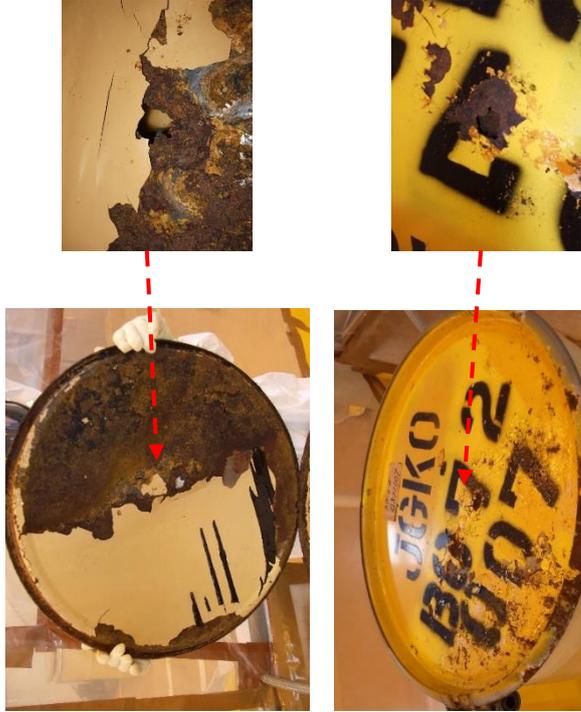
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-007】(2/6)

<p>調査項目</p>	<p>3. バンド内側のアスファルトの付着状況及び腐食状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>4. 上蓋と胴体の接触具合（上蓋が浮いていないか、はめあい部を確認）及びアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(バンド内側の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋と胴体の接触具合状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンド内側にアスファルトが付着していた。(2時方向から8時方向) また、バンドに錆が発生していた。(内側：2時方向から8時方向) (平成27年10月23日実施) *：ドラム缶上部を0時とした。</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋は浮いている様子はなかったが、アスファルトが付着していた。(2時方向から8時方向) (平成27年10月23日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-007】(3/6)

<p>調査項目</p>	<p>5. 上蓋内面及び胴体内面の水滴の有無並びにアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の上蓋との接触の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>6. 上蓋パッキンの状態を接触及び目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<p>(ドラム缶の開缶状況)</p>  <p>1.8 μSv/h, 2.7 μSv/h, 260 mm, 230 mm, 90 mm, 9 mm</p> <p>(コンクリート充填キャッピングとアスファルトが接触していた範囲)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋パッキンの状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面及び胴体内面に水滴の付着はなかった。上蓋とアスファルトが接触していた。(平成 27 年 10 月 23 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>パッキンに付着したアスファルトを除去後、上蓋パッキンの上部、右部、左部、下部、バンド継ぎ目部の箇所について確認した。いずれもパッキンには弾力性があり、劣化しているような様子はなかった。(平成 27 年 10 月 23 日実施)</p>

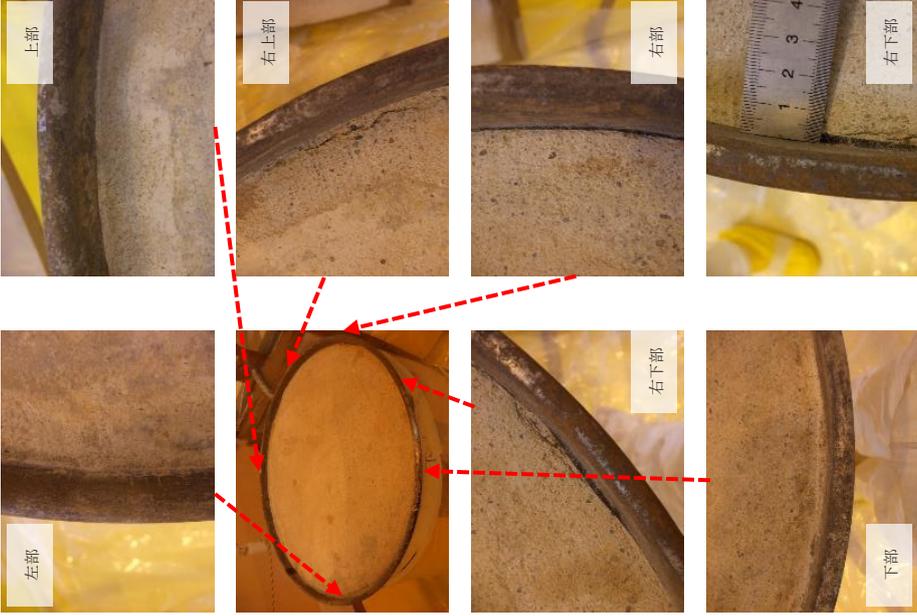
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-007】(4/6)

<p>調査項目</p>	<p>7. 上蓋内面の腐食の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>8. 胴体部分の内面（コンクリート内張り部分より上部）の腐食の有無を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋内面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(錆及びアスファルトの除去前の状況)</p> <p>(錆及びアスファルトの除去後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>マイナスドライバーとハンマーを使用し、ドラム缶の上蓋を開ける際に、振動により上蓋中央部に穴が生じた。上蓋内面は、アスファルトが密着していた部分については塗装が剥がれ、表面に錆が出ている。穴が生じた周辺は腐食が進んでいた。(平成 27 年 10 月 23 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>胴体部分内面の上部、右部、左部、下部については確認した。全体的に表面に錆が発生しており、上部、右部、下部についてはアスファルトが付着していた。錆及びアスファルトの除去を行ったところ、胴体部分（上蓋パッキング接地面含む）に腐食はなかった。(平成 27 年 10 月 23 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-007】(5/6)

<p>調査項目</p>	<p>9. コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルトの状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>10. スクレーパー等を使用し、コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルト全量を回収する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(アスファルトの状態)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(回収したアスファルト)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;">(アスファルト全量の回収後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>しみ出たアスファルトは、上蓋とコンクリート充填キャッピング上面の空隙部分にしみ出て、横積みにした際に下部となる部分に溜まり固まったことが確認できた。(平成27年10月23日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルト全量を回収した。回収したアスファルトの重量は690gであった。(平成27年10月23日実施)</p>

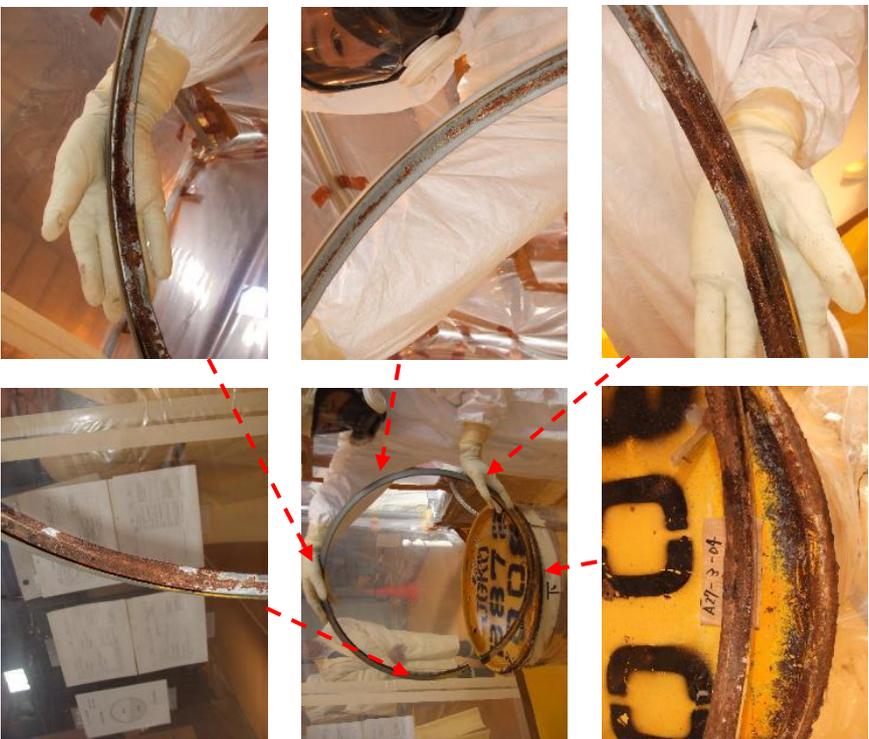
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-007】(6/6)

<p>調査項目</p>	<p>11. コンクリート充填キャッピング上面の割れ又は亀裂の有無を目視等にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>12. アスファルトが滲み出た経路を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(コンクリート充填キャッピング上面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	
<p>結果</p>	<p>アスファルト全量を回収後、コンクリート充填キャッピング上面を目視で観察した。中央下部、右上部、右下部にそれぞれひび割れが生じ、右上部、右下部においては、アスファルトの滲みを確認された。(平成27年10月23日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>ドラム缶とコンクリート充填キャッピングに隙間があり、隙間が有り、隙間にはアスファルトが付着(2時方向から6時方向)していた。金尺及び隙間ゲージで計測し、最大のところまで2.5 mmであった。(平成27年10月23日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-008】(1/6)

<p>調査項目</p>	<p>1. 工具 (スパナ) を使用し、バンドの締付けボルトの緩みの有無を確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>2. バンド継ぎ目部分のアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(バンド締付けボルトの状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(バンド継ぎ目部分の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>締付けボルトの緩みはなかった。(平成 27 年 10 月 26 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>バンド継ぎ目部分の内側にアスファルトが付着していた。(平成 27 年 10 月 26 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-008】(2/6)

<p>調査項目</p>	<p>3. バンド内側のアスファルトの付着状況及び腐食状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>4. 上蓋と胴体の接触具合（上蓋が浮いていないか、はめあい部を確認）及びアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(バンド内側の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋と胴体の接触具合状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンド内側にアスファルトが付着していた。(3時方向から13時方向) また、バンドに錆が発生していた。(内側：全周、外側：10時、3時方向から8時方向) (平成27年10月26日実施) *：ドラム缶上部を0時とした。</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋は浮いている様子はなかったが、全周にアスファルトが付着していた。 (平成27年10月26日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-008】(3/6)

<p>調査項目</p>	<p>5. 上蓋内面及び胴体内面の水滴の有無並びにアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の上蓋との接触の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>6. 上蓋パッキンの状態を接触及び目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<p>(ドラム缶の開缶状況)</p>  <p>(アスファルト上の溜まり水の状況)</p> <p>(コンクリート充填キャッピングとアスファルトが接触していた範囲)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋パッキンの状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋とアスファルトが接触していた。また、胴体内面に溜まり水が生じていた。溜まり水を pH 試験紙にて測定した結果、アルカリ性 (pH: 8~9 程度) であることを確認した。(平成 27 年 10 月 26 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>パッキンに付着したアスファルトを除去後、上蓋パッキンの上部、右部、左部、下部、バンド継ぎ目部の箇所について確認した。いずれもパッキンには弾力性があり、劣化しているような様子はなかった。(平成 27 年 10 月 26 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-008】(4/6)

<p>調査項目</p>	<p>7. 上蓋内面の腐食の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>8. 胴体部分の内面（コンクリート内張り部分より上部）の腐食の有無を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<p> </p> <p>(上蓋内面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	<p></p> <p>(錆及びびアスファルトの除去前の状況)</p> <p>(錆及びびアスファルトの除去後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>塗装は全体的に剥がれていた。アスファルトの接触のない部分については、錆が発生していた。溜まり水の接触があったと思われる部分については、金属の地肌が残っていた。 (平成27年10月26日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>胴体部分内面の上部、右部、左部、下部について確認した。上部から右部の表面に錆が発生しており、ほぼ全周にアスファルトが付着していた。錆及びびアスファルトの除去を行ったところ、胴体部分（上蓋パッキン接地面含む）に腐食はなかった。 (平成27年10月26日、27日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-008】(5/6)

<p>調査項目</p>	<p>9. コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルトの状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>10. スクレーパー等を使用し、コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルト全量を回収する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(アスファルトの状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(アスファルトの回収状況)</p> <p style="text-align: center;">(回収したアスファルト)</p> <p style="text-align: center;">(アスファルト全量の回収後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>しみ出たアスファルトは、上蓋とコンクリート充填キャッピング上面の空隙部分にしみ出て、横積みにした際に下部となる部分に溜まり固まったことが確認できた。(平成27年10月26日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルト全量を回収した。回収したアスファルトの重量は680gであった。(平成27年10月26日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-872-008】(6/6)

<p>調査項目</p>	<p>11. コンクリート充填キャッピング上面の割れ又は亀裂の有無を目視等にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>12. アスファルトが滲み出した経路を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(コンクリート充填キャッピング上面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	
<p>果 結</p>	<p>アスファルト全量を回収後、コンクリート充填キャッピング上面を目視で観察した。中央部付近に約 4 cm×4 cm ほどの窪みが生じていた。下部から左部（6 時方向から 10 時方向）にかけてひび割れが生じていた。（平成 27 年 10 月 27 日実施）</p>	<p>果 結</p>	<p>下部から左部（6 時方向から 10 時方向）にかけてのコンクリート充填キャッピングにひび割れが生じており、その隙間にアスファルトが付着していた。また、右下部（5 時方向）のコンクリートを削り取るとアスファルトが存在しており、より深い部分までコンクリートを削り取ると、ドラム缶とコンクリートの隙間にアスファルトが付着していた。隙間ゲージで計測し、最大のところで 0.1 mm であった。（平成 27 年 10 月 27 日実施）</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-760-021】(1/6)

<p>調査項目</p>	<p>1. 工具（スパナ）を使用し、バンドの締付けボルトの緩みの有無を確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>2. バンド継ぎ目部分のアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(バンド締付けボルトの状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(バンド継ぎ目部分の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>締付けボルトの緩みはなかった。(平成 27 年 11 月 11 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>バンド継ぎ目部分に少量のアスファルトが付着していた。(平成 27 年 11 月 11 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-760-021】(2/6)

<p>調査項目</p>	<p>3. バンド内側のアスファルトの付着状況及び腐食状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>4. 上蓋と胴体の接触具合（上蓋が浮いていないか、はめあい部を確認）及びアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(バンド内側の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋と胴体の接触具合状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンド内側にアスファルトが付着していた。(8時方向から18時方向) バンドの腐食は見られなかった。(平成27年11月11日実施) *：ドラム缶上部を0時とした。</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋は浮いている様子はなかったが、アスファルトが付着していた。(8時方向から18時方向) (平成27年11月11日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-760-021】(3/6)

<p>調査項目</p>	<p>5. 上蓋内面及び胴体内面の水滴の有無並びにアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラの等の上蓋との接触の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>6. 上蓋パッキンの状態を接触及び目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(ドラム缶の開缶状況)</p> <p>(コンクリート充填キャッピングとアスファルトが接触していた範囲)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋パッキンの状況)</p>
<p>果 結</p>	<p>上蓋を取り外す際に上蓋パッキンの一部が剥がれてしまった。上蓋内面及び胴体内面に水滴の付着はなかった。上蓋とアスファルトが接触していた。(平成27年11月11日実施)</p>	<p>果 結</p>	<p>パッキンに付着したアスファルトを除去後、上蓋パッキンの上部、右部、左部、下部、バンド継ぎ目部の箇所について確認した。上部のパッキンは若干固くなっていたが、その他の箇所は弾力性があった。また、上部及び右部のパッキンが上蓋を外す際に剥がれてしまった。(平成27年11月11日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-760-021】(4/6)

<p>調査項目</p>	<p>7. 上蓋内面の腐食の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>8. 胴体部分の内面（コンクリート内張り部分より上部）の腐食の有無を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<p> (上蓋内面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	<p> (錆及びアスファルトの除去前の状況) (錆及びアスファルトの除去後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面は、アスファルトが密着していた部分については塗装が剥がれ、銅材が露出していた。また、錆の発生もほとんどなく、穴が空いている様子はなかった。 (平成 27 年 11 月 11 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>胴体部分内面の上部、右部、左部、下部について確認した。全体の表面に錆が発生しており、アスファルトが付着していた。(平成 27 年 11 月 11 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-760-021】(5/6)

<p>調査項目</p>	<p>9. コンクリート充填キャッピング上面に滲み出たアスファルトの状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>10. スクレーパー等を使用し、コンクリート充填キャッピング上面に滲み出たアスファルト全量を回収する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">(アスファルトの状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(回収したアスファルト)</p> <p style="text-align: right;">(アスファルト全量の回収後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>滲み出たアスファルトは、上蓋とコンクリート充填キャッピング上面の空隙部分に滲み出て、横積みにした際に下部となる部分に溜まり固まったことが確認できた。(平成27年11月11日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>コンクリート充填キャッピング上面に滲み出たアスファルト全量を回収した。回収したアスファルトの重量は500gであった。(平成27年11月11日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-760-021】(6/6)

<p>調査項目</p>	<p>11. コンクリート充填キャッピング上面の割れ又は亀裂の有無を目視等にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>12. アスファルトが滲み出た経路を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(コンクリート充填キャッピング上面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	
<p>結果</p>	<p>アスファルト全量を回収後、コンクリート充填キャッピング上面を目視で観察し、亀裂(0時方向から2時方向)が生じていた。(平成27年11月11日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>ドラム缶とコンクリート充填キャッピングに隙間が有り、隙間にはアスファルトが付着(0時半方向から5時方向)していた。金尺で計測し、最大1mm(1時方向)の隙間であることを確認した。(平成27年11月11日実施)</p>

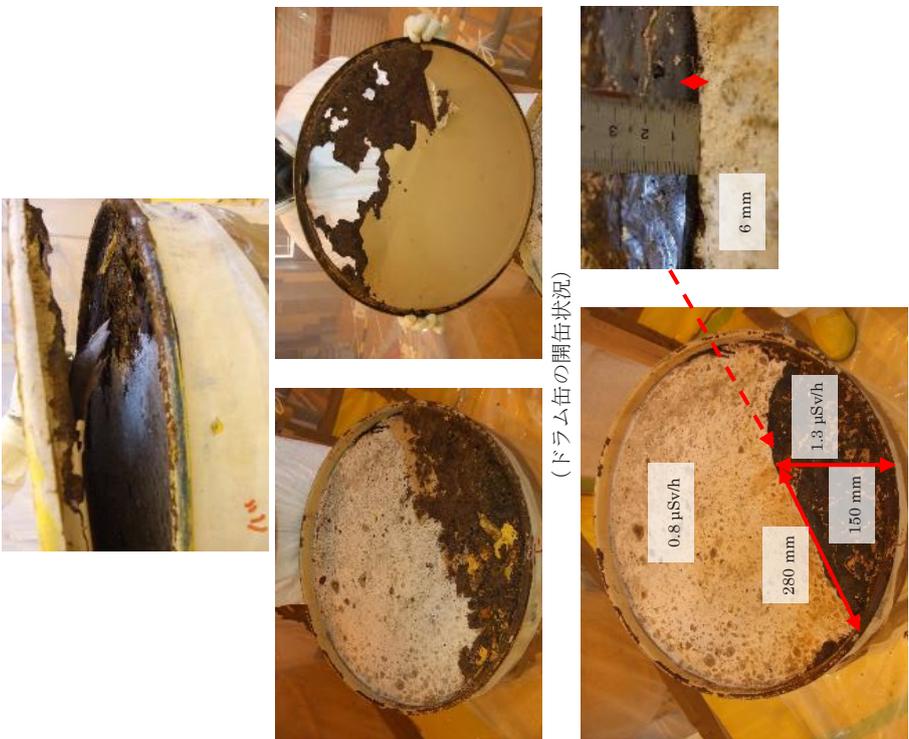
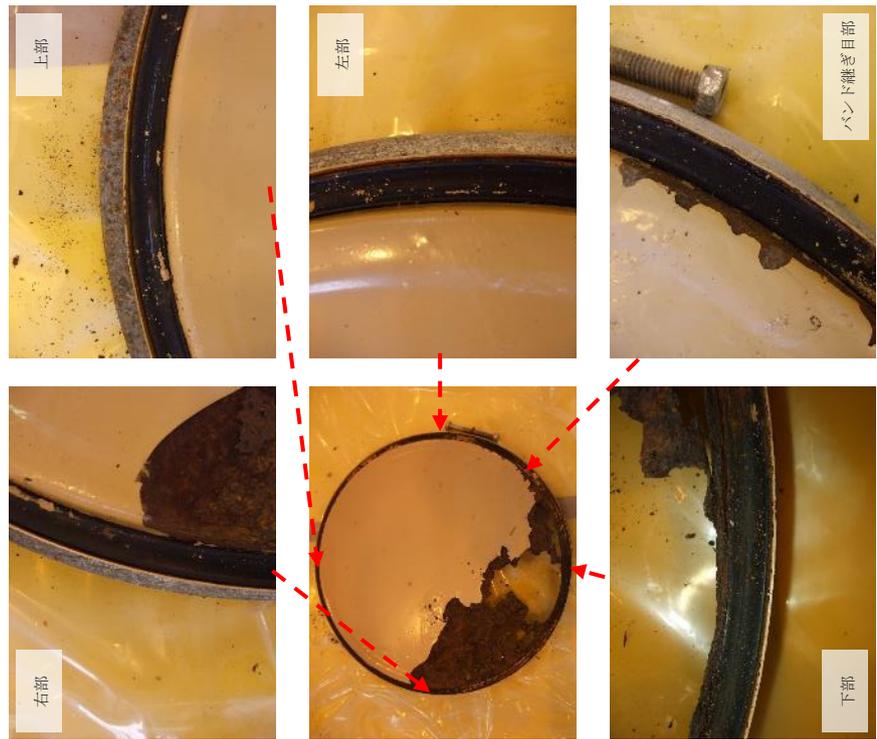
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-841-004】(1/6)

調査項目	1. 工具 (スパナ) を使用し、バンドの締付けボルトの緩みの有無を確認する。	調査項目	2. バンド継ぎ目部分のアスファルトの付着状況を目視にて確認する。
状態確認	  <p>(バンド締付けボルトの状況)</p>	状態確認	  <p>(バンド継ぎ目部分の状況)</p>
結果	ボルトの緩みはなかった。(平成 27 年 12 月 11 日実施)	結果	バンド継ぎ目部分にアスファルトの付着はなかった。(平成 27 年 12 月 11 日実施)

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-841-004】(2/6)

<p>調査項目</p>	<p>3. バンド内側のアスファルトの付着状況及び腐食状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>4. 上蓋と胴体の接触具合（上蓋が浮いていないか、はめあい部を確認）及びアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(バンド内側の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋と胴体の接触具合状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンド内側にアスファルトが付着していた。(5時方向から7時方向) また、バンドに腐食が発生していた。(内側：5時方向から7時方向、外側：5時方向から8時方向) (平成27年12月11日実施) *：ドラム缶上部を0時とした。</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋は浮いている様子はなかったが、アスファルトが付着していた。(5時半方向から7時方向) (平成27年12月11日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-841-004】(3/6)

<p>調査項目</p>	<p>5. 上蓋内面及び胴体内面の水滴の有無並びにアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の上蓋との接触の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>6. 上蓋パッキンの状態を接触及び目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(ドラム缶の開缶状況)</p> <p>(コンクリート充填キャッピングとアスファルトが接触していた範囲)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋パッキンの状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面及び胴体内面に水滴の付着はなかった。上蓋とアスファルトが接触していた。(平成 27 年 12 月 11 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>パッキンに付着したアスファルトを除去後、上蓋パッキンの上部、右部、左部、下部、バンド継ぎ目部の箇所について確認した。いずれもパッキンには弾力性があり、劣化しているような様子はなかった。(平成 27 年 12 月 11 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-841-004】(4/6)

<p>調査項目</p>	<p>7. 上蓋内面の腐食の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>8. 胴体部分の内面（コンクリート内張り部分より上部）の腐食の有無を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<p> (上蓋内面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	<p> (錆及びアスファルトの除去前の状況) (錆及びアスファルトの除去後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面は、アスファルトが密着していた部分については塗装が剥がれ、錆が発生していた。また、腐食により穴が空いていた。(平成27年12月11日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>胴体部分内面の上部、右部、左部、下部については確認した。上部については腐食は見受けられなかった。右部、左部については一部表面に錆が発生しており、下部についてはアスファルトが付着していた。錆及びアスファルトの除去を行ったところ、下部の胴体部分に約3.5 cmの穴が空いてしまった。(平成27年12月11日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-841-004】(5/6)

<p>調査項目</p>	<p>9. コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルトの状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>10. スクレーパー等を使用し、コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルト全量を回収する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">(アスファルトの状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(アスファルトの回収状況)</p> <p style="text-align: right;">(回収したアスファルト)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: right;">(アスファルト全量の回収後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>しみ出たアスファルトは、上蓋とコンクリート充填キャッピング上面の空隙部分にしみ出て、横積みにした際に下部となる部分に溜まり固まったことが確認できた。(平成27年12月11日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>コンクリート充填キャッピング上面にしみ出たアスファルト全量を回収した。回収したアスファルトの重量は370gであった。(平成27年12月11日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-841-004】(6/6)

<p>調査項目</p>	<p>11. コンクリート充填キャッピング上面の割れ又は亀裂の有無を目視等にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>12. アスファルトが滲み出した経路を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(コンクリート充填キャッピング上面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	
<p>結果</p>	<p>アスファルト全量を回収後、コンクリート充填キャッピング上面を目視で観察したが、割れ、亀裂はなくアスファルトの滲みはなかった。(平成27年12月11日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>ドラム缶とコンクリート充填キャッピングに隙間があり(3時方向から6時方向)、隙間にはアスファルトが付着していた。隙間ゲージで計測したが、最大1mmが入る程度であった。(平成27年12月11日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-866-015】(1/6)

<p>調査項目</p>	<p>1. 工具（スパナ）を使用し、バンドの締付けボルトの緩みの有無を確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>2. バンド継ぎ目部分のアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">(バンド締付けボルトの状態)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(バンド継ぎ目部分の状態)</p>
<p>結果</p>	<p>締付けボルトの緩みはなかった。(平成 27 年 10 月 30 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>バンド継ぎ目部分にアスファルトは付着していなかった。(平成 27 年 10 月 30 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-866-015】(2/6)

<p>調査項目</p>	<p>3. バンド内側のアスファルトの付着状況及び腐食状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>4. 上蓋と胴体の接触具合（上蓋が浮いていないか、はめあい部を確認）及びアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(バンド内側の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋と胴体の接触具合状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンド内側にアスファルトが付着していた。(5時半方向から7時方向) また、バンドに錆が発生していた。(内側：5時方向から7時方向、外側：5時半方向から6時半方向) (平成27年10月30日実施) *：ドラム缶上部を0時とした。</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋は浮いている様子はなかったが、アスファルトが付着していた。(5時方向から7時方向) (平成27年10月30日実施)</p>

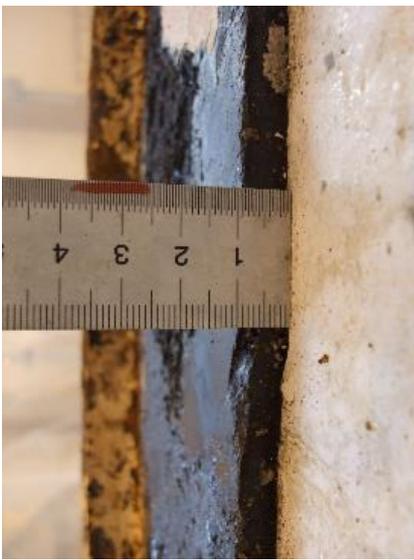
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-866-015】(3/6)

<p>調査項目</p>	<p>5. 上蓋内面及び胴体内面の水滴の有無並びにアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の上蓋との接触の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>6. 上蓋パッキンの状態を接触及び目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(ドラム缶の開缶状況)</p> <p>(コンクリート充填キャッピングとアスファルトが接触していた範囲)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋パッキンの状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面及び胴体内面に水滴の付着はなかった。上蓋とアスファルトが接触していた。(平成 27 年 10 月 21 日、30 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>パッキンに付着したアスファルトを除去後、上蓋パッキンの上部、右部、左部、下部、バンド継ぎ目部の箇所について確認した。いずれもパッキンには弾力性があり、劣化しているような様子はなかった。(平成 27 年 10 月 30 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-866-015】(4/6)

<p>調査項目</p>	<p>7. 上蓋内面の腐食の有無を目視にて確認する。</p>	<p>8. 胴体部分の内面（コンクリート内張り部分より上部）の腐食の有無を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋内面の状況)</p>	 <p>(錆及びびアスファルトの除去前の状況)</p> <p>(錆及びびアスファルトの除去後の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面は、アスファルトが密着していた部分については塗装が剥がれ、表面に錆が出ていた。一方、穴が空いている様子はなかった。(平成 27 年 10 月 30 日実施)</p>	<p>胴体部分内面の上部、右部、左部、下部については確認した。上部以外の表面に錆が発生しており、右部、下部についてはアスファルトが付着していた。(平成 27 年 10 月 30 日、11 月 2 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-866-015】(5/6)

<p>調査項目</p>	<p>9. コンクリート充填キャッピング上面に滲み出たアスファルトの状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>10. スクレーパー等を使用し、コンクリート充填キャッピング上面に滲み出たアスファルト全量を回収する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">(アスファルトの状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(回収したアスファルト)</p>
<p>結果</p>	<p>滲み出たアスファルトは、上蓋とコンクリート充填キャッピング上面の空隙部分に滲み出て、横積みにした際に下部となる部分に溜まり固まったことが確認できた。(平成27年10月30日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>コンクリート充填キャッピング上面に滲み出たアスファルト全量を回収した。回収したアスファルトの重量は520gであった。(平成27年10月30日、11月2日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-866-015】(6/6)

<p>調査項目</p>	<p>11. コンクリート充填キャッピング上面の割れ又は亀裂の有無を目視等にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>12. アスファルトが滲み出した経路を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(コンクリート充填キャッピング上面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	
<p>結果</p>	<p>アスファルト全量を回収後、コンクリート充填キャッピング上面を目視で観察し、亀裂(2時方向から4時方向)が生じており、アスファルトの滲みがあった。(平成27年11月2日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>ドラム缶とコンクリート充填キャッピングに隙間が有り、隙間にはアスファルトが付着(2時方向から6時方向)していた。隙間ゲージで計測したが、最大0.5mmの隙間ゲージが入る程度であった。(平成27年11月2日実施)</p>

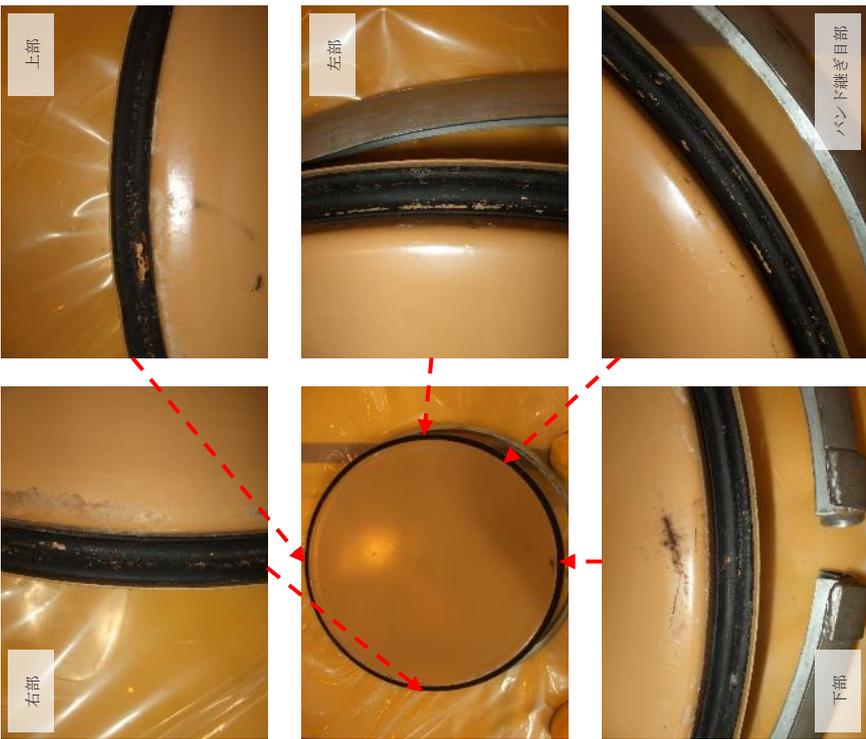
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-876-017】(1/5)

<p>調査項目</p>	<p>1. 工具（スパナ）を使用し、バンドの締付けボルトの緩みの有無を確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>2. バンド継ぎ目部分のアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">(バンド締付けボルトの状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">(バンド継ぎ目部分の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>締付けボルトの緩みはなかった。(平成 27 年 10 月 29 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>バンド継ぎ目部分にアスファルトの付着はなかった。(平成 27 年 10 月 29 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-876-017】(2/5)

<p>調査項目</p>	<p>3. バンド内側のアスファルトの付着状況及び腐食状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>4. 上蓋と胴体の接触具合（上蓋が浮いていないか、はめあい部を確認）及びアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(バンド内側の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋と胴体の接触具合状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンド内側にアスファルトが付着及び腐食はなかった。(平成27年10月29日実施) *：ドラム缶上部を0時とした。</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋は浮いている様子はなかった。また、アスファルトの付着はなかった。(平成27年10月29日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-876-017】(3/5)

<p>調査項目</p>	<p>5. 上蓋内面及び胴体内面の水滴の有無並びにアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の上蓋との接触の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>6. 上蓋パッキンの状態を接触及び目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(ドラム缶の開缶状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋パッキンの状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面及び胴体内面に水滴はなかった。また、上蓋とアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の接触はなかった。(平成27年10月29日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋パッキンの上部、右部、左部、下部、パンド継ぎ目部の箇所について確認した。いずれもパッキンには弾力性があり、劣化しているような様子はなかった。(平成27年10月29日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-876-017】(4/5)

<p>調査項目</p>	<p>7. 上蓋内面の腐食の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>8. 胴体部分の内面（コンクリート内張り部分より上部）の腐食の有無を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">(上蓋内面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">胴体部分の内面の状況</p>
<p>結果</p>	<p>塗装の剥離及び金属の腐食はなく健全な状態であった。(平成 27 年 10 月 29 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>胴体部分内面の上部、右部、左部、下部について確認した。胴体部分（上蓋バッキング接地面含む）に腐食はなかった。(平成 27 年 10 月 29 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-876-017】(5/5)

調査項目	9. コンクリート充填キャッピング上面の割れ又は亀裂の有無を目視等にて確認する。	調査項目	
状態確認	 <p>(コンクリート充填キャッピング上面の状況)</p>	状態確認	
結果	コンクリート充填キャッピング上面を目視で観察した。ひび割れ及び亀裂等もなく、健全な状態であった。(平成 27 年 10 月 29 日実施)	結果	

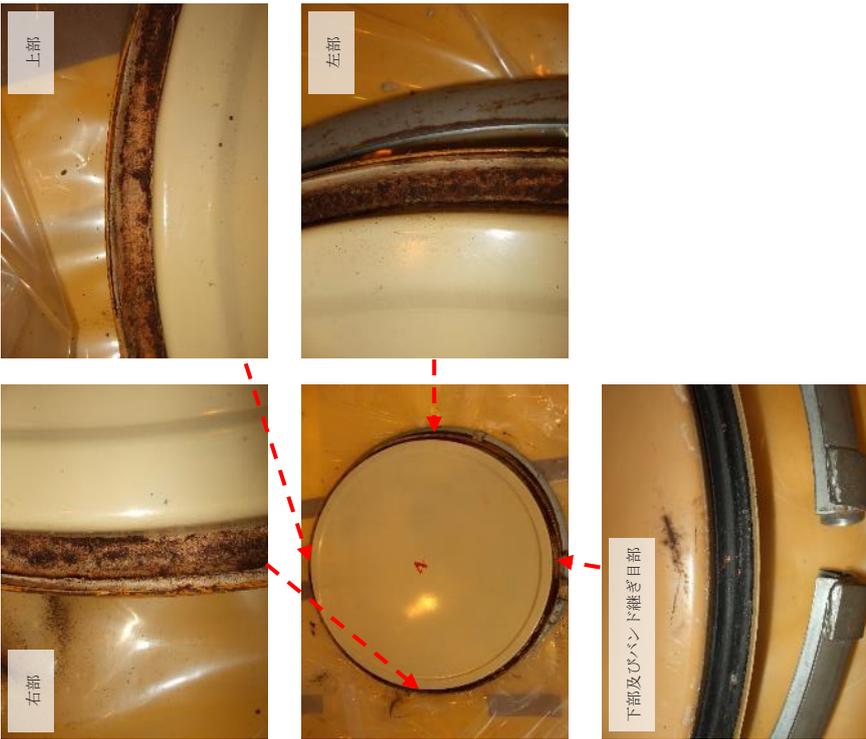
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-756-010】(1/5)

<p>調査項目</p>	<p>1. 工具 (スパナ) を使用し、バンドの締付けボルトの緩みの有無を確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>2. バンド継ぎ目部分のアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(レバー式バンドの状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(バンド継ぎ目部分の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンドの締付け具合に緩みはなかった。(平成 27 年 11 月 19 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>バンド継ぎ目部分にアスファルトの付着はなかった。(平成 27 年 11 月 19 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-756-010】(2/5)

<p>調査項目</p>	<p>3. バンド内側のアスファルトの付着状況及び腐食状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>4. 上蓋と胴体の接触具合（上蓋が浮いていないか、はめあい部を確認）及びアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(バンド内側の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋と胴体の接触具合状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンド内側にアスファルトが付着及び腐食はなかった。(平成27年11月19日実施) *：ドラム缶上部を0時とした。</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋は浮いている様子はなかった。また、アスファルトの付着はなかった。(平成27年11月19日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-756-010】(3/5)

<p>調査項目</p>	<p>5. 上蓋内面及び胴体内面の水滴の有無並びにアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の上蓋との接触の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>6. 上蓋パッキンの状態を接触及び目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(ドラム缶の開缶状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋パッキンの状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面及び胴体内面に水滴はなかった。また、上蓋とアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の接触はなかった。(平成27年11月11日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋パッキンの上部、右部、下部、バンド継ぎ目部の箇所について確認した。いずれもパッキンには弾力性があるが、全体的にへタリがあるように感じられた。(平成27年11月19日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-756-010】(4/5)

<p>調査項目</p>	<p>7. 上蓋内面の腐食の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>8. 胴体部分の内面（コンクリート内張り部分より上部）の腐食の有無を確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(上蓋内面の状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">(胴体部分の内面の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>塗装の剥離及び金属の腐食はなく健全な状態であった。(平成27年11月19日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>胴体部分内面の上部、右部、左部、下部について確認した。胴体部分の上蓋パッキン接地面表面に錆が発生していた。錆取後の確認では、ドラム缶の鋼材の地金は健全な状態であった。(平成27年11月19日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-756-010】(5/5)

調査項目	9. コンクリート充填キヤッピング上面の有無を目視等にて確認する。	調査項目	
状態確認	 <p>(コンクリート充填キヤッピング上面の状況)</p>	状態確認	
結果	コンクリート充填キヤッピング上面を目視で観察した。ひび割れ及び亀裂等もなく、健全な状態であった。(平成 27 年 11 月 19 日実施)	結果	

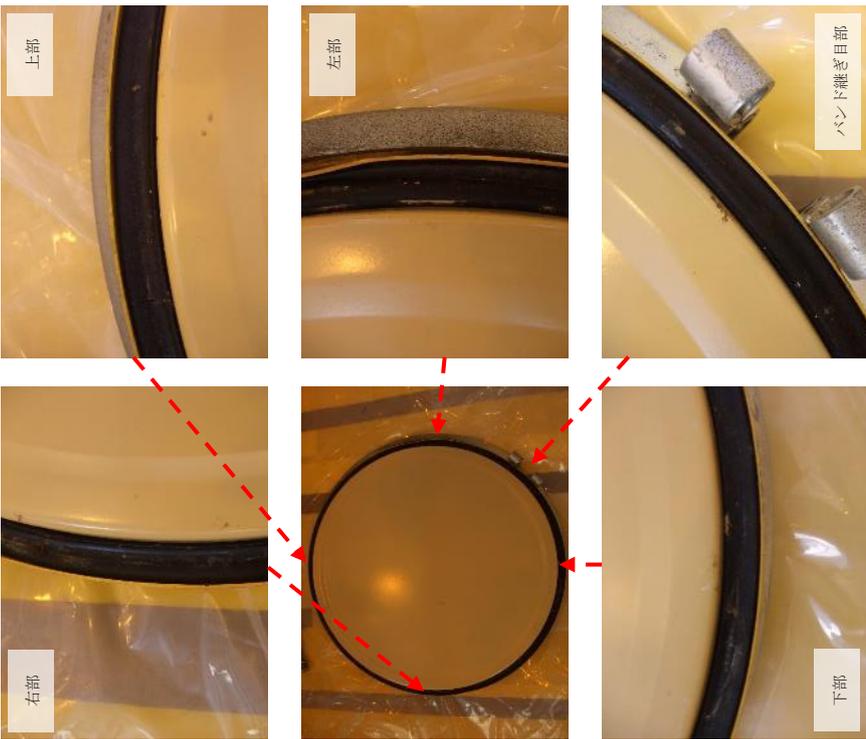
アスファルトドラム缶の開缶調査【B-893-006】(1/5)

<p>調査項目</p>	<p>1. 工具（スパナ）を使用し、バンドの締付けボルトの緩みの有無を確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>2. バンド継ぎ目部分のアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">(レバー式バンドの状況)</p>	<p>状態確認</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">(バンド継ぎ目部分の状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンドの締付け具合に緩みはなかった。(平成 27 年 11 月 19 日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>バンド継ぎ目部分にアスファルトの付着はなかった。(平成 27 年 11 月 19 日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-893-006】(2/5)

<p>調査項目</p>	<p>3. バンド内側のアスファルトの付着状況及び腐食状況を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>4. 上蓋と胴体の接触具合（上蓋が浮いていないか、はめあい部を確認）及びアスファルトの付着状況を目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(バンド内側の状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋と胴体の接触具合状況)</p>
<p>結果</p>	<p>バンド内側にアスファルトが付着及び腐食はなかった。(平成27年11月19日実施) *：ドラム缶上部を0時とした。</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋は浮いている様子はなかった。また、アスファルトの付着はなかった。(平成27年11月19日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-893-006】(3/5)

<p>調査項目</p>	<p>5. 上蓋内面及び胴体内面の水滴の有無並びにアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の上蓋との接触の有無を目視にて確認する。</p>	<p>調査項目</p>	<p>6. 上蓋パッキンの状態を接触及び目視にて確認する。</p>
<p>状態確認</p>	 <p>(ドラム缶の開缶状況)</p>	<p>状態確認</p>	 <p>(上蓋パッキンの状況)</p>
<p>結果</p>	<p>上蓋内面及び胴体内面に水滴はなかった。また、上蓋とアスファルト又はコンクリート充填キャッピングガラ等の接触はなかった。(平成27年11月11日実施)</p>	<p>結果</p>	<p>上蓋パッキンの上部、右部、左部、下部、バンド継ぎ目部の箇所について確認した。いずれの箇所もパッキンに弾力性があった。(平成27年11月19日実施)</p>

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-893-006】(4/5)

調査項目	7. 上蓋内面の腐食の有無を目視にて確認する。	調査項目	8. 胴体部分の内面（コンクリート内張り部分より上部）の腐食の有無を確認する。
状態確認	  <p>(上蓋内面の状況)</p>	状態確認	
結果	塗装の剥離及び金属の腐食はなく健全な状態であった。(平成 27 年 11 月 19 日実施)	結果	胴体部分内面の上部、右部、左部、下部について確認した。胴体部分（上蓋バッキング接地面含む）に腐食はなかった。(平成 27 年 11 月 19 日実施)

アスファルトドラム缶の開缶調査【B-893-006】(5/5)

調査項目	9. コンクリート充填キャッピング上面の割れ又は亀裂の有無を目視等にて確認する。	調査項目	
状態確認	 <p>(コンクリート充填キャッピング上面の状況)</p>	状態確認	
結果	コンクリート充填キャッピング上面を目視で観察した。ひび割れ及び亀裂等もなく、健全な状態であった。(平成27年11月19日実施)	結果	

This is a blank page.

Appendix 4

ドラム缶胴体鋼材部分の切断及び原因調査

This is a blank page.

ドラム缶胴体鋼材部分の切断及び原因調査【B-841-004】(1/3)

<p>作業項目</p>	<p>1. ドラム缶胴体部分の鋼材をチップソーで切断する。</p>
<p>作業状況</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(縦方向の切断状況)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(周方向の切断状況)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>(切断後のドラム缶の状況)</p> </div>
<p>結 果</p>	<p>(平成 28 年 2 月 3 日実施)</p>

ドラム缶胴体鋼材部分の切断及び原因調査【B-841-004】(2/3)

<p>作業項目</p>	<p>2. ドラム缶胴体鋼材部分を取り外す。</p>
<p>作業状況</p>	<div style="text-align: center;">  <p>(胴体鋼材部分の取り外しの様子)</p> </div>
<p>結 果</p>	<p>コンクリート内張りとキャッピングの継ぎ目付近ほぼ一周にアスファルトが付着していた。(平成 28 年 2 月 3 日実施)</p>

ドラム缶胴体鋼材部分の切断及び原因調査【B-841-004】(3/3)

<p>作業項目</p>	<p>3. 付着しているアスファルトを回収し、アスファルトの滲み出た経路を確認する。</p>
<p>作業状況</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(横置き時に左上となっていた箇所)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(横置き時に右上となっていた箇所)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(最大 14 mm の隙間有り)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(横置き時に右下となっていた箇所)</p> </div> </div>
<p>結 果</p>	<p>コンクリート内張りとキャッピングコンクリートの継ぎ目付近のキャッピングに隙間が生じていた。(平成 28 年 2 月 4 日)</p>

ドラム缶胴体鋼材部分の切断及び原因調査【B-872-006】(1/3)

<p>作業項目</p>	<p>1. ドラム缶胴体部分の鋼材をチップソーで切断する。</p>
<p>作業状況</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(縦方向の切断状況)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(周方向の切断状況)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>(切断後のドラム缶の状況)</p> </div>
<p>結 果</p>	<p>(平成 28 年 2 月 16 日実施)</p>

ドラム缶胴体鋼材部分の切断及び原因調査【B-872-006】(2/3)

<p>作業項目</p>	<p>2. ドラム缶胴体鋼材部分を取り外す。</p>
<p>作業状況</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">    <p>(横置き時に左上となっていた箇所)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">    <p>(横置き時に右上となっていた箇所)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">    <p>(横置き時に左下となっていた箇所)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">    <p>(横置き時に右下となっていた箇所)</p> </div> </div>
<p>結果</p>	<p>コンクリート内張りとキャッピングの継ぎ目付近、底部付近の胴体部分ほぼ一周及び、胴体の一部にアスファルトが付着していた。(平成 28 年 2 月 16 日実施)</p>

ドラム缶胴体鋼材部分の切断及び原因調査【B-872-006】(3/3)

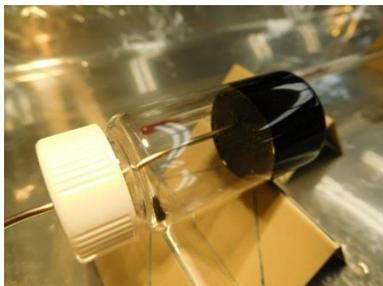
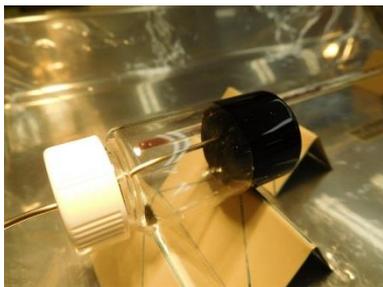
<p>作業項目</p>	<p>3. 付着しているアスファルトを回収し、アスファルトの滲み出た経路を確認する。</p>
<p>作業状況</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(横置き時に左上となっていた箇所)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(横置き時に右上となっていた箇所)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(横置き時に左下となっていた箇所)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(横置き時に右下となっていた箇所)</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>(最大 15 mm の隙間有り)</p> </div> </div>
<p>結 果</p>	<p>コンクリート内張りとキャッピングコンクリートの継ぎ目付近のキャッピングに隙間が生じていた。(平成 28 年 2 月 17 日)</p>

Appendix 5

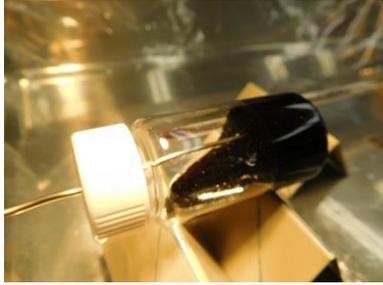
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察

This is a blank page.

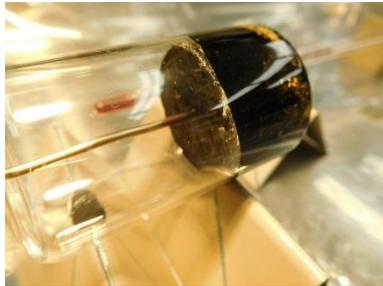
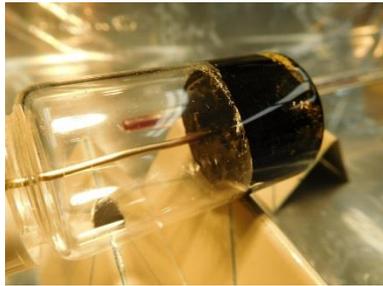
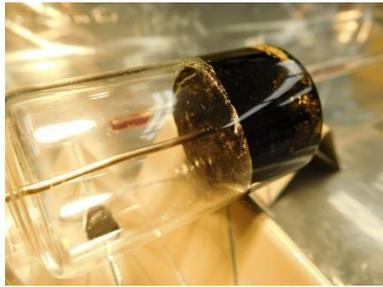
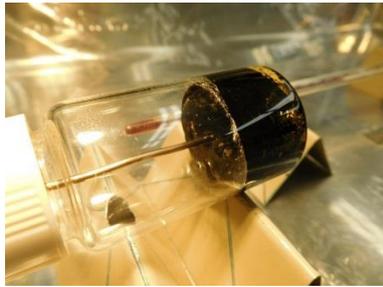
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-863-012】(1/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (℃)	状況等	写真
28	39.8	アスファルト上側の表面が僅かに溶けて、熱電対の周りが少し盛り上がってきた。	
60	42.0	アスファルトの表面が溶けて、上側が少し窪み始めた。	
90	43.1	アスファルトの表面全体が溶け始めて、膨らむような変化が現れ始めた。	
132	47.2	アスファルトの表面がさらに溶けて、少しずつ下方向へ流動してきた。	
150	51.0	少しずつ左方向に流動してきた。	

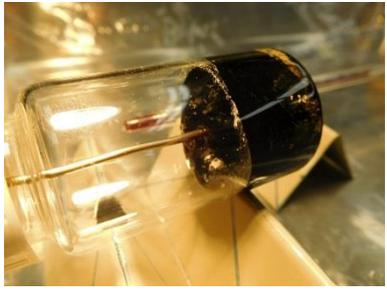
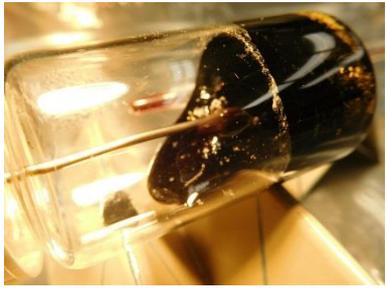
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-863-012】(2/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (°C)	状況等	写真
165	54.2	見た目上、完全に溶けてさらに左方向に流動が進行してきた。	
180	58.0	溶けたアスファルトの表面に光沢(つや)がでてきた。	
185	60.4	バイヤル瓶内の一部に水滴がついた。	

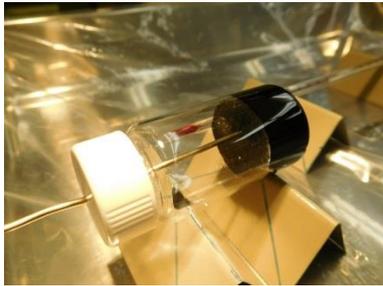
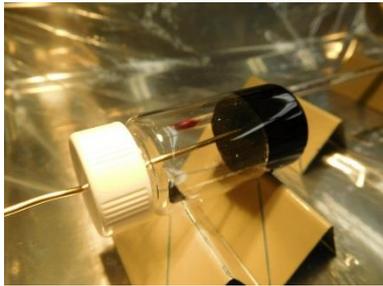
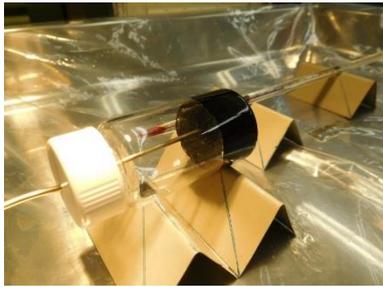
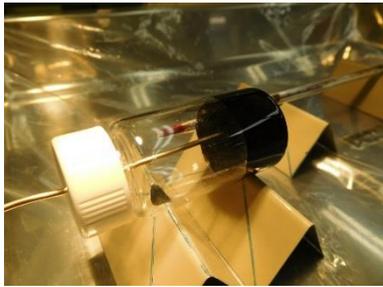
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-872-006】(1/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (°C)	状況等	写真
25	39.6	アスファルトの表面が僅かに溶け始めた。	
65	44.4	アスファルトの表面が溶け始めて、膨らむような変化が現れ始めた。	
90	47.8	アスファルトの表面が溶けて、上側が少し窪み始めた。	
100	48.3	バイヤル瓶の一部に水滴がついてきた。	
120	49.8	アスファルトの表面がさらに溶けて、少しずつ下方向へ流動してきた。	

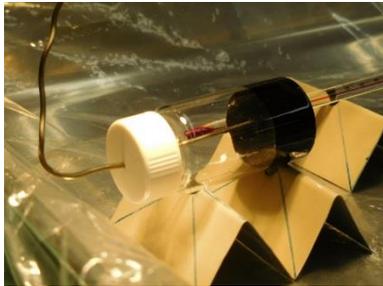
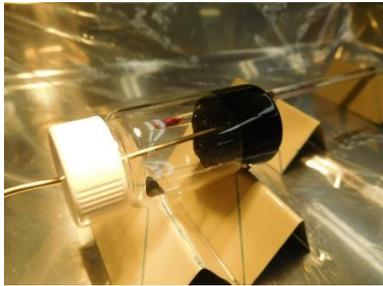
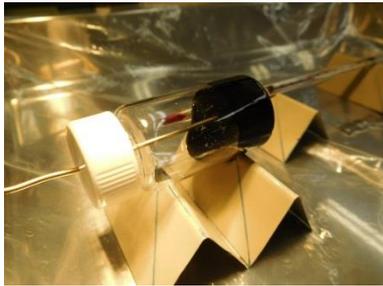
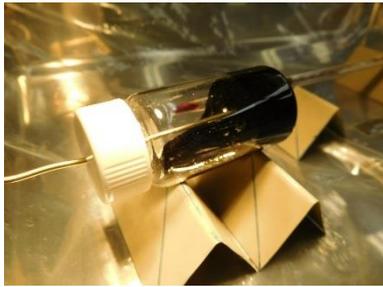
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-872-006】(2/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (°C)	状況等	写真
160	55.3	少しずつ左方向に流動してきた。	
185	62.1	見た目上、完全に溶けてさらに左方向に流動が進行してきた。	
190	64.6	溶けたアスファルトの表面に光沢(つや)がでてきた。	

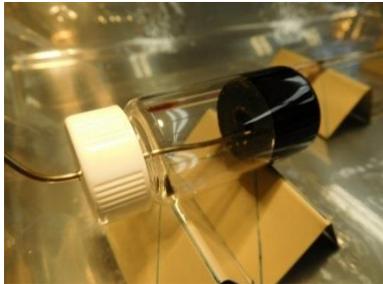
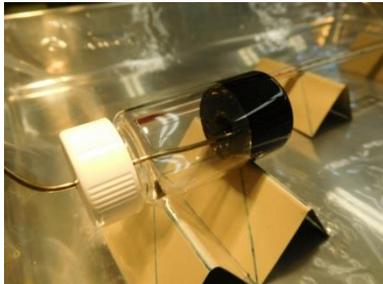
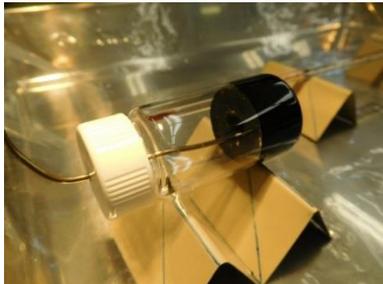
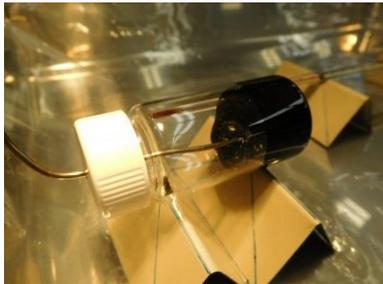
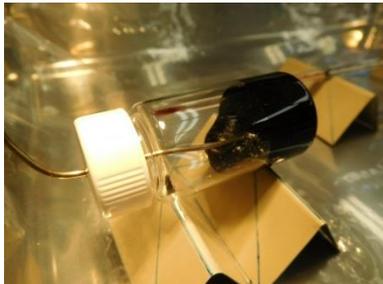
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-872-007】(1/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (°C)	状況等	写真
58	39.8	アスファルト上側の表面が僅かに溶けて、熱電対の周りが少し盛り上がってきた。	
93	43.6	アスファルトの表面が溶けて、上側が少し窪み始めた。	
97	44.4	アスファルトの表面全体が溶け始めて、膨らむような変化が現れ始めた。	
120	46.3	アスファルトの表面が溶けて、上側の窪みが大きくなってきた。	
143	49.2	アスファルトの表面がさらに溶けて、少しずつ下方向へ流動してきた。	

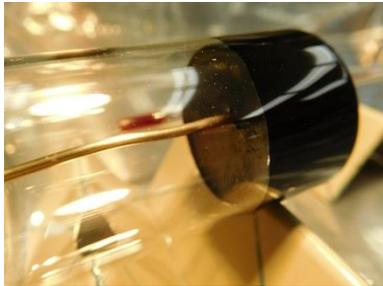
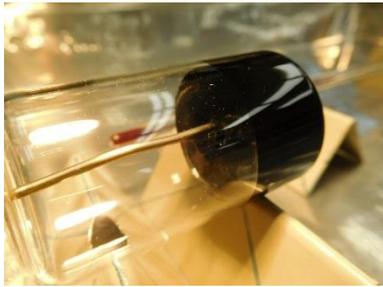
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-872-007】(2/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (℃)	状況等	写真
148	49.8	バイヤル瓶の一部に水滴がついてきた。	
160	52.1	少しずつ左方向に流動してきた。	
175	57.6	見た目上、完全に溶けてさらに左方向に流動が進行してきた。	
195	64.4	溶けたアスファルトの表面に光沢(つや)がでてきた。	

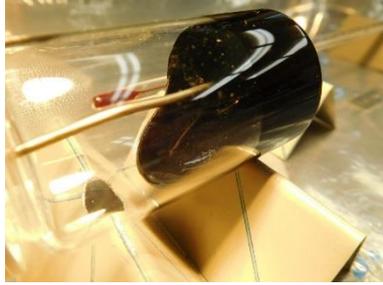
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-872-008】

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (°C)	状況等	写真
38	40.8	アスファルトの表面に変化(溶け始めた感じ)が現れ始めた。	
45	41.2	アスファルトの表面が膨らむような変化が現れた。	
70	42.0	アスファルトの表面がさらに溶けて、少しずつ下方向へ流動してきた。	
115	48.2	アスファルトが溶けて、左方向に流動してきた。	
132	53.7	見た目上、完全にアスファルトが溶けて、さらに左方向に流動が進行してきた。	

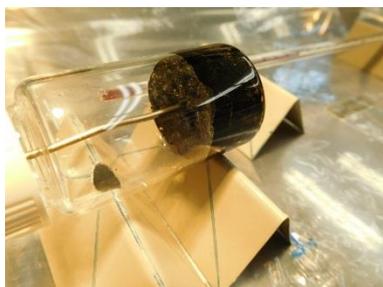
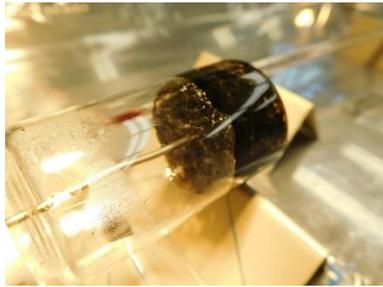
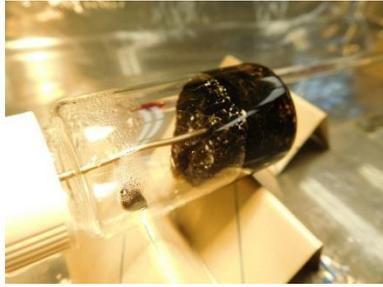
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-76O-021】(1/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (℃)	状況等	写真
70	46.0	アスファルトの表面が僅かに溶け始めた。	
80	48.7	アスファルトの表面が溶けて、上側が少し窪み始めた。	
90	50.4	アスファルトの表面が溶け始めて、僅かに膨らむような変化が現れ始めた。	
115	53.1	アスファルトの表面がさらに溶けて、少しずつ下方向へ流動してきた。	
125	55.9	少しずつ左方向に流動してきた。また、バイヤル瓶の一部に水滴がついてきた。	

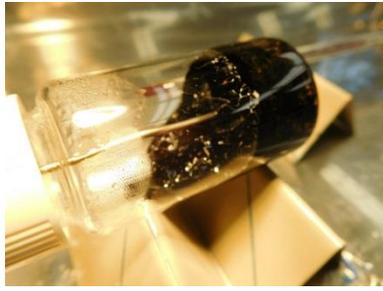
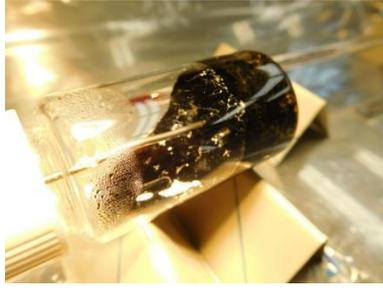
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-76O-021】(2/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (℃)	状況等	写真
145	60.7	見た目上、完全に溶けてさらに左方向に流動が進行してきた。	

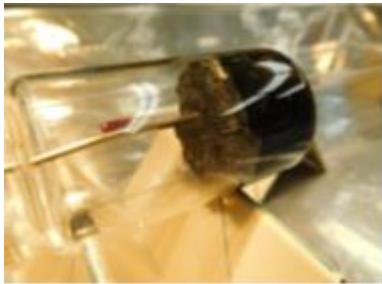
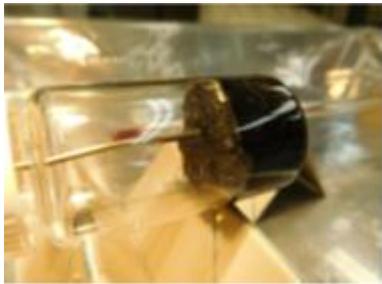
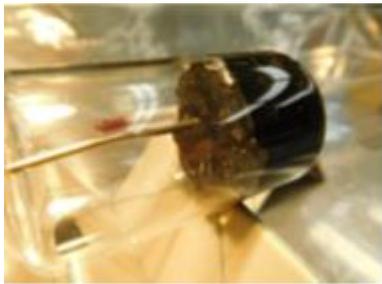
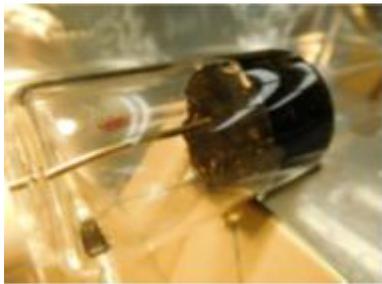
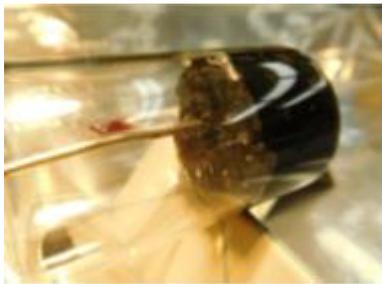
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-841-004】(1/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (℃)	状況等	写真
30	39.8	アスファルトの表面が僅かに溶け始めた。	
35	40.4	バイヤル瓶の一部に水滴がついてきた。	
100	46.9	アスファルトの表面が溶けて、僅かに膨らむような変化が現れ始めた。	
145	54.0	アスファルトの表面がさらに溶けて、少しずつ下方向へ流動してきた。	
175	63.1	少しずつ左方向に流動してきた。	

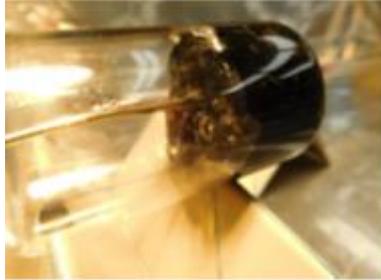
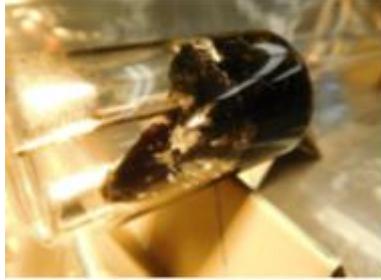
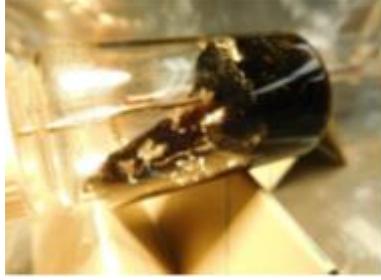
アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-841-004】(2/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (℃)	状況等	写真
185	68.4	見た目上、完全に溶けてさらに左方向に流動が進行してきた。	
190	71.5	溶けたアスファルトの表面に光沢(つや)がでてきた。	

アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-866-015】(1/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (℃)	状況等	写真
60	40.1	アスファルトの表面が僅かに溶け始めた。	
80	42.4	バイヤル瓶の一部に水滴がついてきた。	
95	45.3	アスファルトの表面が溶けて僅かに膨らむような変化が現れ始めた。	
105	46.7	アスファルトの表面が溶けて、上側が少し窪み始めた。	
125	48.0	アスファルトの表面がさらに溶けて、少しずつ下方向へ流動してきた。	

アスファルトの加熱操作による軟化状況の観察【B-866-015】(2/2)

経過時間 (min)	内部熱電対温度 (°C)	状況等	写真
153	54.0	少しずつ左方向に流動してきた。	
175	62.8	見た目上、完全に溶けてさらに左方向に流動が進行してきた。	
180	65.2	溶けたアスファルトの表面に光沢（つや）がでてきた。	

This is a blank page.

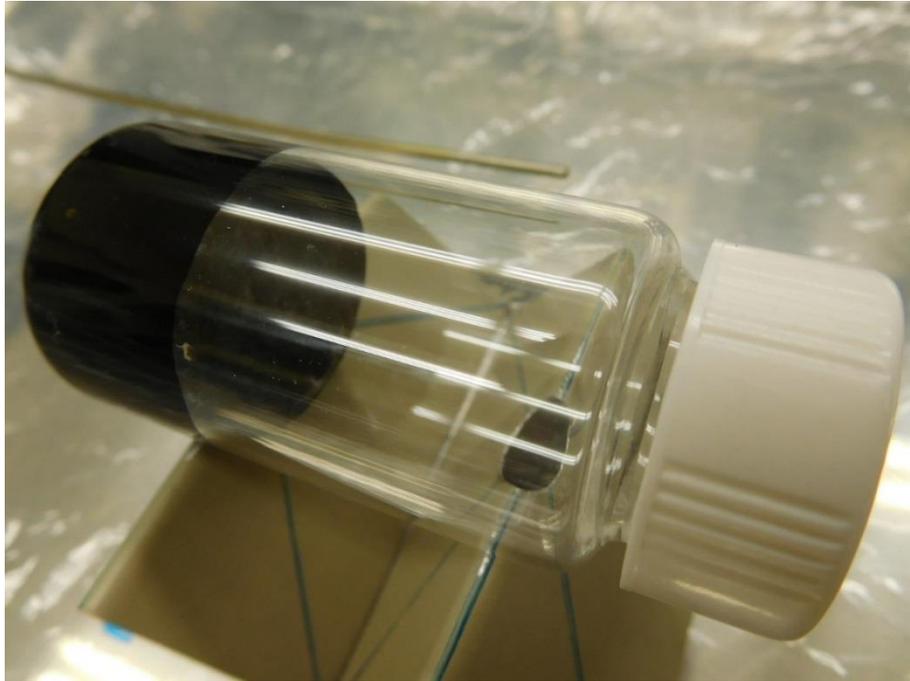
Appendix 6

アスファルトの常温静置による流動性の確認

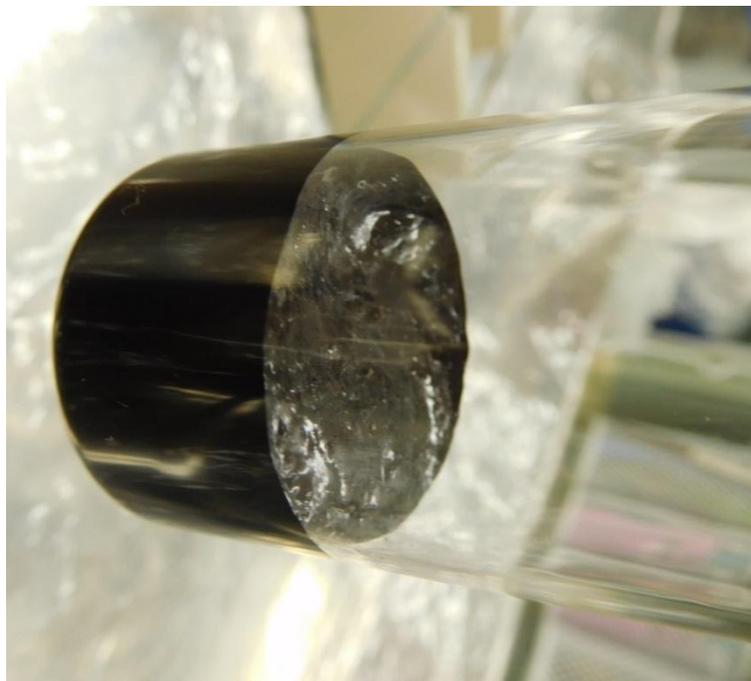
This is a blank page.

アスファルトの常温静置による流動性の確認 (1/6)

パッケージNo.	B-872-008	作業開始年月日	平成 28 年 7 月 19 日
写真撮影日	平成 28 年 7 月 22 日	経過日数	4 日



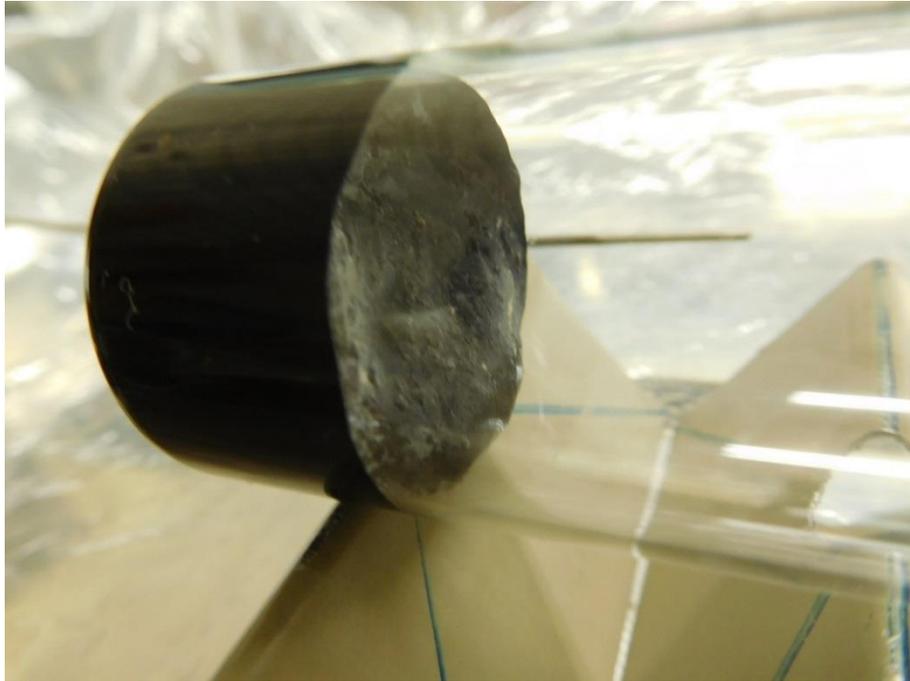
下側に少し流動して、上側に窪みができた。〔日時：7月22日、9時30分〕



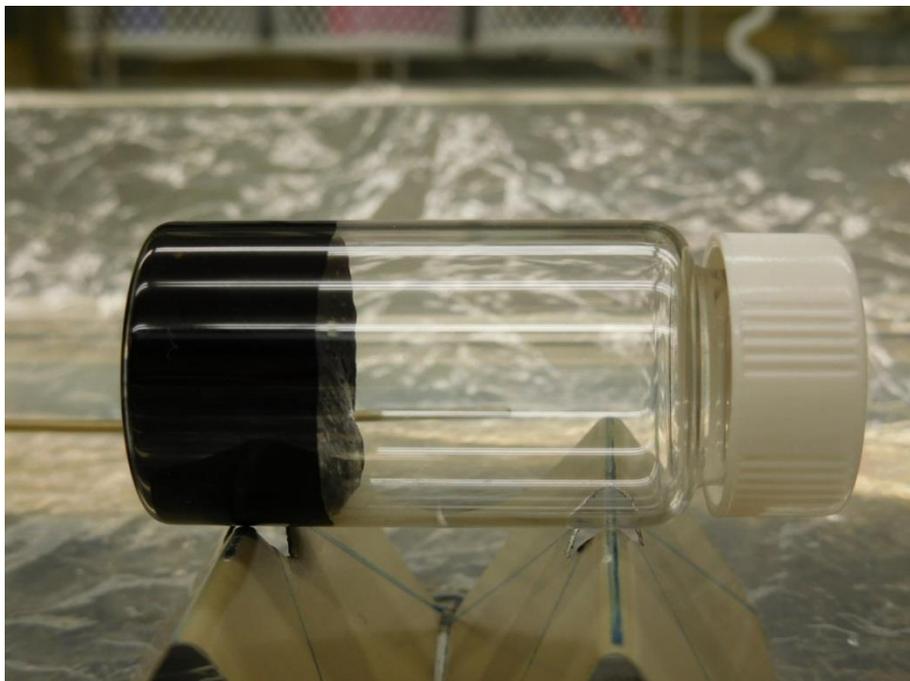
同上 (拡大)

アスファルトの常温静置による流動性の確認 (2/6)

パッケージNo.	B-872-008	作業開始年月日	平成 28 年 7 月 19 日
写真撮影日	平成 28 年 7 月 25 日	経過日数	7 日



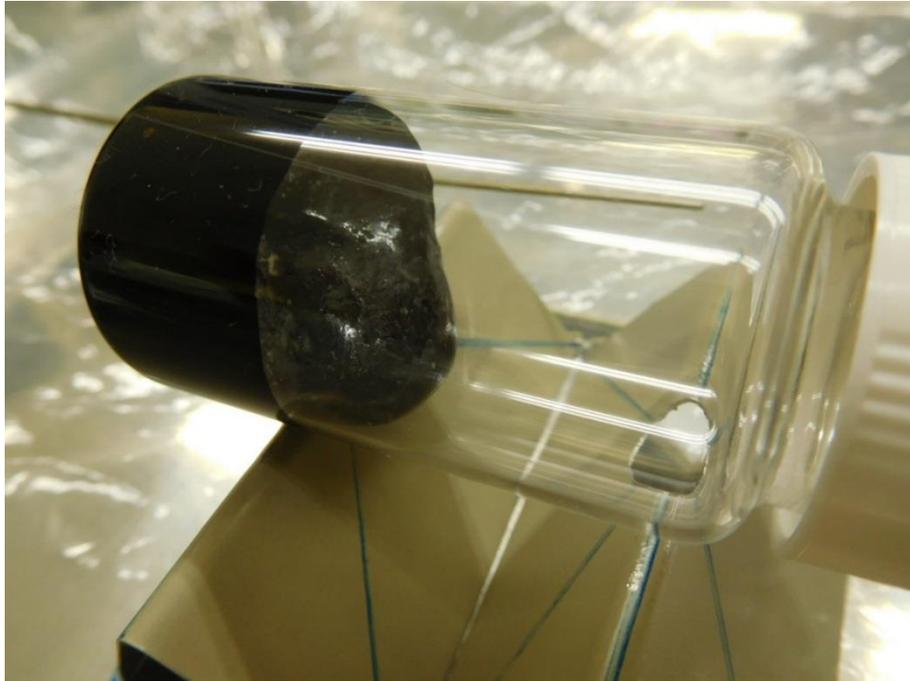
さらに下側に少し流動してきた。〔日時：7月25日、9時32分〕



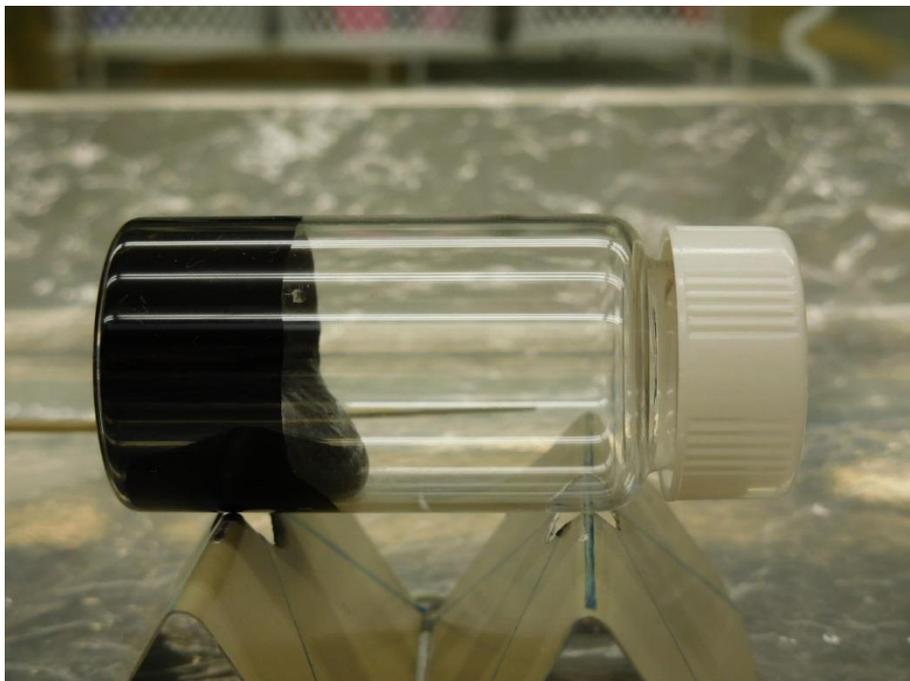
同上 (真横からの写真)

アスファルトの常温静置による流動性の確認 (3/6)

パッケージNo.	B-872-008	作業開始年月日	平成 28 年 7 月 19 日
写真撮影日	平成 28 年 8 月 1 日	経過日数	14 日



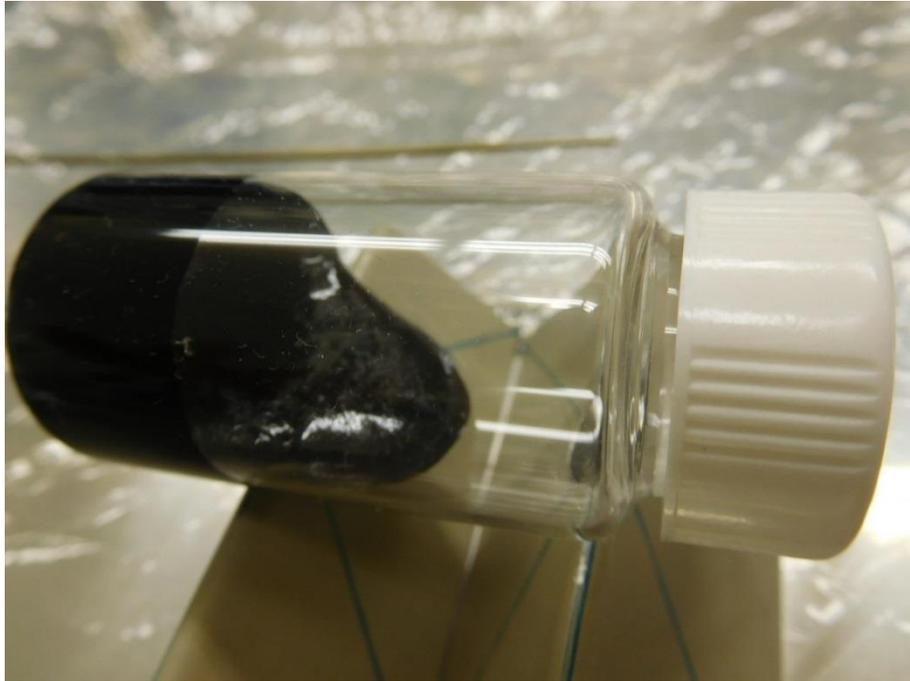
横方向へ流動してきた。〔日時：8月1日、9時29分〕



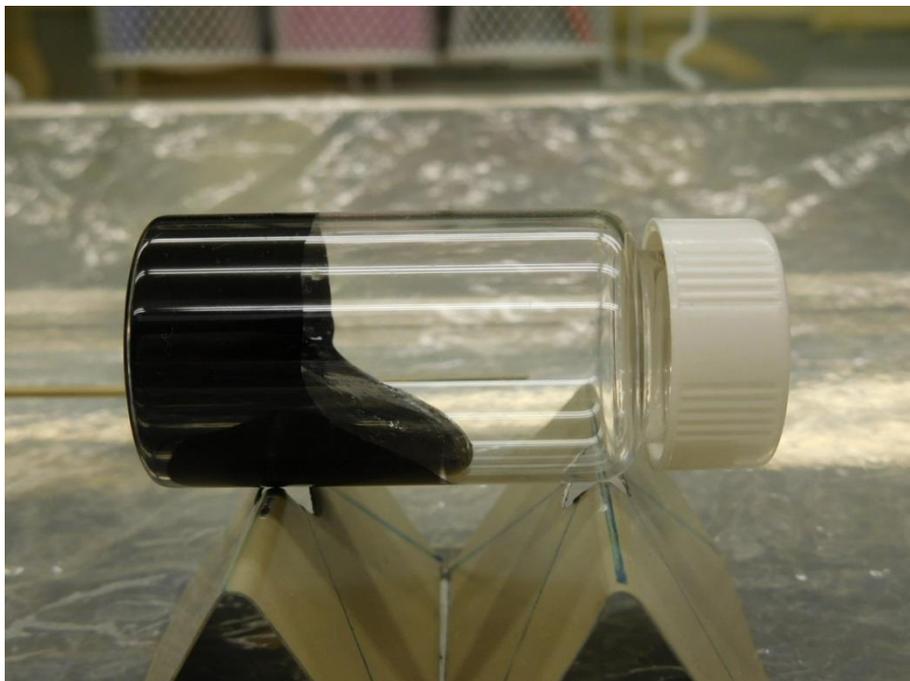
同上 (真横からの写真)

アスファルトの常温静置による流動性の確認 (4/6)

パッケージNo.	B-872-008	作業開始年月日	平成 28 年 7 月 19 日
写真撮影日	平成 28 年 8 月 16 日	経過日数	29 日



さらに横方向に流動してきた。〔日時：8月16日、13時03分〕



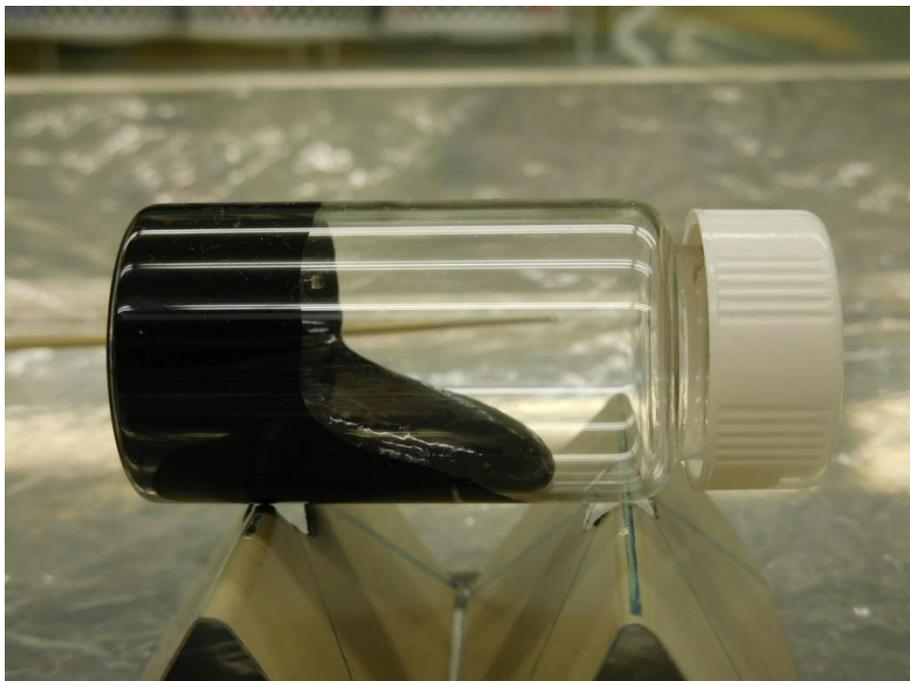
同上 (真横からの写真)

アスファルトの常温静置による流動性の確認 (5/6)

パッケージNo.	B-872-008	作業開始年月日	平成 28 年 7 月 19 日
写真撮影日	平成 28 年 9 月 5 日	経過日数	49 日



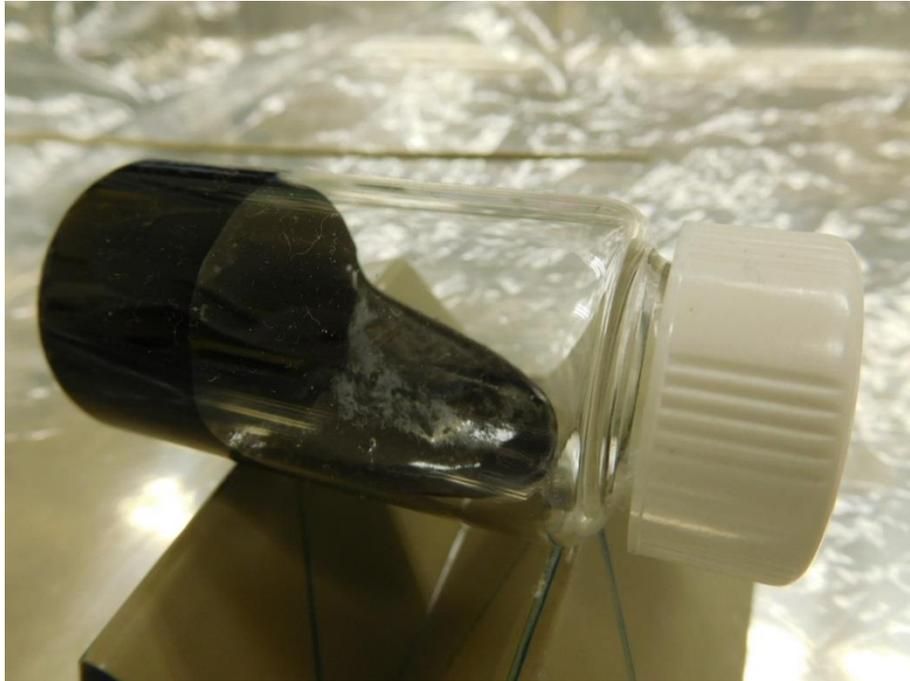
さらに横方向に流動してきた。〔日時：9月5日、13時30分〕



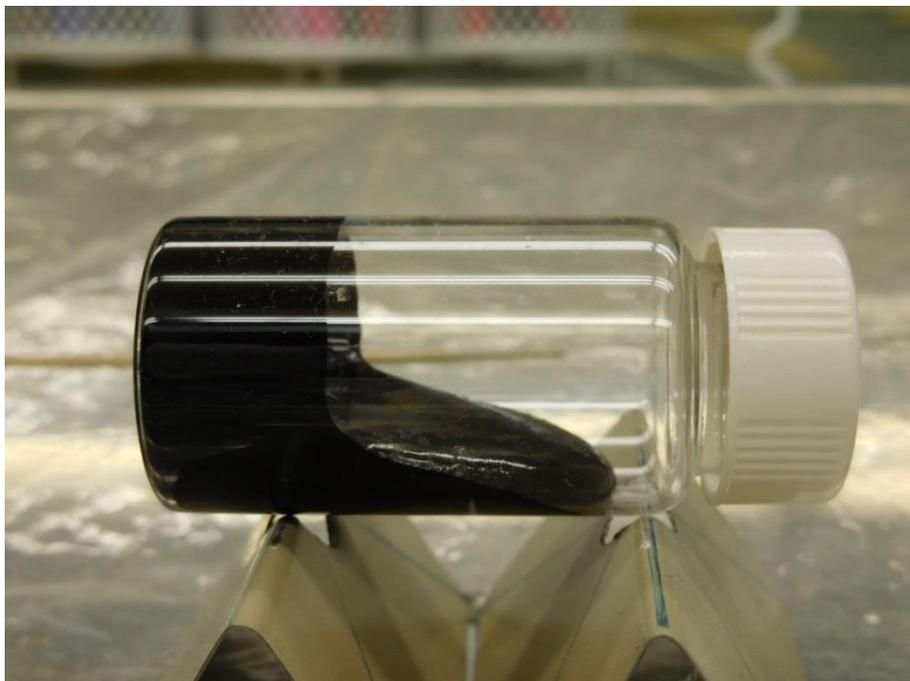
同上 (真横からの写真)

アスファルトの常温静置による流動性の確認 (6/6)

パッケージNo.	B-872-008	作業開始年月日	平成 28 年 7 月 19 日
写真撮影日	平成 28 年 10 月 11 日	経過日数	85 日



さらに横方向に流動してきた。〔日時：10月11日、13時30分〕



同上 (真横からの写真)

Appendix 7

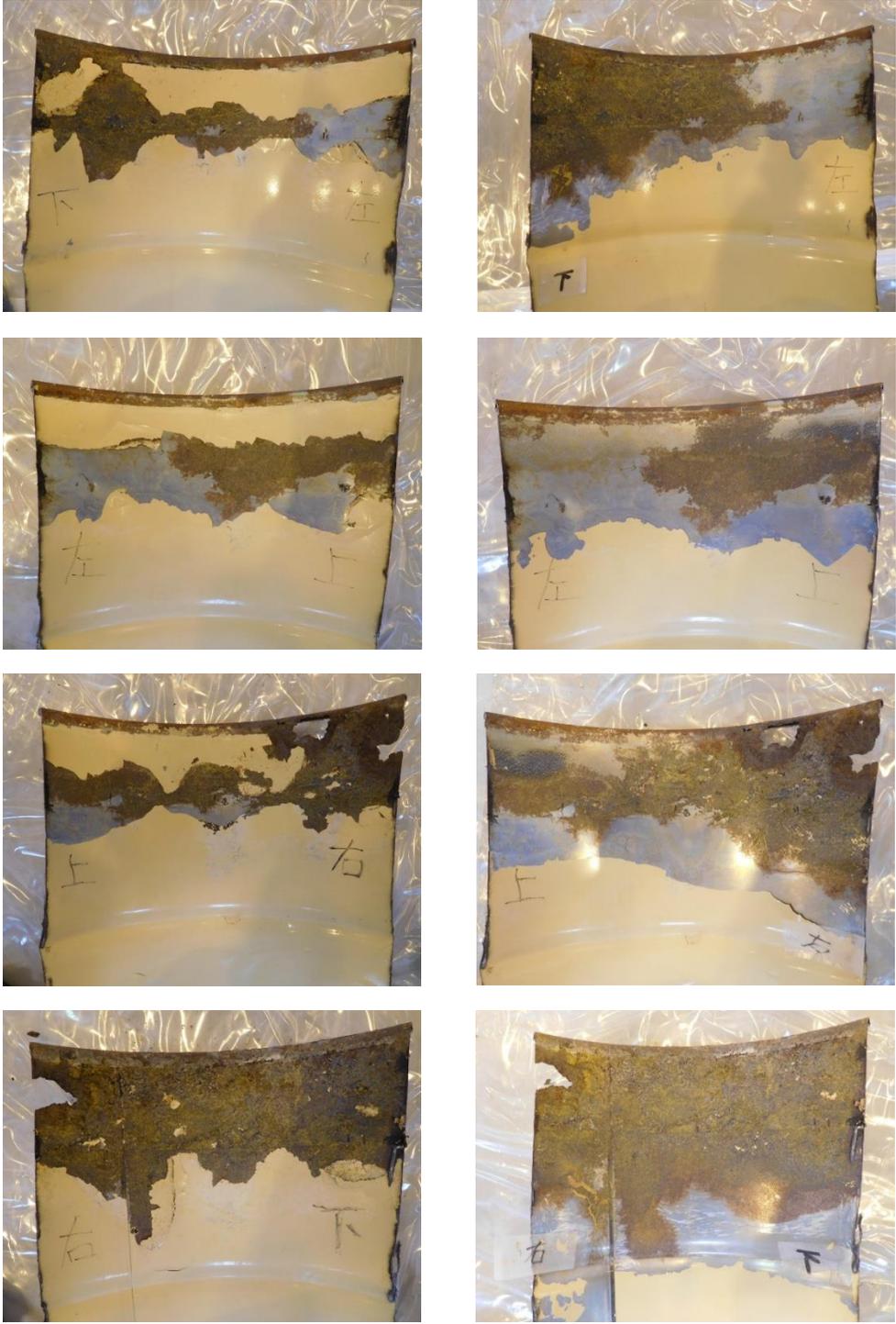
ドラム缶鋼材部分の腐食範囲の調査

This is a blank page.

ドラム缶鋼材部分の腐食範囲の調査【B-841-004】

<p>作業項目</p>	<p>腐食箇所周辺の塗装を剥離し、腐食範囲を確認する。</p>
<p>作業状況</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">         </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>(塗装剥離前の状況)</p> <p>(塗装剥離後の状況)</p> </div>
<p>結果</p>	<p>腐食箇所周辺の塗装が残っている範囲にも鋼材の腐食が進展していることを確認した。(平成 28 年 4 月 15 日実施)</p>

ドラム缶鋼材部分の腐食範囲の調査【B-872-006】

作業項目	腐食箇所周辺の塗装を剥離し、腐食範囲を確認する。
作業状況	 <p>(塗装剥離前の状況) (塗装剥離後の状況)</p>
結果	腐食箇所周辺の塗装が残っている範囲にも鋼材の腐食が進展していることを確認した。(平成 28 年 4 月 14 日実施)

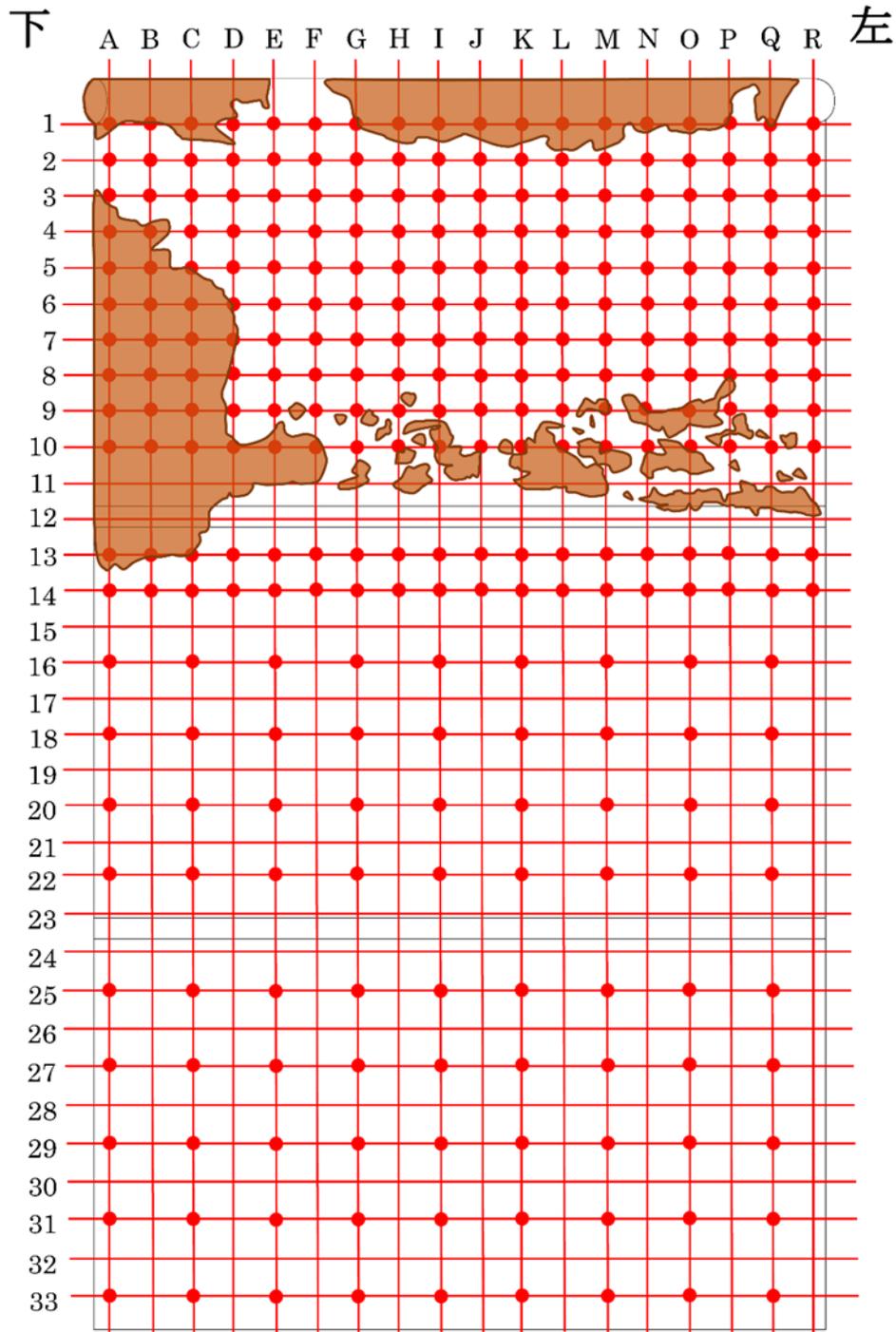
Appendix 8

ドラム缶鋼材部分の厚み調査

This is a blank page.

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(1/12)

廃棄物パッケージNo.	B-841-004		
測定年月日	平成 28 年 6 月 7 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶横置き時、下・左部分の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(2/12)

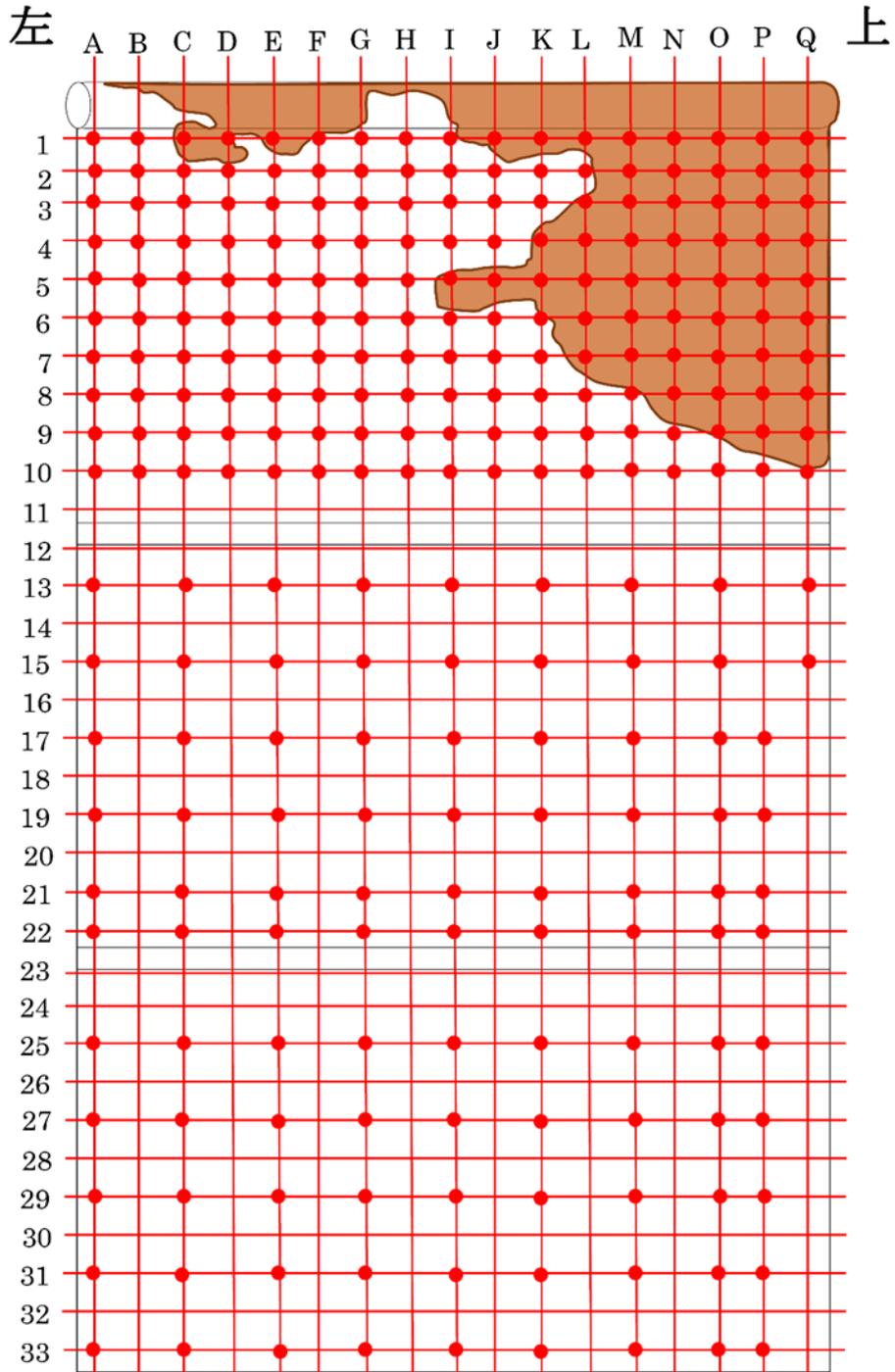
廃棄物パッケージNo.	B-841-004
測定年月日	平成28年6月7日
測定部位	ドラム缶積置き時、下・左部分の鋼材
測定器	型番：88DL-PLUS 製造番号：161230101
測定者	測定者
	校正年月日：平成28年3月1日
	原典箇所 (原典箇所：2.5cm間隔で測定、その他：5.0cm間隔で測定)
	ドラム缶の仕様：JIS Z1600 M級
	天地板・胴体の板厚(mm)：1.2mm
	板厚の許容値(mm)：1.2±0.08 【1.12~1.28mm】

測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	1.15	1.16	1.15	1.19	1.18	1.19	1.17	1.17	1.17	1.16	1.17	1.15	1.14	1.15	1.14	1.15	1.17	1.19							
2	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.19	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19							
3	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19							
4	1.19	1.17	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19							
5	1.13	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.19	1.20	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19							
6	1.12	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19							
7	1.18	1.19	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19							
8	1.13	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19							
9	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19							
10	1.17	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19							
11																									
12																									
13	1.19	1.20	1.20	1.21	1.20	1.20	1.20	1.21	1.20	1.20	1.20	1.19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20							
14	1.20	1.20	1.21	1.20	1.20	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21							
15																									
16	1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21								
17																									
18	1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.21		1.21		1.21								
19																									
20	1.21		1.20		1.21		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21								
21																									
22	1.21		1.21		1.21		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21								
23																									
24																									
25	1.21		1.20		1.20		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20								
26																									
27	1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.20		1.21		1.20		1.21								
28																									
29	1.21		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20								
30																									
31	1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20								
32																									
33	1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20								

測定結果

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(3/12)

廃棄物パッケージNo.	B-841-004		
測定年月日	平成 28 年 8 月 15 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶横置き時、左・上部分の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(4/12)

廃棄物パッケージNo.	B-841-004
測定年月日	平成28年8月15日
測定部位	ドラム缶積置き時、左・上部分の鋼材
測定器	型番：88DL-PLUS
測定者	測定者
校正年月日	平成28年3月1日
製造番号	161230101
原簿番号	2.5cm間隔で測定、その他：5.0cm間隔で測定
ドラム缶の仕様	JIS Z1600 M級
天地板・胴体の板厚(mm)	1.2mm
板厚の許容値(mm)	1.2±0.08 [1.19~1.28mm]

測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.20	1.19	1.19	1.18	1.18	1.18	1.17	1.18	1.18								
2	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19	1.16	1.18	1.18								
3	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19	1.18	1.18	1.18								
4	1.19	1.18	1.18	1.19	1.18	1.18	1.19	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.20	1.14	1.18	1.18	1.19								
5	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.18	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19	1.18	1.17	1.18	1.18								
6	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19	1.19	1.18	1.18	1.19								
7	1.20	1.19	1.19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.19	1.19	1.19	1.18	1.15	1.18	1.18	1.18	1.18								
8	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19								
9	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.19	1.18	1.18	1.18								
10	1.21	1.20	1.20	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.18	1.18								
11																									
12																									
13	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20								
14																									
15	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20								
16																									
17	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.20	1.20	1.21	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20								
18																									
19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20								
20																									
21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20								
22	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20								
23																									
24																									
25	1.20		1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20								
26																									
27	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20								
28																									
29	1.20		1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20								
30																									
31	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20								
32																									
33	1.19		1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19								

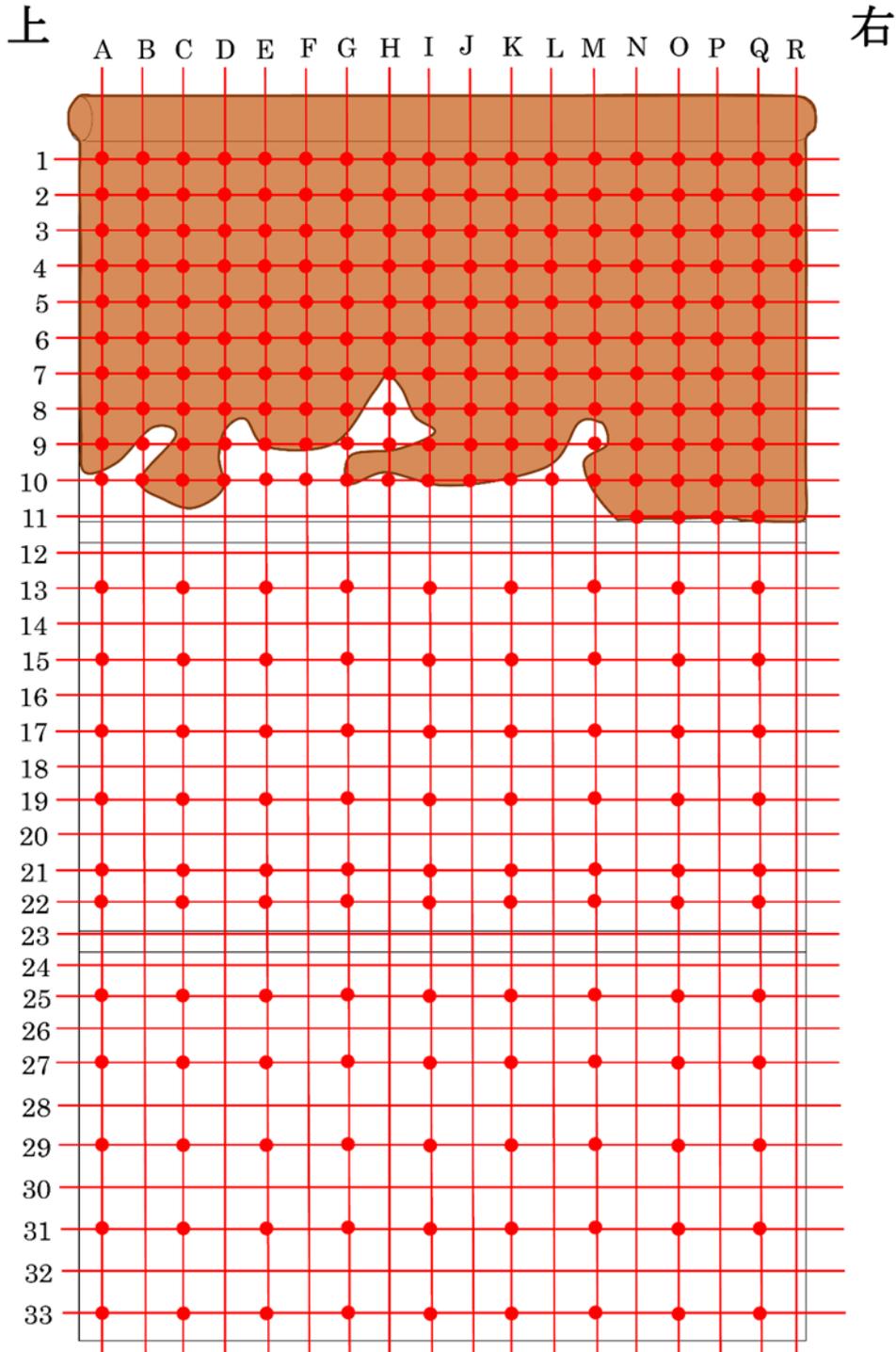
ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)

ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)

測定結果

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(5/12)

廃棄物パッケージNo.	B-841-004		
測定年月日	平成 28 年 8 月 16 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶横置き時、上・右部分の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(6/12)

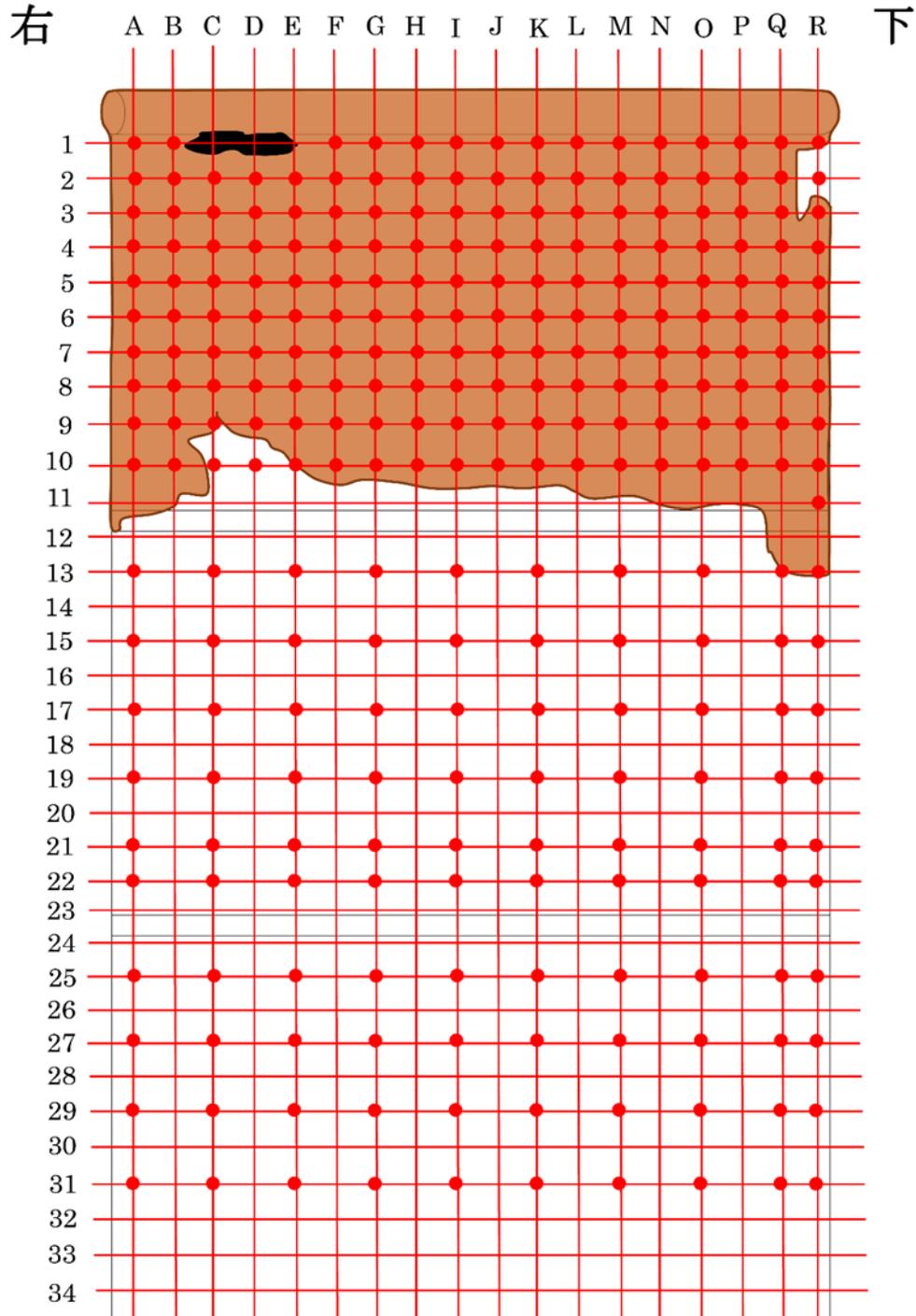
廃棄物パッケージ№		B-841-004	
測定年月日		平成28年8月16日	
測定部位		ドラム缶横置き時、上・右部分の鋼材	
測定器		型番：88DL-PLUS	
測定者		[REDACTED]	
校正年月日		平成28年3月1日	
製造番号		161230101	
鋼材		原産国所：2.5cm間隔で測定、その他：5.0cm間隔で測定	
ドラム缶の仕様		JIS Z1600 M級	
天地板・胴体の板厚(mm)		1.2mm	
板厚の許容値(mm)		1.2±0.08 [1.19~1.28mm]	

測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	1.14	1.12	1.14	1.12	1.13	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.13	1.13	ND	ND	ND	ND	1.12	1.08							
2	1.19	1.17	1.17	1.19	1.17	1.16	1.15	1.17	1.17	1.16	1.08	1.06	ND	1.13	1.17	1.15	1.15	1.18							
3	1.18	1.18	1.17	1.18	1.19	1.14	1.19	1.16	1.16	1.18	1.16	1.17	1.15	1.17	1.16	1.18	1.19	1.17							
4	1.18	1.15	1.18	1.18	1.18	1.19	1.18	1.17	1.18	1.17	1.18	1.18	1.18	1.18	1.17	1.18	1.17	1.16							
5	1.18	1.17	1.15	1.17	1.17	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.20	1.19	1.18	1.18	1.17	1.18	1.17	1.18							
6	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19	1.18	1.19	1.19	1.18	1.18	1.20	1.20	1.19	1.19	1.19							
7	1.20	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19	1.18	1.20	1.20	1.19	1.19							
8	1.18	1.18	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19	1.18	1.18	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18							
9	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.17	1.19	1.19							
10	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.18	1.18	1.19	1.19							
11																									
12																									
13	1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20								
14																									
15	1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20								
16																									
17	1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20								
18																									
19	1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20								
20																									
21	1.21		1.20		1.21		1.20		1.21		1.20		1.21		1.21		1.21								
22	1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.20		1.20		1.20								
23																									
24																									
25	1.19		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20								
26																									
27	1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20								
28																									
29	1.20		1.20		1.19		1.19		1.20		1.19		1.20		1.19		1.19								
30																									
31	1.20		1.19		1.19		1.20		1.19		1.20		1.19		1.19		1.19								
32																									
33	1.19		1.19		1.19		1.19		1.19		1.19		1.19		1.19		1.19								

測定結果

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(7/12)

廃棄物パッケージNo.	B-841-004		
測定年月日	平成 28 年 8 月 17 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶横置き時、右・下部分の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(8/12)

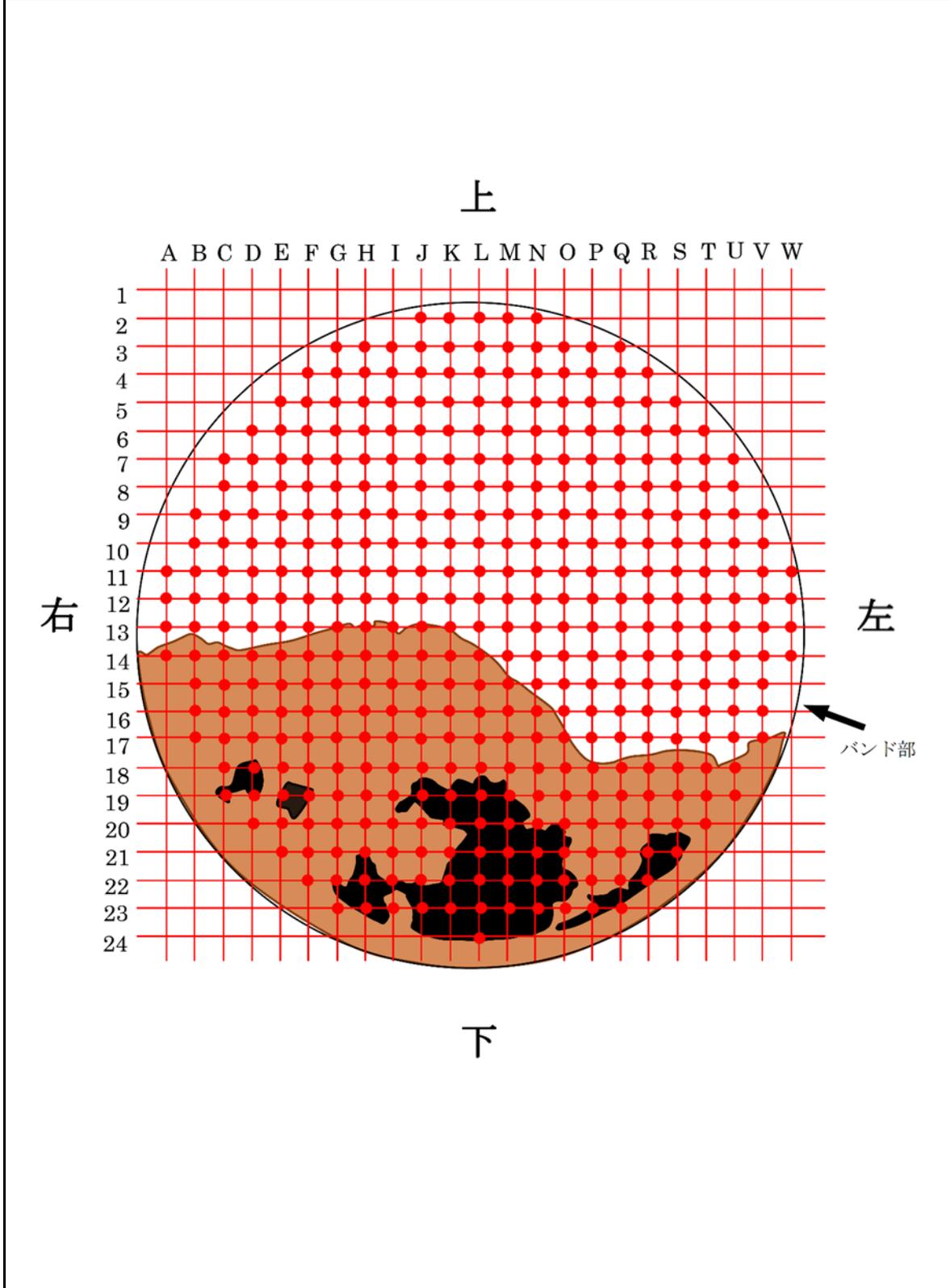
廃棄物パッケージNo.	B-841-004
測定年月日	平成28年8月17日
測定部位	ドラム缶横置き時、右・下部分の鋼材
測定器	型番：88DL-PLUS
測定者	測定者
校正年月日	平成28年3月1日
製造番号	161230101
校正場所	校正場所
校正範囲	2.5cm間隔で測定、その他：5.0cm間隔で測定
ドラム缶の仕様	JIS Z1600 M級
天地板・胴体の板厚(mm)	1.2mm
板厚の許容値(mm)	1.2±0.08 [1.12~1.28mm]

測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	0.71	0.86	穴	穴	穴	1.08	1.15	1.15	ND	穴	ND	1.15	1.16	1.17	1.15	1.15	1.15	1.15							
2	1.08	1.14	1.17	1.18	1.17	1.16	1.15	1.17	1.16	1.18	1.17	1.17	1.17	1.17	1.18	1.17	1.17	1.18	1.18						
3	1.16	1.19	1.18	1.18	1.17	1.18	1.18	1.17	1.17	1.17	1.18	1.18	1.18	1.19	1.19	1.18	1.17	1.18	1.19						
4	1.17	1.18	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	1.17	1.17	1.18	1.17	1.18	1.13						
5	1.16	1.19	1.19	1.20	ND	1.19	1.17	1.18	1.18	1.18	1.17	1.18	1.19	1.19	1.18	1.17	1.18	1.18	1.18						
6	1.18	1.18	1.18	1.19	1.19	1.18	1.20	1.18	1.18	1.19	1.18	1.19	1.18	1.18	1.18	1.17	1.18	1.19	1.19						
7	1.19	1.20	1.20	1.19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.18	1.19	1.18	1.19	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19						
8	1.18	1.19	1.19	1.19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.19	1.19	1.17	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.18	1.20	1.20						
9	1.19	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.20	1.21	1.21						
10	1.20	1.19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.20						
11																									
12																									
13	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.19	1.19						
14	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21						
15	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21						
16	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21						
17	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21						
18	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21						
19	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21						
20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
22	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21						
23																									
24																									
25	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
26	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21						
27	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21						
28	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
29	1.18	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
30	1.18	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
31	1.18	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
32	1.18	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						
33	1.18	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20						

測定結果

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(9/12)

廃棄物パッケージNo.	B-841-004		
測定年月日	平成 28 年 8 月 18 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶上蓋の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(10/12)

廃棄物パッケージ№	B-841-004	測定者	測定者
測定年月日	平成28年8月18日	校正年月日	平成28年3月1日
測定部位	ドラム缶上蓋の鋼材	製造番号	161230101
測定器	型番：38DL-PLUS	規格	JIS Z1600 M級
		天地板・胴体の板厚(mm)	1.2mm
		板厚の許容値(mm)	1.2±0.08 [1.12~1.28mm]

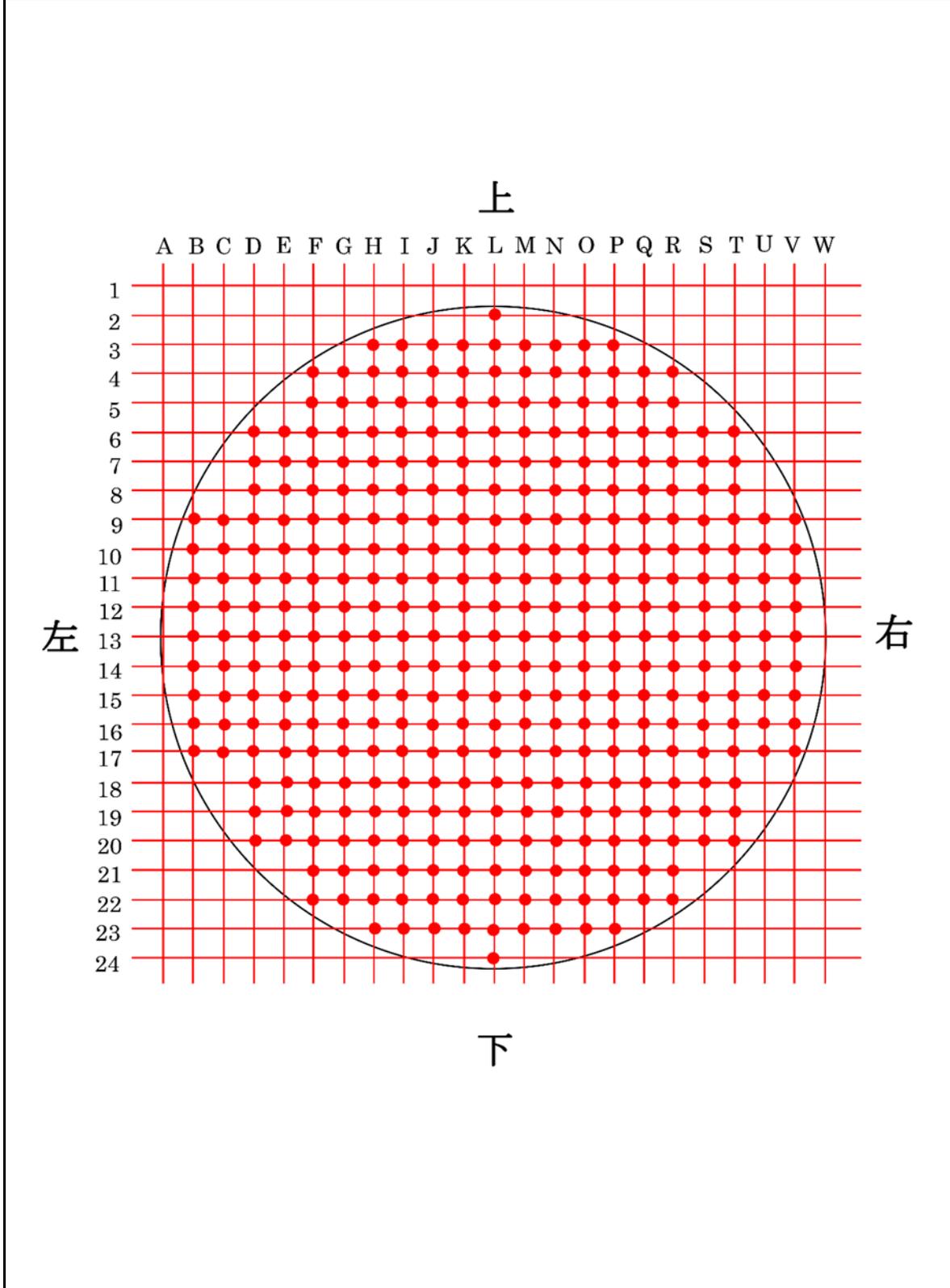
測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1										1.15	1.15	1.15	1.15	1.15											
2										1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.14	1.15	1.15								
3							1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15								
4						1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15								
5						1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15								
6				1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.16	1.16	1.16	1.15	1.15	1.15								
7			1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.16	1.16	1.15	1.15	1.15								
8			1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.16	1.16	1.16	1.15	1.15								
9		1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.16	1.15	1.16	1.16	1.16	1.15	1.16	1.15								
10		1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.14								
11	1.15	1.15	1.15	1.15	1.14	1.14	1.15	1.15	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16								
12	1.16	1.15	1.14	1.15	1.14	1.15	1.14	1.15	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16								
13	1.15	1.15	1.14	1.14	1.15	1.15	1.14	1.14	1.10	1.14	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16								
14	1.15	1.15	0.92	1.12	1.14	1.14	0.90	1.07	1.12	1.08	1.13	1.14	1.15	1.15	1.16	1.16	1.16								
15	1.15	1.15	0.91	1.09	0.89	1.06	0.94	1.05	1.02	1.03	1.10	1.08	1.15	1.16	1.16	1.16	1.16								
16	ND	0.86	0.91	0.85	1.11	0.80	0.82	0.92	1.03	1.02	0.98	1.02	1.12	1.04	1.16	1.16	1.14								
17	0.89	ND	0.84	0.77	0.77	0.96	0.90	0.90	0.83	0.87	0.71	0.80	ND	0.96	1.08	1.14	1.16								
18	ND	ND	ND	ND	ND	1.01	0.55	ND	0.94	1.13	1.13														
19	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.85	ND	0.77	ND															
20	ND	ND	ND	ND	ND	0.92	ND																		
21	ND	ND	ND	ND	ND	0.87	ND																		
22	ND																								
23	ND																								
24	ND																								
25	ND																								
26	ND																								
27	ND																								
28	ND																								
29	ND																								
30	ND																								
31	ND																								
32	ND																								
33	ND																								

(単位: mm)

測定結果

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(11/12)

廃棄物パッケージNo.	B-841-004		
測定年月日	平成 28 年 8 月 18 日	測定者	■■■■■
調査部位 (胴体)	ドラム缶底板の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-841-004】(12/12)

廃棄物パッケージ№	B-841-004	測定者	測定者
測定年月日	平成28年8月18日	校正年月日	平成28年3月1日
測定部位	ドラム缶底板の鋼材(その他:5.0mm間隔で測定)	製造番号	161230101
測定器	型番: 38DL-PLUS		

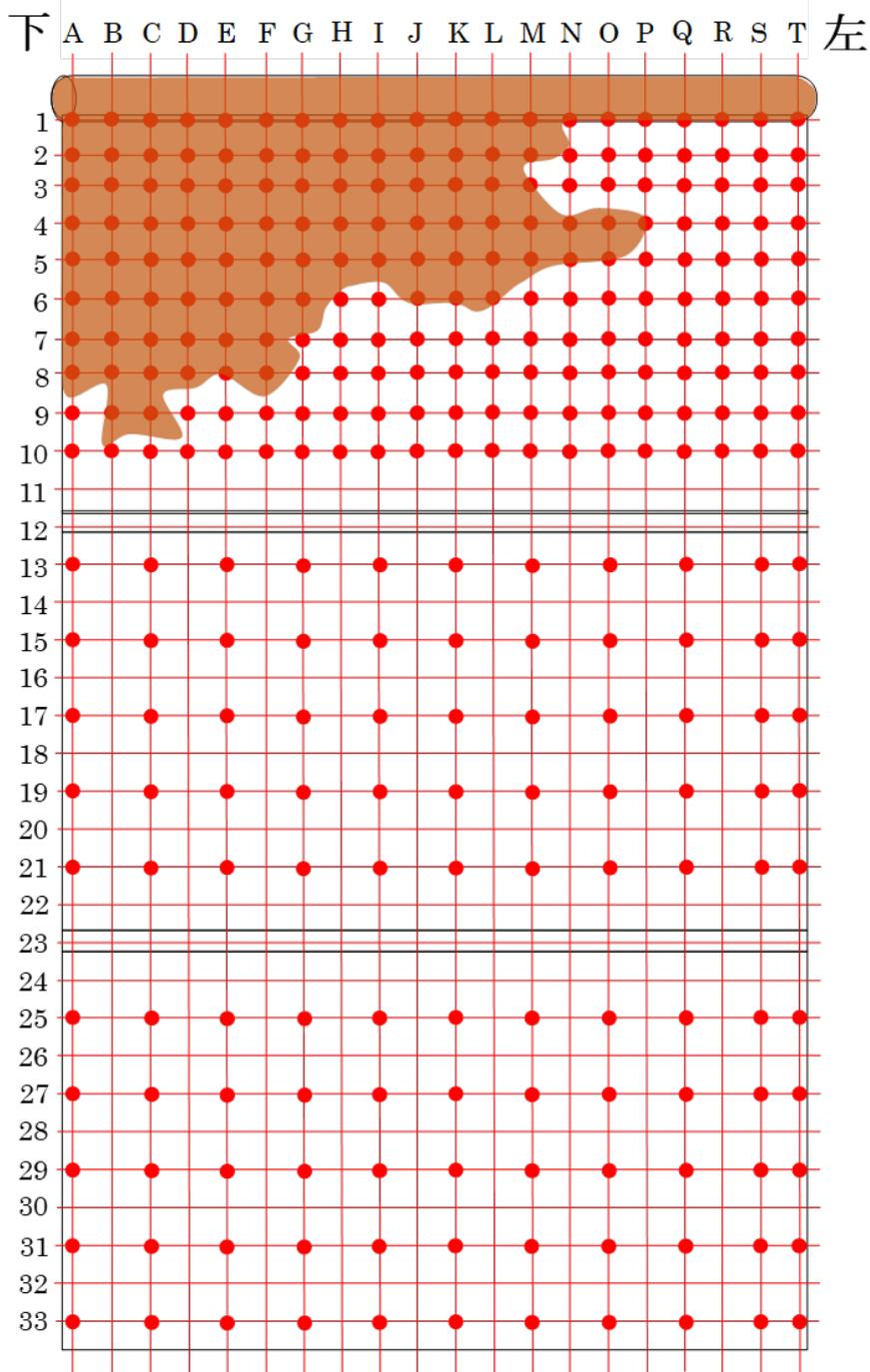
ドラム缶の仕様: JIS Z1600 M級
天地板・胴体の板厚(mm): 1.2mm
板厚の許容値(mm): 1.2±0.08 [1.12~1.28mm]

測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1												1.17													
2								1.17		1.17		1.17		1.17		1.17									
3								1.18		1.17		1.17		1.17		1.16		1.16							
4						1.17		1.18		1.17		1.17		1.16		1.16		1.16							
5						1.18		1.18		1.17		1.17		1.16		1.17		1.16		1.17					
6				1.17		1.17		1.18		1.18		1.18		1.16		1.17		1.16		1.16					
7				1.17		1.18		1.17		1.18		1.18		1.16		1.17		1.16		1.16					
8				1.17		1.17		1.18		1.19		1.18		1.16		1.16		1.16		1.16					
9		1.16		1.16		1.18		1.17		1.18		1.18		1.16		1.16		1.16		1.16					
10		1.16		1.16		1.18		1.18		1.17		1.17		1.17		1.16		1.16		1.16					
11		1.17		1.16		1.18		1.18		1.18		1.17		1.17		1.16		1.16		1.16					
12		1.17		1.16		1.17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.16					
13		1.17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.18		1.17		1.16		1.16					
14		1.17		1.17		1.18		1.16		1.17		1.18		1.17		1.16		1.16		1.16					
15		1.17		1.17		1.17		1.17		1.18		1.18		1.17		1.16		1.16		1.16					
16		1.16		1.16		1.18		1.17		1.18		1.17		1.17		1.16		1.16		1.17					
17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.18		1.17		1.16		1.16		1.16					
18				1.17		1.17		1.17		1.17		1.16		1.17		1.17		1.16		1.16					
19				1.16		1.17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.17					
20				1.16		1.17		1.17		1.17		1.17		1.16		1.16		1.16		1.16					
21						1.17		1.17		1.17		1.17		1.17		1.16		1.16		1.16					
22						1.16		1.17		1.17		1.17		1.17		1.16		1.16		1.16					
23						1.17		1.17		1.17		1.17		1.16		1.16		1.16		1.16					
24												1.17													
25																									
26																									
27																									
28																									
29																									
30																									
31																									
32																									
33																									

測定結果

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(1/12)

廃棄物パッケージNo.	B-872-006		
測定年月日	平成 28 年 5 月 31 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶横置き時、下・左部分の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(2/12)

廃棄物パッケージ№		B-872-006	
測定年月日		平成28年5月31日	
測定部位		ドラム缶横置き時、下・左部分の鋼材	
測定器		型番：88DL-PLUS	
測定者		[REDACTED]	
調査箇所		調査箇所：2.5cm間隔で測定、その他：5.0cm間隔で測定	
校正年月日		平成28年3月1日	
製造番号		161230101	

ドラム缶の仕様		JIS Z1600 M級	
天地板・胴体の板厚(mm)		1.2mm	
板厚の許容値(mm)		1.2±0.08 [1.12~1.28mm]	

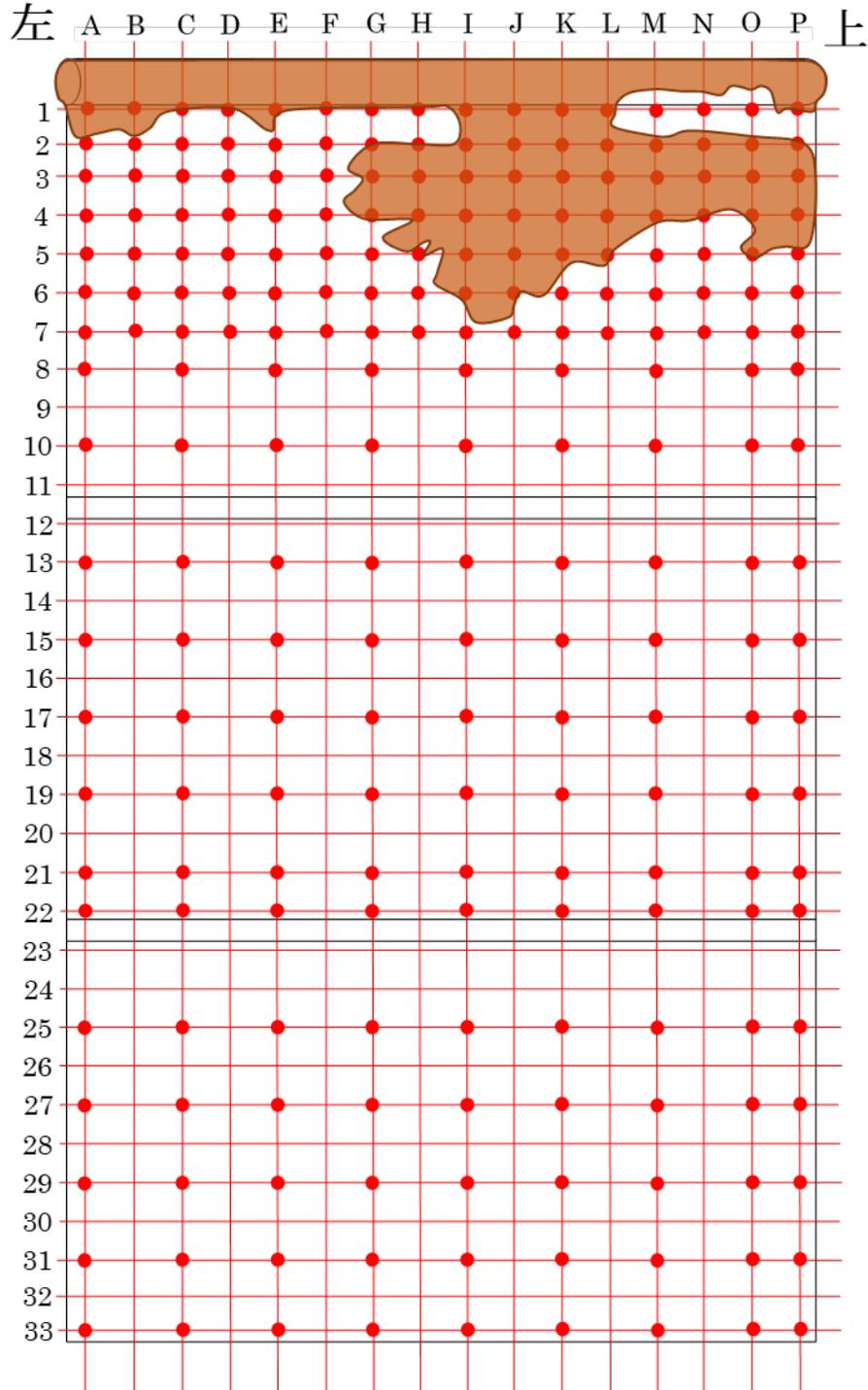
測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	1.17	0.98	0.83	0.88	0.95	1.03	1.02	1.18	1.18	1.18	1.17	1.17	1.19	1.17	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18					
2	1.13	1.15	1.09	1.15	1.12	1.12	1.18	1.19	1.18	1.18	1.18	1.17	1.19	1.18	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	1.18					
3	1.32	1.19	1.22	1.18	1.18	1.18	1.17	1.19	1.17	1.18	1.18	1.18	1.19	1.20	1.20	1.19	1.20	1.19	1.19	1.18					
4	1.33	1.22	1.21	1.17	1.14	1.18	1.19	1.21	1.19	1.18	1.18	1.21	1.19	1.19	1.19	1.20	1.20	1.20	1.19	1.19					
5	1.19	1.25	1.21	1.20	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.20	1.21	1.19	1.20	1.20	1.19					
6	1.23	1.21	1.17	1.20	1.16	1.17	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.20	1.21	1.20	1.21	1.20	1.21	1.19	1.19					
7	1.20	1.20	1.20	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.20	1.19	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.19					
8	1.17	1.20	1.19	1.18	1.20	1.19	1.20	1.20	1.19	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21					
9	1.19	1.20	1.19	1.19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21					
10	1.19	1.19	1.19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.19	1.21	1.21	1.21					
11																									
12																									
13	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21	1.21					
14																									
15	1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21	1.21					
16																									
17	1.21		1.21		1.21		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21	1.21					
18																									
19	1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21	1.21					
20																									
21	1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21	1.21					
22																									
23																									
24																									
25	1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.20	1.20					
26																									
27	1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20	1.20					
28																									
29	1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.21	1.21					
30																									
31	1.20		1.21		1.20		1.20		1.21		1.20		1.21		1.20		1.21		1.20	1.20					
32																									
33	1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20					

ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)

測定結果

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(3/12)

廃棄物パッケージNo.	B-872-006		
測定年月日	平成 28 年 6 月 1 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶横置き時、左・上部分の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(4/12)

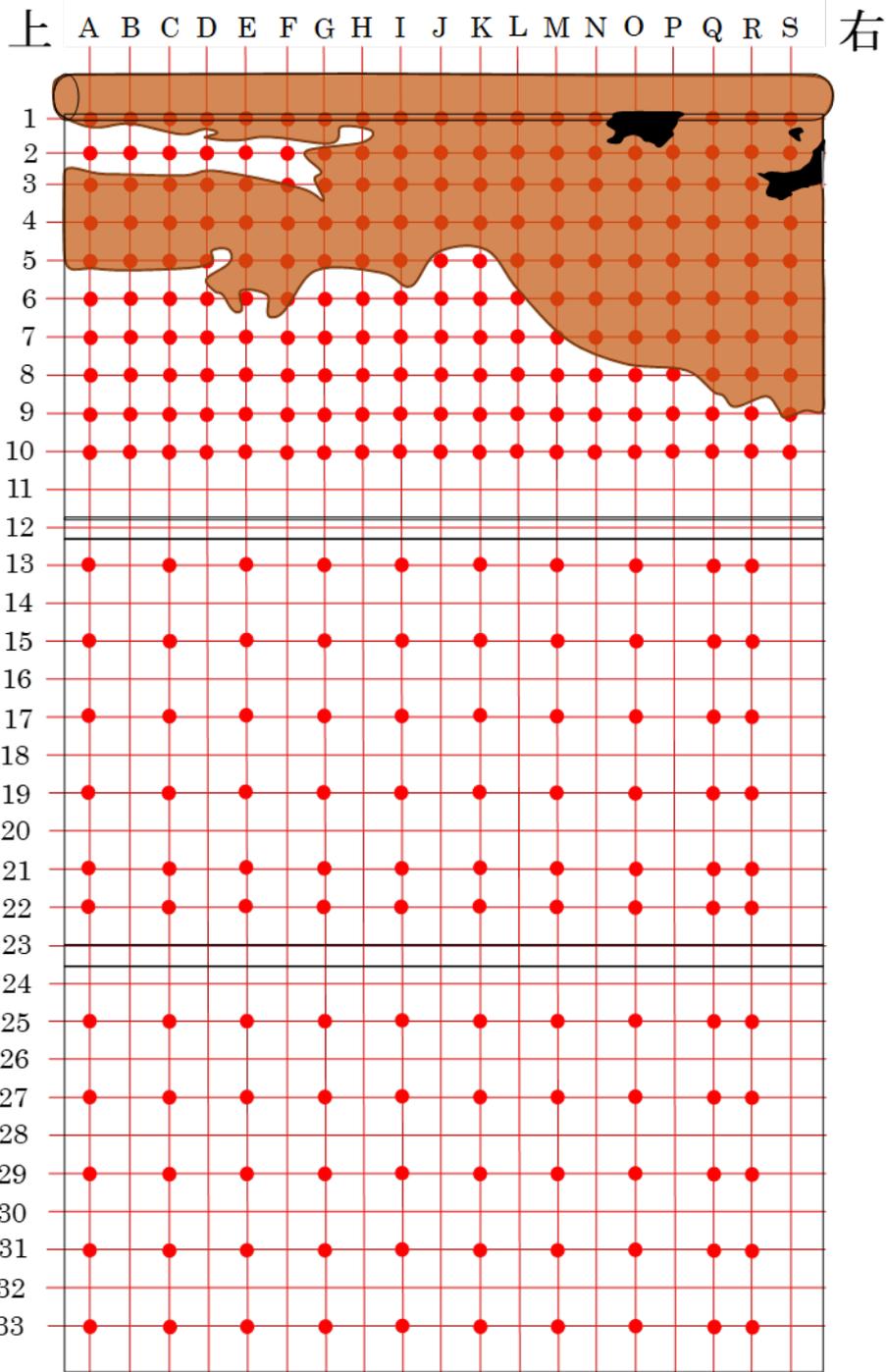
廃棄物パッケージ№		B-872-006																							
測定年月日		平成28年6月1日																							
測定部位		ドラム缶横置き時、左・上部分の鋼材																							
測定器		型番：88DL-PLUS																							
測定者		[redacted]																							
製造番号		161230101																							
校正年月日		平成28年3月1日																							
鋼材		原産国所：2.5cm間隔で測定、その他：5.0cm間隔で測定																							
鋼材の仕様		JIS Z1600 M級																							
天地板・胴体の板厚(mm)		1.2mm																							
板厚の許容値(mm)		1.2±0.08 [1.19~1.28mm]																							
測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.17	1.17	1.18	1.18	1.18	1.17	1.18									
2	1.19	1.20	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.17	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18									
3	1.20	1.20	1.19	1.20	1.19	1.20	1.18	1.18	1.19	1.19	1.18	1.18	1.18	1.19	1.18	1.18									
4	1.19	1.20	1.19	1.20	1.19	1.20	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18									
5	1.19	1.20	1.19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.19	1.19	1.20	1.20	1.18	1.20	1.20	1.19	1.18									
6	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.19	1.18	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20									
7	1.20	1.21	1.20	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.21	1.20									
8	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.20	1.21	1.21			1.21	1.19	1.21									
9																									
10	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21			1.21	1.21	1.21									
11																									
12																									
13	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21									
14																									
15	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21									
16																									
17	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21									
18																									
19	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21									
20																									
21	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21									
22	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21									
23																									
24																									
25	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21									
26																									
27	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21									
28																									
29	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21									
30																									
31	1.21				1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21									
32																									
33	1.21				1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20									

ドラム缶輪体部 (ND:測定不可)

ドラム缶輪体部 (ND:測定不可)

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(5/12)

廃棄物パッケージNo.	B-872-006		
測定年月日	平成 28 年 6 月 2 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶横置き時、上・右部分の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(6/12)

廃棄物パッケージNo.	B-872-006
測定年月日	平成28年6月2日
測定部位	ドラム缶積置き時、上・右部分の鋼材
測定器	型番：88DL-PLUS
測定者	測定者
	： 照会箇所 (照会箇所：2.5cm間隔で測定、その他：5.0cm間隔で測定)
	校正年月日：平成28年3月1日
	製造番号：161230101

ドラム缶の仕様：JIS Z1600 M級
天地板・胴体の板厚(mm)：1.2mm
板厚の許容値(mm)：1.2±0.08【1.19~1.28mm】

測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	1.18	1.17	1.18	1.18	1.17	1.17	1.17	1.18	1.17	1.16	1.17	1.12	1.03	ND	穴	0.82	0.84	0.79							
2	1.18	1.18	1.18	1.17	1.19	1.19	1.17	1.17	1.17	1.17	1.18	1.18	1.16	0.85	0.78	0.91	1.00	1.03	0.81						
3	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.17	1.19	1.18	1.17	1.20	1.17	1.18	1.19	1.12	1.15	1.13	0.67	示						
4	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.18	1.19	1.18	1.18	1.19	1.19	1.21	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17						
5	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.21	1.19	1.18	1.18	1.17	1.20						
6	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.24	1.24						
7	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.18	1.18	1.19	1.19	1.20	1.20						
8	1.21	1.20	1.20	1.19	1.20	1.21	1.20	1.20	1.21	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19						
9	1.21	1.20	1.21	1.20	1.20	1.21	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.20	1.19	1.20	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19						
10	1.21	1.21	1.21	1.20	1.20	1.21	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21	1.20	1.19	1.20	1.20	1.19	1.20	1.19	1.19						
11																									
12																									
13	1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20	1.20							
14																									
15	1.21		1.21		1.20		1.20		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20							
16																									
17	1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20							
18																									
19	1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.19							
20																									
21	1.21		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20							
22	1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20							
23																									
24																									
25	1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.20	1.20							
26																									
27	1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.20	1.20							
28																									
29	1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.20		1.20	1.20							
30																									
31	1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20							
32																									
33	1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	1.20							

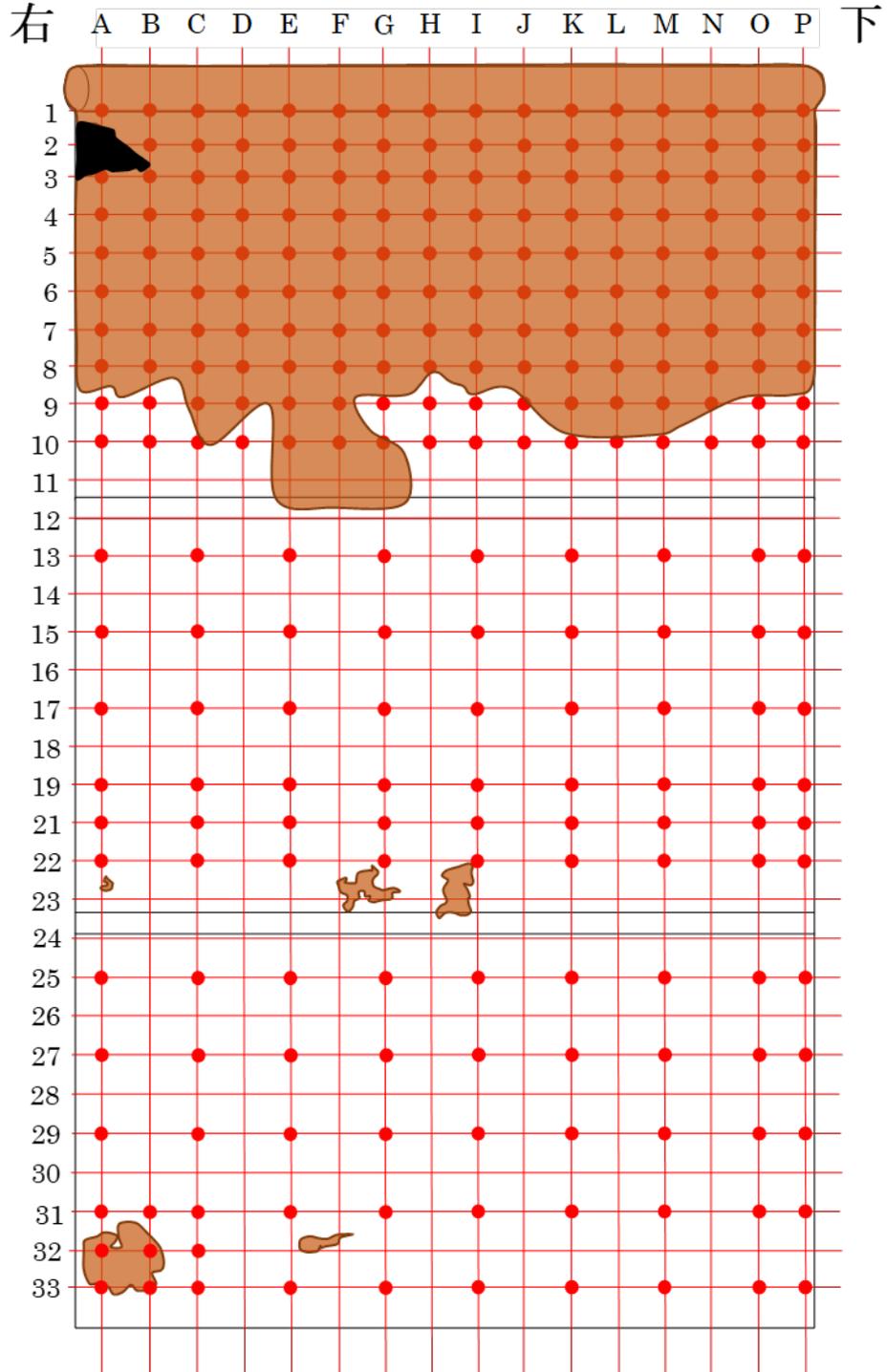
ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)

ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)

測定結果

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(7/12)

廃棄物パッケージNo.	B-872-006		
測定年月日	平成 28 年 6 月 2 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶横置き時、右・下部分の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(8/12)

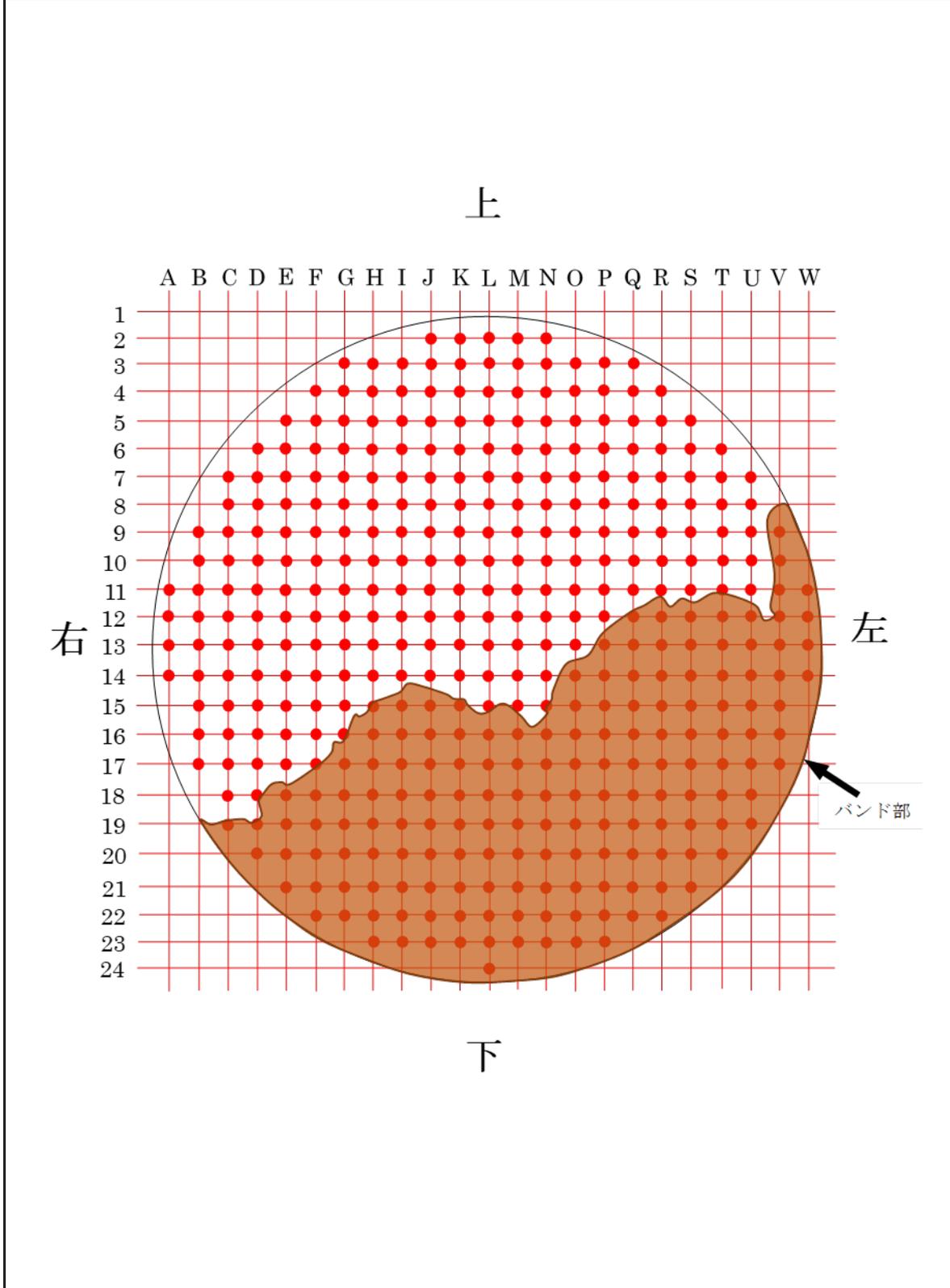
廃棄物パッケージ№	B-872-006
測定年月日	平成28年6月2日
測定部位	ドラム缶横置き時、右・下部分の鋼材
測定器	型番：88DL-PLUS
測定者	測定者
製造番号	161230101
校正年月日	平成28年3月1日
鋼材	ドラム缶横置き時、5.5cm間隔で測定、その他：5.0cm間隔で測定
鋼材の仕様	ドラム缶の仕様：JIS Z1600 M級
鋼材の厚み	天地板・胴体の板厚(mm)：1.2mm
鋼材の許容値	板厚の許容値(mm)：1.2±0.08【1.19~1.28mm】

測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	0.88	0.83	0.82	1.00	1.03	1.01	0.97	1.15	1.17	1.14	1.19	1.20	1.19	1.16	1.17	1.19									
2	0.84	0.81	0.78	0.88	1.07	1.13	1.00	1.15	1.18	1.18	1.18	1.16	1.17	1.17	1.17	1.18									
3	0.84	1.10	1.07	1.17	1.14	1.18	1.16	1.16	1.19	1.18	1.17	1.19	1.19	1.19	1.19	1.17									
4	1.12	1.00	1.17	1.18	1.19	1.19	1.19	1.02	1.18	1.19	1.11	1.20	1.19	1.19	1.20	1.19									
5	1.20	1.19	1.19	1.19	1.16	1.19	1.20	1.20	1.18	1.19	1.20	1.21	1.19	1.18	1.17	1.20									
6	1.20	1.20	1.19	1.19	1.16	1.19	1.19	1.19	1.20	1.21	1.20	1.20	1.19	1.25	1.20	1.20									
7	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.19	1.20	1.19	1.20	1.20									
8	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19									
9	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19									
10	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.20	1.20	1.19	1.19	1.19									
11	ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)																								
12	ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)																								
13	1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21
14	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
15	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
16	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
17	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
18	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
19	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
20	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
21	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
22	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
23	ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)																								
24	ドラム缶輪体部 (ND: 測定不可)																								
25	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
26	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
27	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
28	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
29	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
30	1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21
31	1.19	1.18	1.19	1.19	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20									
32	1.19	1.18	1.18	1.18	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20									
33	1.19	1.18	1.18	1.18	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20									

測定結果

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(9/12)

廃棄物パッケージNo.	B-872-006		
測定年月日	平成 28 年 6 月 6 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶上蓋の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(10/12)

廃棄物パッケージ№	B-872-006	測定者	測定者
測定年月日	平成28年6月6日	測定箇所 (調査箇所、その他: 2.5cm間隔で測定)	測定箇所
測定部位	ドラム缶上蓋の鋼材	製造番号: 161230101	校正年月日: 平成28年3月1日
測定器	型番: 38DL-PLUS		

ドラム缶の仕様: JIS Z1600 M級
天地板・胴体の板厚(mm): 1.2mm
板厚の許容値(mm): 1.2±0.08 [1.12~1.28mm]

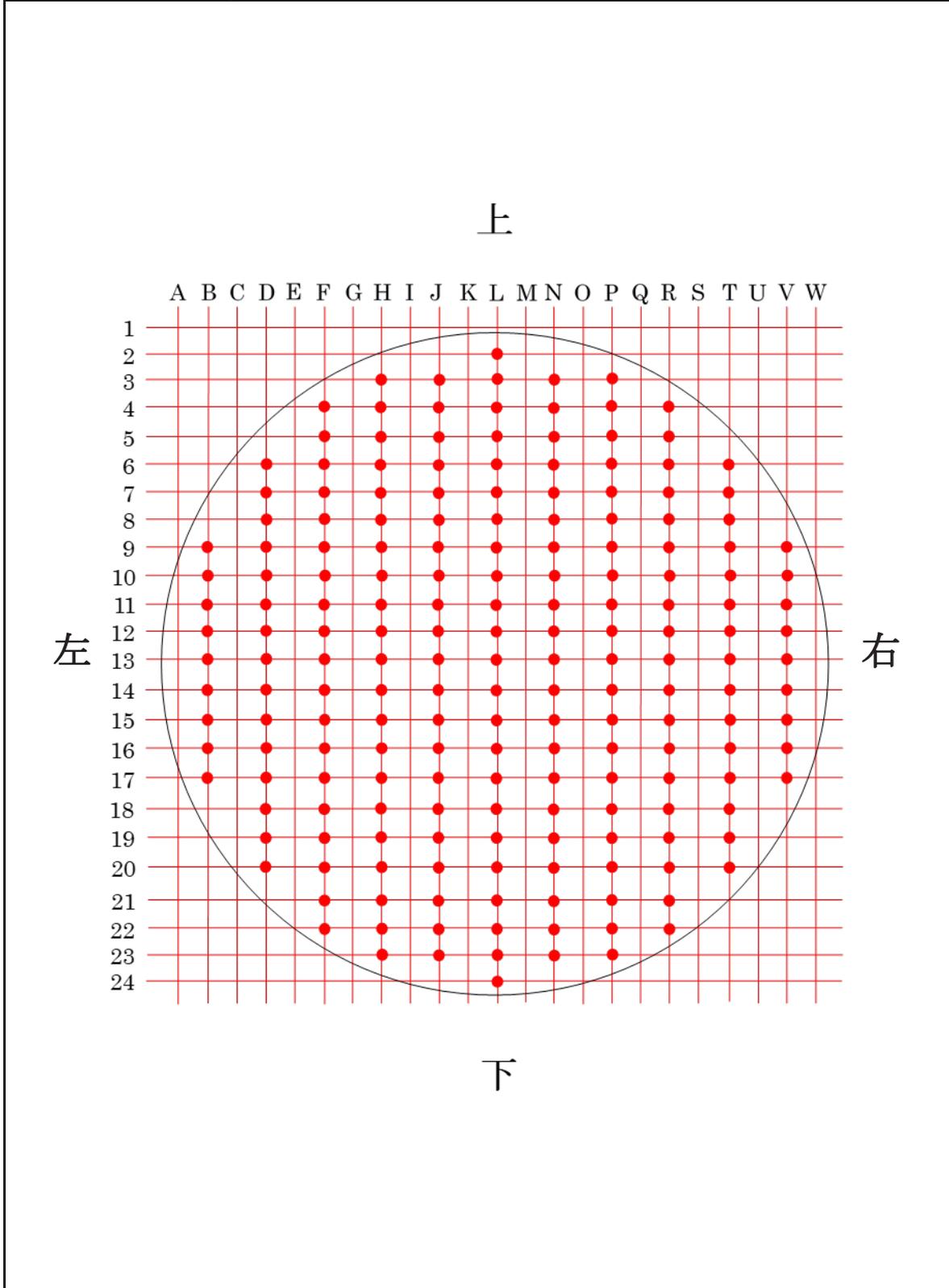
測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1										1.24	1.24	1.24	1.23	1.23											
2										1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.24								
3							1.24	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23						
4						1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23						
5					1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23					
6				1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23				
7			1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23				
8			1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.22	1.22			
9		1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.22	1.22	1.21			
10		1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.22	1.22	1.22	1.21			
11	1.24	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.22	1.22	1.22	1.22	1.22	1.21			
12	1.24	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.22	1.22	1.22	1.22	1.22	1.22	1.21			
13	1.22	1.22	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.20	1.11	1.14	1.08	1.14	1.14	1.10	1.19		
14	1.24	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.17	1.06	1.15	1.14	1.18	1.15	1.05	1.08	1.10		
15		1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.21	1.21	1.23	1.21	1.18	1.09	1.13	1.14	1.17	1.12	1.02	1.05			
16		1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	0.97	1.19	1.19	1.20	1.03	1.16	1.10	1.09	1.10	0.92	ND	ND			
17		1.23	1.23	1.23	1.22	1.22	1.22	1.22	1.22	1.22	ND (調査面に傷より此の厚さが有り測定不可)	1.12	1.07	1.12	1.07	1.10	1.08	1.07	1.04	1.04	ND	ND			
18			1.23	1.22	1.22	1.22	1.22	1.22	1.22	1.22	0.90	0.85	1.10	ND	1.20	1.00	0.75	0.76	ND	ND	0.95				
19		1.23	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	ND	ND	ND	ND	ND	0.66	ND	0.71	ND	ND	1.20				
20			1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.18					
21					0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	ND	ND	ND	ND	ND	0.82	0.82	ND	0.83						
22						0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
23											ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
24												ND													
25																									
26																									
27																									
28																									
29																									
30																									
31																									
32																									
33																									

測定結果

：蓋 (表側) の補修箇所が有り測定不可

ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(11/12)

廃棄物パッケージNo.	B-872-006		
測定年月日	平成 28 年 6 月 3 日	測定者	██████████
調査部位 (胴体)	ドラム缶底板の鋼材		



ドラム缶鋼材部分の厚み調査【B-872-006】(12/12)

廃棄物パッケージ№	B-872-006	測定者	測定者
測定年月日	平成28年6月3日	校正年月日	平成28年3月1日
測定部位	ドラム缶底板の鋼材(その他:5.0mm間隔で測定)	製造番号	161230101
測定器	型番: 38DL-PLUS	製造番号	161230101

ドラム缶の仕様: JIS Z1600 M級
天地板・胴体の板厚(mm): 1.2mm
板厚の許容値(mm): 1.2±0.08 [1.12~1.28mm]

測定点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1												1.20													
2								1.20		1.21		1.21		1.21		1.21									
3								1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.20							
4						1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21							
5						1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
6				1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
7				1.20		1.20		1.20		1.20		1.21		1.20		1.21		1.21		1.21					
8				1.20		1.20		1.20		1.21		1.20		1.21		1.21		1.20		1.21					
9				1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.20		1.20		1.20					
10				1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.21		1.21		1.20		1.21					
11				1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.21					
12				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
13				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
14				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.21					
15				1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.21					
16				1.20		1.20		1.21		1.21		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21					
17				1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
18				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.20		1.21		1.21		1.21					
19				1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
20				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.21					
21				1.20		1.21		1.21		1.21		1.20		1.21		1.20		1.20		1.21					
22				1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.20		1.21					
23				1.20		1.21		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
24				1.20		1.20		1.20		1.21		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21					
25				1.20		1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
26				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
27				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
28				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
29				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
30				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
31				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
32				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					
33				1.20		1.20		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21		1.21					

(単位: mm)

測定結果

Appendix 9

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧

This is a blank page.

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (1/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-850-019	B0220	S60.6.25	55	8.6E+02	2.5E+02	3.0E+03
B-857-008	B0210	S60.5.21	84	1.2E+03	3.5E+02	7.4E+03
B-857-009	B0210	S60.5.21	44	6.1E+02	1.8E+02	3.9E+03
B-857-009	B0211	S60.5.23	77	2.0E+03	5.8E+02	6.8E+03
B-857-010	B0211	S60.5.23	51	1.3E+03	3.8E+02	4.5E+03
B-857-010	B0212	S60.5.28	76	1.7E+03	5.0E+02	5.9E+03
B-857-011	B0212	S60.5.28	52	1.2E+03	3.4E+02	4.0E+03
B-857-011	B0213	S60.5.30	70	1.5E+03	4.4E+02	5.1E+03
B-857-012	B0213	S60.5.30	62	1.3E+03	3.9E+02	4.6E+03
B-857-012	B0214	S60.6.4	61	1.4E+03	4.1E+02	4.8E+03
B-857-013	B0214	S60.6.4	63	1.4E+03	4.2E+02	4.9E+03
B-857-013	B0215	S60.6.6	69	1.5E+03	4.3E+02	5.0E+03
B-857-014	B0215	S60.6.6	68	1.4E+03	4.2E+02	4.9E+03
B-857-014	B0216	S60.6.11	59	1.3E+03	3.9E+02	4.6E+03
B-857-015	B0216	S60.6.11	69	1.6E+03	4.6E+02	5.4E+03
B-857-015	B0217	S60.6.13	54	1.1E+03	3.2E+02	3.8E+03
B-857-016	B0217	S60.6.13	68	1.4E+03	4.0E+02	4.8E+03
B-857-016	B0218	S60.6.18	44	1.1E+03	3.2E+02	3.7E+03
B-857-017	B0218	S60.6.18	72	1.8E+03	5.2E+02	6.1E+03
B-857-017	B0219	S60.6.20	52	1.2E+03	3.6E+02	4.2E+03
B-857-018	B0219	S60.6.20	71	1.7E+03	4.9E+02	5.7E+03
B-857-018	B0220	S60.6.25	52	8.2E+02	2.4E+02	2.8E+03
B-860-027	B0255	S61.10.16	52	2.8E+01	9.0E+00	1.5E+03
B-860-028	B0255	S61.10.16	93	5.1E+01	1.6E+01	2.7E+03
B-863-001	B0229	S61.1.21	54	2.4E+02	9.1E+01	3.0E+03
B-863-002	B0229	S61.1.21	76	3.4E+02	1.3E+02	4.3E+03
B-863-002	B0230	S61.1.23	62	1.4E+02	6.1E+01	6.7E+03
B-863-003	B0230	S61.1.23	70	1.6E+02	6.8E+01	7.5E+03
B-863-003	B0231	S61.1.28	63	1.1E+02	4.6E+01	5.1E+03
B-863-004	B0231	S61.1.28	74	1.2E+02	5.4E+01	5.9E+03
B-863-004	B0232	S61.1.30	47	6.5E+01	2.8E+01	3.1E+03
B-863-005	B0232	S61.1.30	84	1.2E+02	5.1E+01	5.6E+03
B-863-005	B0233	S61.2.4	41	5.7E+01	2.5E+01	2.7E+03

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (2/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-863-006	B0233	S61.2.4	87	1.2E+02	5.2E+01	5.8E+03
B-863-006	B0234	S61.2.13	37	4.8E+01	2.1E+01	2.3E+03
B-863-007	B0234	S61.2.13	87	1.1E+02	4.9E+01	5.4E+03
B-863-007	B0235	S61.2.18	35	5.3E+01	2.3E+01	2.6E+03
B-863-008	B0235	S61.2.18	65	9.9E+01	4.3E+01	4.7E+03
B-863-008	B0236	S61.2.20	51	6.4E+01	2.8E+01	3.1E+03
B-863-009	B0236	S61.2.20	83	1.0E+02	4.5E+01	5.0E+03
B-863-009	B0237	S61.2.24	48	6.8E+01	2.9E+01	3.2E+03
B-863-010	B0237	S61.2.24	82	1.2E+02	5.0E+01	5.5E+03
B-863-010	B0238	S61.2.26	52	7.6E+01	3.3E+01	3.7E+03
B-863-011	B0238	S61.2.26	70	1.0E+02	4.5E+01	4.9E+03
B-863-011	B0239	S61.3.3	62	9.0E+01	3.9E+01	4.3E+03
B-863-012	B0239	S61.3.3	58	8.5E+01	3.7E+01	4.0E+03
B-863-012	B0240	S61.3.5	73	1.1E+02	4.6E+01	5.0E+03
B-863-013	B0240	S61.3.5	60	8.6E+01	3.8E+01	4.1E+03
B-863-013	B0241	S61.3.11	59	7.9E+01	3.4E+01	3.8E+03
B-863-014	B0241	S61.3.11	67	8.9E+01	3.9E+01	4.3E+03
B-863-014	B0242	S61.3.13	60	7.2E+01	2.9E+01	2.0E+03
B-863-014	B0242	S61.3.18	60	5.5E+01	2.2E+01	1.5E+03
B-866-015	B0242	S61.3.13	64	7.7E+01	3.1E+01	2.2E+03
B-866-015	B0242	S61.3.18	64	5.9E+01	2.4E+01	1.6E+03
B-866-015	B0243	S61.4.9	69	1.3E+02	5.3E+01	3.7E+03
B-866-015	B0243	S61.4.14	69	1.2E+02	4.9E+01	3.4E+03
B-866-016	B0243	S61.4.9	65	1.2E+02	4.9E+01	3.5E+03
B-866-016	B0243	S61.4.14	65	1.1E+02	4.6E+01	3.2E+03
B-866-016	B0244	S61.4.17	71	1.4E+02	5.7E+01	4.0E+03
B-866-016	B0244	S61.4.22	71	1.3E+02	5.1E+01	3.6E+03
B-866-017	B0244	S61.4.17	75	1.5E+02	6.0E+01	4.2E+03
B-866-017	B0244	S61.4.22	75	1.3E+02	5.4E+01	3.8E+03
B-866-017	B0245	S61.4.28	53	1.2E+02	4.7E+01	3.3E+03
B-866-017	B0245	S61.4.30	53	7.7E+01	3.1E+01	2.2E+03
B-866-018	B0245	S61.4.28	72	1.6E+02	6.4E+01	4.4E+03
B-866-018	B0245	S61.4.30	72	1.0E+02	4.2E+01	2.9E+03

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (3/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-86X-029	B0257	S61.10.29	48	3.2E+01	1.0E+01	1.7E+03
B-86X-029	B0257	S61.11.4	48	1.7E+01	5.4E+00	9.2E+02
B-86X-030	B0257	S61.10.29	94	6.4E+01	2.0E+01	3.3E+03
B-86X-030	B0257	S61.11.4	94	3.4E+01	1.1E+01	1.8E+03
B-86X-030	B0258	S61.11.13	48	2.7E+01	8.4E+00	1.4E+03
B-86X-030	B0258	S61.11.18	48	2.6E+01	8.2E+00	1.4E+03
B-86X-031	B0258	S61.11.13	100	5.6E+01	1.7E+01	3.0E+03
B-86X-031	B0258	S61.11.18	100	5.5E+01	1.7E+01	2.9E+03
B-86X-031	B0259	S61.11.20	45	2.6E+01	8.1E+00	1.4E+03
B-86X-031	B0259	S61.11.25	45	1.9E+01	6.0E+00	1.0E+03
B-86X-032	B0259	S61.11.20	89	5.2E+01	1.6E+01	2.7E+03
B-86X-032	B0259	S61.11.25	89	3.8E+01	1.2E+01	2.0E+03
B-86X-032	B0260	S61.11.27	45	3.6E+01	1.1E+01	1.9E+03
B-86Z-033	B0260	S61.11.27	72	5.7E+01	1.8E+01	3.0E+03
B-86Z-033	B0261	S61.12.1	65	3.2E+01	1.0E+01	1.7E+03
B-86Z-033	B0261	S61.12.2	65	2.7E+01	8.4E+00	1.4E+03
B-871-001	B0261	S61.12.1	80	4.0E+01	1.2E+01	2.1E+03
B-871-001	B0261	S61.12.2	80	3.3E+01	1.0E+01	1.8E+03
B-871-001	B0262	S62.1.8	47	1.4E+02	1.1E+02	1.1E+03
B-871-001	B0262	S62.1.9	47	1.1E+02	8.6E+01	9.0E+02
B-871-002	B0262	S62.1.8	90	2.6E+02	2.1E+02	2.2E+03
B-871-002	B0262	S62.1.9	90	2.1E+02	1.6E+02	1.7E+03
B-871-002	B0263	S62.1.14	41	1.3E+02	1.0E+02	1.1E+03
B-871-002	B0263	S62.1.16	41	1.1E+02	8.6E+01	9.1E+02
B-871-003	B0263	S62.1.14	98	3.2E+02	2.5E+02	2.6E+03
B-871-003	B0263	S62.1.16	98	2.6E+02	2.1E+02	2.2E+03
B-871-003	B0264	S62.1.21	36	1.2E+02	9.5E+01	1.0E+03
B-871-003	B0264	S62.1.22	36	8.9E+01	7.0E+01	7.4E+02
B-872-004	B0264	S62.1.21	97	3.2E+02	2.6E+02	2.7E+03
B-872-004	B0264	S62.1.22	97	2.4E+02	1.9E+02	2.0E+03
B-872-005	B0266	S62.2.9	37	6.1E+01	1.9E+01	9.9E+02
B-872-005	B0266	S62.2.10	37	6.5E+01	2.0E+01	1.0E+03
B-872-006	B0266	S62.2.9	93	1.5E+02	4.7E+01	2.5E+03

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (4/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-872-006	B0266	S62.2.10	93	1.6E+02	5.0E+01	2.6E+03
B-872-006	B0267	S62.2.17	37	8.6E+01	2.6E+01	1.4E+03
B-872-007	B0267	S62.2.17	86	2.0E+02	6.2E+01	3.2E+03
B-872-007	B0268	S62.2.20	46	8.0E+01	2.5E+01	1.3E+03
B-872-007	B0268	S62.2.23	46	8.9E+01	2.7E+01	1.4E+03
B-872-008	B0268	S62.2.20	84	1.5E+02	4.5E+01	2.4E+03
B-872-008	B0268	S62.2.23	84	1.6E+02	5.0E+01	2.6E+03
B-872-008	B0269	S62.2.26	48	9.1E+01	2.8E+01	1.5E+03
B-872-008	B0269	S62.2.27	48	7.3E+01	2.2E+01	1.2E+03
B-873-009	B0269	S62.2.26	87	1.7E+02	5.1E+01	2.7E+03
B-873-009	B0269	S62.2.27	87	1.3E+02	4.1E+01	2.1E+03
B-873-009	B0270	S62.3.6	44	4.2E+01	1.3E+01	6.7E+02
B-873-010	B0270	S62.3.6	98	9.3E+01	2.9E+01	1.5E+03
B-874-011	B0272	S62.4.3	47	7.1E+01	2.2E+01	1.1E+03
B-874-011	B0272	S62.4.6	47	8.2E+01	2.5E+01	1.3E+03
B-874-012	B0272	S62.4.3	91	1.4E+02	4.2E+01	2.2E+03
B-874-012	B0272	S62.4.6	91	1.6E+02	4.9E+01	2.6E+03
B-874-012	B0273	S62.4.9	43	8.7E+01	2.7E+01	1.4E+03
B-874-012	B0273	S62.4.10	43	7.1E+01	2.2E+01	1.2E+03
B-874-013	B0273	S62.4.9	83	1.7E+02	5.1E+01	2.7E+03
B-874-013	B0273	S62.4.10	83	1.4E+02	4.2E+01	2.2E+03
B-874-013	B0274	S62.4.14	51	1.1E+02	3.3E+01	1.7E+03
B-874-013	B0274	S62.4.15	51	6.1E+01	1.9E+01	9.9E+02
B-874-014	B0274	S62.4.14	68	1.4E+02	4.3E+01	2.3E+03
B-874-014	B0274	S62.4.15	68	8.2E+01	2.5E+01	1.3E+03
B-876-017	B0278	S62.6.2	65	2.0E+02	5.4E+01	1.1E+03
B-876-017	B0278	S62.6.5	65	4.4E+01	1.2E+01	2.4E+02
B-876-018	B0278	S62.6.2	55	1.7E+02	4.6E+01	8.9E+02
B-876-018	B0278	S62.6.5	55	3.7E+01	1.0E+01	2.0E+02
B-876-018	B0279	S62.6.10	80	3.0E+02	8.2E+01	1.6E+03
B-876-019	B0279	S62.6.10	35	1.3E+02	3.6E+01	7.0E+02
B-876-019	B0280	S62.6.16	91	2.7E+02	7.4E+01	1.4E+03
B-876-020	B0280	S62.6.16	29	8.5E+01	2.4E+01	4.6E+02

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (5/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-876-020	B0281	S62.6.18	94	3.1E+02	8.6E+01	1.7E+03
B-876-021	B0281	S62.6.18	18	5.9E+01	1.6E+01	3.2E+02
B-876-021	B0282	S62.6.23	99	3.0E+02	8.3E+01	1.6E+03
B-876-022	B0282	S62.6.23	14	4.2E+01	1.2E+01	2.3E+02
B-876-022	B0283	S62.6.25	106	3.2E+02	8.8E+01	1.7E+03
B-87X-023	B0283	S62.6.25	9	2.7E+01	7.4E+00	1.4E+02
B-87X-023	B0284	S62.11.5	96	4.2E+02	2.7E+02	2.0E+03
B-87X-024	B0284	S62.11.5	17	7.4E+01	4.8E+01	3.6E+02
B-87X-024	B0285	S62.11.18	102	4.7E+02	3.1E+02	2.3E+03
B-87X-025	B0285	S62.11.18	5	2.3E+01	1.5E+01	1.1E+02
B-880-017	B0304	S63.10.3	86	1.6E+02	7.7E+01	1.0E+03
B-880-018	B0304	S63.10.3	41	7.5E+01	3.7E+01	4.9E+02
B-880-018	B0305	S63.10.12	92	1.8E+02	8.8E+01	1.2E+03
B-880-019	B0305	S63.10.12	31	6.0E+01	2.9E+01	4.0E+02
B-880-019	B0306	S63.10.20	93	1.6E+02	7.8E+01	1.0E+03
B-880-020	B0306	S63.10.20	43	7.3E+01	3.6E+01	4.8E+02
B-880-020	B0307	S63.10.26	82	5.7E+01	2.8E+01	3.8E+02
B-881-002	B0289	S63.1.19	86	4.0E+02	2.6E+02	1.9E+03
B-881-003	B0289	S63.1.19	28	1.3E+02	8.4E+01	6.3E+02
B-881-003	B0290	S63.1.25	98	4.1E+02	2.6E+02	2.0E+03
B-882-004	B0290	S63.1.25	12	5.0E+01	3.2E+01	2.4E+02
B-882-004	B0291	S63.2.2	100	4.3E+02	2.8E+02	2.1E+03
B-882-004	B0291	S63.2.4	100	2.2E+02	1.4E+02	1.1E+03
B-882-005	B0291	S63.2.2	16	6.8E+01	4.4E+01	3.3E+02
B-882-005	B0291	S63.2.4	16	3.6E+01	2.3E+01	1.7E+02
B-882-005	B0292	S63.2.16	102	3.5E+02	2.3E+02	1.7E+03
B-882-005	B0292	S63.2.17	102	3.0E+02	1.9E+02	1.5E+03
B-883-006	B0292	S63.2.16	20	6.9E+01	4.5E+01	3.3E+02
B-883-006	B0292	S63.2.17	20	5.9E+01	3.8E+01	2.9E+02
B-883-006	B0293	S63.3.1	99	3.2E+02	2.1E+02	1.6E+03
B-883-006	B0293	S63.3.4	99	3.3E+02	2.2E+02	1.6E+03
B-883-007	B0293	S63.3.1	20	6.5E+01	4.2E+01	3.2E+02
B-883-007	B0293	S63.3.4	20	6.8E+01	4.4E+01	3.3E+02

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (6/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-884-009	B0296	S63.4.12	119	1.2E+02	1.2E+02	1.4E+03
B-884-010	B0296	S63.4.12	5	4.8E+00	4.8E+00	6.0E+01
B-884-010	B0297	S63.4.18	111	7.1E+01	7.1E+01	8.8E+02
B-884-011	B0297	S63.4.18	12	7.7E+00	7.7E+00	9.5E+01
B-884-011	B0298	S63.4.21	113	6.9E+01	6.9E+01	8.5E+02
B-884-012	B0298	S63.4.21	7	4.3E+00	4.3E+00	5.3E+01
B-884-012	B0299	S63.4.26	115	7.5E+01	7.5E+01	9.2E+02
B-889-013	B0299	S63.4.26	16	1.0E+01	1.0E+01	1.3E+02
B-889-013	B0300	S63.9.1	102	2.3E+02	1.1E+02	1.5E+03
B-889-014	B0300	S63.9.1	17	3.8E+01	1.9E+01	2.5E+02
B-88X-021	B0307	S63.10.26	51	3.6E+01	1.7E+01	2.3E+02
B-88X-021	B0308	S63.11.4	76	1.2E+02	5.7E+01	7.6E+02
B-88X-022	B0308	S63.11.4	58	8.8E+01	4.3E+01	5.8E+02
B-88X-022	B0309	S63.11.11	74	1.3E+02	6.6E+01	8.9E+02
B-88Z-023	B0309	S63.11.11	57	1.0E+02	5.1E+01	6.9E+02
B-88Z-023	B0310	S63.12.5	72	3.0E+02	1.9E+02	1.8E+03
B-88Z-023	B0310	S63.12.6	72	2.8E+02	1.8E+02	1.7E+03
B-891-001	B0311	H1.1.19	70	2.8E+02	1.1E+02	1.6E+03
B-892-002	B0311	H1.1.19	41	1.6E+02	6.2E+01	9.5E+02
B-892-002	B0312	H1.2.3	83	3.0E+01	4.4E+01	2.0E+03
B-892-003	B0312	H1.2.3	37	1.3E+01	1.9E+01	9.0E+02
B-892-003	B0313	H1.2.8	90	3.5E+01	5.1E+01	2.4E+03
B-892-003	B0313	H1.2.10	90	2.3E+01	3.5E+01	1.6E+03
B-892-004	B0313	H1.2.8	33	1.3E+01	1.9E+01	8.7E+02
B-892-004	B0313	H1.2.10	33	8.6E+00	1.3E+01	5.9E+02
B-892-004	B0314	H1.2.15	95	4.0E+01	5.9E+01	2.7E+03
B-892-004	B0314	H1.2.17	95	3.0E+01	4.4E+01	2.0E+03
B-893-005	B0314	H1.2.15	30	1.3E+01	1.8E+01	8.6E+02
B-893-005	B0314	H1.2.17	30	9.4E+00	1.4E+01	6.4E+02
B-893-005	B0315	H1.3.2	90	3.1E+01	4.5E+01	2.1E+03
B-893-005	B0315	H1.3.7	90	2.7E+01	4.0E+01	1.8E+03
B-893-006	B0315	H1.3.2	29	9.8E+00	1.5E+01	6.7E+02
B-893-006	B0315	H1.3.7	29	8.7E+00	1.3E+01	5.9E+02

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (7/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-893-006	B0316	H1.3.9	81	2.2E+01	3.3E+01	1.5E+03
B-893-007	B0316	H1.3.9	56	1.6E+01	2.3E+01	1.1E+03
B-893-007	B0317	H1.3.16	68	2.4E+01	3.6E+01	1.7E+03
B-893-007	B0317	H1.3.22	68	1.9E+01	2.9E+01	1.3E+03
B-894-008	B0317	H1.3.16	65	2.3E+01	3.4E+01	1.6E+03
B-894-008	B0317	H1.3.22	65	1.9E+01	2.7E+01	1.3E+03
B-894-008	B0318	H1.4.13	58	3.3E+02	1.4E+02	6.2E+02
B-894-009	B0318	H1.4.13	73	4.2E+02	1.7E+02	7.8E+02
B-894-009	B0319	H1.4.18	52	2.7E+02	1.1E+02	5.1E+02
B-894-010	B0319	H1.4.18	92	4.8E+02	2.0E+02	8.9E+02
B-894-010	B0320	H1.4.24	53	3.0E+02	1.3E+02	5.7E+02
B-896-011	B0320	H1.4.24	78	4.5E+02	1.8E+02	8.3E+02
B-896-011	B0321	H1.6.2	46	2.3E+02	9.4E+01	4.3E+02
B-896-012	B0321	H1.6.2	90	4.5E+02	1.8E+02	8.3E+02
B-896-012	B0322	H1.6.8	33	1.3E+02	5.5E+01	2.5E+02
B-896-013	B0322	H1.6.8	107	4.3E+02	1.8E+02	8.0E+02
B-896-013	B0323	H1.6.16	32	1.5E+02	6.1E+01	2.8E+02
B-896-014	B0323	H1.6.16	106	4.9E+02	2.0E+02	9.1E+02
B-89X-016	B0325	H1.10.27	77	4.2E+01	1.2E+01	2.7E+02
B-89Z-017	B0325	H1.10.27	49	2.7E+01	7.9E+00	1.7E+02
B-89Z-017	B0326	H1.11.17	52	4.1E+01	1.2E+01	2.6E+02
B-89Z-018	B0326	H1.11.17	73	5.8E+01	1.7E+01	3.7E+02
B-89Z-018	B0327	H1.12.8	61	5.1E+01	1.5E+01	3.3E+02
B-89Z-019	B0327	H1.12.8	67	5.6E+01	1.6E+01	3.6E+02
B-89Z-019	B0328	H1.12.13	63	6.5E+01	1.9E+01	4.2E+02
B-900-013	B0340	H2.9.7	76	3.9E+00	2.2E+00	3.6E+02
B-900-013	B0341	H2.10.19	54	2.1E+00	1.2E+00	1.9E+02
B-901-001	B0328	H1.12.13	70	7.2E+01	2.1E+01	4.6E+02
B-901-001	B0329	H2.1.11	50	1.1E+01	2.7E+00	4.0E+02
B-901-002	B0329	H2.1.11	75	1.7E+01	4.1E+00	6.0E+02
B-901-002	B0330	H2.1.24	50	1.1E+01	2.7E+00	4.0E+02
B-902-003	B0330	H2.1.24	78	1.7E+01	4.2E+00	6.2E+02
B-902-003	B0331	H2.1.31	45	9.9E+00	2.4E+00	3.6E+02

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (8/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-902-004	B0331	H2.1.31	75	1.6E+01	4.1E+00	5.9E+02
B-902-004	B0332	H2.2.13	52	8.8E+00	2.2E+00	3.2E+02
B-903-005	B0332	H2.2.13	78	1.3E+01	3.2E+00	4.7E+02
B-903-005	B0333	H2.2.28	57	1.1E+01	2.6E+00	3.9E+02
B-903-006	B0333	H2.2.28	73	1.4E+01	3.4E+00	5.0E+02
B-903-006	B0334	H2.3.9	55	1.0E+01	2.5E+00	3.7E+02
B-904-007	B0334	H2.3.9	75	1.4E+01	3.4E+00	5.0E+02
B-904-007	B0335	H2.4.5	57	9.8E+00	2.4E+00	3.5E+02
B-904-008	B0335	H2.4.5	71	1.2E+01	3.0E+00	4.4E+02
B-904-008	B0336	H2.4.16	62	1.0E+01	2.5E+00	3.7E+02
B-904-009	B0336	H2.4.16	69	1.1E+01	2.8E+00	4.1E+02
B-904-009	B0337	H2.4.24	47	5.8E+00	1.4E+00	2.1E+02
B-905-010	B0337	H2.4.24	92	1.1E+01	2.8E+00	4.1E+02
B-905-010	B0338	H2.5.10	48	8.7E+00	2.1E+00	3.1E+02
B-905-011	B0338	H2.5.10	85	1.5E+01	3.8E+00	5.5E+02
B-905-011	B0339	H2.5.22	50	8.7E+00	2.2E+00	3.2E+02
B-909-012	B0339	H2.5.22	79	1.4E+01	3.4E+00	5.0E+02
B-909-012	B0340	H2.9.7	57	2.9E+00	1.6E+00	2.7E+02
B-90Z-014	B0341	H2.10.19	80	3.1E+00	1.7E+00	2.8E+02
B-90Z-014	B0342	H2.12.5	47	1.7E+00	9.6E-01	1.6E+02
B-90Z-015	B0342	H2.12.5	85	3.0E+00	1.7E+00	2.8E+02
B-90Z-015	B0343	H2.12.10	44	5.6E-01	1.1E-01	3.0E+02
B-90Z-016	B0343	H2.12.10	87	1.1E+00	2.1E-01	5.9E+02
B-90Z-016	B0344	H2.12.17	59	1.3E+00	2.4E-01	6.7E+02
B-910-014	B0357	H3.8.30	78	4.9E+00	6.2E+00	4.9E+02
B-910-014	B0358	H3.10.9	49	2.9E+00	3.6E+00	2.9E+02
B-910-014	B0358	H3.10.11	49	2.2E+00	2.8E+00	2.2E+02
B-910-015	B0358	H3.10.9	77	4.5E+00	5.7E+00	4.5E+02
B-910-015	B0358	H3.10.11	77	3.5E+00	4.4E+00	3.5E+02
B-910-015	B0359	H3.10.22	48	5.2E+00	6.6E+00	5.2E+02
B-910-015	B0359	H3.10.25	48	3.8E+00	4.8E+00	3.8E+02
B-911-001	B0344	H2.12.17	69	1.5E+00	2.8E-01	7.8E+02
B-911-001	B0345	H3.1.11	53	2.6E+00	1.1E+00	3.7E+02

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (9/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-911-002	B0345	H3.1.11	73	3.6E+00	1.5E+00	5.1E+02
B-911-002	B0346	H3.1.24	59	1.9E+00	8.2E-01	2.7E+02
B-912-003	B0346	H3.1.24	60	1.9E+00	8.4E-01	2.8E+02
B-912-003	B0347	H3.2.4	52	2.7E+00	1.2E+00	3.8E+02
B-912-004	B0347	H3.2.4	69	3.5E+00	1.5E+00	5.1E+02
B-912-004	B0348	H3.2.14	66	2.3E+00	9.8E-01	3.3E+02
B-912-005	B0348	H3.2.14	66	2.3E+00	9.8E-01	3.3E+02
B-912-005	B0349	H3.2.22	74	3.7E+00	1.6E+00	5.3E+02
B-913-006	B0349	H3.2.22	57	2.8E+00	1.2E+00	4.1E+02
B-913-006	B0350	H3.3.6	62	2.1E+00	8.8E-01	2.9E+02
B-913-007	B0350	H3.3.6	82	2.7E+00	1.2E+00	3.9E+02
B-913-007	B0351	H3.3.13	49	3.4E+00	1.5E+00	4.9E+02
B-914-008	B0351	H3.3.13	89	6.1E+00	2.6E+00	8.8E+02
B-914-008	B0352	H3.4.4	48	1.7E+00	7.4E-01	2.5E+02
B-914-009	B0352	H3.4.4	71	2.5E+00	1.1E+00	3.6E+02
B-914-009	B0353	H3.4.11	58	3.3E+00	1.4E+00	4.7E+02
B-915-010	B0353	H3.4.11	73	4.1E+00	1.8E+00	5.9E+02
B-915-010	B0354	H3.5.9	64	3.3E+00	1.4E+00	4.8E+02
B-915-011	B0354	H3.5.9	70	3.6E+00	1.6E+00	5.2E+02
B-915-011	B0355	H3.5.21	45	3.8E+00	1.7E+00	5.5E+02
B-915-011	B0355	H3.5.22	45	3.0E+00	1.3E+00	4.3E+02
B-915-012	B0355	H3.5.21	58	4.9E+00	2.1E+00	7.1E+02
B-915-012	B0355	H3.5.22	58	3.9E+00	1.7E+00	5.6E+02
B-915-012	B0356	H3.5.27	65	2.9E+00	1.3E+00	4.2E+02
B-915-012	B0356	H3.5.28	65	4.0E+00	1.7E+00	5.7E+02
B-919-013	B0356	H3.5.27	79	3.6E+00	1.5E+00	5.2E+02
B-919-013	B0356	H3.5.28	79	4.9E+00	2.1E+00	7.0E+02
B-919-013	B0357	H3.8.30	55	3.4E+00	4.3E+00	3.4E+02
B-91X-016	B0359	H3.10.22	64	6.9E+00	8.7E+00	6.9E+02
B-91X-016	B0359	H3.10.25	64	5.0E+00	6.4E+00	5.0E+02
B-91X-016	B0360	H3.11.8	60	4.0E+00	5.1E+00	4.0E+02
B-91X-016	B0360	H3.11.12	60	5.8E+00	7.3E+00	5.8E+02
B-91X-017	B0360	H3.11.8	66	4.4E+00	5.6E+00	4.4E+02

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (10/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-91X-017	B0360	H3.11.12	66	6.4E+00	8.0E+00	6.4E+02
B-91X-017	B0361	H3.11.26	69	2.6E+00	3.3E+00	2.6E+02
B-91X-017	B0361	H3.11.27	69	8.3E+00	1.0E+01	8.3E+02
B-91Z-018	B0361	H3.11.26	49	1.8E+00	2.3E+00	1.8E+02
B-91Z-018	B0361	H3.11.27	49	5.9E+00	7.4E+00	5.9E+02
B-91Z-018	B0362	H3.12.5	81	6.6E+00	8.3E+00	6.6E+02
B-91Z-019	B0362	H3.12.5	50	4.1E+00	5.1E+00	4.1E+02
B-91Z-019	B0363	H3.12.11	79	8.1E+00	1.0E+01	8.1E+02
B-920-019	B0382	H4.10.22	80	3.3E+00	6.1E+00	6.6E+02
B-921-001	B0363	H3.12.11	54	5.5E+00	7.0E+00	5.5E+02
B-922-003	B0366	H4.2.19	85	2.7E+00	1.6E+00	5.6E+02
B-923-004	B0366	H4.2.19	45	1.4E+00	8.5E-01	3.0E+02
B-923-004	B0367	H4.3.6	84	4.6E+00	2.7E+00	9.5E+02
B-924-005	B0367	H4.3.6	45	2.5E+00	1.5E+00	5.1E+02
B-925-009	B0372	H4.5.8	85	7.2E+00	1.4E+01	8.0E+02
B-925-010	B0372	H4.5.8	50	4.3E+00	8.4E+00	4.7E+02
B-925-010	B0373	H4.5.15	85	9.7E+00	1.9E+01	1.1E+03
B-925-011	B0373	H4.5.15	55	6.3E+00	1.2E+01	7.0E+02
B-925-012	B0375	H4.5.25	86	8.5E+00	1.7E+01	9.4E+02
B-926-013	B0375	H4.5.25	50	4.9E+00	9.7E+00	5.5E+02
B-926-013	B0376	H4.6.1	81	6.0E+00	1.2E+01	6.6E+02
B-926-014	B0376	H4.6.1	51	3.8E+00	7.4E+00	4.2E+02
B-926-014	B0377	H4.6.8	80	6.6E+00	1.3E+01	7.3E+02
B-926-015	B0377	H4.6.8	54	4.5E+00	8.8E+00	4.9E+02
B-926-015	B0378	H4.6.16	89	7.4E+00	1.4E+01	8.1E+02
B-926-016	B0378	H4.6.16	57	4.7E+00	9.3E+00	5.2E+02
B-92X-020	B0382	H4.10.22	40	1.7E+00	3.0E+00	3.3E+02
B-92X-020	B0383	H4.11.19	62	2.7E+00	5.0E+00	5.4E+02
B-92X-020	B0383	H4.11.25	62	3.2E+00	5.9E+00	6.4E+02
B-92Z-021	B0383	H4.11.19	52	2.3E+00	4.2E+00	4.6E+02
B-92Z-021	B0383	H4.11.25	52	2.7E+00	5.0E+00	5.4E+02
B-92Z-021	B0384	H4.11.30	72	2.9E+00	5.3E+00	5.8E+02
B-92Z-021	B0384	H4.12.1	72	2.9E+00	5.3E+00	5.8E+02

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (11/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-92Z-022	B0384	H4.11.30	54	2.2E+00	4.0E+00	4.3E+02
B-92Z-022	B0384	H4.12.1	54	2.2E+00	4.0E+00	4.3E+02
B-92Z-022	B0385	H4.12.7	79	3.6E+00	6.6E+00	7.2E+02
B-92Z-022	B0385	H4.12.8	79	3.0E+00	5.5E+00	5.9E+02
B-931-001	B0385	H4.12.7	57	2.6E+00	4.8E+00	5.2E+02
B-931-001	B0385	H4.12.8	57	2.1E+00	3.9E+00	4.3E+02
B-931-001	B0386	H5.1.7	68	2.8E+00	5.1E+00	5.5E+02
B-931-001	B0386	H5.1.8	68	1.7E+00	3.2E+00	3.4E+02
B-931-002	B0386	H5.1.7	77	3.1E+00	5.8E+00	6.3E+02
B-931-002	B0386	H5.1.8	77	1.9E+00	3.6E+00	3.9E+02
B-931-002	B0387	H5.1.20	56	2.5E+00	4.7E+00	5.1E+02
B-931-002	B0387	H5.1.21	56	1.0E+00	1.8E+00	2.0E+02
B-932-003	B0387	H5.1.20	85	3.9E+00	7.1E+00	7.7E+02
B-932-003	B0387	H5.1.21	85	1.5E+00	2.8E+00	3.0E+02
B-932-003	B0388	H5.2.16	44	2.3E+00	4.3E+00	4.6E+02
B-932-003	B0388	H5.2.17	44	3.1E+00	5.7E+00	6.2E+02
B-936-004	B0388	H5.2.16	89	4.7E+00	8.6E+00	9.4E+02
B-936-004	B0388	H5.2.17	89	6.3E+00	1.2E+01	1.3E+03
B-936-004	B0389	H5.5.27	45	1.1E+00	7.4E-01	3.1E+02
B-936-004	B0389	H5.5.31	45	9.1E-01	6.1E-01	2.5E+02
B-936-005	B0389	H5.5.27	97	2.4E+00	1.6E+00	6.6E+02
B-936-005	B0389	H5.5.31	97	2.0E+00	1.3E+00	5.4E+02
B-937-006	B0390	H5.7.1	75	2.0E+00	1.4E+00	5.7E+02
B-937-006	B0391	H5.7.12	61	1.4E+00	9.5E-01	3.9E+02
B-937-007	B0390	H5.7.1	51	1.4E+00	9.3E-01	3.9E+02
B-937-007	B0391	H5.7.12	101	2.4E+00	1.6E+00	6.5E+02
B-93X-008	B0392	H5.7.20	66	2.4E+00	1.6E+00	6.6E+02
B-93X-008	B0393	H5.11.18	68	3.2E+01	1.1E+01	7.3E+02
B-93X-009	B0392	H5.7.20	80	2.9E+00	1.9E+00	8.0E+02
B-93X-009	B0393	H5.11.18	67	3.1E+01	1.1E+01	7.2E+02
B-93Z-010	B0394	H5.11.26	67	1.9E+01	7.3E+00	6.1E+02
B-93Z-010	B0395	H5.12.7	75	6.6E-01	3.3E+00	8.6E+02
B-93Z-011	B0394	H5.11.26	83	2.4E+01	9.0E+00	7.6E+02

固化処理時における濃縮液中の含有イオン量一覧 (12/12)

廃棄物パッケージNo.	RunNo.	蒸発処理 年月日	プロダクト 重量 (kg)	濃縮液中の含有イオン量 (g)		
				Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻
B-93Z-011	B0395	H5.12.7	62	5.4E-01	2.7E+00	7.1E+02
B-941-001	B0396	H5.12.13	80	3.9E-01	2.0E+00	5.1E+02
B-941-001	B0397	H6.1.12	58	1.3E+00	6.6E+00	1.7E+03
B-941-002	B0396	H5.12.13	77	3.8E-01	1.9E+00	4.9E+02
B-941-002	B0397	H6.1.12	63	1.4E+00	7.1E+00	1.9E+03
B-942-003	B0397	H6.1.12	29	6.6E-01	3.3E+00	8.5E+02
B-942-003	B0398	H6.1.20	100	6.9E-01	3.4E+00	8.9E+02
B-946-004	B0398	H6.1.20	42	2.9E-01	1.4E+00	3.8E+02

国際単位系 (SI)

表1. SI基本単位

基本量	SI基本単位	
	名称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
物質량	モル	mol
光度	カンデラ	cd

表2. 基本単位を用いて表されるSI組立単位の例

組立量	SI組立単位	
	名称	記号
面積	平方メートル	m ²
体積	立方メートル	m ³
速度	メートル毎秒	m/s
加速度	メートル毎秒毎秒	m/s ²
波数	毎メートル	m ⁻¹
密度, 質量密度	キログラム毎立方メートル	kg/m ³
面積密度	キログラム毎平方メートル	kg/m ²
比体積	立方メートル毎キログラム	m ³ /kg
電流密度	アンペア毎平方メートル	A/m ²
磁界の強さ	アンペア毎メートル	A/m
量濃度 ^(a) , 濃度	モル毎立方メートル	mol/m ³
質量濃度	キログラム毎立方メートル	kg/m ³
輝度	カンデラ毎平方メートル	cd/m ²
屈折率 ^(b)	(数字の)	1
比透磁率 ^(b)	(数字の)	1

(a) 量濃度 (amount concentration) は臨床化学の分野では物質濃度 (substance concentration) ともよばれる。
 (b) これらは無次元量あるいは次元1をもつ量であるが、そのことを表す単位記号である数字の1は通常は表記しない。

表3. 固有の名称と記号で表されるSI組立単位

組立量	SI組立単位			
	名称	記号	他のSI単位による表し方	SI基本単位による表し方
平面角	ラジアン ^(b)	rad	1 ^(b)	m/m
立体角	ステラジアン ^(b)	sr ^(c)	1 ^(b)	m ² /m ²
周波数	ヘルツ ^(d)	Hz		s ⁻¹
力	ニュートン	N		m kg s ⁻²
圧力, 応力	パスカル	Pa	N/m ²	m ⁻¹ kg s ⁻²
エネルギー, 仕事, 熱量	ジュール	J	N m	m ² kg s ⁻²
仕事率, 工率, 放射束	ワット	W	J/s	m ² kg s ⁻³
電荷, 電気量	クーロン	C		s A
電位差 (電圧), 起電力	ボルト	V	W/A	m ² kg s ⁻³ A ⁻¹
静電容量	ファラド	F	C/V	m ² kg ⁻¹ s ⁴ A ²
電気抵抗	オーム	Ω	V/A	m ² kg s ⁻³ A ⁻²
コンダクタンス	ジーメン	S	A/V	m ² kg ⁻¹ s ³ A ²
磁束	ウェーバ	Wb	Vs	m ² kg s ⁻² A ⁻¹
磁束密度	テスラ	T	Wb/m ²	kg s ⁻² A ⁻¹
インダクタンス	ヘンリー	H	Wb/A	m ² kg s ⁻² A ⁻²
セルシウス温度	セルシウス度 ^(e)	°C		K
光照射量	ルーメン	lm	cd sr ^(c)	cd
放射線量	ルクス	lx	lm/m ²	m ⁻² cd
放射性核種の放射能 ^(f)	ベクレル ^(d)	Bq		s ⁻¹
吸収線量, 比エネルギー分与, カーマ	グレイ	Gy	J/kg	m ² s ⁻²
線量当量, 周辺線量当量, 方向性線量当量, 個人線量当量	シーベルト ^(g)	Sv	J/kg	m ² s ⁻²
酸素活性	カタール	kat		s ⁻¹ mol

(a) SI接頭語は固有の名称と記号を持つ組立単位と組み合わせても使用できる。しかし接頭語を付した単位はもはやコヒーレントではない。
 (b) ラジアンとステラジアンは数字の1に対する単位の特別な名称で、量についての情報をつたえるために使われる。実際には、使用する時には記号rad及びsrが用いられるが、習慣として組立単位としての記号である数字の1は明示されない。
 (c) 測光学ではステラジアンという名称と記号srを単位の表し方の中に、そのまま維持している。
 (d) ヘルツは周期現象についてのみ、ベクレルは放射性核種の統計的過程についてのみ使用される。
 (e) セルシウス度はケルビンの特別な名称で、セルシウス温度を表すために使用される。セルシウス度とケルビンの単位の大きさは同一である。したがって、温度差や温度間隔を表す数値はどちらの単位で表しても同じである。
 (f) 放射性核種の放射能 (activity referred to a radionuclide) は、しばしば誤った用語で"radioactivity"と記される。
 (g) 単位シーベルト (PV, 2002, 70, 205) についてはCIPM勧告2 (CI-2002) を参照。

表4. 単位の中に固有の名称と記号を含むSI組立単位の例

組立量	SI組立単位		
	名称	記号	SI基本単位による表し方
粘力のモーメント	パスカル秒	Pa s	m ⁻¹ kg s ⁻¹
表面張力	ニュートンメートル	N m	m ² kg s ⁻²
角速度	ニュートン毎メートル	N/m	kg s ⁻²
角加速度	ラジアン毎秒	rad/s	m m ⁻¹ s ⁻¹ = s ⁻¹
熱流密度, 放射照度	ラジアン毎秒毎秒	rad/s ²	m m ⁻¹ s ⁻² = s ⁻²
熱容量, エントロピー	ワット毎平方メートル	W/m ²	kg s ⁻³
比熱容量, 比エントロピー	ジュール毎ケルビン	J/K	m ² kg s ⁻² K ⁻¹
比エネルギー	ジュール毎キログラム毎ケルビン	J/(kg K)	m ² s ⁻² K ⁻¹
熱伝導率	ジュール毎キログラム	J/kg	m ² s ⁻²
体積エネルギー	ワット毎メートル毎ケルビン	W/(m K)	m kg s ⁻³ K ⁻¹
電界の強さ	ジュール毎立方メートル	J/m ³	m ⁻¹ kg s ⁻²
電荷密度	ジュール毎立方メートル	V/m	m kg s ⁻³ A ⁻¹
電表面電荷	クーロン毎立方メートル	C/m ³	m ⁻³ s A
電束密度, 電気変位	クーロン毎平方メートル	C/m ²	m ⁻² s A
誘電率	クーロン毎平方メートル	C/m ²	m ² s A
透磁率	ファラド毎メートル	F/m	m ³ kg ⁻¹ s ⁴ A ²
モルエネルギー	ヘンリー毎メートル	H/m	m kg s ⁻² A ⁻²
モルエントロピー, モル熱容量	ジュール毎モル	J/mol	m ² kg s ⁻² mol ⁻¹
照射線量 (X線及びγ線)	ジュール毎モル毎ケルビン	J/(mol K)	m ² kg s ⁻² K ⁻¹ mol ⁻¹
吸収線量率	クーロン毎キログラム	C/kg	kg ⁻¹ s A
放射線強度	グレイ毎秒	Gy/s	m ² s ⁻³
放射輝度	ワット毎ステラジアン	W/sr	m ⁴ m ⁻² kg s ⁻³ = m ² kg s ⁻³
酵素活性濃度	ワット毎平方メートル毎ステラジアン	W/(m ² sr)	m ² m ⁻² kg s ⁻³ = kg s ⁻³
	カタール毎立方メートル	kat/m ³	m ³ s ⁻¹ mol

表5. SI接頭語

乗数	名称	記号	乗数	名称	記号
10 ²⁴	ヨタ	Y	10 ¹	デシ	d
10 ²¹	ゼタ	Z	10 ²	センチ	c
10 ¹⁸	エクサ	E	10 ³	ミリ	m
10 ¹⁵	ペタ	P	10 ⁶	マイクロ	μ
10 ¹²	テラ	T	10 ⁹	ナノ	n
10 ⁹	ギガ	G	10 ¹²	ピコ	p
10 ⁶	メガ	M	10 ⁻¹⁵	フェムト	f
10 ³	キロ	k	10 ⁻¹⁸	アト	a
10 ²	ヘクト	h	10 ⁻²¹	ゼプト	z
10 ¹	デカ	da	10 ⁻²⁴	ヨクト	y

表6. SIに属さないが、SIと併用される単位

名称	記号	SI単位による値
分	min	1 min=60 s
時	h	1 h=60 min=3600 s
日	d	1 d=24 h=86 400 s
度	°	1°=(π/180) rad
分	'	1'=(1/60)°=(π/10 800) rad
秒	"	1"=(1/60)'=(π/648 000) rad
ヘクタール	ha	1 ha=1 hm ² =10 ⁴ m ²
リットル	L, l	1 L=1 l=1 dm ³ =10 ³ cm ³ =10 ⁻³ m ³
トン	t	1 t=10 ³ kg

表7. SIに属さないが、SIと併用される単位で、SI単位で表される数値が実験的に得られるもの

名称	記号	SI単位で表される数値
電子ボルト	eV	1 eV=1.602 176 53(14)×10 ⁻¹⁹ J
ダルトン	Da	1 Da=1.660 538 86(28)×10 ⁻²⁷ kg
統一原子質量単位	u	1 u=1 Da
天文単位	ua	1 ua=1.495 978 706 91(6)×10 ¹¹ m

表8. SIに属さないが、SIと併用されるその他の単位

名称	記号	SI単位で表される数値
バール	bar	1 bar=0.1MPa=100 kPa=10 ⁵ Pa
水銀柱ミリメートル	mmHg	1 mmHg=133.322Pa
オングストローム	Å	1 Å=0.1nm=100pm=10 ⁻¹⁰ m
海里	M	1 M=1852m
バイン	b	1 b=100fm ² =(10 ¹² cm) ² =10 ⁻²⁸ m ²
ノット	kn	1 kn=(1852/3600)m/s
ネーパ	Np	SI単位との数値的関係は、 対数量の定義に依存。
ベレル	B	
デシベル	dB	

表9. 固有の名称をもつCGS組立単位

名称	記号	SI単位で表される数値
エル	erg	1 erg=10 ⁻⁷ J
ダイン	dyn	1 dyn=10 ⁻⁵ N
ポアズ	P	1 P=1 dyn s cm ⁻² =0.1Pa s
ストークス	St	1 St=1cm ² s ⁻¹ =10 ⁻⁴ m ² s ⁻¹
スチルブ	sb	1 sb=1cd cm ⁻² =10 ⁴ cd m ⁻²
フオト	ph	1 ph=1cd sr cm ⁻² =10 ⁴ lx
ガリ	Gal	1 Gal=1cm s ⁻² =10 ⁻² ms ⁻²
マクスウェル	Mx	1 Mx=1 G cm ² =10 ⁻⁸ Wb
ガウス	G	1 G=1Mx cm ⁻² =10 ⁻⁴ T
エルステッド ^(a)	Oe	1 Oe _e =(10 ³ /4π)A m ⁻¹

(a) 3元系のCGS単位系とSIでは直接比較できないため、等号「△」は対応関係を示すものである。

表10. SIに属さないその他の単位の例

名称	記号	SI単位で表される数値
キュリー	Ci	1 Ci=3.7×10 ¹⁰ Bq
レントゲン	R	1 R=2.58×10 ⁻⁴ C/kg
ラド	rad	1 rad=1cGy=10 ⁻² Gy
レム	rem	1 rem=1 cSv=10 ⁻² Sv
ガンマ	γ	1 γ=1 nT=10 ⁻⁹ T
フェルミ	f	1 フェルミ=1 fm=10 ⁻¹⁵ m
メートル系カラット		1 メートル系カラット=0.2 g=2×10 ⁻⁴ kg
トル	Torr	1 Torr=(101 325/760) Pa
標準大気圧	atm	1 atm=101 325 Pa
カロリ	cal	1 cal=4.1858J (「15°C」カロリ), 4.1868J (「IT」カロリ), 4.184J (「熱化学」カロリ)
マイクロ	μ	1 μ=1μm=10 ⁻⁶ m

